Canon

レーザビームプリンタ

Satera

LBP3210 Super Smoothing Technology CAPT Canon Advanced Printing Technology

ユーザーズガイド

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

 このマークが付いている分冊は、製品に同梱されている紙マニュアルです。

 このマークが付いている分冊は、付属の CD-ROM に収められている PDF マニュアルです。

- **プリンタを設置するには**
- **コンピュータと接続するには**
- **印刷できるようにするには**

- **基本的な使いかたを知るには**
- **困ったときには**

ユーザーズガイド（本書）

Macintosh の取扱説明書

Macintosh の取扱説明書は、付属の CD-ROM 内の［プリンタドライバ MacOS9］フォルダまたは［プリンタドライバ MacOSX］フォルダに収められています。

オンラインマニュアル Macintosh 用プリンタドライバの使用方法を説明しています。

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 表紙に掲載されている製品写真は、実際の製品とは異なる場合があります。

ユーザーズガイドの構成について

目次

第２章　給紙／排紙のしかた

第3章　Windows の印刷環境を設定するには

第4章　Windows から印刷するには

第 5 章　日常のメンテナンス

第 6 章　困ったときには

第 7 章　付録

はじめに

このたびはキヤノン LBP3210 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

警告　取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意　取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要　操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ　操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

ボタンの表記について

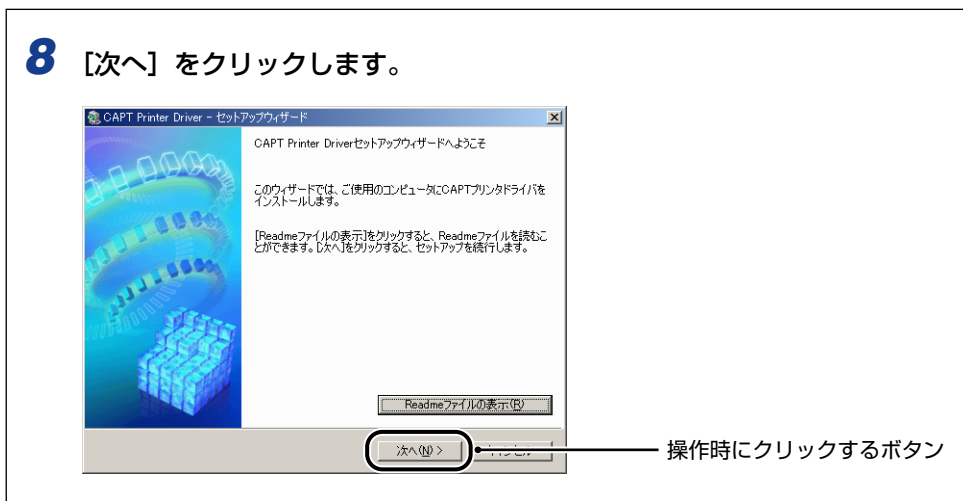
本書では、ボタン名称を以下のように表しています。

- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]
- 例：[OK]
  [詳細設定]

画面について

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

操作時にクリックするボタンの場所は、◯（丸）で囲んでいます。

また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいますので、ご利用に合わせて選択してください。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版：	Windows 95
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版：	Windows 98
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版：	Windows Me
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版：	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版：	Windows XP
Microsoft® Windows Server™ 2003 operating system 日本語版：	Windows Server 2003
Microsoft® Windows Vista™ operating system 日本語版：	Windows Vista
Microsoft® Windows® operating system：	Windows

本書では、日本郵政公社製のはがきを郵便はがきと記載しています。

規制について

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP は、キヤノン株式会社の商標です。

FontGallery、FontComposer はキヤノン株式会社の日本における登録商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

Apple、Macintosh、Mac OS、TrueType、漢字 Talk は米国 Apple Computer Inc. の商標です。

IBM、PowerPC は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨・有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律で罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

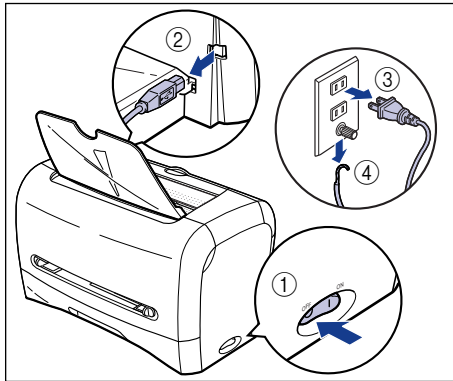
[関係法律]		
	• 刑法	• 郵便法
	• 著作権法	• 郵便切手類模造等取締法
	• 通貨及証券模造取締法	• 印紙犯罪処罰法
	• 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	• 印紙等模造取締法

安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。ここに書かれている警告・注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。

設置について

警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
  製品内部に入った場合は直ちに電源をオフにし ①、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください ②。そのあと、電源プラグを抜いて ③、アース線を取り外し ④、お買い求めの販売店にご連絡ください。
  - ・アクセサリーなどの金属物
  - ・コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器

注意

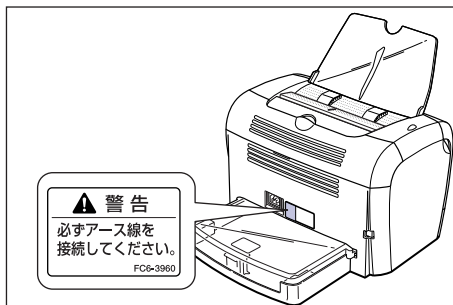
- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - ・湿気やほこりの多い場所
  - ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - ・雨や雪が降りかかるような場所

・水道の蛇口付近などの水気のある場所
・直射日光のあたる場所
・高温になる場所
・火気に近い場所

- 製品を設置する場合は、製品と床面、製品と製品の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- USB ケーブルを接続する場合は、本書の指示に従って正しく接続してください。正しく接続しないと、製品の故障や感電の原因になることがあります。
- 製品を持ち運ぶ場合は、本書の指示に従って正しく持ってください。製品を落としたりして、けがの原因となることがあります。(→ プリンタを移動する：P.5-19)

電源について

⚠ 警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

[アース線を接続してよいもの]
・電源コンセントのアース線端子
・接地工事（D 種）が行われているアース線端子

[アース線を接続してはいけないもの]
・水道管…配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。

- ・ガス管…ガス爆発や火災の原因になります。
- ・電話線のアースや避雷針…落雷のときに大きな電流が流れ､火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。
  - ・延長コードに延長コードの接続はしないでください。
  - ・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。
  - ・延長コードは定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。
  - ・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。
  - ・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

取り扱いについて

警告

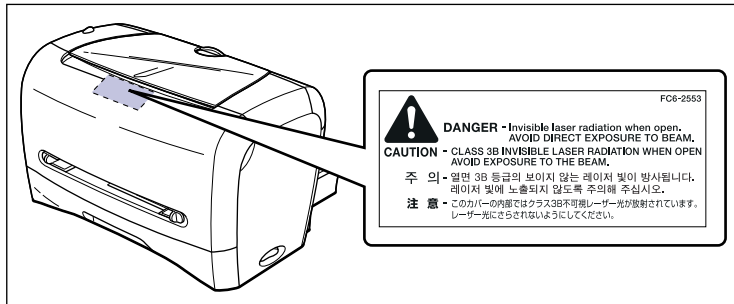
- 製品を分解したり、改造しないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電気製品は誤って取り扱うと思わぬけがをして危険です。電源コードやケーブル類、製品内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。
- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに電源をオフにし、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 製品の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが製品内部の電気部品等に接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、USB ケーブルを取りはずしてください。そのまま移動すると、電源コードや USB ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 製品内部にクリップやステイプル針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが製品内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になります。これらが製品内部に入った場合は直ちに電源をオフにし、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態でUSBケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

⚠ 注意

- 製品の上に重い物を置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにしてください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。
- 排紙部のローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

  ・本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。

  ・レーザースキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。

  ・万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

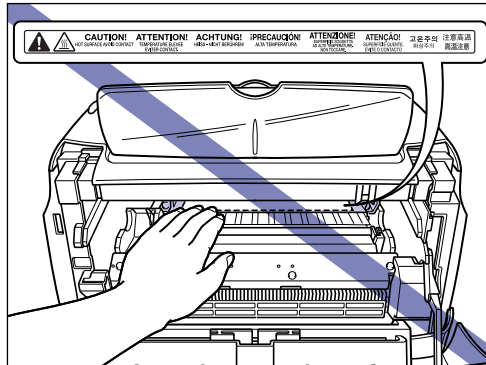
  ・この製品は IEC60825-1:1993 においてクラス 1 レーザ製品であることを確認しています。

保守／点検について

- 清掃のときは、電源をオフにし、USB ケーブルを抜き、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因となります。
- 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期差したままにすると、その周囲にたまったほこりが湯気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

注意

- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理などで内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。

- 紙づまり処理やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりした用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

消耗品について

警告

- トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーに引火してやけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジ、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

注意

トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーカートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

その他

トナーカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらトナーカートリッジから離れてください。すぐに、医師にご相談ください。

お使いになる前に

この章では、本プリンタのおもな特長と基本的な機能について説明しています。

製品の特長

■ ハイパフォーマンスプリンティングシステム「CAPT」搭載

LBP3210 は、Windows OS および Mac OS に対応した最新の CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアを搭載したプリンタです。このシステムでは、従来プリンタで行っていた印刷時のデータ処理をコンピュータで一括処理するため、コンピュータの性能をフルに活かした高速印刷を実現しています。また、コンピュータの解放時間も一段と短くなり、印刷中には用紙切れなどの情報がディスプレイ上に表示されます。

■ USB 2.0 High Speed 標準搭載

最高 480Mbps の高速 I/F USB 2.0 High Speed への対応により高速転送を実現しています。

■ 充実したソフトウェア

付属の CD-ROM「LBP3210 User Software」には、本プリンタをお使いになる上で不可欠な「CAPT ソフトウェア」をはじめ、ドキュメントの文字表現を豊かにする「FontGallery（TrueType フォント）」などが収録されています。

■ 高速印刷＆超高画質印刷

毎分20枚の高速印刷を実現。印刷待ちのストレスを感じさせません。印字機構に600dpiのプリントエンジンを搭載。さらに、キヤノン独自の新スーパースムージングテクノロジー技術により、2400dpi 相当× 600dpi の超高画質を実現しました。また、ディザ法を採用したグレースケールで、写真やグラフィックの微妙な表現も美しく印刷します。

■ 多彩なネットワーク対応

ネットワークプリンタとしてお使いになる場合、サーバ / クライアント双方にステータスが表示されます。また、ジョブ操作も行うことができます。

■ さまざまなマテリアルに対応

普通紙、はがき、往復はがき、封筒（洋形 2 号、洋形 4 号）、ラベル用紙、OHP フィルムなどさまざまな用紙に対応。また、A4 機であっても、縮小モードにより、A3、B4 サイズの原稿を A4 サイズに縮小する定形変倍印刷ができます。
また、不定形なユーザ定義用紙サイズにも印刷できます。

■ 省電力設計＆ウォームアップレス

省エネとクイックスタートを同時に実現した、キヤノン独自の画期的な「オンデマンド定着方式」。定着ヒータをプリント時のみ瞬間的に加熱する方法で、ウォームアップ時間はありません。いつでもスタンバイ状態ですぐに印刷を開始できます。しかも、スタンバイ時の平均消費電力は、わずか約 6W の省電力設計です。

■ コンパクト＆低騒音設計

本体はコンパクトな設計でご家庭でもオフィスでもわずかなスペースでお使いいただけます。

印刷時も静かな低騒音設計。しかも、スタンバイ時は無音で、夜間でも周囲に気兼ねなく安心してお使いいただけます。

■ 容易なメンテナンス＆プリンタステータスウィンドウ

本プリンタ用トナーカートリッジ（キヤノン純正品 EP-26 Cartridge）はトナーと感光ドラムの一体型で、簡単に交換できます。

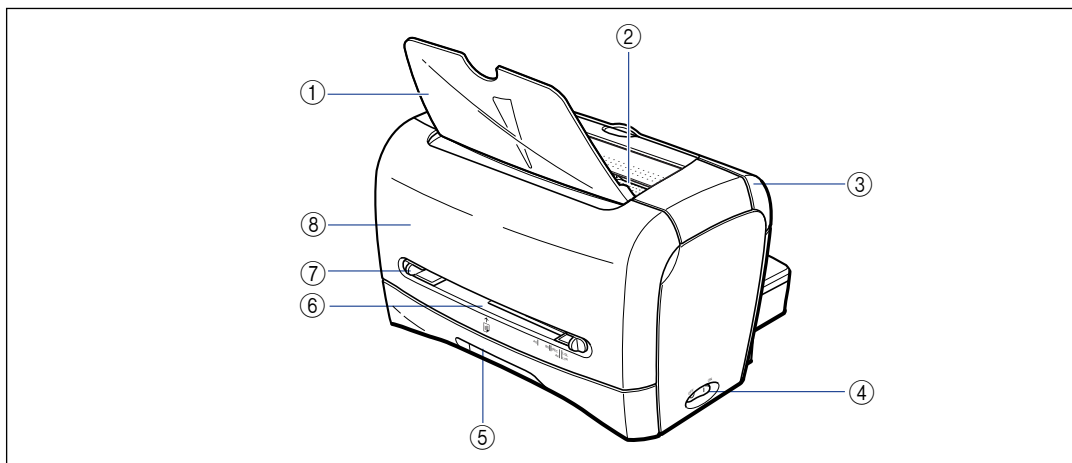
印刷時に表示されるプリンタステータスウィンドウは、グラフィックスと音（サウンド）により的確な判断が容易に行え、本プリンタの操作性を向上させております。

各部の名称と機能

本プリンタを正しく使用し、機能を十分に活用していただくために、各部の名称と機能を覚えてください。

注意 本プリンタには通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。通気口をふさがれるとプリンタ内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

メモ 部品が破損した場合はお買い上げの販売店または、サービス窓口（巻末参照）へご相談ください。

本体前面

① **フェイスダウン排紙トレイ**
用紙が排紙されるのを補助します。

② **フェイスダウン排紙部**
印刷した面を下向きにして排紙します。
（➞P.2-12）

③ **排紙切替カバー**
フェイスアップ排紙とフェイスダウン排紙を切り替えます。（➞P.2-14）

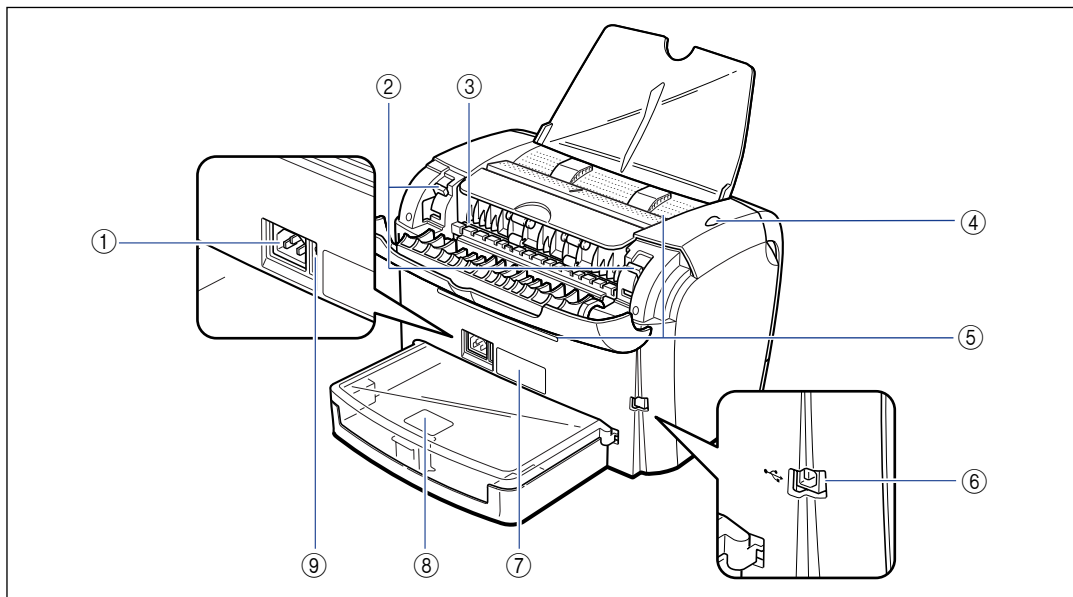
④ **電源スイッチ**
プリンタの電源をオン／オフします。（➞P.1-12）

⑤ **カセット**
普通紙（64g/m^2）で最大 250 枚までの用紙をセットすることができます。（➞P.2-10）

⑥ **手差し給紙口**
用紙を 1 枚ずつ手差しで印刷するときに使用する給紙口です。（➞P.2-10）

⑦ **用紙ガイド**
用紙がまっすぐに送られるように、用紙の幅に合わせます。

⑧ **フロントカバー**
トナーカートリッジの交換や紙づまりを除去するときに開けます。

本体背面

① **電源コード差し込み口**
付属の電源コードを接続します。（➞P.1-9）

② **加圧解除レバー**
紙づまりが起こったときにはレバーを倒し、定着器の圧力を解除します。（➞P.6-6）

③ **フェイスアップ排紙口**
印刷した面を上向きにして排紙します。
（➞P.2-13）

④ **電源ランプ**
電源がオンになっているときに点灯します。

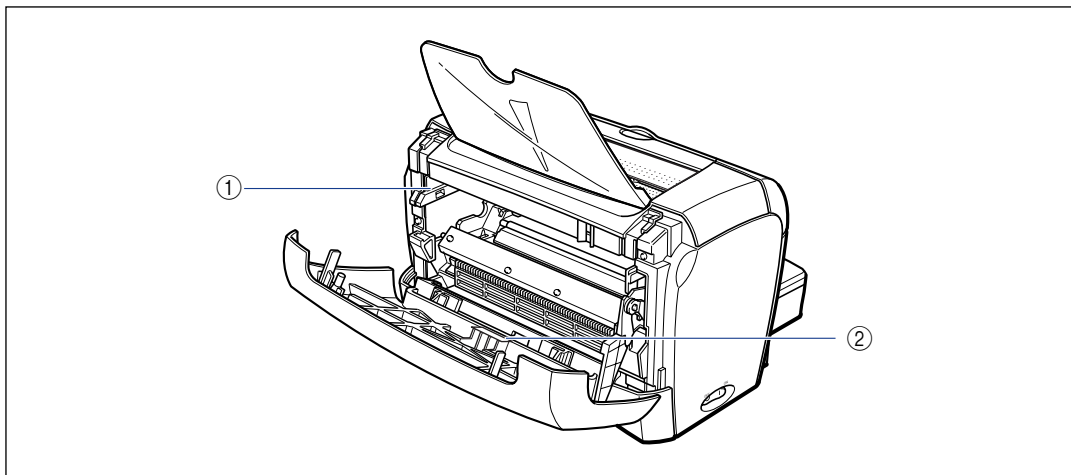
⑤ **通気口**
プリンタ内部を冷却するための通気口です。通気口をふさがないようにしてください。

⑥ **USB コネクタ**
USB ケーブルの接続部です。コンピュータなどの USB ポートに接続します。
（➞P.1-15）

⑦ **定格銘板ラベル**
プリンタ識別のためのシリアルナンバー（Serial No.）が記載されています。サービスや修理を受けるときに必要になります。明示されている電流値は、平均消費電流です。

⑧ **カセット保護カバー**
カセットにゴミやホコリが入らないようにするためのカバーです。

⑨ **アース線端子**
付属のアース線を接続します。（➞P.1-7）

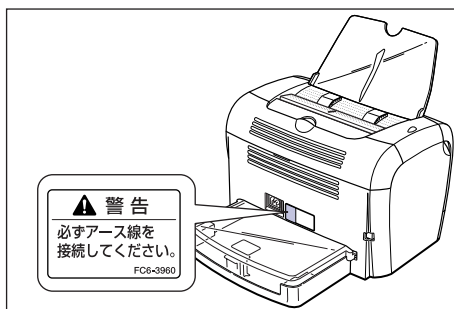
本体内部

① **トナーカートリッジガイド**
トナーカートリッジをセットするときは、左右の突起をこのガイドに合わせて押し込みます。
（➞P.5-5）

② **黒いフィルム**
黒いフィルムは絶対に剥がさないでください。

電源コード、アース線を接続する

本プリンタの電源コードとアース線の接続方法を説明します。接続する際には「安全にお使いいただくために」(→P.xii)を参照してください。

アース線を接続する

警告
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

  [アース線を接続してよいもの]
  ・電源コンセントのアース線端子
  ・接地工事(D 種)が行われているアース線端子

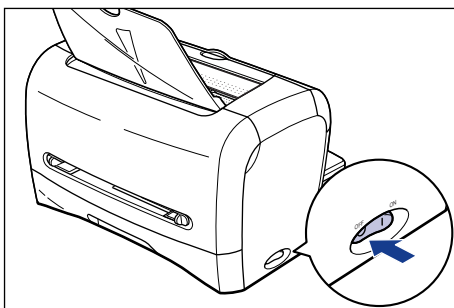
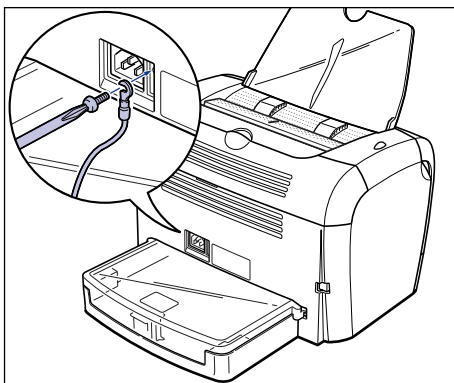
  [アース線を接続してはいけないもの]
  ・水道管…配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
  ・ガス管…ガス爆発や火災の原因になります。
  ・電話線のアースや避雷針…落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

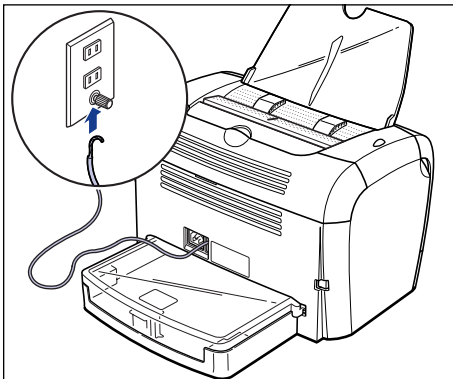
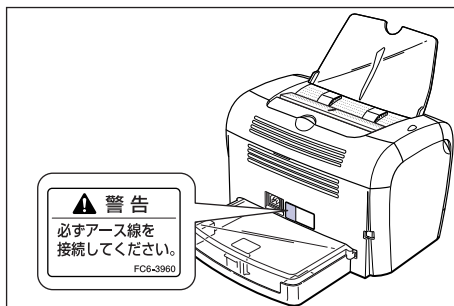
注意
- 感電防止のため、プリンタの電源コードが接続されていないことを確認してからアース線を接続してください。
- プリンタとコンピュータがUSBケーブルで接続されているときは、感電防止のため、USBケーブルを抜くか、コンピュータの電源コードを抜いてからアース線を接続してください。

重要
アース線を接続するときは、プリンタ、コンピュータ双方とも接続してください。片方だけ接続すると、 機器間に電位差が生じ故障の原因になることがあります。

メモ
アース線の取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズと形状のものをご用意ください。

1 プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認します。

電源スイッチの“○”側を押した状態がオフです。

2 アース線端子のネジをゆるめて取り外し、付属のアース線をネジ止めします。

重要 アース線が電源コード差し込み口にかからないようにアース線を取り付けてください。

3 アース線を専用のアース線端子へ接続します。

警告 アース線を接続してください。アース線を接続しないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

電源コードを接続する

警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。
  ・延長コードに延長コードの接続はしないでください。

・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘板ラベル（製品背面に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。

・延長コードは定格銘板ラベル（製品背面に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。

・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。

・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。

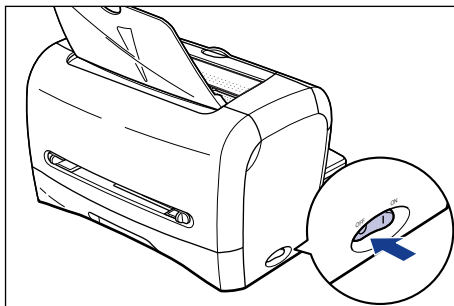
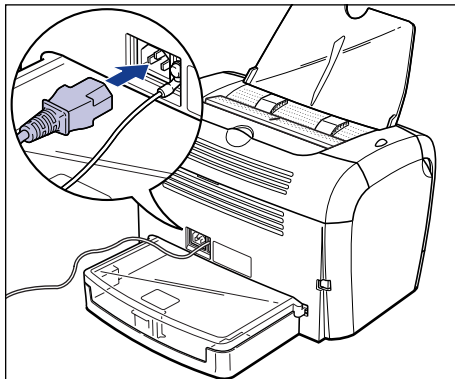
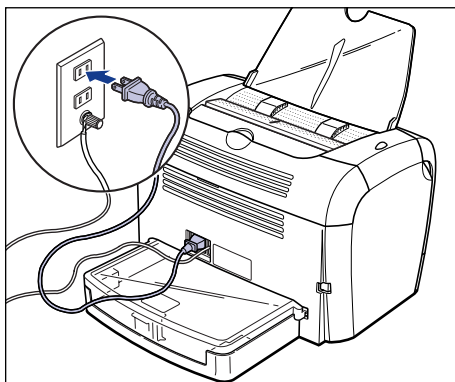
注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

重要

- コンピュータ本体の補助コンセントに電源を接続しないでください。
- なるべくひとつのコンセントを専用にしてお使いください。
- 本プリンタを無停電電源に接続しないでください。停電発生時に誤動作を起こしたり、故障する恐れがあります。

1 プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認します。

電源スイッチの“○”側を押した状態がオフです。

2 電源コード差し込み口に、付属の電源コードをしっかりと差し込みます。

3 電源プラグを電源コンセントへ接続します。

電源のオン、オフ

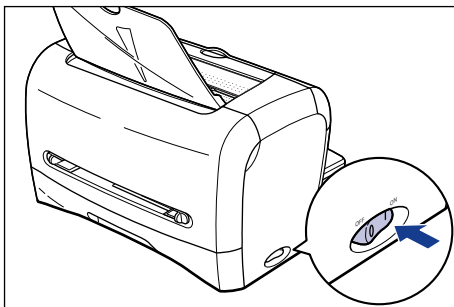
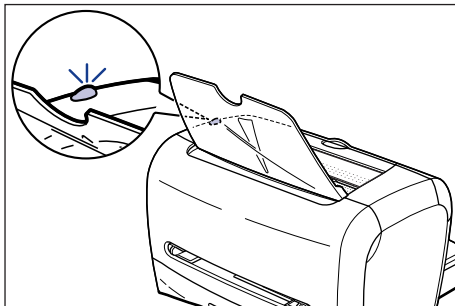
本プリンタの電源は、本体右側面の電源スイッチでオン、オフを行います。思わぬトラブルを避けるため、正しい手順を覚えてください。

電源をオンにする

本プリンタを使用するには、電源スイッチの“I”側を押して、オンにします。本体の状態チェック（自己診断）を実行したあと、印刷可能な状態になります。

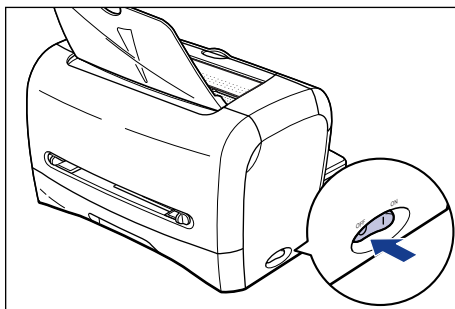
重要

- 電源をオフにした直後に、再度電源をオンにしないでください。電源をオフにしたあとに再度電源をオンにするときは、電源をオフにしてから 10 秒以上経ったあと、電源をオンにしてください。
- 正しく動作しなかったり、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）にエラーメッセージが表示されたときは、「困ったときには」（→P.6-1）を参照してください。
- 電源をオンにするときは、手差し給紙口に用紙がないことを確認してください。手差し給紙口に用紙がセットされている状態で電源をオンにすると紙づまりの原因になります。
- プリンタを設置後、初めて電源をオンにしたときに、白紙が 1 枚排紙されることがありますが、異常ではありません。

1 **電源スイッチの“I”側を押し、電源をオンにします。**

プリンタの電源ランプが点灯し、本体の状態を自己判断します。自己判断の結果に異常がなければ、印刷可能な状態になります。

電源をオフにする

本プリンタは、次の手順で電源をオフにします。

重要
- ネットワーク環境で使用している場合は、他のコンピュータから印刷していないか確認してから、電源をオフにしてください。
- プリンタの電源をオフにすると、プリンタのメモリに残っている印刷データは消去されます。必要な印刷データは、出力し終わるまで待ってから電源をオフにしてください。
- プリンタが以下の状態のときに電源をオフにしないでください。
  - ・印刷中
  - ・プリンタの電源をオンにした直後の自己診断中

1 電源スイッチの“○”側を押し、電源をオフにします。

重要　電源スイッチの“○”側を押した状態では、消費電力は0Wになります。

コンピュータと接続する

本プリンタをコンピュータに接続します。
本プリンタは USB コネクタを装備していますので、USB ケーブルでコンピュータに接続します。
USB ポートを装備したコンピュータに USB ケーブルで本プリンタを接続します。

警告

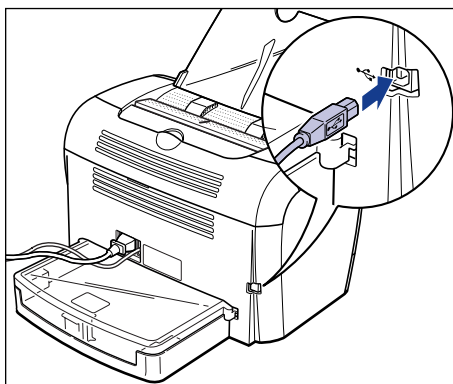
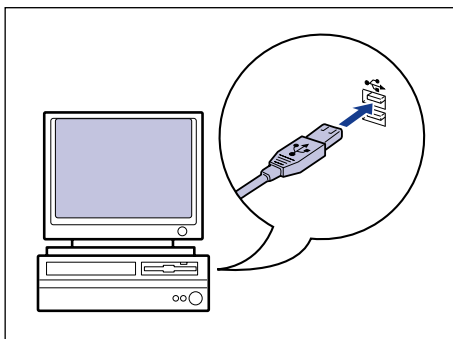
- **電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。**
- **電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。**

重要

- USB ケーブルは、コンピュータやプリンタの電源が入っているときでも、ケーブルの抜き差しが行えます。ただし、次のようなときは、USB ケーブルを抜き差ししないでください。コンピュータやプリンタの動作不良の原因になります。
  - ・コンピュータの電源を入れた直後の OS 起動中
  - ・印刷中
- コンピュータおよびプリンタの電源がオンになっている状態でUSB ケーブルを抜き差しする場合は、抜いた後に必ず 5 秒以上の間隔を空けてから差し込んでください。抜いた直後に差し込むと、コンピュータやプリンタの動作不良の原因になります。
- 本プリンタは印刷時に双方向通信を行います。片方向通信が必要なプリントサーバ、USB ハブ・切り替え機器等を使用しての接続は動作不良の原因になります。

メモ

- 本プリンタのUSBインタフェースは、接続するコンピュータのOSによって以下のようになっています。詳細については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
  - ・Windows 98/Me：USB Full-Speed（USB1.1 相当）
  - ・Windows 2000/XP/Server 2003/Vista：USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）
  - ・Mac OS 9、X（10.3.2 以前）：USB Full-Speed（USB1.1 相当）
  - ・Mac OS X（10.3.3 以降）：USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）
- 本プリンタをUSBケーブルで接続する場合は、メーカーによって USBの動作が保証されているコンピュータをご使用ください。
- 本プリンタには USB ケーブルは付属していません。お使いのコンピュータに合わせてご用意ください。

1 USBケーブルのBタイプ(四角い)側を本プリンタ背面のUSBコネクタへ接続します。

2 USBケーブルのA タイプ(平たい)側をコンピュータのUSBポートへ接続します。

メモ

- Windows の場合は、USB ケーブルの接続後に、プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードが表示された場合は、以下の方法で本プリンタのソフトウェアをインストールしてください。詳しくは、「CAPT ソフトウェアをインストールする」(→P.3-4)を参照してください。
  - ・[キャンセル] をクリックして、CD-ROM Setup からインストールする
  - ・プラグ・アンド・プレイでインストールする
- お使いのコンピュータに対応した USB ケーブルがおわかりにならない場合は、コンピュータを購入した販売店にお問い合わせください。

給紙／排紙のしかた

この章では、本プリンタで使用できる用紙、給紙のしかた、排紙のしかたについて説明しています。

用紙について

使用できる用紙

本プリンタの性能を十分に引き出していただくため、用紙は適切なものを使用してください。用紙が適切でないと印字品質の低下や紙づまりの原因になります。

重要
- 次のような場合、熱による故障などを防止するための安全機能が働き、印刷速度が段階的に遅くなることがあります。
  - ･B5、A5 サイズの厚紙、往復はがき、洋形 2 号の封筒、洋形 4 号の封筒を連続印刷した場合、3ppm まで印刷速度が遅くなることがあります。
  - ･B5、A5 サイズの普通紙、はがきを連続印刷した場合、4ppm まで印刷速度が遅くなることがあります。
- 連続で印刷を行う枚数は、各用紙タイプの積載制限の枚数を目安に、連続で印刷を行ってください。

用紙サイズ

本プリンタは次の用紙サイズを使用できます。表中の○はセット可能、×はセット不可能です。

用紙の種類	給紙部	
	カセット	手差し給紙口
A4	○	○
B5	○	○
A5	○	○
リーガル	×	○
レター	○	○
エグゼクティブ	○	○
ユーザ定義用紙 幅：76.2mm～215.9mm 長さ：127.0mm～355.6mm	×	○
はがき 100.0mm×148.0mm	○	○
往復はがき 148.0mm×200.0mm	○	○
封筒 洋形4号 105.0mm×235.0mm	○	○
洋形2号 114.0mm×162.0mm	○	○

用紙タイプ

本プリンタは次の用紙タイプを使用できます。表中の○はセット可能です。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">用紙タイプ</th><th rowspan="2">プリンタドライバの設定</th><th colspan="2">給紙部</th></tr>
<tr><th>カセット</th><th>手差し給紙口</th></tr>
<tr><td colspan="2">普通紙（64 ～ 80g/m^2）</td><td>［普通紙］、［普通紙 L］*1、［厚紙］*2</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">厚紙</td><td>81 ～ 105g/m^2</td><td>［厚紙］</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>106 ～ 163g/m^2</td><td>［厚紙 H］</td><td>○*6</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">OHP フィルム</td><td>［OHP フィルム］</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">ラベル用紙</td><td>［厚紙］*3</td><td>○*7</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">はがき</td><td>*4</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">往復はがき</td><td>*4</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">封筒</td><td>*5</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

*1 ［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは、［普通紙 L］に設定してお試しください。

*2 ［普通紙］に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、［厚紙］に設定してください。

*3 ラベル用紙を印刷するときは、用紙タイプの設定を［厚紙］に設定してください。［厚紙］に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、［厚紙H］に設定してお試しください。

*4 郵便はがき、郵便往復はがきまたは、はがきや往復はがきの用紙サイズに印刷するときは、以下の設定を行ってください。

Windows の場合：
① ［出力用紙サイズ］の設定を［はがき］、［往復はがき］にする
② ［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［はがきの用紙タイプ］で用紙タイプを設定する

Macintosh の場合：
① Mac OS 9 の場合、［基本設定］パネルの［出力用紙サイズ］の設定を［はがき］、［往復はがき］にする
Mac OS X の場合、［ページ属性］パネルの［用紙サイズ］の設定を［はがき］、［往復はがき］にする
② ［仕上げ］パネルの［仕上げ詳細］をクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログにある［はがきの用紙タイプ］で用紙タイプを設定する

*5 封筒を印刷するときは、用紙サイズを［封筒 洋形４号］、［封筒 洋形 2 号］に設定すると、自動的にそれぞれに適した印字モードで印刷されます。用紙タイプの設定は必要ありません。

*6 カセットにセットできる厚紙は 128g/m^2 以下の厚紙です。129g/m^2 以上の厚紙は手差し給紙口から印刷してください。

*7 カセットにセットできるラベル用紙は 0 面のラベル用紙のみです。

メモ　用紙の厚さは、1m^2 あたりの重さがどれくらいかということで表され、一般的に g/m^2 という単位が使われます。用紙の厚さについては用紙メーカーにお問い合わせください。

■ 普通紙について

本プリンタでは、A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの定形用紙を含む、幅 76.2 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 355.6mm、重さ 64 ～ 80g/m^2 の普通紙を使用できます。

重要　リーガルサイズの用紙をセットできる給紙部は手差し給紙口のみです。カセットにはセットできません。

■ 厚紙について

本プリンタでは、A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの定形用紙を含む、幅 76.2 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 355.6mm、重さ 81 ～163g/m²の厚紙を使用できます。

重要
- リーガルサイズの用紙をセットできる給紙部は手差し給紙口のみです。カセットにはセットできません。
- カセットにセットできる厚紙は 128g/m² 以下の厚紙です。129g/m² 以上の厚紙は手差し給紙口から印刷してください。

■ OHP フィルムについて

本プリンタでは、A4 またはレターサイズの OHP フィルムを使用できます。

重要
- OHPフィルムは、「キヤノン推奨品 LBP 用 OHPフィルム A4」を使用してください。キヤノン推奨品 LBP 用 OHP フィルム A4 の重さは 1 枚 8.7g です。
- OHP フィルムどうしが離れにくい場合があるので、一枚ずつよくさばいてから使用してください。

■ ラベル用紙について

本プリンタでは、A4 またはレターサイズのラベル用紙を使用できます。

重要
- ラベル用紙は、「キヤノン推奨品ラベル用紙 A4」をご使用ください。「キヤノン推奨品ラベル用紙 A4」の重さは 1 枚 7.8g です。
- 次のようなラベル用紙は使用しないでください。仕様に合わない用紙をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ･ラベルが剥がれていたり、一部使いかけている用紙
  - ･台紙から剥がれやすいコート紙でできている用紙
  - ･糊がはみ出ている用紙
- カセットにセットできるラベル用紙は 0 面のラベル用紙のみです。0 面以外のラベル用紙は手差し給紙口から印刷してください。

■ はがきについて

本プリンタでは郵便はがき、郵便往復はがきが使用できます。また、はがき、往復はがきサイズの普通紙や厚紙にも印刷することができます。

重要
- はがきがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。
- インクジェット用の郵便はがきを使用することはできません。
- はがきに印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

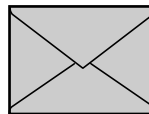
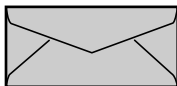
■ 封筒について

本プリンタでは、洋形 4 号または洋形 2 号の封筒を使用できます。

重要

- 本プリンタで使用できる封筒は次のような構造のものに限ります。

洋形4号　（105mm×235mm、4.13inch×9.25inch）（キヤノンLBP用封筒Y401／推奨品）

洋形2号　（114mm×162mm、4.49inch×6.38inch）（キヤノンLBP用封筒Y201／推奨品）

短辺にふたが付いているものは使用できません。

- 次のような封筒は使用しないでください。仕様に合わない封筒をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ファスナーや留め具の付いている封筒
  - ・窓付きの封筒
  - ・糊付きの封筒
  - ・しわになっていたり、折れ曲がっている封筒
  - ・折り目や貼り合わせ部分の凹凸が大きい封筒
  - ・長方形でない封筒や不規則な形の封筒
- セットする前に、上から手で押さえて封筒内部の空気を抜き取り、折り目をよく押さえてください。
- 裏面（貼り合わせのある面）には印刷しないでください。
- 封筒に印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

メモ　封筒に印刷した場合、しわがよる場合があります。

用紙サイズの略号について

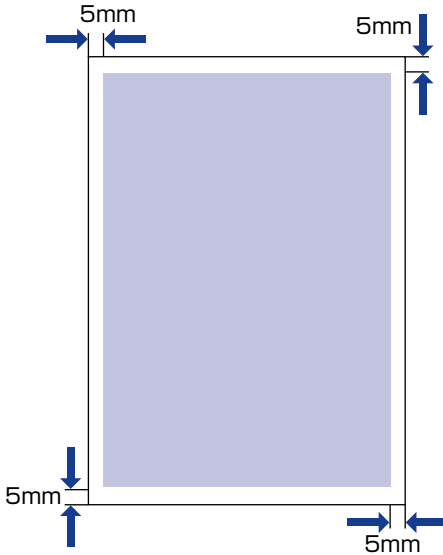
用紙ガイドのサイズ表示には、次の用紙について以下のような略号が使われています。

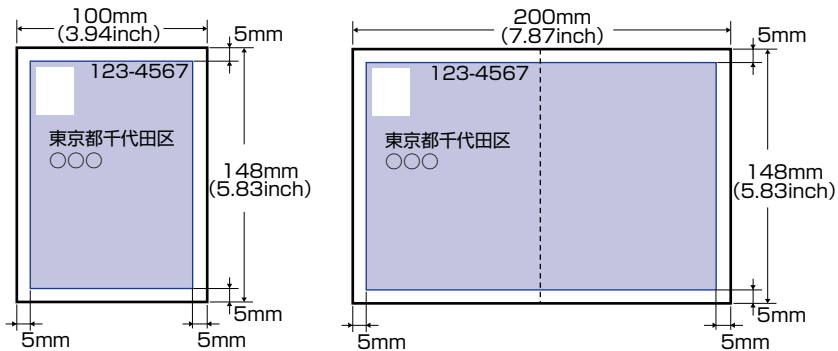
用紙サイズ	用紙ガイド
リーガル	LGL
レター	LTR
エグゼクティブ	EXEC

印刷できる範囲

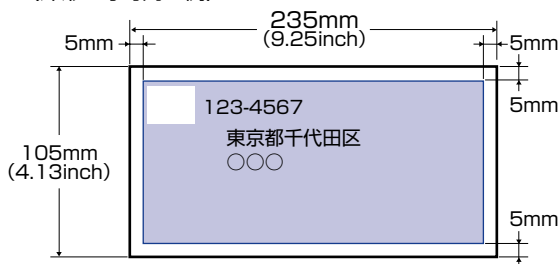
本プリンタで印刷できる領域は、次の範囲です。

■ **普通紙 / 厚紙 /OHP フィルム / ラベル用紙**

用紙の周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。

■ **はがき／往復はがき**

はがきの周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。

■ 封筒

封筒の周囲 5 mm より内側の範囲に印刷できます。
お使いのアプリケーションによっては、印刷時に位置を調整してお使いください。

（洋形4号封筒の例）

使用できない用紙

紙づまりやプリンタの故障、トラブルを防ぐため、次にあげるような用紙はお使いにならないでください。

重要

- 紙づまりを起こしやすい用紙
  - ・厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
  - ・不規則な形の用紙
  - ・湿っている用紙、濡れている用紙
  - ・破れている用紙
  - ・表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
  - ・バインダ用の穴やミシン目のある用紙
  - ・カールした用紙や折り目のある用紙
  - ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ・裏紙が簡単にはがれてしまうラベル用紙
  - ・複写機やインクジェットプリンタ、他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。）
  - ・バリのある用紙
  - ・しわのある用紙
  - ・角折れのある用紙
- 高温によって変質する用紙
  - ・定着器の熱（約 170℃）で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発生するインクを使用した用紙
  - ・感熱用紙
  - ・表面加工したカラー用紙
  - ・表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ・糊などがついた用紙
- プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙
  - ・カーボン紙
  - ・ステイプル針、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙

・複写機やインクジェットプリンタ、他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。）
- トナーが定着しにくい用紙
  ・ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
  ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  ・繊維の粗い用紙

用紙の保管について

規格にあった用紙でも、保管が悪いと変質してしまうことがあります。変質した用紙は給紙不良や紙づまりの原因になったり、印字品質の低下を招くことがあります。

用紙を保管するときは、次のことに気をつけてください。

重要
- 用紙は特に水分を嫌いますので、湿らせないようにしてください。
- 用紙の包装紙は、湿気および乾燥を防ぐ働きをします。使用するまでは包装したままにしておいてください。また、使用しない用紙は包装紙に包んでおいてください。
- 平らな場所に保管してください。
- 床面は一般に湿度が高いので、用紙を床に直接置かないでください。
- 用紙が丸まったり折り目がつくような置き方をしないでください。
- 用紙を立てて保管したり、あまり多く積み重ねないでください。
- 直射日光の当たる場所や湿度の高い場所、乾燥している場所に保管しないでください。
- 保管場所と使用する場所の温度や湿度に著しく差がある場合は、包装したままで 1 日ほど使用する場所に置いて、室温に慣らしてから使用してください。急激な温度や湿度の変化は、用紙の丸まりやしわの原因になります。

●吸湿している用紙に印刷すると

吸湿している用紙に印刷すると、プリンタの排紙部周辺から湯気が出る場合があります。

これは、トナーを定着するときの熱によって用紙に含まれている水分が蒸発しているためですので、異常ではありません（特に、室温が低い場合に発生しやすくなります）。

警告 焦げ臭いにおいがした場合は、直ちにプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜いて、お客様相談センター（巻末参照）またはお買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

プリントの保管について

本プリンタで印刷したプリントの取り扱いや保管するときは、次の点に気を付けてください。

重要

- クリアホルダなど PVC 素材のものといっしょに保存しないでください。トナーが溶けて用紙と PVC 素材が貼り付いてしまうことがあります。
- 糊付けするときは、必ず不溶性の接着剤をご使用ください。溶解性の接着剤を使用すると、トナーが溶けてしまいます。接着剤をご使用になる場合は、不要になった印刷物で試してから使用してください。
  プリントを重ねる場合は、完全に乾いていることを確認してください。乾ききらないうちに重ねると、トナーが溶けることがあります。
- 平らな場所に保管してください。折れたりしわになったりすると、トナーが剥がれることがあります。
- 高温の場所に保管しないでください。トナーが溶けて色がにじむことがあります。
- 長期間（2 年以上）保管する場合は、バインダーなどに入れて保管してください。（長時間保管すると、用紙の変色によって、プリントが変色したように見える場合があります。）

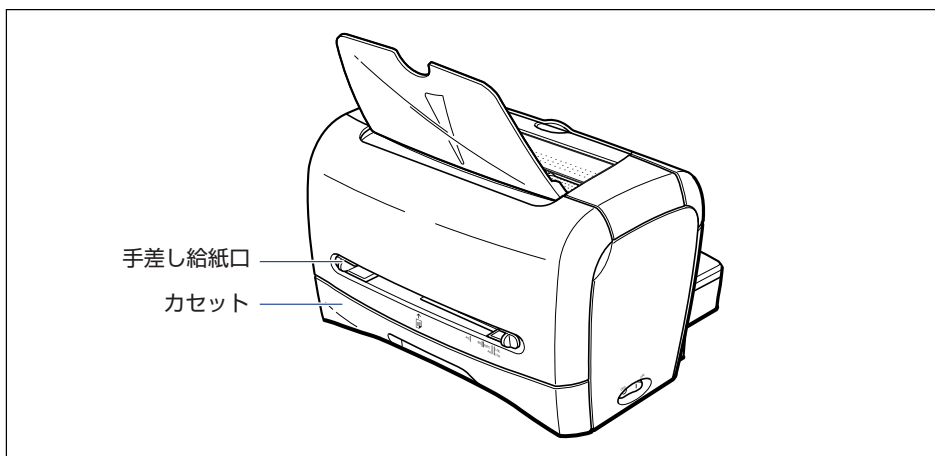
給紙部について

給紙部の種類

本プリンタには次の給紙部があります。

■ **給紙部／給紙枚数**

手差し給紙口　1 枚

カセット　約 250 枚（64g/m²）

重要　カセットから印刷するときは、手差し給紙口に用紙がセットされていないことを確認してください。手差し給紙口に用紙がセットされていると、手差し給紙口からの給紙が優先されるため、手差し給紙口の用紙が給紙されます。

給紙部の積載枚数

用紙タイプ	給紙部	
	カセット	手差し給紙口
普通紙（64g/m^2）	約 250 枚	1 枚
厚紙（128g/m^2）	約 100 枚	1 枚
OHP フィルム	約 100 枚	1 枚
ラベル用紙	約 100 枚	1 枚
はがき	約 50 枚	1 枚
往復はがき	約 50 枚	1 枚
封筒	約 20 枚	1 枚

排紙先について

排紙先の種類

本プリンタには、本体上面の「フェイスダウン排紙部」と本体背面の「フェイスアップ排紙口」の 2 つの排紙先があります。

印刷中に排紙先の切り替えは行わないでください。紙づまりの原因になります。

注意 排紙部のローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

重要 連続印刷したときなどは、排紙直後の用紙が熱くなっている場合がありますのでご注意ください。

●吸湿している用紙に印刷すると

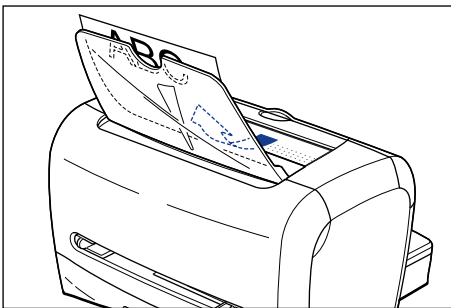
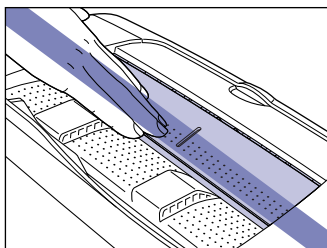
吸湿している用紙に印刷すると、プリンタの排紙部周辺から湯気が出る場合があります。

これは、トナーを定着するときの熱によって用紙に含まれている水分が蒸発しているためですので、異常ではありません（特に、室温が低い場合に発生しやすくなります）。

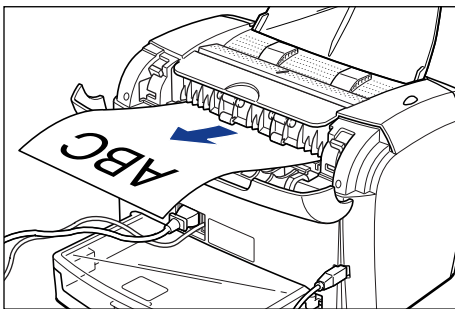
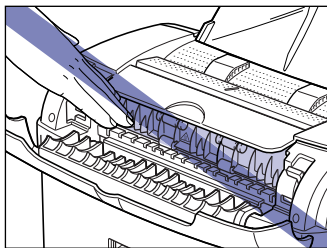
用紙の保管方法については、「用紙の保管について」（➞P.2-8）を参照してください。

警告 焦げ臭いにおいがした場合は、直ちにプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜いて、お客様相談センター（巻末参照）またはお買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

フェイスダウン排紙部

フェイスダウン排紙部に印字した面が下向き（フェイスダウン）で排紙されます。
フェイスダウン排紙部に排紙するときはフェイスダウン排紙トレイを開けて排紙させせます。

重要　プリンタの使用中や使用直後は、フェイスダウン排紙部が高温になります。用紙を取り除くときや、紙づまりの処理をするときは、フェイスダウン排紙部周辺に触れないように気を付けてください。

メモ　フェイスダウン排紙部には、普通紙で約 100 枚（64g/m²の用紙）まで積載することができます。用紙タイプや用紙サイズにより積載枚数は異なります。詳しくは「排紙先の積載枚数」（→P.2-14）を参照してください。

フェイスアップ排紙口

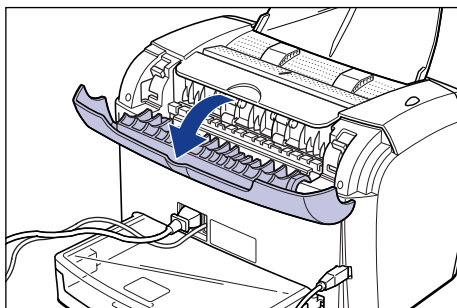
本体背面のフェイスアップ排紙口に印字した面が上向き（フェイスアップ）で排紙されます。フェイスアップ排紙口への排紙は、用紙がまっすぐに排紙されるので、カールしやすいOHP フィルムやラベル用紙、はがき、往復はがき、封筒などに印字するときに向いています。

重要
- フェイスアップ排紙口に排紙された用紙は、排紙されるたびに1枚ずつ取り除いてください。
- プリンタの使用中や使用直後は、フェイスアップ排紙口が高温になります。用紙を取り除くときや、紙づまりの処理をするときは、フェイスアップ排紙口周辺に触れないように気を付けてください。

排紙先の積載枚数

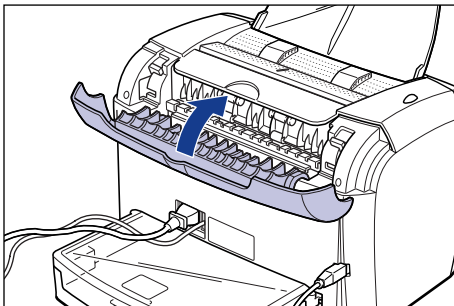
用紙タイプ	排紙先 *	
	フェイスダウン排紙部	フェイスアップ排紙口
普通紙（64g/m^2）	約 100 枚	1 枚
厚紙（128g/m^2）	約 30 枚	1 枚
OHP フィルム	約 5 枚	1 枚
ラベル用紙	約 10 枚	1 枚
はがきおよびはがきサイズの用紙	約 10 枚	1 枚
往復はがきおよび往復はがきサイズの用紙	約 10 枚	1 枚
封筒	約 10 枚	1 枚

* 設置環境や使用する用紙タイプ、用紙サイズによっては、実際の積載枚数は異なります。

排紙先の選択

フェイスアップ排紙口に切り替える

排紙先をフェイスアップ排紙口に切り替えるときは、排紙切替カバーの取っ手を持ち、図のように開けます。

フェイスダウン排紙部に切り替える

排紙先をフェイスダウン排紙部に切り替えるときは、排紙切替カバーの取っ手を持ち、図のように閉めます。

メモ　フェイスダウン排紙トレイが閉じているときは、フェイスダウン排紙トレイを開けます。

普通紙、厚紙、ラベル用紙、OHP フィルムに印刷する

普通紙や厚紙、ラベル用紙、OHP フィルムに印刷する方法を説明します。

ユーザ定義用紙に印刷する方法は「ユーザ定義用紙（不定形用紙）に印刷する」（→P.2-53）を参照してください。

用紙をセットする

用紙をセットできる給紙部はカセットと手差し給紙口の 2 種類です。連続で印刷を行う場合はカセットに用紙をセットします。

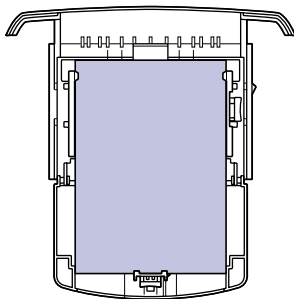
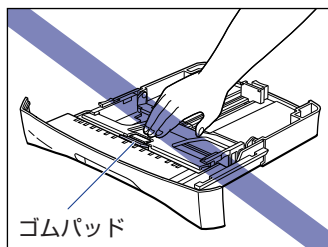
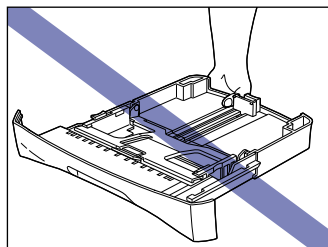
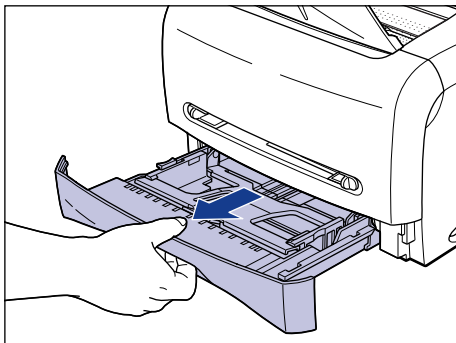
カセットにセットされている用紙と異なる用紙サイズや用紙タイプを 1 枚だけ印刷する場合は手差し給紙口に用紙をセットします。

重要

- カセットから印刷するときは、手差し給紙口に用紙がセットされていないことを確認してください。手差し給紙口に用紙がセットされていると、手差し給紙口からの給紙が優先されるため、手差し給紙口の用紙が給紙されます。
- カセットから印刷を行っている途中で、手差し給紙口に用紙をセットしないでください。手差し給紙口にセットした用紙が給紙され、重送や紙づまりの原因になります。
- バリのある用紙、しわのある用紙やひどくカールした用紙はセットしないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- 使用できる用紙の詳細は、「使用できる用紙」（→P.2-2）を参照してください。
- リーガルサイズの用紙をセットできる給紙部は手差し給紙口のみです。カセットにはセットできません。
- 本プリンタでは、A4 またはレターサイズの OHP フィルムを使用できます。OHP フィルムは、「キヤノン推奨品 LBP 用 OHP フィルム A4」を使用してください。
- 本プリンタでは、A4 またはレターサイズのラベル用紙を使用できます。ラベル用紙は、「キヤノン推奨品ラベル用紙 A4」をご使用ください。
- 次のようなラベル用紙は使用しないでください。仕様に合わない用紙をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ･ラベルが剥がれていたり、一部使いかけている用紙
  - ･台紙から剥がれやすいコート紙でできている用紙
  - ･糊がはみ出ている用紙
- カセットにセットできるラベル用紙は 0 面のラベル用紙のみです。0 面以外のラベル用紙は手差し給紙口から印刷してください。
- カセットにセットできる厚紙は 128g/m^2 以下の厚紙です。129g/m^2 以上の厚紙は手差し給紙口から印刷してください。

カセットに用紙をセットする

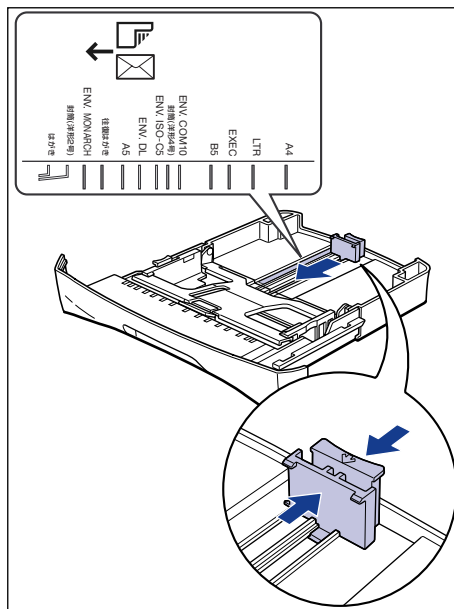
カセットに用紙をセットするときは、以下の手順で行います。
カセットに用紙をセットするときは、必ず縦置きにセットしてください。

重要

- 印刷中にカセットを抜き取らないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- カセットに用紙が残っているときに用紙を補充する場合は、セットされている用紙を一度取り出し、補充する用紙とともによく揃えてからカセットにセットしてください。
- カセットの黒いゴムパッドには触れないでください。給紙不良の原因になります。

- カセット後部だけを持ってカセットを持ち上げないでください。カセット後部だけを持って持ち運ぶとカセット後部が外れてしまうことがあります。

- 連続で印刷を行う枚数は、各用紙タイプの積載制限の枚数を目安に、連続で印刷を行ってください。

1 カセットを引き出します。

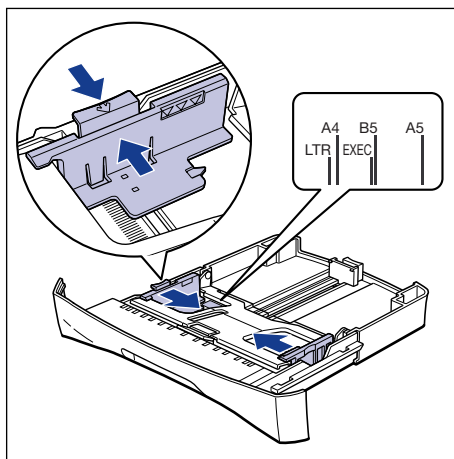
注意 用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをプリンタから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

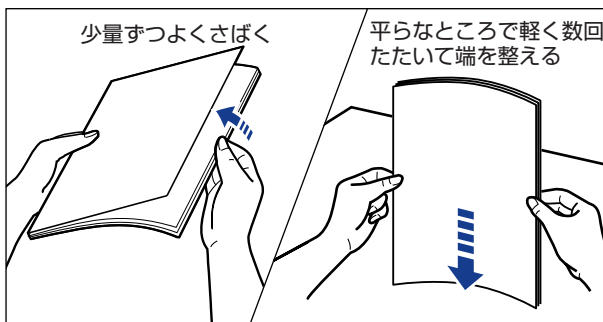
重要 カセットを引き出すときは、必ず水平に引き出してください。斜めに引き出すと、プリンタが破損する原因になります。

2 セットする用紙のサイズを変更するときは、用紙ガイドの位置を変更します。

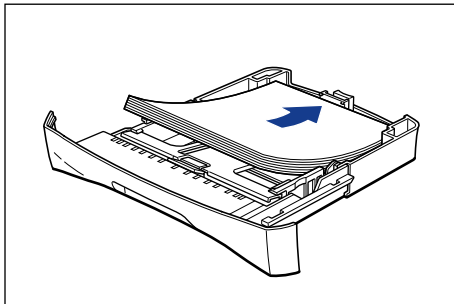
❑ 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

メモ　カセットにあるサイズ表示の「LTR」はレターサイズ、「EXEC」はエグゼクティブサイズの用紙に対応しています。

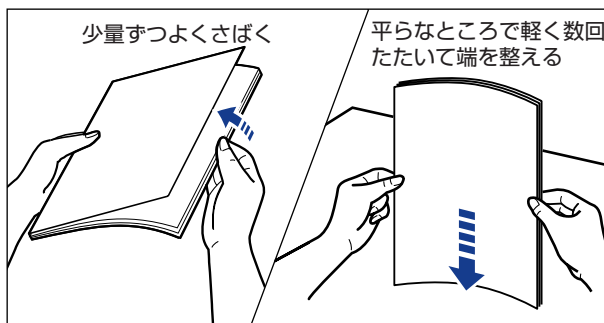
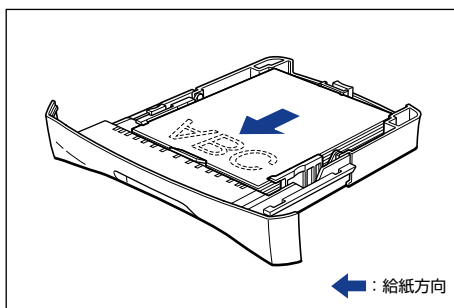
❑ 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

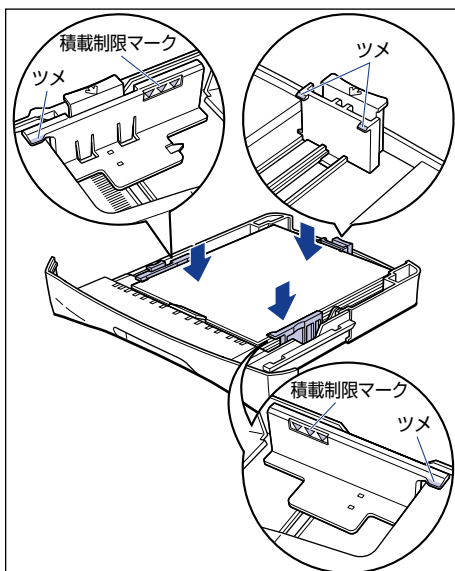
側面の用紙ガイドは左右が連動しています。

メモ　カセットにあるサイズ表示の「LTR」はレターサイズ、「EXEC」はエグゼクティブサイズの用紙に対応しています。

3 OHP　フィルムやラベル用紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。

注意　OHP フィルムやラベル用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- OHP フィルムやラベル用紙は、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、重送されて、紙づまりの原因になります。
- OHP フィルムをさばいたり、揃えたりするときは、できるだけ端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。
- OHP フィルムに手あかや指紋、ホコリや油分などが付着しないようにしてください。印字不良の原因となります。
- カセットにセットできるラベル用紙は 0 面のラベル用紙のみです。0 面以外のラベル用紙は手差し給紙口から印刷してください。

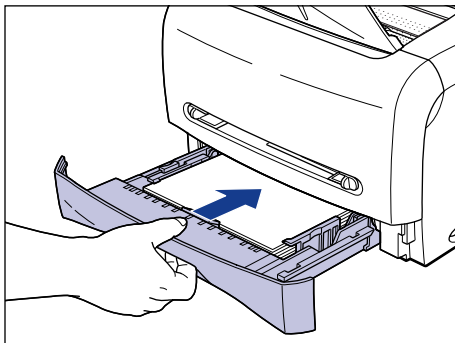
4 用紙の後端を用紙ガイドに合わせてセットします。

注意 用紙をセットするときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- 必ず用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っているかを確認してください。用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っていないと、給紙不良の原因となります。
- 裁断状態が悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙の束をよくさばき、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

メモ レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、用紙の表面（印刷する面）を下に向け、用紙の上端が手前になるようにセットします。

5 用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マークを超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメの下に用紙を入れます。

用紙ガイドのツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分にない場合は用紙を少し減らします。

重要 カセットにセットできる用紙の枚数は、以下の通りです。絶対に積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

- 普通紙　約 250 枚（64 g/m^2 の用紙）
- 厚紙　約 100 枚（128 g/m^2 の用紙）
- OHP フィルム　約 100 枚
- ラベル用紙（0 面）　約 100 枚

6 カセットをプリンタにセットします。

カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

重要　カセットをセットするときは、必ず水平に押し込んでください。斜めに押し込むと、プリンタが破損する原因になります。

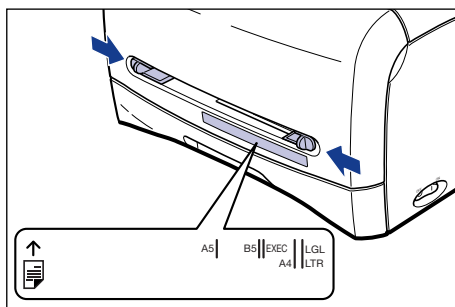
手差し給紙口に用紙をセットする

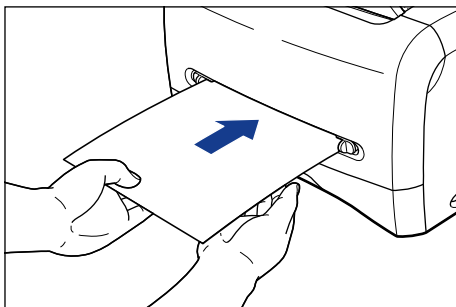
手差し給紙口に用紙をセットするときは、以下の手順で行います。

手差し給紙口に用紙をセットするときは、必ず縦置きにセットしてください。

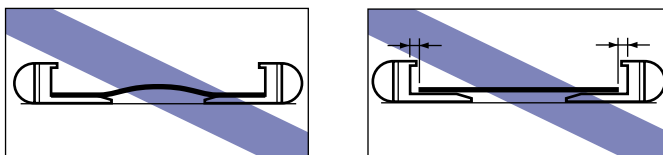
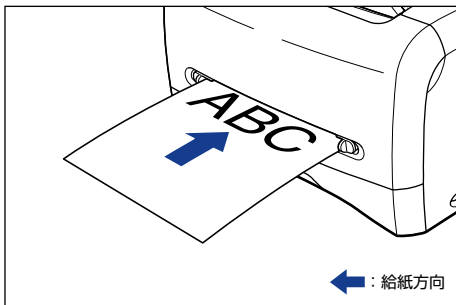
重要
- 手差し給紙口にセットできる用紙は 1 枚です。
- 手差し給紙口からの複数部数や複数ページの設定を行っての印刷はできません。複数部数や複数ページの設定で印刷を行った場合、2 枚目以降は用紙サイズや用紙タイプに関わらずカセットから給紙されます。
- 印刷中は、手差し給紙口の用紙に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。
- 129g/m^2 以上の厚紙に印刷した場合、印字品質が低下することがあります。

1 セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

用紙ガイドは左右が連動しています。

メモ　手差し給紙口にあるサイズ表示は「LGL」はリーガルサイズ、「LTR」はレターサイズ、「EXEC」はエグゼクティブサイズの用紙に対応しています。

2 **図のように用紙に手をそえて、用紙の印刷面を上にして奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。**

用紙をセットすると、給紙口に用紙が少し送られます。

注意　用紙をセットするときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

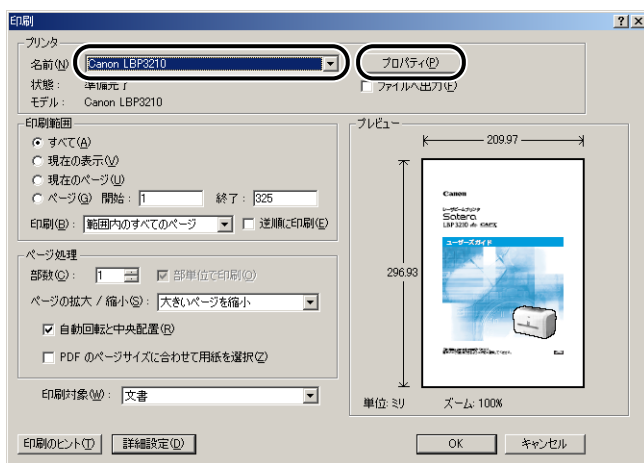
重要
- 用紙を斜めにセットしないでください。
- 用紙の先端が折れ曲がっていたり、カールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。
- 必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

メモ　レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、用紙の上端が奥になるようにセットします。

プリンタドライバの設定をして印刷する

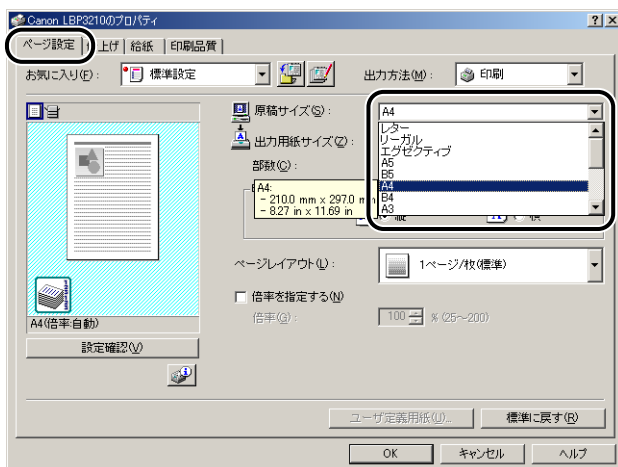
プリンタドライバの設定をします。

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

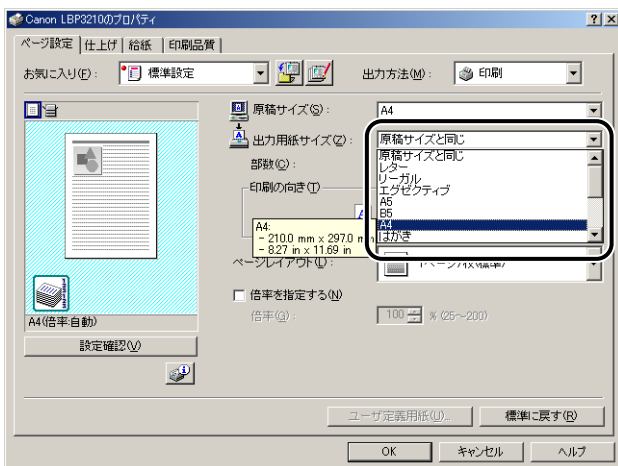
1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。**

プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

2

給紙／排紙のしかた

2 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

3 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

OHP フィルム、ラベル用紙は［A4］または［レター］を選択します。

原稿サイズとカセットや手差し給紙口にセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

重要 ［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

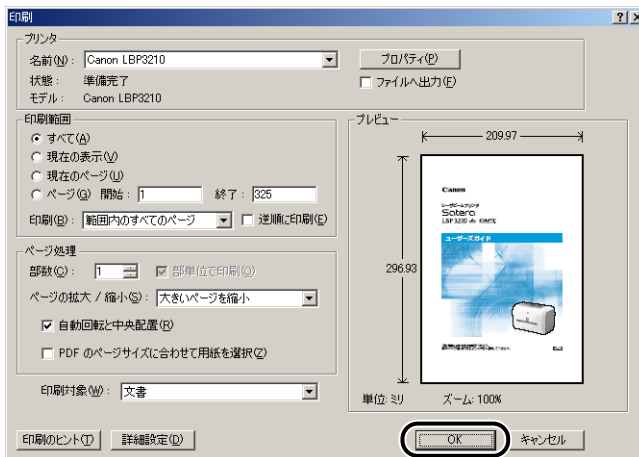
4 ［給紙］ページを表示して、［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

普通紙の場合は［普通紙］、厚紙（81 ～ 105g/m^2）やラベル用紙の場合は［厚紙］、厚紙（106 ～ 163g/m^2）の場合は［厚紙 H］、OHP フィルムの場合は［OHP フィルム］を選択してください。

メモ

- ［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは、［普通紙 L］に設定してお試しください。
- ［普通紙］に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、［厚紙］に設定してお試しください。

5 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

6 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。

はがき、往復はがきに印刷する

はがき、往復はがきに印刷する方法を説明します。

郵便はがき、郵便往復はがきの他に、はがきや往復はがきサイズの普通紙、厚紙にも印刷することができます。

はがき、往復はがきをセットする

はがき、往復はがきをセットできる給紙部はカセットと手差し給紙口の 2 種類です。連続で印刷を行う場合はカセットにはがき、往復はがきをセットします。

カセットにセットされている用紙とは異なる用紙を 1 枚だけ印刷する場合などは手差し給紙口にはがきをセットします。

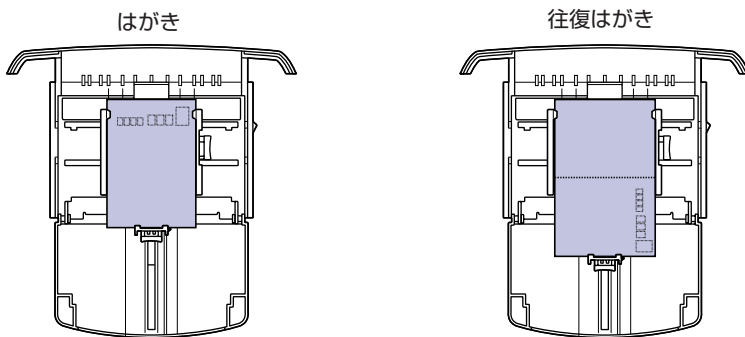
重要

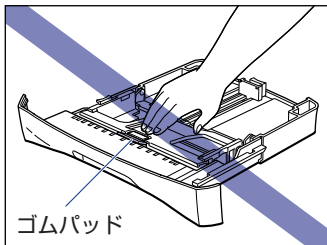
- カセットから印刷するときは、手差し給紙口に用紙がセットされていないことを確認してください。手差し給紙口に用紙がセットされていると、手差し給紙口からの給紙が優先されるため、手差し給紙口の用紙が給紙されます。
- カセットから印刷を行っている途中で、手差し給紙口に用紙をセットしないでください。手差し給紙口にセットした用紙が給紙され、重送や紙づまりの原因になります。
- はがきがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。
- インクジェット用の郵便はがきを使用することはできません。
- はがきに印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

カセットにはがき、往復はがきをセットする

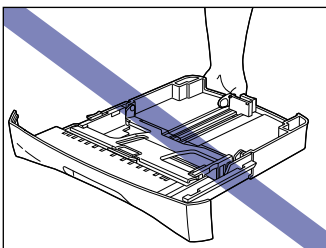
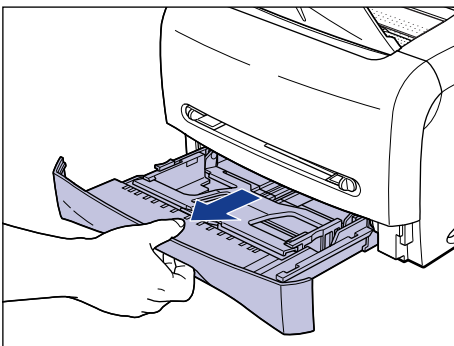
カセットにはがき、往復はがきをセットするときは、以下の手順で行います。

カセットにはがき、往復はがきをセットするときは、必ず縦置きにセットしてください。

重要

- 印刷中にカセットを抜き取らないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。

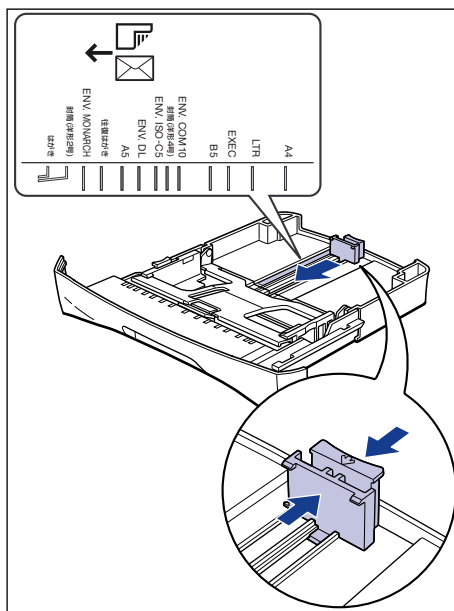
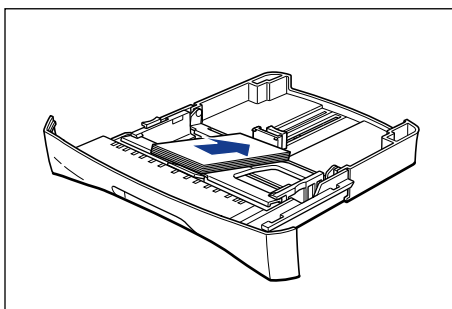
- カセットにはがきが残っているときにはがきを補充する場合は、セットされているはがきを一度取り出し、補充するはがきとともによく揃えてからカセットにセットしてください。
- カセットの黒いゴムパッドには触れないでください。給紙不良の原因になります。

- カセット後部だけを持ってカセットを持ち上げないでください。カセット後部だけを持って持ち運ぶとカセット後部が外れてしまうことがあります。

- 連続で印刷を行う枚数は、各用紙タイプの積載制限の枚数を目安に、連続で印刷を行ってください。

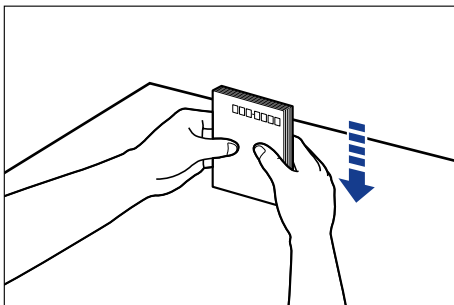
---

1 カセットを引き出します。

注意 用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをプリンタから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

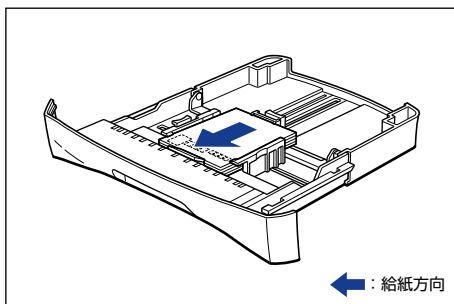
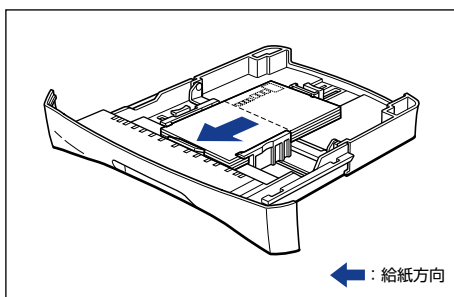
重要 カセットを引き出すときは、必ず水平に引き出してください。斜めに引き出すと、プリンタが破損する原因になります。

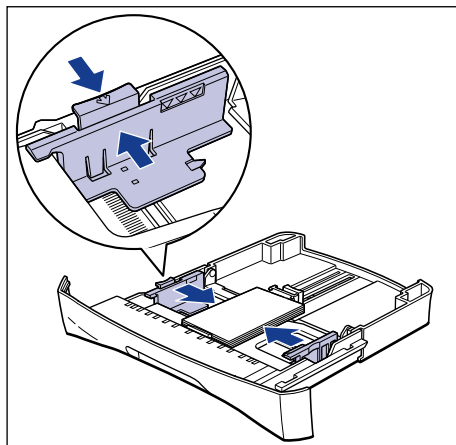
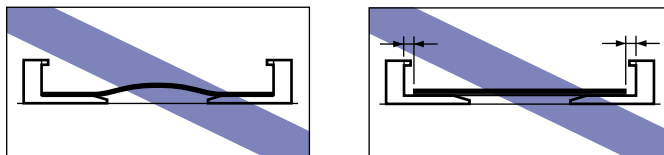
2 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットするはがきのサイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

3 はがきの後端を用紙ガイドに合わせてセットします。

注意 はがきをセットするときは、はがきの端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

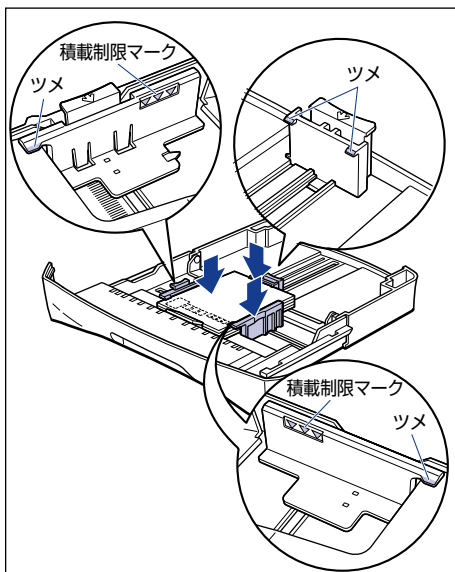
重要
- 必ず用紙ガイドがセットするはがきサイズの位置に合っているかを確認してください。用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っていないと、給紙不良の原因となります。

- 裁断状態が悪いはがきを使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

- はがきに反りがあるときは、必ず反りを修正してセットしてください。

メモ

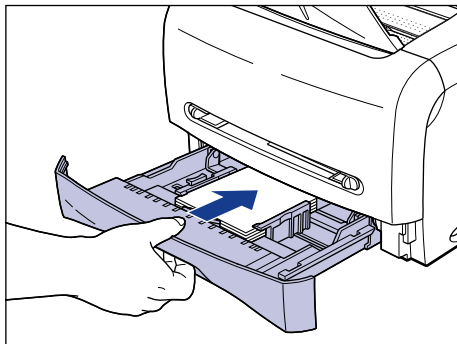
- はがきに印刷する場合は、用紙の表面（印刷する面）を下に向け、はがきの上端が手前になるようにセットします。

- 往復はがきに印刷する場合は、用紙の表面（印刷する面）を下に向け、はがきの上端が左側になるようにセットします。

4 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットしたはがきに合わせて用紙ガイドを移動します。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。

重要　必ず用紙ガイドをはがきの幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

5 はがきを図のように下へ押さえ、積載制限マークを超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメの下にはがきを入れます。

用紙ガイドのツメとはがきの間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分にない場合ははがきを少し減らします。

重要　カセットにセットできるはがきの枚数は、以下の通りです。絶対に積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

- ・郵便はがき　約 50 枚
- ・郵便往復はがき　約 50 枚

6 カセットをプリンタにセットします。

カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

重要　カセットをセットするときは、必ず水平に押し込んでください。斜めに押し込むと、プリンタが破損する原因になります。

手差し給紙口にはがき、往復はがきをセットする

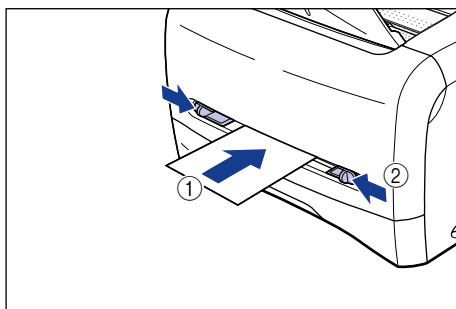
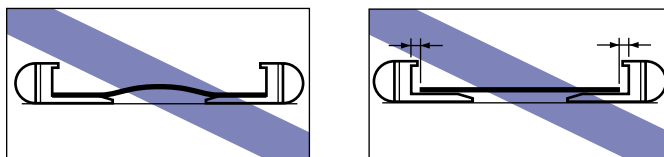
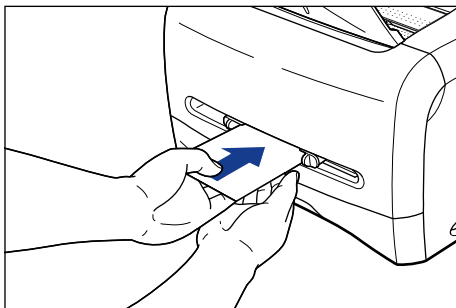
手差し給紙口にはがき、往復はがきをセットするときは、以下の手順で行います。

手差し給紙口に用紙をセットするときは、必ず縦置きにセットしてください。

重要

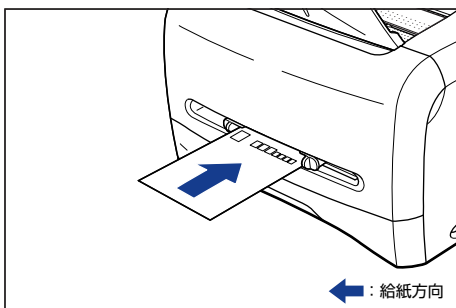
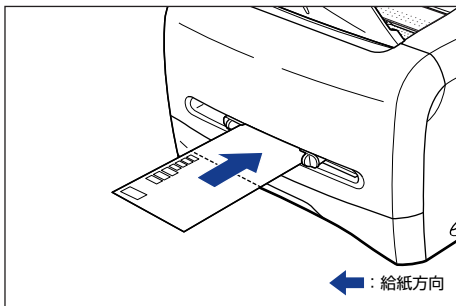
- 手差し給紙口にセットできるはがき、往復はがきは 1 枚です。
- 手差し給紙口からの複数部数や複数ページの設定を行っての印刷はできません。複数部数や複数ページの設定で印刷を行った場合、2 枚目以降は用紙サイズや用紙タイプに関わらずカセットから給紙されます。
- 印刷中は、手差し給紙口のはがき、往復はがきに触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

1 **印刷面を上にして、はがきの先端 2cm 程を手差し給紙口に差し込み ①、セットするはがきの幅に合わせて用紙ガイドを移動します ②。**

用紙ガイドは左右が連動しています。

重要　必ず用紙ガイドをはがきの幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

2 図のようにはがきに手をそえて、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

はがきをセットすると、給紙口にはがきが少し送られます。

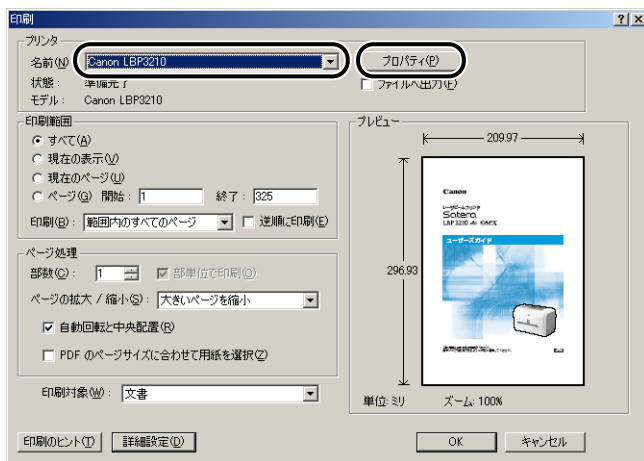
注意 はがきをセットするときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

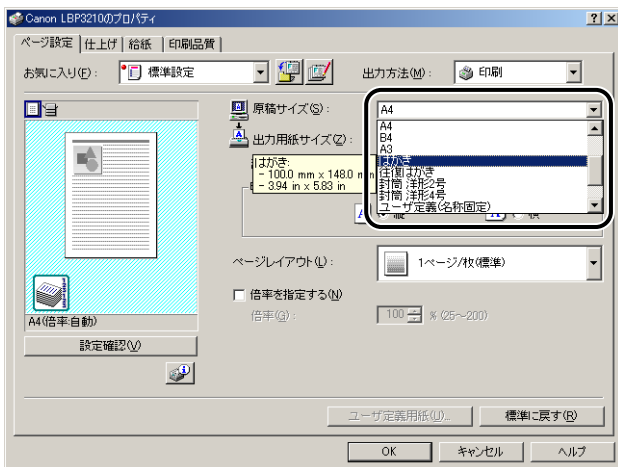
重要
- はがきを斜めにセットしないでください。
- はがきがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。

メモ
- はがきに印刷する場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、用紙の上端が奥側になるようにセットします。

- 往復はがきに印刷する場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、はがきの上端が左側になるようにセットします。

プリンタドライバの設定をして印刷する

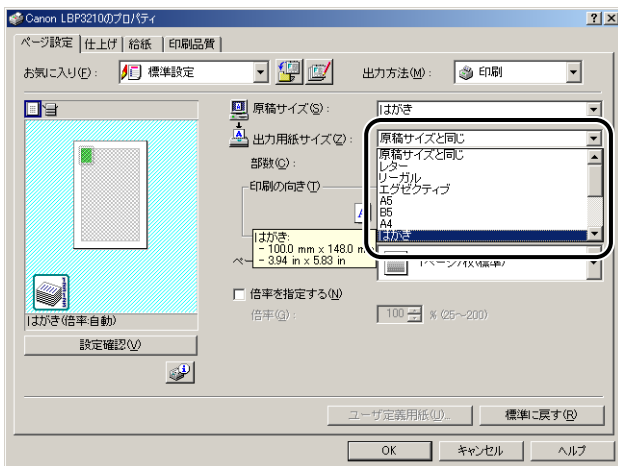
プリンタドライバの設定をします。

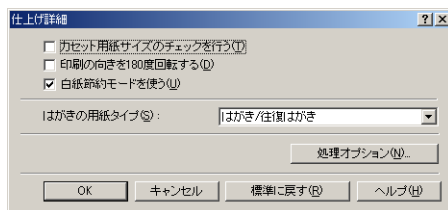
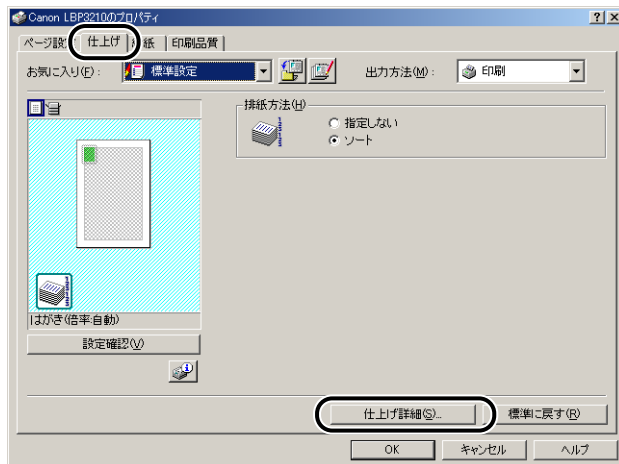
メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

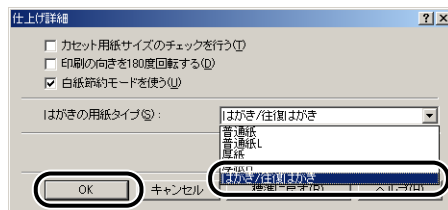
1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。**

プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

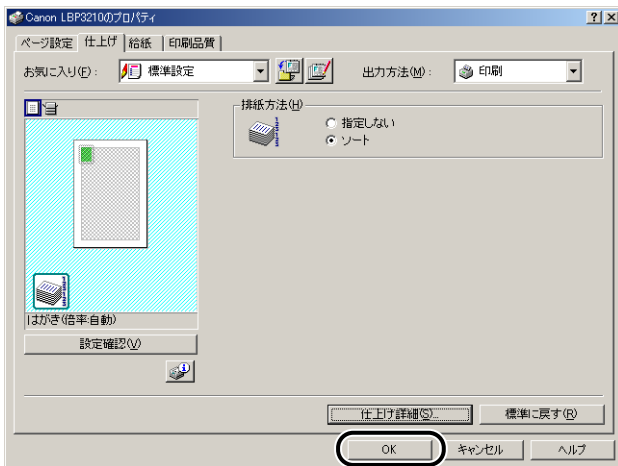
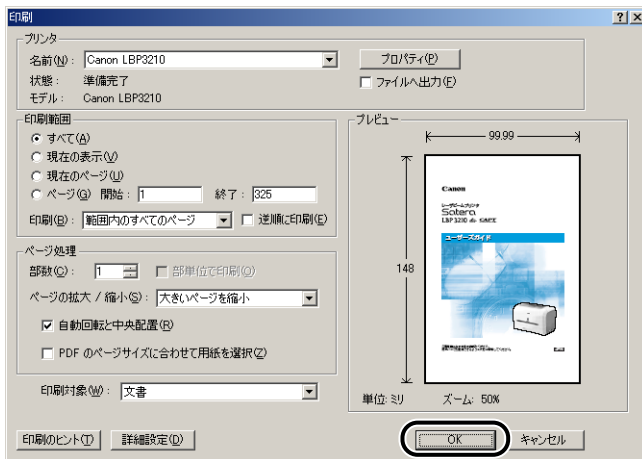
2 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

メモ　原稿サイズを［はがき］、［往復はがき］に設定すると、メッセージが表示され自動的に用紙タイプが設定されます。

3 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

原稿サイズとカセットや手差し給紙口にセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

重要　［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

4 ［仕上げ］ページを表示して、［仕上げ詳細］をクリックします。

5 ［はがきの用紙タイプ］で［はがき／往復はがき］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ

- はがき、往復はがきサイズの普通紙に印刷する場合は［普通紙］、はがき、往復はがきサイズの厚紙（81 ～ 105g/m²）に印刷する場合は［厚紙］、厚紙（106 ～ 163g/m²）の場合は［厚紙 H］を選択してください。
- ［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは、［普通紙 L］に設定してお試しください。
- ［普通紙］に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、［厚紙］に設定してお試しください。

6 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

7 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。

封筒に印刷する

封筒に印刷する方法を説明します。

封筒をセットする

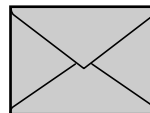
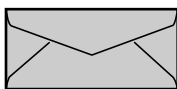
封筒をセットできる給紙部はカセットと手差し給紙口の 2 種類です。連続で印刷を行う場合はカセットに用紙をセットします。

カセットにセットされている用紙とは異なる用紙を 1 枚だけ印刷する場合などは手差し給紙口に封筒をセットします。

重要

- カセットから印刷するときは、手差し給紙口に用紙がセットされていないことを確認してください。手差し給紙口に用紙がセットされていると、手差し給紙口からの給紙が優先されるため、手差し給紙口の用紙が給紙されます。
- カセットから印刷を行っている途中で、手差し給紙口に用紙をセットしないでください。手差し給紙口にセットした用紙が給紙され、重送や紙づまりの原因になります。
- 封筒に印刷する場合、印刷速度が遅くなります。
- 本プリンタで使用できる封筒は、次のような構造のものに限ります。

洋形4号　（105mm×235mm、4.13inch×9.25inch）（キヤノンLBP用封筒Y401／推奨品）

洋形2号　（114mm×162mm、4.49inch×6.38inch）（キヤノンLBP用封筒Y201／推奨品）

短辺にふたが付いているものは使用できません。

- 次のような封筒は使用しないでください。仕様に合わない封筒をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ファスナーや留め具の付いている封筒
  - ・窓付きの封筒
  - ・糊付きの封筒
  - ・しわになっていたり、折れ曲がっている封筒
  - ・折り目や貼り合わせ部分の凹凸が大きい封筒
  - ・長方形でない封筒や不規則な形の封筒
- 封筒をセットする前に、上から手で押さえて封筒内部の空気を抜き取り、折り目をよく押さえてください。
- 封筒の裏面（貼り合わせのある面）には印刷しないでください。

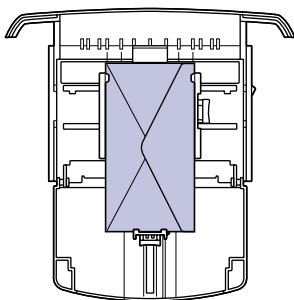
メモ

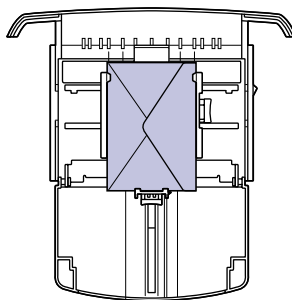
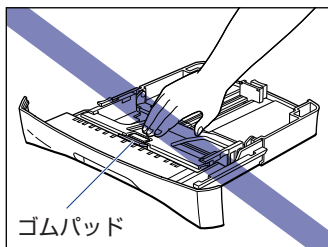
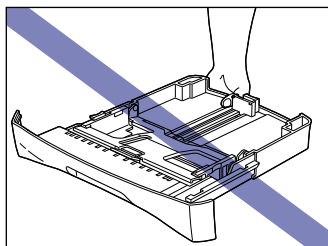
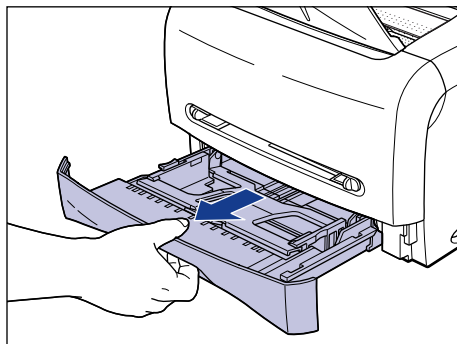
封筒に印刷した場合、しわがよる場合があります。

カセットに封筒をセットする

カセットに封筒をセットするときは、以下の手順で行います。

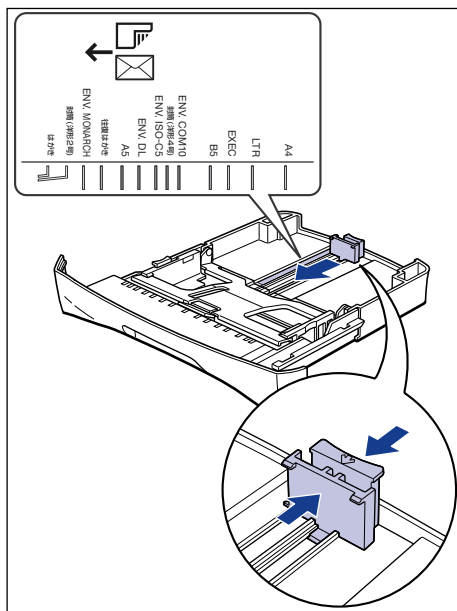
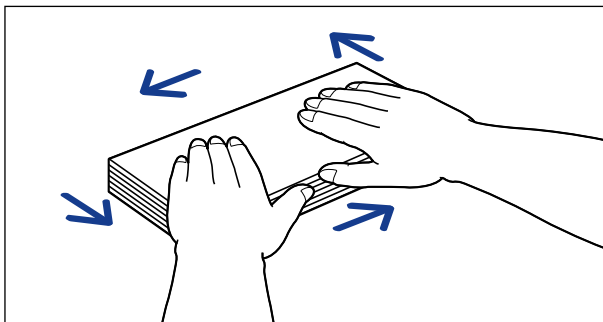
カセットに封筒をセットするときは、必ず縦置きにセットしてください。

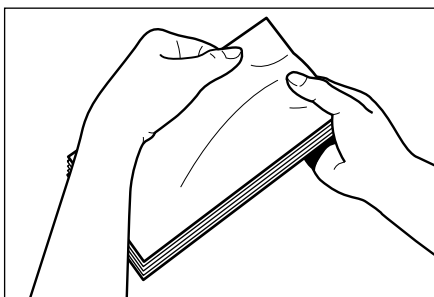
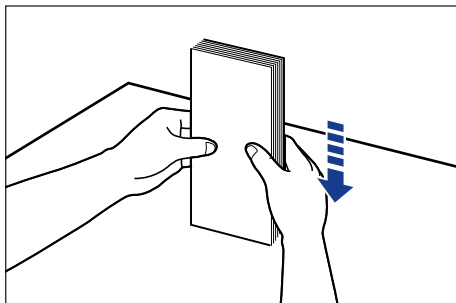
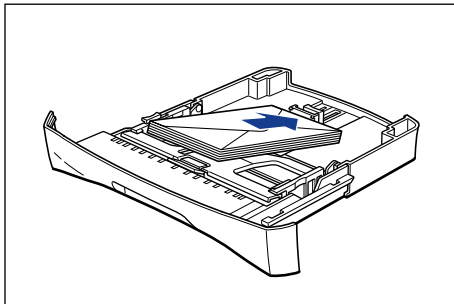
封筒洋形4号

封筒洋形2号

重要

- 印刷中にカセットを抜き取らないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- カセットに封筒が残っているときに封筒を補充する場合は、セットされている封筒を一度取り出し、補充する封筒とともによく揃えてからカセットにセットしてください。
- カセットの黒いゴムパッドには触れないでください。給紙不良の原因になります。

- カセット後部だけを持ってカセットを持ち上げないでください。カセット後部だけを持って持ち運ぶとカセット後部が外れてしまうことがあります。

- 連続で印刷を行う枚数は、各用紙タイプの積載制限の枚数を目安に、連続で印刷を行ってください。

1 カセットを引き出します。

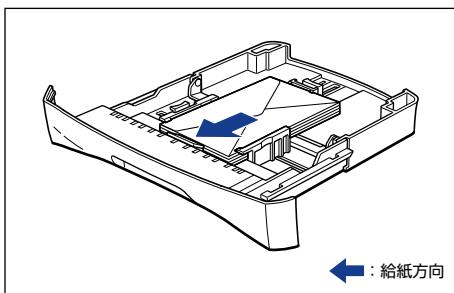
⚠注意　用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをプリンタから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

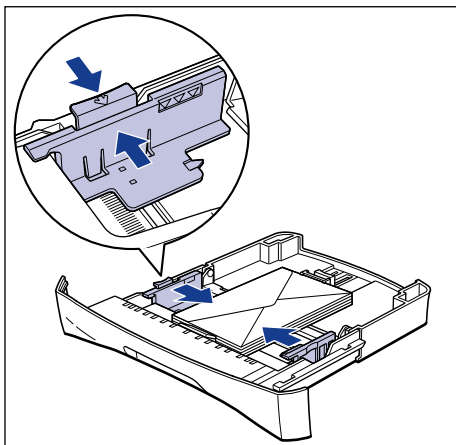
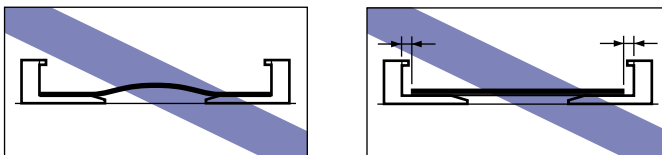
重要　カセットを引き出すときは、必ず水平に引き出してください。斜めに引き出すと、プリンタが破損する原因になります。

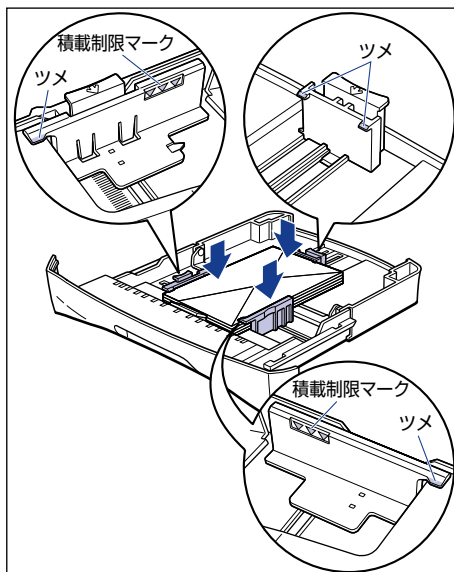
2 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする封筒サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

3 封筒の束を平らな場所へ置き、上面を押して空気を抜いてから、縁の折り目をきちんと付けて、平らにします。

注意 封筒の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

4 封筒の四隅の固い部分を図のように取り除き、カールをなおします。

5 封筒を平らな場所で揃えます。

6 封筒の後端を用紙ガイドに合わせてセットします。

⚠注意　封筒をセットするときは、封筒の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

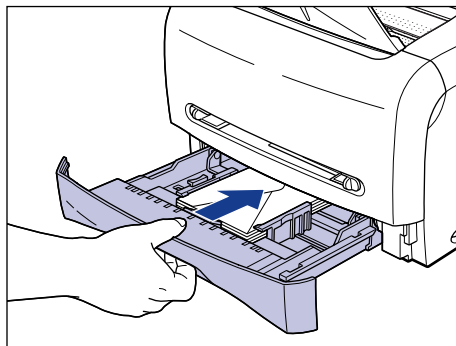
重要
- 必ず用紙ガイドがセットする封筒サイズの位置に合っているかを確認してください。用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っていないと、給紙不良の原因となります。
- 封筒は、裏面（貼り合わせのある面）には印刷できません。

メモ　封筒に印刷する場合は、用紙の表面（印刷する面）を下に向け、ふたが左側になるようにセットします。

7 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットした封筒に合わせて用紙ガイドを移動します。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。

重要　必ず用紙ガイドを封筒の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

8 封筒を図のように下へ押さえ、積載制限マークを超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメの下に封筒を入れます。

用紙ガイドのツメと封筒の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分にない場合は封筒を少し減らします。

重要　カセットにセットできる封筒の枚数は、約 20 枚です。絶対に積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

9 カセットをプリンタにセットします。

カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

重要　カセットをセットするときは、必ず水平に押し込んでください。斜めに押し込むと、プリンタが破損する原因になります。

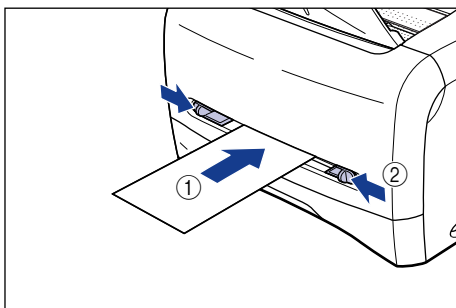
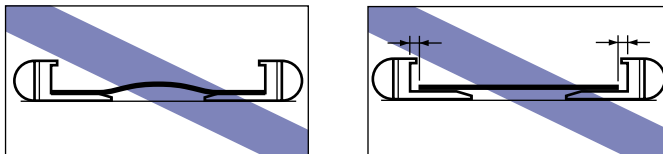
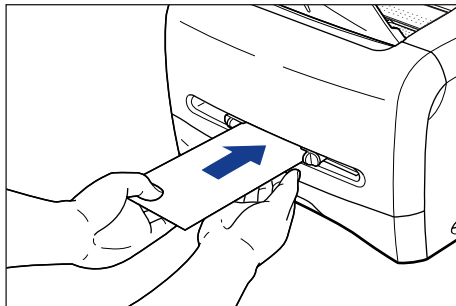
手差し給紙口に封筒をセットする

手差し給紙口に封筒をセットするときは、以下の手順で行います。

手差し給紙口に用紙をセットするときは、必ず縦置きにセットしてください。

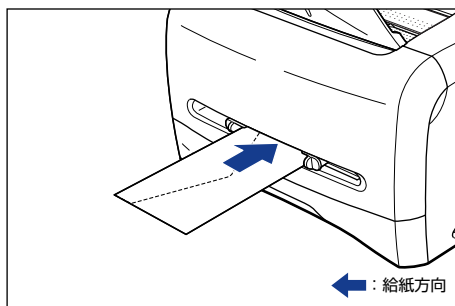
重要
- 手差し給紙口にセットできる封筒は 1 枚です。
- 手差し給紙口からの複数部数や複数ページの設定を行っての印刷はできません。複数部数や複数ページの設定で印刷を行った場合、2 枚目以降は用紙サイズや用紙タイプに関わらずカセットから給紙されます。
- 印刷中は、手差し給紙口の封筒に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

1 **印刷面を上にして、封筒の先端2cm程を手差し給紙口に差し込み①、セットする封筒の幅に合わせて用紙ガイドを移動します ②。**

用紙ガイドは左右が連動しています。

重要
必ず用紙ガイドを封筒の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

2 図のように封筒に手をそえて、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

封筒をセットすると、給紙口に封筒が少し送られます。

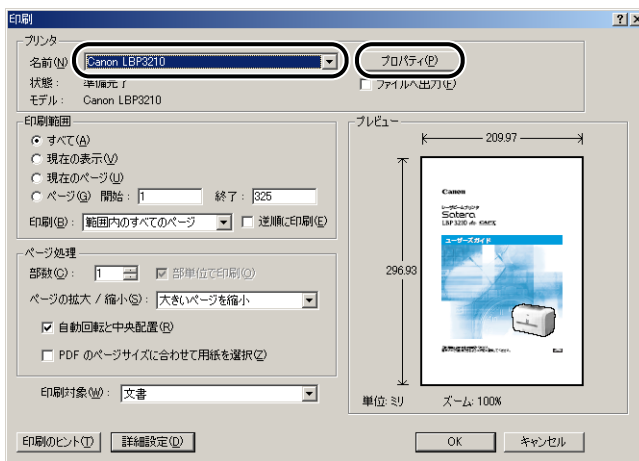
注意 封筒をセットするときは、封筒の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

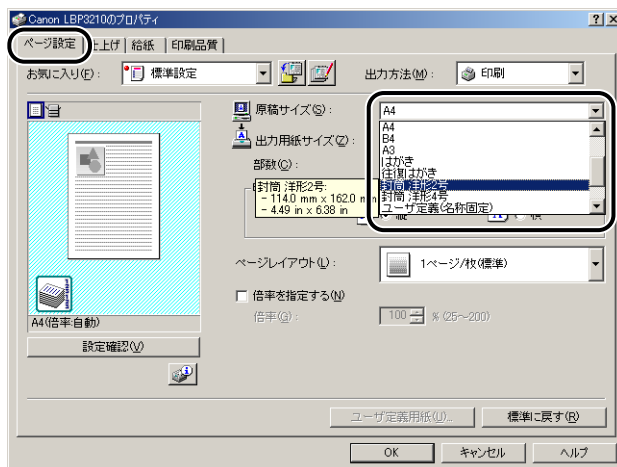
重要
- 封筒を斜めにセットしないでください。
- 封筒の先端が折れ曲がっていたり、カールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。
- 封筒は、裏面（貼り合わせのある面）には印刷できません。

メモ 封筒に印刷する場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、ふたが左側になるようにセットします。

プリンタドライバの設定をして印刷する

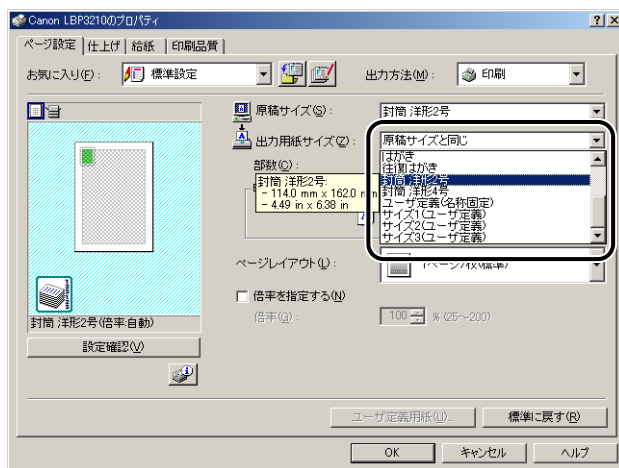
プリンタドライバの設定をします。

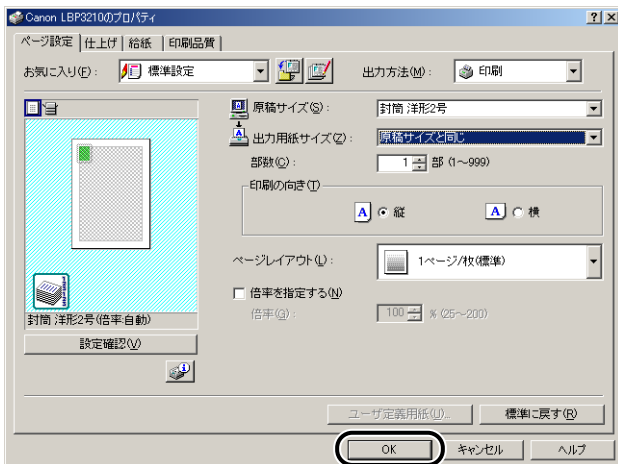
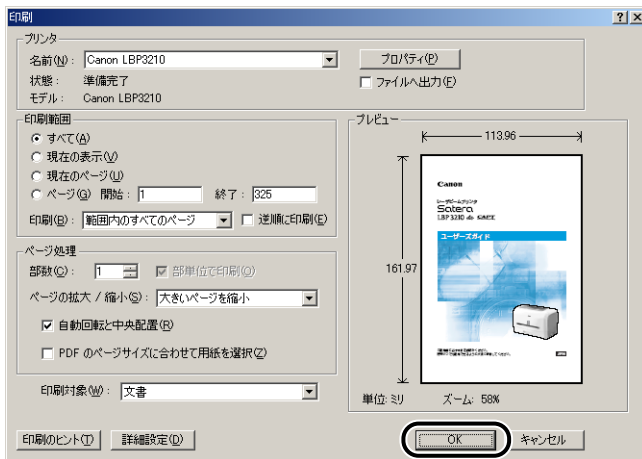
メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

2 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

メモ　原稿サイズを［封筒 洋形 2 号］、［封筒 洋形 4 号］に設定すると、メッセージが表示され自動的に用紙タイプが設定されます。

3 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

原稿サイズとカセットや手差し給紙口にセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

重要　［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

4 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

5 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。

ユーザ定義用紙（不定形用紙）に印刷する

ユーザ定義用紙に印刷する方法を説明します。

ユーザ定義用紙をセットする

ユーザ定義用紙をセットするときは、以下の手順でセットします。手差し給紙口には、幅76.2 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 355.6mm のユーザ定義用紙がセットできます。

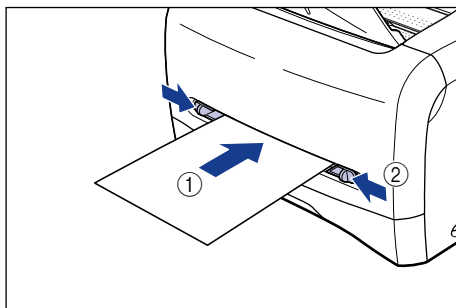
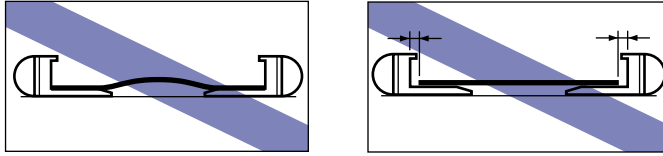
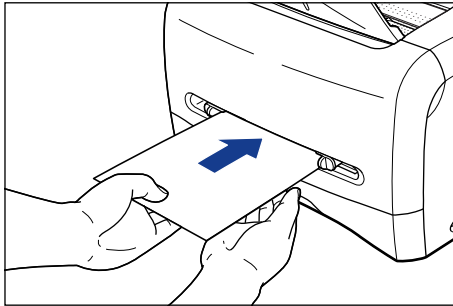
ユーザ定義用紙をセットできる給紙部は手差し給紙口のみです。カセットにはセットできません。

手差し給紙口に用紙をセットするときは、必ず縦置きにセットしてください。

重要

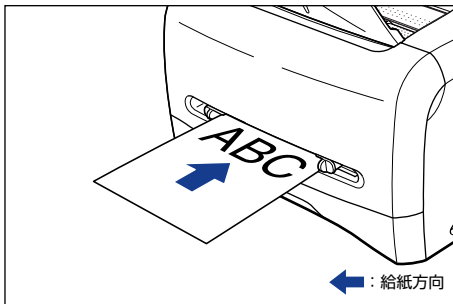
- バリのある用紙、しわのある用紙やひどくカールした用紙はセットしないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- 使用できる用紙の詳細は、「使用できる用紙」（➞P.2-2）を参照してください。
- 手差し給紙口にセットできる用紙は 1 枚です。
- 手差し給紙口からの複数部数や複数ページの設定を行っての印刷はできません。複数部数や複数ページの設定で印刷を行った場合、2 枚目以降は用紙サイズや用紙タイプに関わらずカセットから給紙されます。
- 印刷中は、手差し給紙口の用紙に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。
- 129g/m^2 以上の厚紙に印刷した場合、印字品質が低下することがあります。

1 **印刷面を上にして、用紙の先端2cm程を手差し給紙口に差し込み①、セットする用紙の幅に合わせて用紙ガイドを移動します ②。**

用紙ガイドは左右が連動しています。

重要　必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

2 **図のように用紙に手をそえて、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。**

用紙をセットすると、給紙口に用紙が少し送られます。

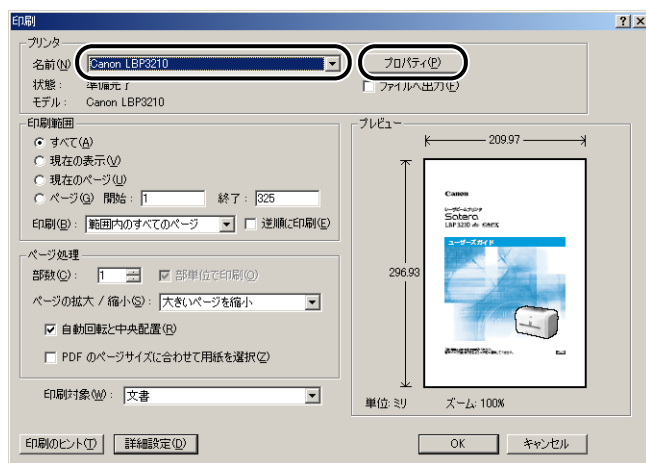
注意　用紙をセットするときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- 用紙を斜めにセットしないでください。
- 用紙の先端が折れ曲がっていたり、カールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。

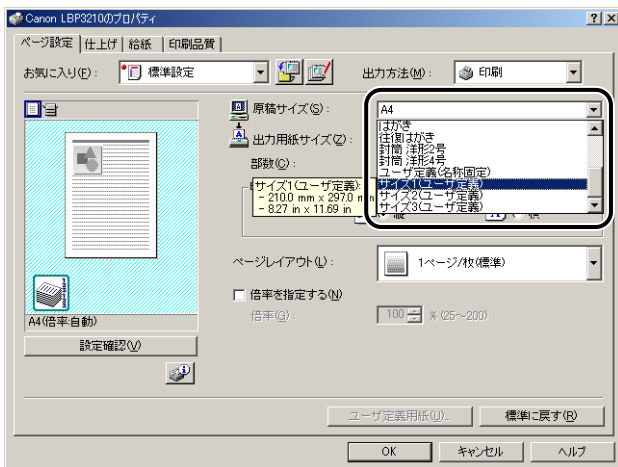
メモ　レターヘッドやロゴ付きの用紙などを印刷する場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、用紙の上端が奥になるようにセットします。

プリンタドライバの設定をして印刷する

プリンタドライバの設定をします。

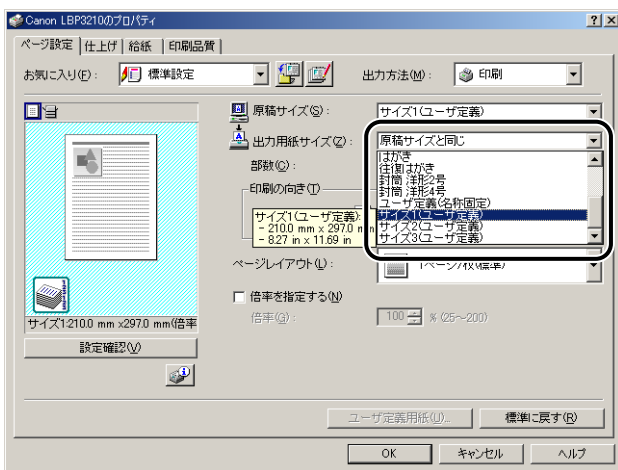
メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。**

プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

2 給紙／排紙のしかた

2 [ページ設定] ページを表示して、[原稿サイズ] からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

メモ　ユーザ定義用紙を使用する場合は、あらかじめお使いになるユーザ定義用紙の用紙サイズを登録しておく必要があります。ユーザ定義用紙の用紙サイズの登録方法については「ユーザ定義用紙（不定形用紙）を設定する」（→P.4-39）を参照してください。

3 必要に応じて [出力用紙サイズ] でセットしたユーザ定義用紙の名称（用紙サイズ）を選択します。

原稿サイズと手差し給紙口にセットした用紙サイズ（ユーザ定義用紙の名称）が同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、[原稿サイズと同じ] に設定しておきます。

重要　[原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

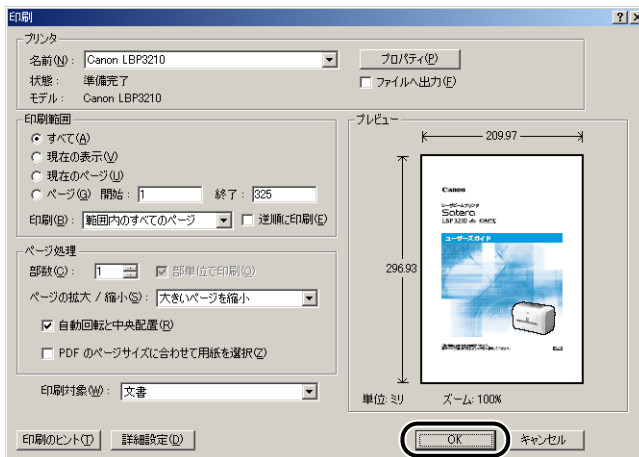
4 ［給紙］ページを表示して、［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

普通紙の場合は［普通紙］、厚紙（81 ～ 105g/m²）の場合は［厚紙］、厚紙（106 ～ 163g/m²）の場合は［厚紙 H］を選択してください。

メモ

- ［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは、［普通紙 L］に設定してお試しください。
- ［普通紙］に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、［厚紙］に設定してお試しください。

5 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

6 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。

Windows の印刷環境を設定するには

3
CHAPTER

この章では、Windows にプリンタドライバをインストールする手順、プリンタの共有機能を使用してネットワーク上のコンピュータから印刷するための設定について説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

印刷するときに必要な作業

メモ　Macintoshをお使いの場合は、オンラインマニュアル「第2章プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

プリンタを設置したあとに行う作業

プリンタを設置したあとに行う作業は、次のとおりです。

■ プリンタドライバをインストールする（→P.3-4）
プリンタドライバは、アプリケーションソフトから印刷するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバで印刷に関する設定を行います。

■ コンピュータでプリンタの共有機能を使用する（→P.3-38）
コンピュータでプリンタの共有機能を使用して、本プリンタをネットワーク上のコンピュータから使用する場合に、コンピュータの設定やクライアントへプリンタドライバをインストールします。

印刷のたびに行う作業

印刷のたびに行う作業は、次のとおりです。

■ 印刷設定をする
プリンタの用紙サイズ、原稿サイズ、印刷部数などをプリンタドライバで設定します。これらの設定が適切でないと、期待した結果が得られない場合があります。

■ 印刷を実行する
アプリケーションソフトから印刷するためのメニューを選択します。この操作は、アプリケーションソフトごとに異なりますので、各アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

必要なシステム環境

プリンタドライバを利用するには、次のシステム環境が必要です。

■ OS ソフトウェア環境

- Microsoft Windows 98 日本語版
- Microsoft Windows Me 日本語版
- Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版
- Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版 *
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版 *
- Microsoft Windows Vista 日本語版 *

* 32 ビットプロセッサバージョンのみ

重要　日本語以外の OS には対応していません。

・最低動作環境

	Windows 98/Me	Windows 2000/ XP/Server 2003	Windows Vista
CPU	Pentium II 300MHz 以上	Pentium II 300MHz 以上	Windows Vistaの最低システム要件に準拠
メモリ（RAM）*1	64MB 以上	128MB 以上	
ハードディスク空き容量*2	120MB 以上	120MB 以上	120MB 以上

（IBM-PC 互換機）

*1 お使いのコンピュータのシステム構成や使用するアプリケーションにより実際に使用できるメモリ容量が異なるため、上記の環境はどんな場合でも印字を保証するものではありません。

*2 おまかせインストールでプリンタドライバと取扱説明書をインストールする場合に必要なハードディスクの空き容量です。必要なハードディスクの空き容量は、お使いのシステム環境やインストールの方法によって異なります。

・推奨動作環境

	Windows 98/Me	Windows 2000/ XP/Server 2003	Windows Vista
CPU	Pentium III 600MHz 以上	Pentium III 600MHz 以上	Windows Vistaの推奨システム要件に準拠
メモリ（RAM）	128MB 以上	256MB 以上	

■ インタフェース環境

- USB：USB 2.0 High-Speed（Windows 2000/XP/Server 2003/Vista のみ）、USB Full-Speed（USB1.1 相当）

メモ
- サウンドをお使いになる場合は、PC 音源（および PCM 音源のドライバ）が組み込まれている必要があります。PC スピーカードライバ（speaker.drv）はお使いにならないでください。
- お使いの環境が双方向通信に対応している必要があります。

CAPT ソフトウェアをインストールする

本プリンタをお使いのコンピュータに直接接続するときの、ソフトウェアのインストール方法を説明します。

インストール方法には以下の種類があります。

インストール方法	インストールの内容	参照ページ
おまかせインストール	プリンタに付属の CD-ROM（CD-ROM Setup）からプリンタドライバのインストールと同時に、取扱説明書もインストールします。	P.3-5
選んでインストール	プリンタに付属の CD-ROM（CD-ROM Setup）からプリンタドライバのみインストールするか、取扱説明書のみインストールするかを選択できます。*	P.3-5
プラグ・アンド・プレイでインストールする	プリンタを自動的に検索して、プリンタに付属の CD-ROM からインストールに必要なファイルを選択し、プリンタドライバをインストールします。	Windows 98/Me：P.3-12
		Windows 2000：P.3-19
		Windows XP/Server 2003：P.3-23
		Windows Vista：P.3-26

* 取扱説明書のみをインストールする場合は、「取扱説明書をインストールする」（➞P.4-54）を参照してください。

重要

- CAPT ソフトウェアは本プリンタを使用して印刷するために必要です。必ずインストールしてください。
- ハードディスクの空き容量が不足している場合は、インストールの途中でメッセージが表示されます。インストールを中止し、ディスクの空き容量を増やしたあとインストールをやりなおしてください。

メモ

- コンピュータでプリンタの共有機能を使用して、ネットワーク上のコンピュータから印刷するときの、ソフトウェアのインストール方法は、「プリンタの共有機能を使用してネットワーク上のコンピュータから印刷する」（➞P.3-38）を参照してください。
- Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。
- 本プリンタには USB ケーブルは付属していません。お使いのコンピュータに合わせてご用意ください。

CD-ROM からインストールする

ここでは、Windows 2000 の画面例で手順を説明します。

重要　Windows 2000/XP/Server 2003/Vista をお使いの場合、起動した際に、必ず Administrators のメンバとしてログオンしてください。

1 プリンタがオフになっていることを確認し、コンピュータとプリンタが USB ケーブルで接続されていないことを確認します。

重要　インストールの手順の途中（手順 11➞P.3-9）で USB ケーブルを接続し、電源をオンにします。

2 コンピュータの電源を入れ、Windows を起動します。

重要　プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードやダイアログボックスが表示された場合は、［キャンセル］をクリックして、本手順でインストールを行ってください。

3 付属の CD-ROM「LBP3210 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

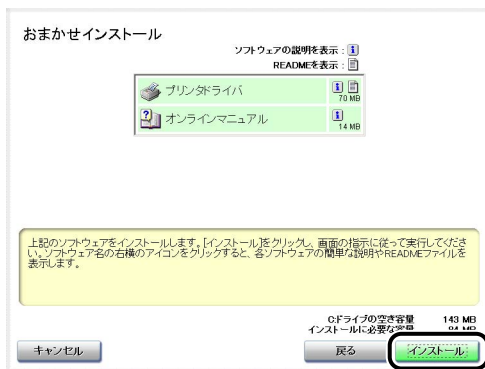
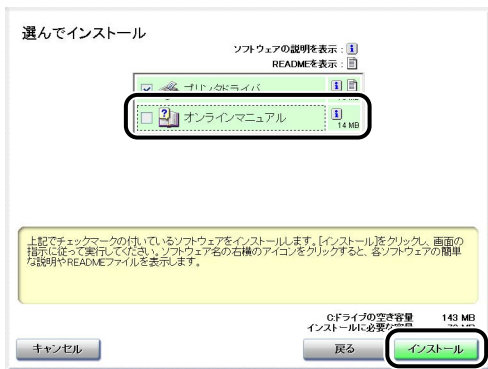
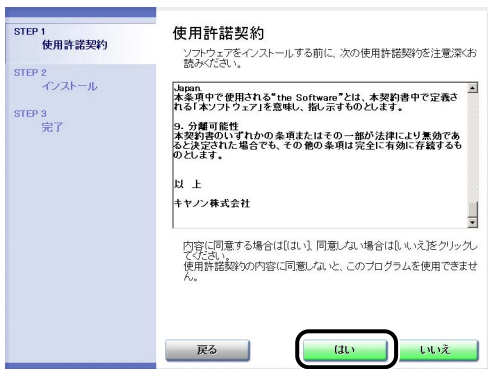
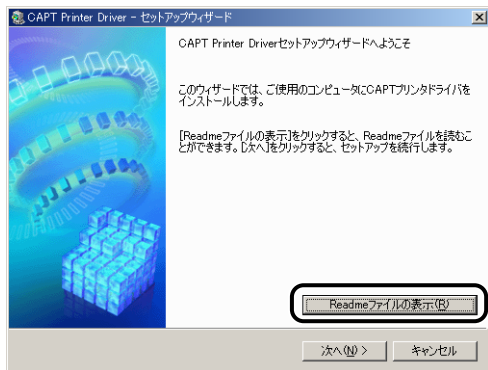
すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

重要
- Windows Vista をお使いの場合、［自動再生］ダイアログボックスが表示された場合は、［AUTORUN.EXE の実行］をクリックします。
- CD-ROM Setup が表示されない場合は、次の方法で表示します。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）
  - ・Windows Vista 以外の OS の場合は、［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、［OK］をクリックします。
  - ・Windows Vistaの場合は、［スタート］メニューの［検索の開始］に「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

メモ　Windows Vista をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、［許可］をクリックします。

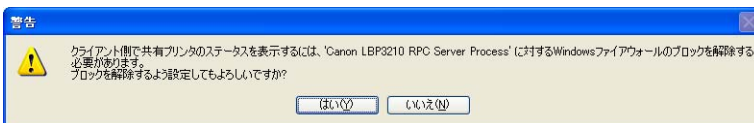
4 ［おまかせインストール］または［選んでインストール］をクリックします。

［おまかせインストール］は、プリンタドライバの他に取扱説明書も同時にインストールできます。取扱説明書をインストールしない場合は、［選んでインストール］を選択します。

5 ［インストール］をクリックします。

手順４で［選んでインストール］を選択した場合は、［オンラインマニュアル］のチェックマークを外してから［インストール］をクリックします。

6 内容を確認して、［はい］をクリックします。

7 ［Readme ファイルの表示］をクリックして、Readme ファイルの内容を確認し、閉じます。

8 ［次へ］をクリックします。

9 ［USB 接続でインストール］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

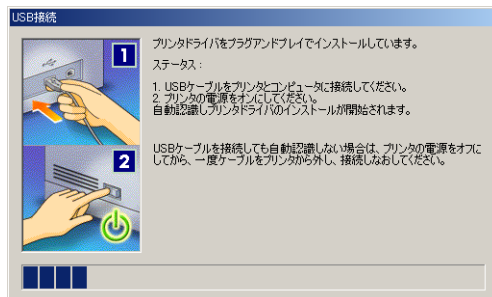
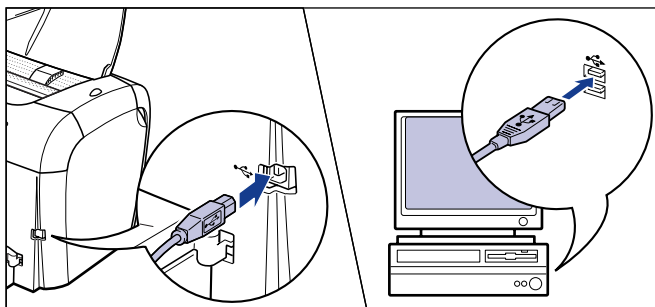
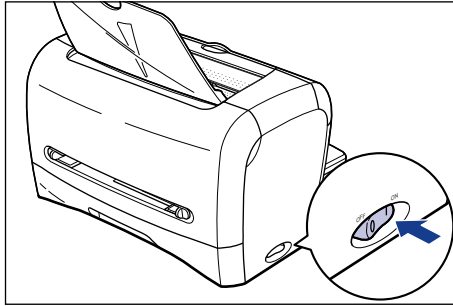
お使いの環境によっては、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、コンピュータの再起動後にインストールを続けてください。

Windows XP Service Pack 2などの Windowsファイアウォール機能を持っている OSを使用している場合、以下の画面が表示されますので、プリンタ共有時のクライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除するかどうかを設定します。
プリンタの共有機能を使用する場合は、［はい］をクリックします。インストールが完了したあと、「プリンタの共有機能を使用してネットワーク上のコンピュータから印刷する」(→P.3-38）を参照してプリンタの共有機能の設定を行ってください。
プリンタの共有機能を使用しない場合は、［いいえ］をクリックします。

メモ　インストール後でも、付属の CD-ROM に収められている「CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ」を使用して、Windows ファイアウォールの設定を変更することができます。詳しくは、「Windows ファイアウォール機能について」（→P.7-9）を参照してください。

10 「インストール開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックします。

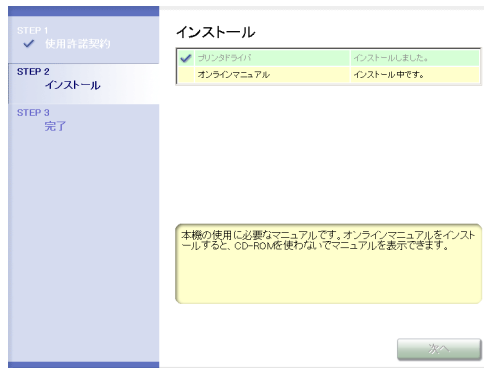
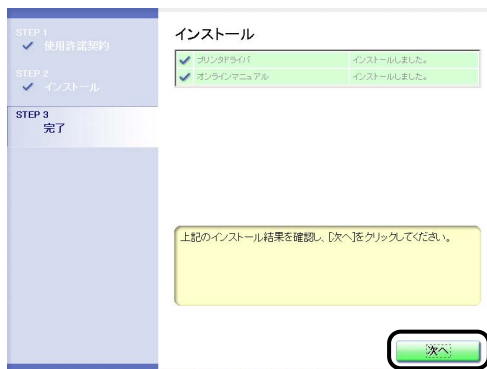
メモ

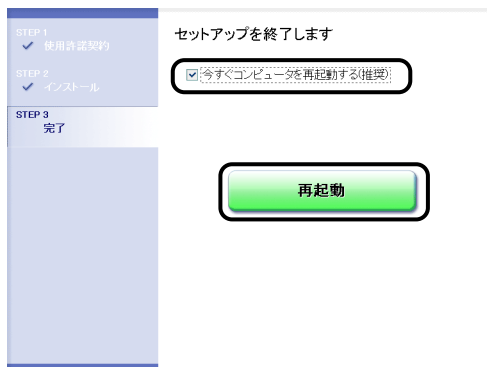
- Windows 2000 をお使いの場合、［デジタル署名が見つかりませんでした］ダイアログボックスが表示された場合は、［はい］をクリックします。
- Windows XP/Server 2003 をお使いの場合、［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。
- Windows Vista をお使いの場合、［Windows セキュリティ］ダイアログボックスが表示された場合は、［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックします。

11 次の画面が表示されたら、プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続したあと、プリンタの電源を入れます。

プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続します。

プリンタの電源スイッチの“ I ”側を押して、プリンタの電源をオンにします。

USB クラスドライバおよびプリンタドライバのインストールが自動的に開始されます。

メモ

- USB ケーブルを接続しても自動認識されない場合は、「インストールのトラブル（Windows のみ）」（→P.6-25）を参照してください。
- Windows XP/Server 2003 をお使いの場合、［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。
- Windows Vista をお使いの場合、［Windows セキュリティ］ダイアログボックスが表示された場合は、［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックします。

12 手順４で［おまかせインストール］を選択した場合は、取扱説明書がインストールされます。

13 インストール結果を確認して、［次へ］をクリックします。

メモ　正常にインストールされなかった場合は、「インストールのトラブル（Windows のみ）」（➞P.6-25）を参照してください。

14 ［今すぐコンピュータを再起動する］にチェックマークを付けたあと、［再起動］をクリックします。

Windows が再起動します。

USB クラスドライバとプリンタドライバのインストールが完了しました。

プラグ・アンド・プレイでインストールする

Windows 98/Me の場合

ここでは、Windows Me の画面例で手順を説明します。

プラグ・アンド・プレイで CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

1 **コンピュータの電源を入れて、Windows 98/Me を起動します。**

［新しいハードウェアの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

● Windows Me の場合

次のダイアログボックスが表示された場合は、手順 2 へ進みます。

次のダイアログボックスが表示された場合は、手順 9 へ進みます。

● Windows 98 の場合

次のダイアログボックスが表示された場合は、［次へ］をクリックし、手順 2 へ進みます。

次のダイアログボックスが表示された場合は、［次へ］をクリックし、手順 9 へ進みます。

2 **［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］を選択し、［次へ］をクリックします。**

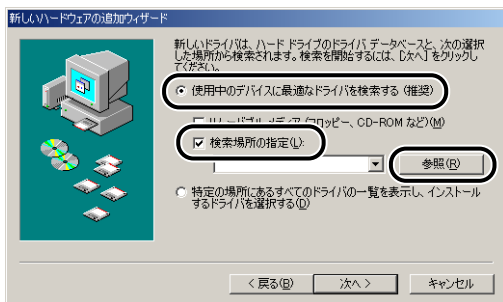
Windows 98 の場合は、［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選択し、［次へ］をクリックします。

検索場所を指定するダイアログボックスが表示されます。

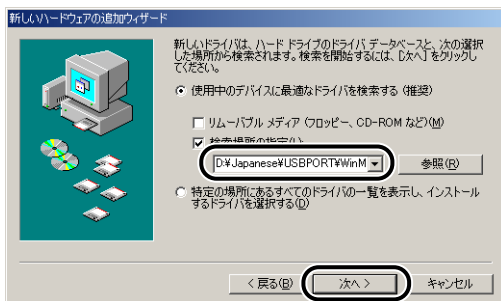
3 付属の CD-ROM「LBP3210 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

4 ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選択し、［リムーバブル メディア（フロッピー、CD-ROM など）］のチェックマークを消し、［検索場所の指定］にチェックマークを付け、［参照］をクリックします。

Windows 98 の場合は、［フロッピーディスクドライブ］と［CD-ROM ドライブ］のチェックマークを消し、［検索場所の指定］にチェックマークを付け、［参照］をクリックします。

5 ［D:¥Japanese¥USBPORT¥WinMe］を選択し、［OK］をクリックします。

Windows 98 の場合は、［D:¥Japanese¥USBPORT¥Win98］を選択し、［OK］をクリックします。
ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。

6 [検索場所の指定] に参照するフォルダが表示されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

7 [次へ] をクリックします。

USB クラスドライバのインストールがはじまります。

8 [完了] をクリックします。

プリンタを自動で検知します。しばらくお待ちください。

［新しいハードウェアの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。
Windows 98 の場合は［次へ］をクリックします。

9 「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択し、［次へ］をクリックします。

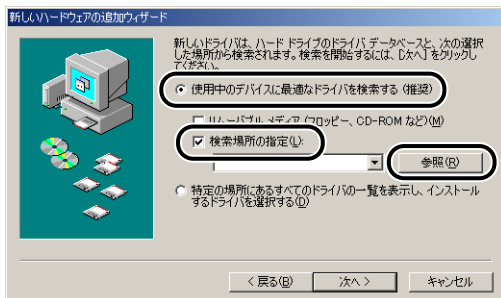
Windows 98 の場合は、［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選択し、［次へ］をクリックします。

検索場所を指定するダイアログボックスが表示されます。

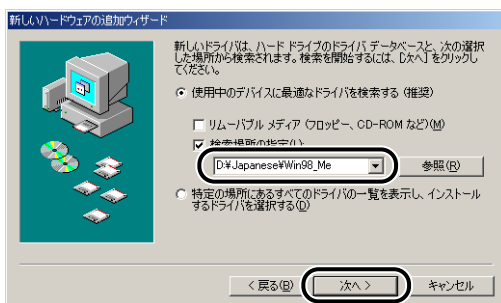
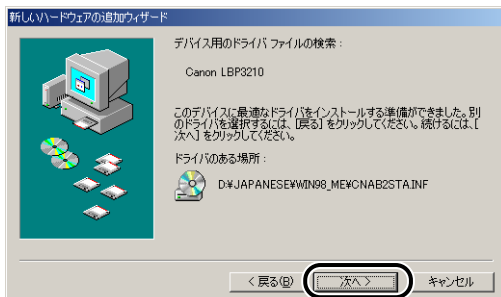
10 付属の CD-ROM「LBP3210 User Software」が CD-ROM ドライブに入っていない場合は、付属の CD-ROM「LBP3210 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

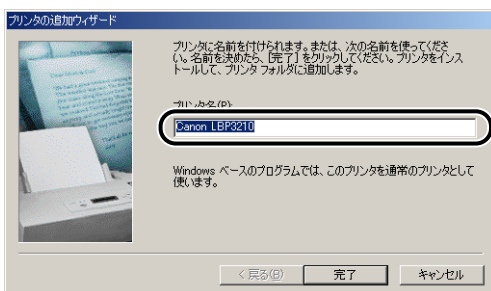
CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

11 ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選択し、［リムーバブル メディア（フロッピー、CD-ROM など）］のチェックマークを消し、［検索場所の指定］にチェックマークを付け、［参照］をクリックします。

Windows 98 の場合は、［フロッピーディスクドライブ］と［CD-ROM ドライブ］のチェックマークを消し、［検索場所の指定］にチェックマークを付け、［参照］をクリックします。

12 ［D:¥Japanese¥Win98_Me］を選択し、［OK］をクリックします。

ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。

13 [検索場所の指定] に参照するフォルダが表示されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

14 [次へ] をクリックします。

15 プリンタ名を変更する場合は、[プリンタ名] に新しい名前を入力します。

すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、「Windows ベースのプログラムで、このプリンタを通常のプリンタとして使いますか？」が表示されますので、[はい] または [いいえ] を選択します。

16 [完了] をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

17 インストール完了のダイアログボックスが表示されたら、[OK] をクリックします。

18 [完了] をクリックします。

USB クラスドライバとプリンタドライバのインストールが完了しました。

Windows 2000 の場合

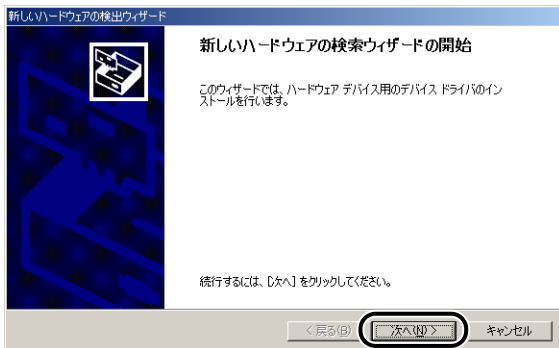
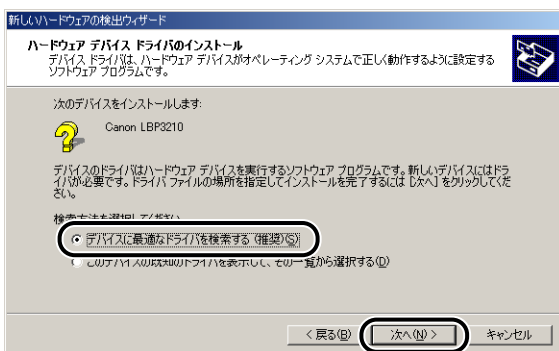
プラグ・アンド・プレイで CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

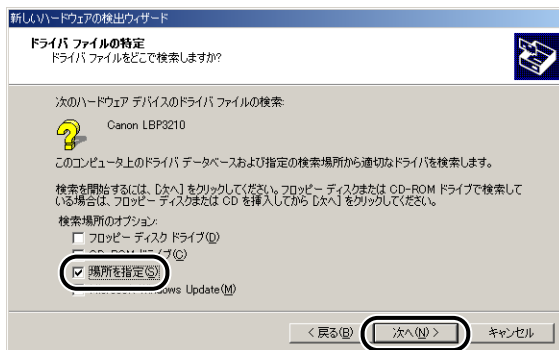
1 コンピュータの電源を入れて、Windows 2000 を起動します。

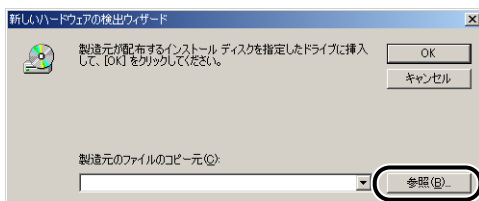
2 Administrators のメンバとしてログオンします。

メモ

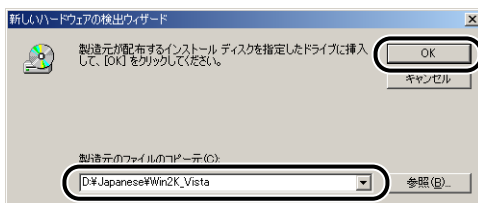
プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

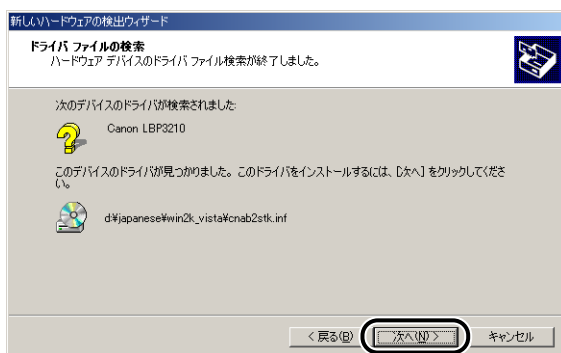
3 ［次へ］をクリックします。

4 ［デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

メモ　デバイスの名称が「不明」と表示されることがあります。

5 [フロッピーディスクドライブ] と [CD-ROM ドライブ] のチェックマークを消し、[場所を指定] にチェックマークを付け、[次へ] をクリックします。

6 付属の CD-ROM「LBP3210 User Software」を CD-ROM ドライブにセットし、[参照] をクリックします。

CD-ROM Setup が表示された場合は、[終了] をクリックします。

7 [D:¥Japanese¥Win2K_Vista] を選択します。[CNAB2STK.INF] を選択し、[開く] をクリックします。

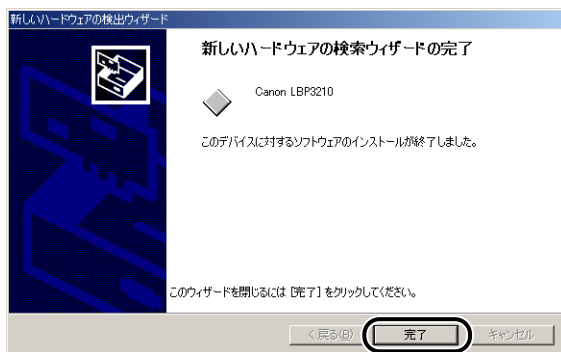
ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。

8 ［製造元のファイルのコピー元］に参照するフォルダが表示されていることを確認し、［OK］をクリックします。

ドライバファイルの検索終了のダイアログボックスが表示されます。

9 ［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

続いて［新しいハードウェアの検索ウィザードの完了］が表示されます。

メモ　［デジタル署名が見つかりませんでした］ダイアログボックスが表示された場合は、［はい］をクリックします。

10 ［完了］をクリックします。

USB クラスドライバ（OS 標準）およびプリンタドライバのインストールが自動的に開始されます。

Windows XP/Server 2003 の場合

ここでは、Windows XP の画面例で手順を説明します。

プラグ・アンド・プレイで CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

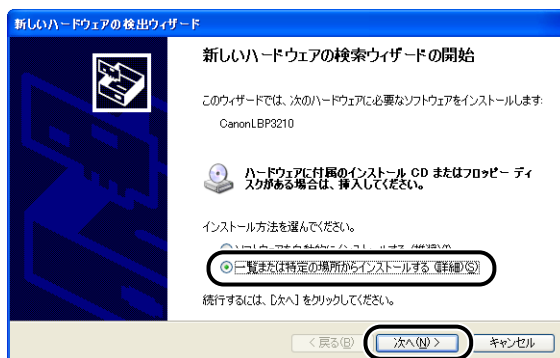
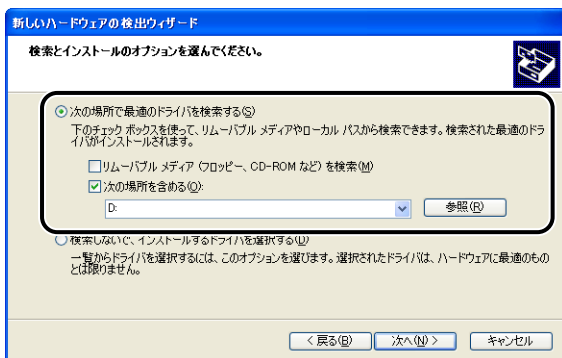
1 **コンピュータの電源を入れて、Windows XP/Server 2003 を起動します。**

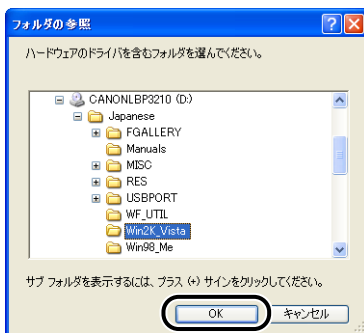
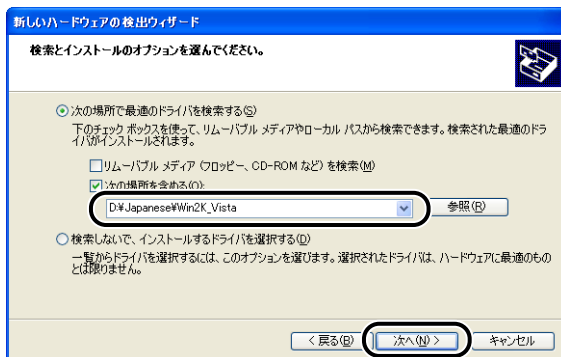
2 **Administrators のメンバとしてログオンします。**

メモ

プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

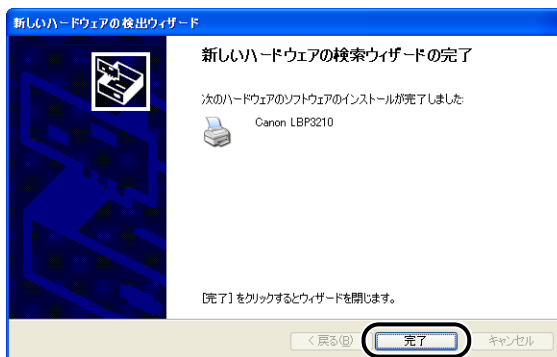
3 **付属の CD-ROM「LBP3210 User Software」を CD-ROM ドライブにセットし、[一覧または特定の場所からインストールする（詳細）] を選択して［次へ］をクリックします。**

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

4 **［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択し、［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索］のチェックマークを消し、［次の場所を含める］にチェックマークを付け、［参照］をクリックします。**

5 **［D:¥Japanese¥Win2K_Vista］を選択し、［OK］をクリックします。**

ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。

6 ［次の場所を含める］に参照するフォルダが表示されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

インストール中の画面が表示されます。

続いて［新しいハードウェアの検索ウィザードの完了］が表示されます。

メモ　［デジタル署名が見つかりませんでした］ダイアログボックスが表示された場合は、［はい］をクリックします。

7 ［完了］をクリックします。

重要　Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS のコンピュータをプリントサーバとして使用する場合は、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。（→P.7-10）

USB クラスドライバ（OS 標準）とプリンタドライバのインストールが完了しました。

Windows Vista の場合

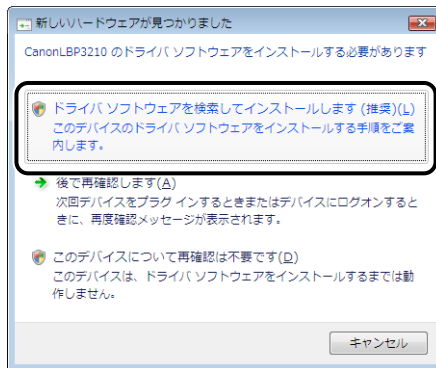
プラグ・アンド・プレイで CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

1 **コンピュータの電源を入れて、Windows Vista を起動します。**

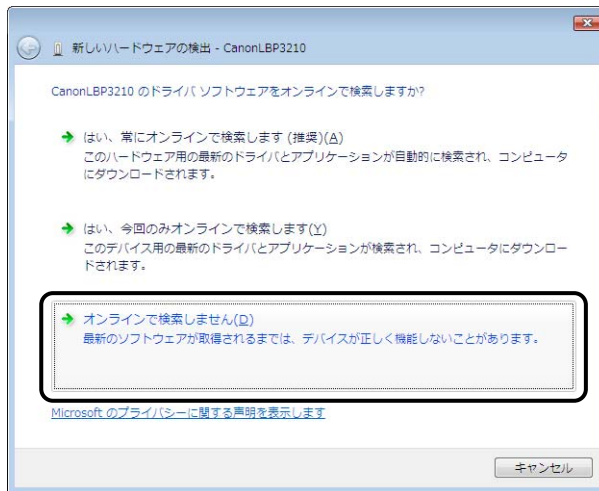
2 **Administrators のメンバとしてログオンします。**

メモ

プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

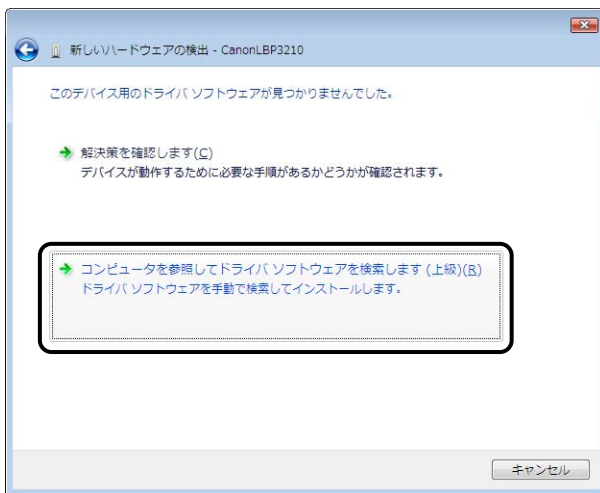
3 **[ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)] をクリックします。**

メモ

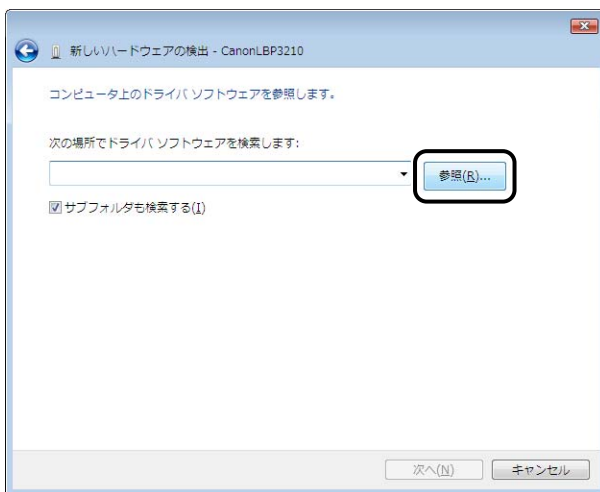
[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、[続行] をクリックします。

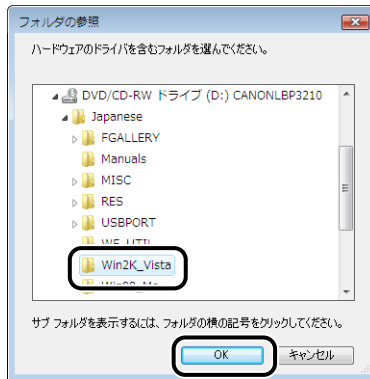
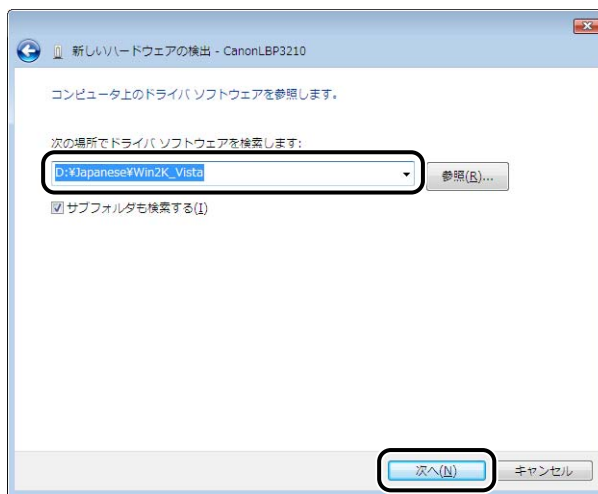
4 次の画面が表示された場合は、［オンラインで検索しません］をクリックします。

5 ［ディスクはありません。他の方法を試します］をクリックします。

3

Windowsの印刷環境を設定するには

6 [コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します(上級)]をクリックします。

7 付属の CD-ROM「LBP3210 User Software」を CD-ROM ドライブにセットし、[参照] をクリックします。

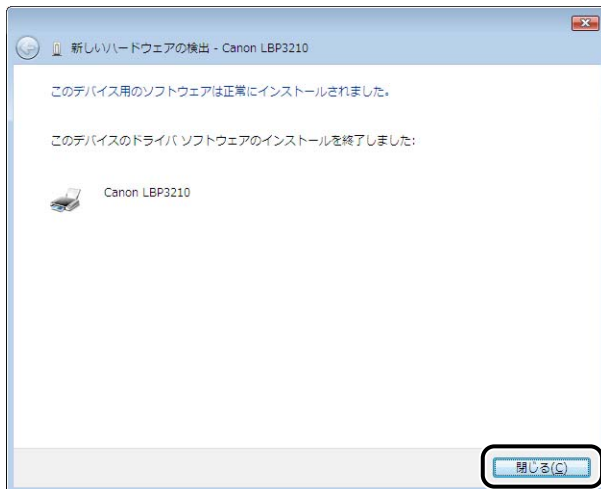
CD-ROM Setup が表示された場合は、[終了] をクリックします。

8 [D:¥Japanese¥Win2K_Vista］を選択し、［OK］をクリックします。

ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。

9 ［次の場所でドライバソフトウェアを検索します］に参照するフォルダが表示されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

メモ　［Windows セキュリティ］ダイアログボックスが表示された場合は、［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックします。

3

Windowsの印刷環境を設定するには

10 ［閉じる］をクリックします。

重要

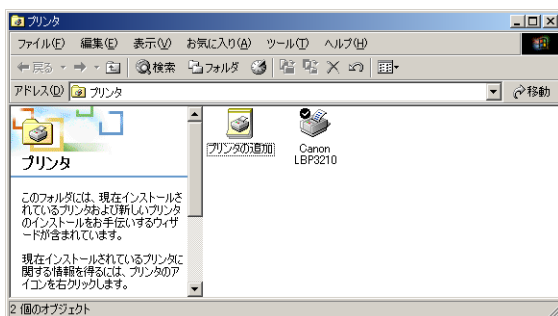
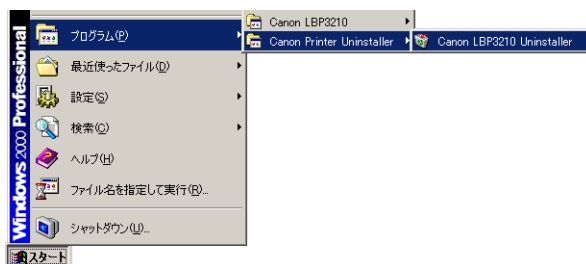
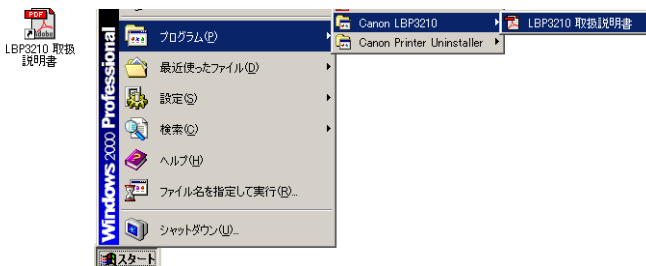
プリンタドライバをインストールしたコンピュータをプリントサーバとして使用する場合は、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。（→P.7-10）

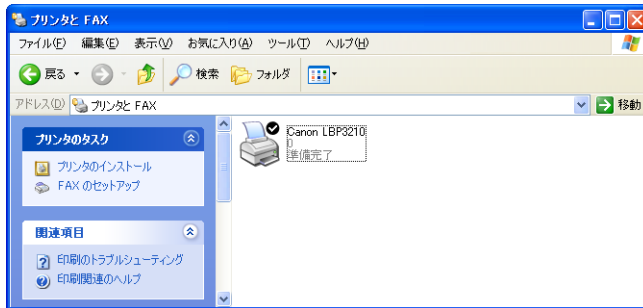
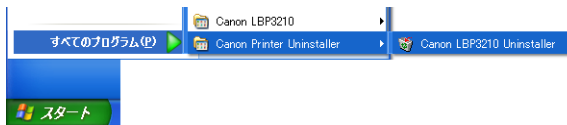
USB クラスドライバ（OS 標準）とプリンタドライバのインストールが完了しました。

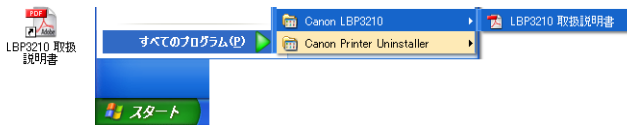
インストールが完了すると

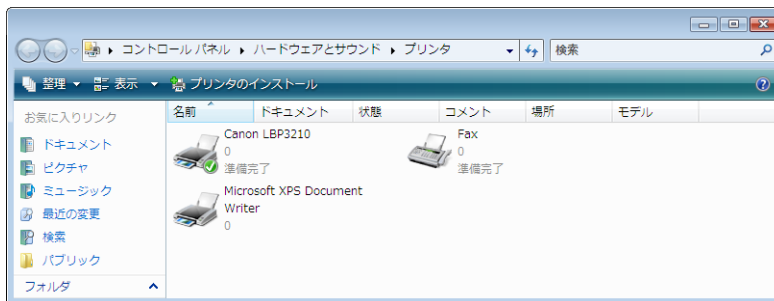
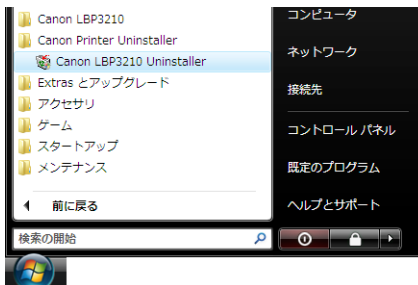
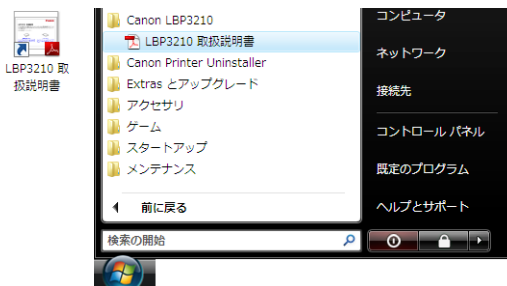
CAPT ソフトウェアのインストールが完了すると、以下のように本プリンタのアイコンやフォルダが作成されます。

■ Windows 98/Me/2000 の場合

- [プリンタ] フォルダに本プリンタのプリンタアイコンが表示されます。

- [スタート] メニューの [プログラム] に [Canon Printer Uninstaller] が追加されます。

- 取扱説明書をインストールした場合は、デスクトップに [LBP3210 取扱説明書] が作成され、[スタート] メニューの [プログラム] に [Canon LBP3210] - [LBP3210 取扱説明書] が追加されます。

■ Windows XP/Server 2003 の場合

- ［プリンタと FAX］フォルダに本プリンタのプリンタアイコンが表示されます。

- ［スタート］メニューの［すべてのプログラム］に［Canon Printer Uninstaller］が追加されます。

- 取扱説明書をインストールした場合は、デスクトップに［LBP3210 取扱説明書］が作成され、［スタート］メニューの［すべてのプログラム］に［Canon LBP3210］-［LBP3210 取扱説明書］が追加されます。

■ Windows Vista の場合

- ［プリンタ］フォルダに本プリンタのプリンタアイコンが表示されます。

• [スタート] メニューの [すべてのプログラム] に [Canon Printer Uninstaller] が追加されます。

• 取扱説明書をインストールした場合は、デスクトップに [LBP3210 取扱説明書] が作成され、[スタート] メニューの [すべてのプログラム] に [Canon LBP3210] - [LBP3210 取扱説明書] が追加されます。

プリンタステータスプリントを印刷して動作を確認する

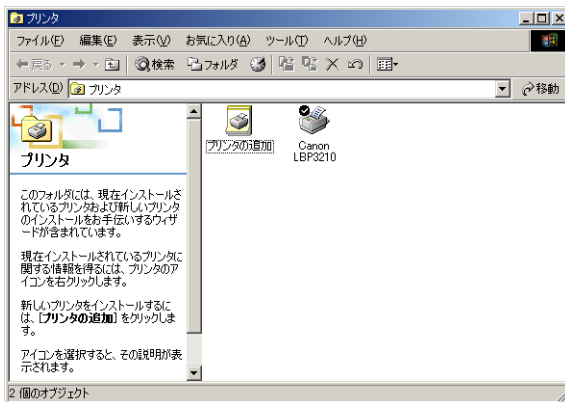
初めてプリンタをご使用になる前には、次の手順で必ずプリンタステータスプリントを印刷して動作を確認してください。プリンタステータスプリントには、ドライバのバージョンなどのプリンタの情報が印字されます。

ここでは、Windows 2000の画面例で説明します。

メモ　Macintoshをお使いの場合は、オンラインマニュアル「第4章便利な印刷機能」を参照してください。

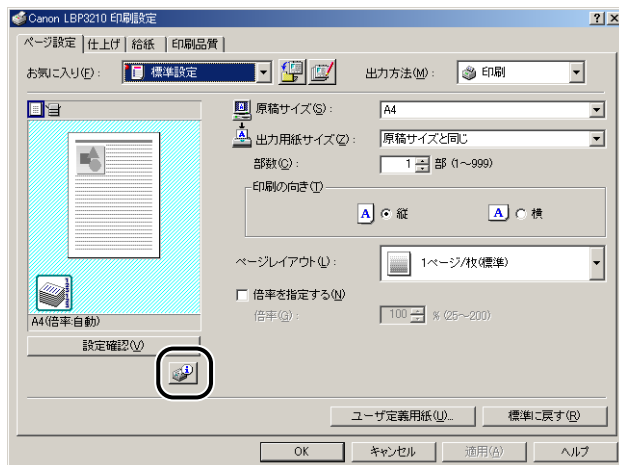
1 A4（またはレター）サイズの白紙をカセットまたは手差し給紙口にセットします。

2 ［プリンタ］または［プリンタとFAX］フォルダを表示します。

Windows 98/Me/2000の場合は、［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003の場合は、［スタート］メニューから［プリンタとFAX］を選択します。
Windows XP Home Editionの場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタとFAX］の順にクリックします。
Windows Vistaの場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］または［プリンタとFAX］フォルダが表示されます。

3 **本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［印刷設定］を選択します。**

Windows 98/Me の場合は、本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択します。

4 **［ページ設定］ページを表示させ、［ ］（プリンタステータスウィンドウを表示する）をクリックして、プリンタステータスウィンドウを起動します。**

メモ　プリンタステータスウィンドウについては、「プリンタステータスウィンドウについて」（→P.4-58）を参照してください。

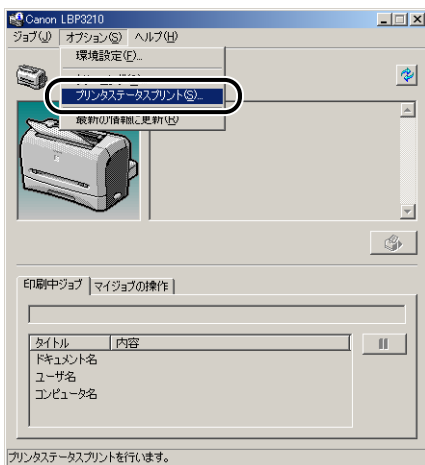
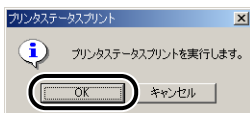
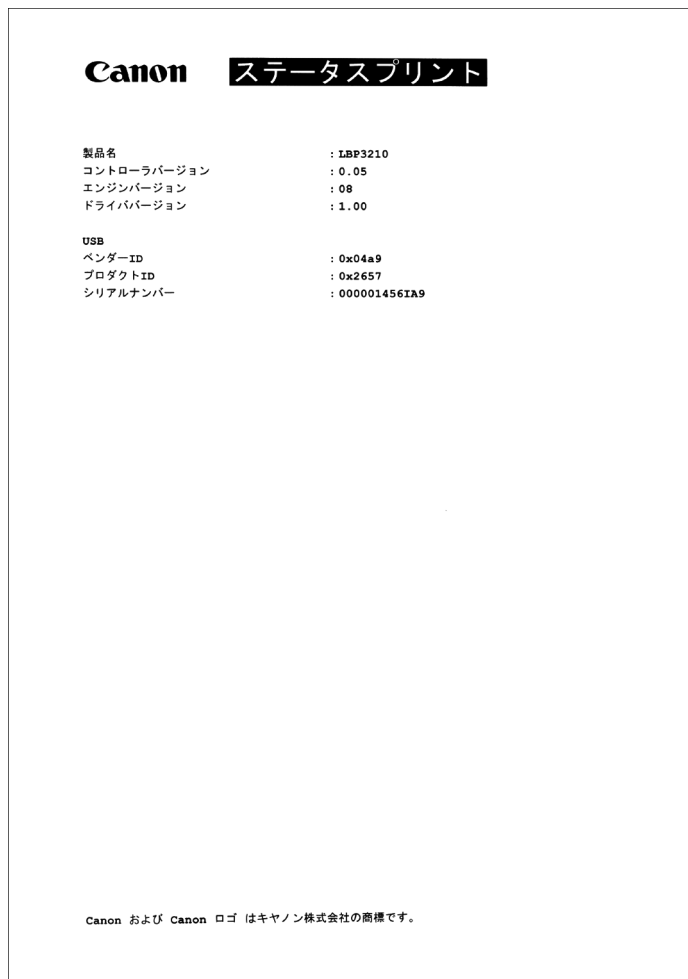
5 ［オプション］メニューから［プリンタステータスプリント］を選択します。

6 ［OK］をクリックします。

プリンタステータスプリントが印刷されます。

Canon ステータスプリント

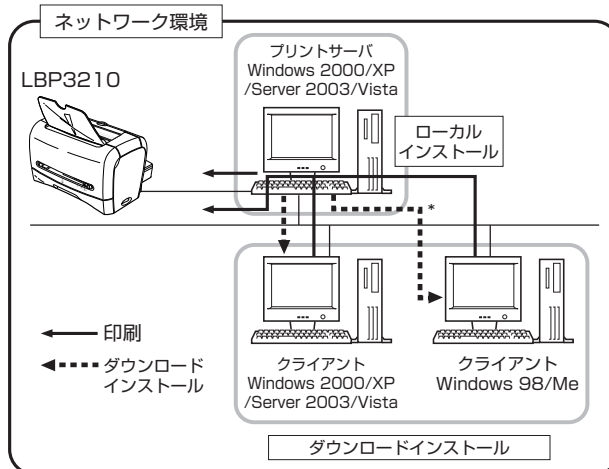
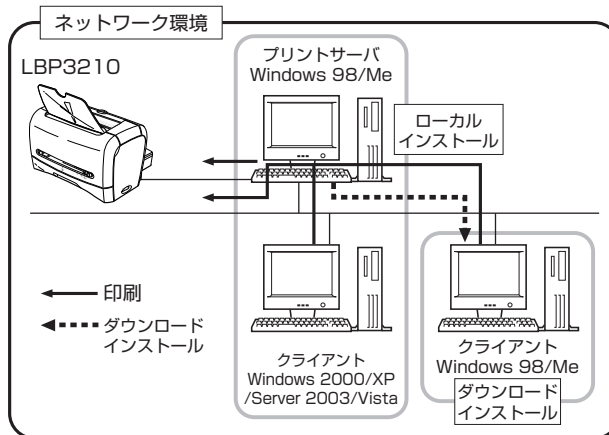
製品名 : LBP3210
コントローラバージョン : 0.05
エンジンバージョン : 08
ドライババージョン : 1.00

USB
ベンダーID : 0x04a9
プロダクトID : 0x2657
シリアルナンバー : 000001456IA9

Canon および Canon ロゴ はキヤノン株式会社の商標です。

重要　ここに掲載されているプリンタステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで出力したプリンタステータスプリントとは、内容が異なることがあります。

メモ　プリンタステータスプリントが正しく印刷されなかった場合は、「第6章困ったときには」を参照してください。

プリンタの共有機能を使用してネットワーク上のコンピュータから印刷する

本プリンタを共有プリンタとして設定しておくと、本プリンタに直接接続されていない他のコンピュータからも印刷できます。

本プリンタを共有プリンタとしてお使いになる場合は、下記の設定を行います。ここでは、プリンタを直接接続するコンピュータをプリントサーバ、ネットワークを経由してプリンタを利用する他のコンピュータをクライアントと呼びます。

* プリントサーバが Windows Vistaの場合、Windows 98/Me へのダウンロードインストールはできません。

プリントサーバ環境を使用する場合は次の設定を行ってください。

	設定内容	参照先
1	**プリントサーバへのプリンタドライバのインストール**	→P.3-4
2	**プリントサーバの設定**	
	・Windows 98/Me の場合	→P.3-39
	・Windows 2000/XP/Server 2003/Vista の場合	→P.3-43
3	**クライアントへのインストール**	→P.3-50

メモ　プリントサーバ、クライアントは共に、Windows 98/Meまたは Windows 2000/XP/Server 2003/Vista の OS が動作している必要があります。

プリントサーバの設定

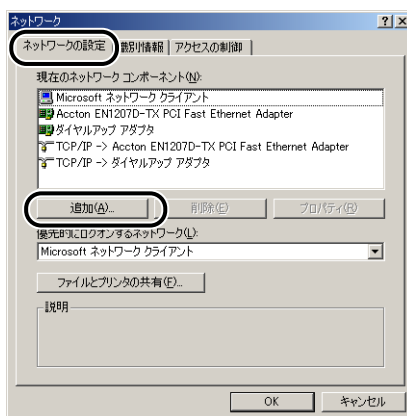
Windows 98/Me の場合

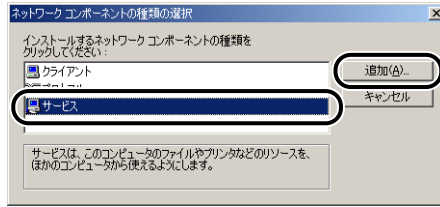
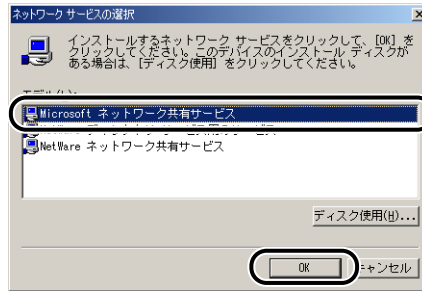
ここでは、Windows Me の画面例で手順を説明します。

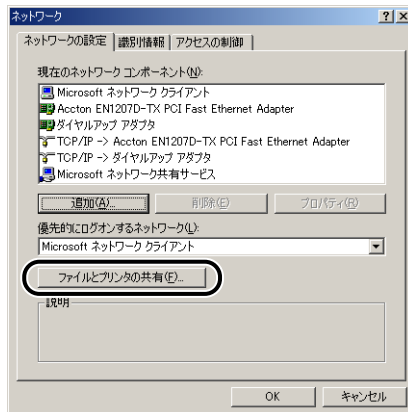
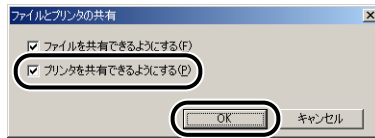
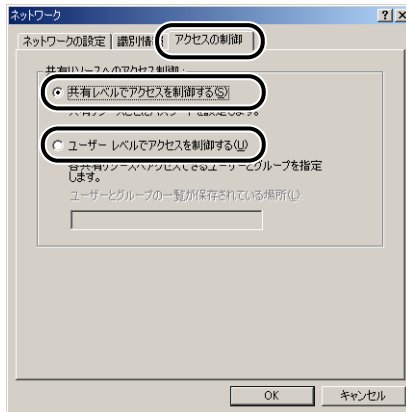
■ネットワークの設定

1　[マイコンピュータ] → [コントロールパネル] → [ネットワーク] アイコンの順にダブルクリックします。

[ネットワーク] ダイアログボックスが表示されます。

2　[ネットワークの設定] ページを表示し、[追加] をクリックします。

[ネットワークコンポーネントの種類の選択] ダイアログボックスが表示されます。

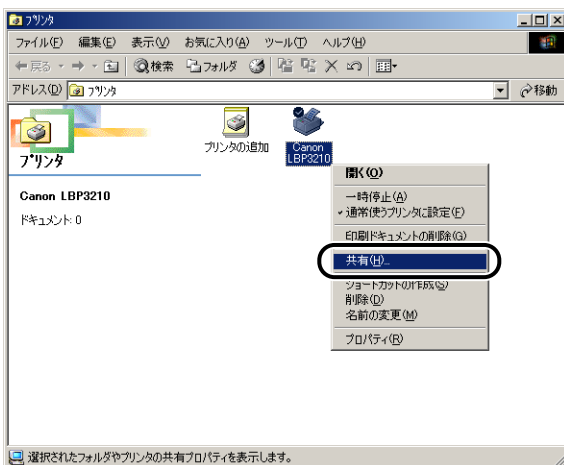
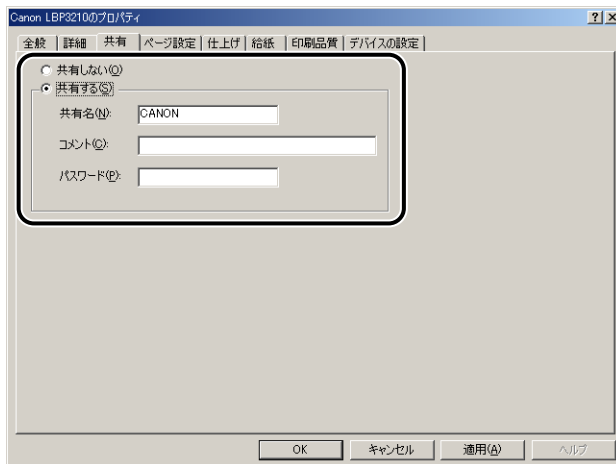
3 ［サービス］アイコンを選択し、［追加］をクリックします。

4 ［Microsoft ネットワーク共有サービス］を選択し、［OK］をクリックします。

［ネットワークコンポーネントの種類の選択］ダイアログボックスが一度表示され、［ネットワーク］ダイアログボックスに戻ります。

5 ［ファイルとプリンタの共有］をクリックします。

6 ［プリンタを共有できるようにする］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。

7 ［アクセスの制御］ページを表示して、［共有レベルでアクセスを制御する］または［ユーザーレベルでアクセスを制御する］のどちらかを選択します。

8 ［OK］をクリックし、Windows を再起動します。

■プリンタの共有設定

1 ［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

［プリンタ］フォルダが表示されます。

2 本プリンタのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから［共有］を選択します。

3 ［共有する］を選択します。必要に応じて［共有名］を変更し、［コメント］、［パスワード］を入力します。

メモ

- 「ネットワークの設定」の手順 7（→P.3-41）で、［ユーザーレベルでアクセス制御する］を選択している場合は、［追加］をクリックしてプリンタを使用するユーザを選択します。
- 共有名に、スペースや特殊文字は使わないでください。
- パスワードを設定すると、クライアント側のポートが作成できない場合があります。

4 ［OK］をクリックします。

プリンタアイコンが、プリンタ共有アイコンに変更されます。

Windows 2000/XP/Server 2003/Vista の場合

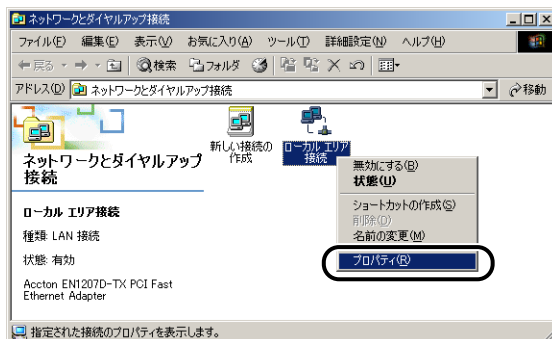
ここでは、Windows 2000 の画面例で手順を説明します。

■ネットワークの設定

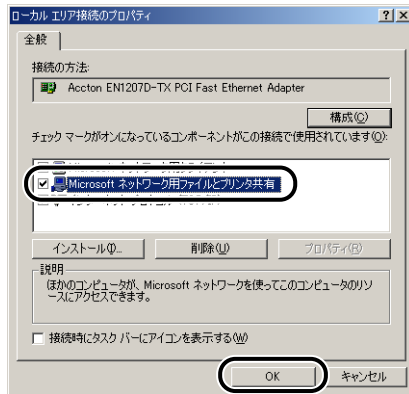
1 ［スタート］メニューから［設定］→［ネットワークとダイヤルアップ接続］を選択します。

Windows XP の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］→［ネットワーク接続］の順にクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］→［ネットワーク接続］→［ローカルエリア接続］を選択し、手順 3 へ進みます。
Windows Vista の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークの状態とタスクの表示］→［ネットワーク接続の管理］の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、［ネットワークとダイヤルアップ接続］フォルダが表示されます。
Windows XP/Vista の場合は、［ネットワーク接続］フォルダが表示されます。

2 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択します。

［ローカルエリア接続のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　Windows Vista をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。

3 [Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有] が選択されていることを確認し、[OK] をクリックします。

■プリンタの共有設定

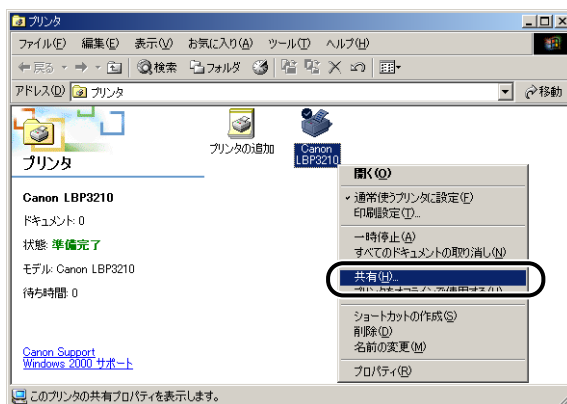
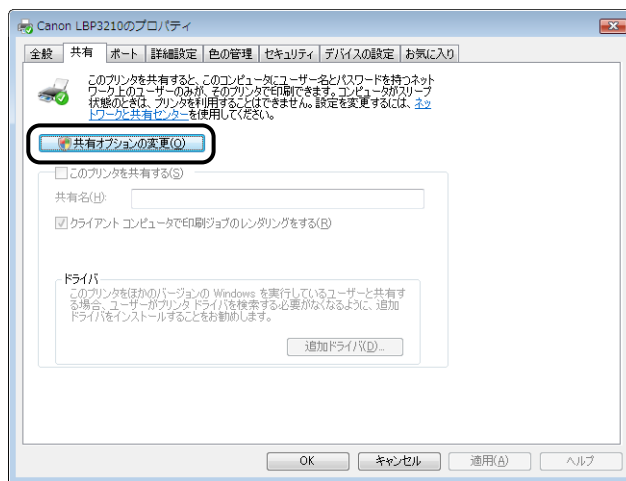
メモ　Windows XP の場合、初期設定（インストール直後の設定）ではプリンタの共有設定はできません。
共有設定をお使いになる場合は、[ネットワークセットアップウィザード] を実行して、プリンタの共有を有効に設定する必要があります。
詳しくは、Windows のオンラインヘルプを参照してください。

---

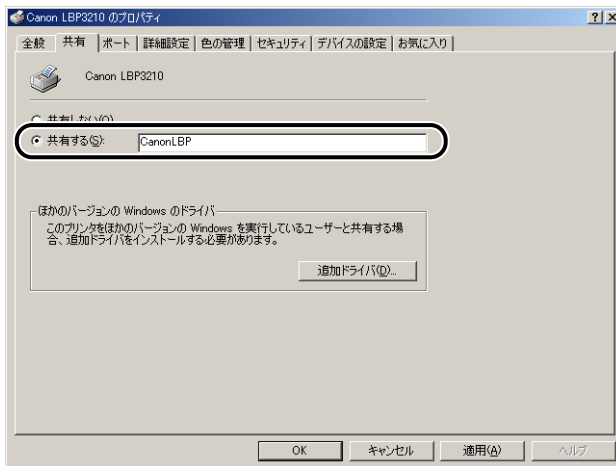
1 [スタート] メニューから [設定] → [プリンタ] を選択します。

Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] →[プリンタと FAX] の順にクリックします。
Windows Vista の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。

[プリンタ] フォルダが表示されます。

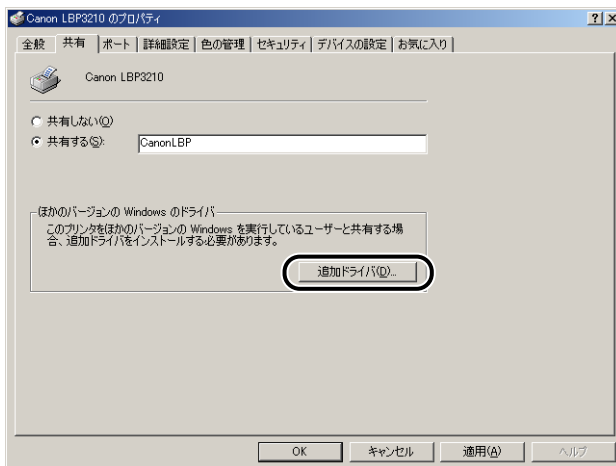
2 本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［共有］を選択します。

メモ　Windows Vista をお使いの場合、［共有オプションの変更］が表示されているときは、［共有オプションの変更］ をクリックします。

［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたら、［続行］をクリックします。

3 ［共有する］を選択します。必要に応じて共有名を変更します。

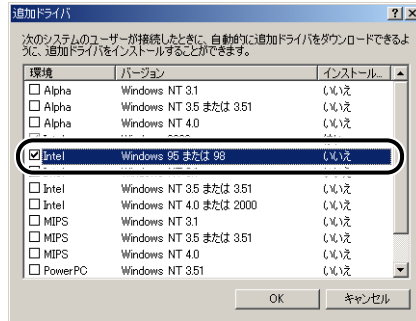
Windows XP/Server 2003 の場合は［このプリンタを共有する］を選択します。
Windows Vista の場合は［このプリンタを共有する］にチェックマークを付けます。

メモ

- プリンタの共有設定は、ローカルインストールの途中で選択することもできます。
- 共有名に、スペースや特殊文字は使わないでください。

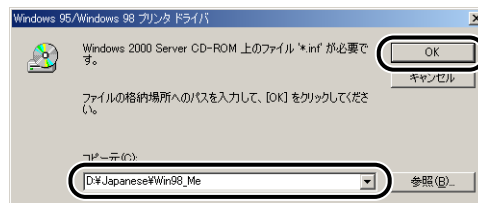
4 プリントサーバがWindows Vista以外のOSの場合に、クライアントでWindows 98/Meを使用しているユーザがいるときは、［追加ドライバ］をクリックします。

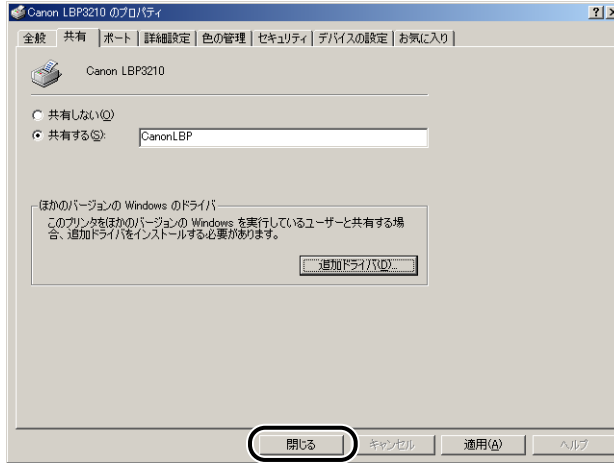
プリントサーバが Windows Vistaの場合や、クライアントで Windows 98/Me を使用しているユーザがいない場合は、［OK］をクリックします。プリンタアイコンがプリンタ共有アイコンに変更され、プリンタの共有設定が終了します。

［追加ドライバ］ダイアログボックスが表示されます

5 ［Windows 95 または 98］にチェックマークを付け、［OK］をクリックします。

Windows XP/Server 2003 の場合は、［Windows 95、98 および Me］にチェックマークを付け、［OK］をクリックします。

6 付属の CD-ROM「LBP3210 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

［ディスクの挿入］ダイアログボックスが表示された場合は、［OK］をクリックします。

7 ［参照］をクリックし、CD-ROM ドライブが［D:］のときは［D:¥Japanese¥Win98_Me］を選択し、［OK］をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

8 ［閉じる］をクリックします。

プリンタアイコンがプリンタ共有アイコンに変更されます。

重要

プリンタの共有設定は、次の方法で解除します。

・Windows Vista以外のOSの場合は、［共有］ページで［共有しない］（Windows XP/Server 2003は［このプリンタを共有しない］）を選択します。

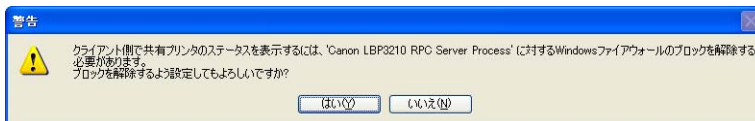
・Windows Vistaの場合は、［共有］ページで［このプリンタを共有する］のチェックマークを外します。（［共有オプションの変更］が表示されているときは、［共有オプションの変更］をクリックし、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたら、［続行］をクリックします。）

Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSでプリンタの共有設定を解除した場合は、ユーティリティソフトウェアを使用して、Windows ファイアウォールに登録されている設定を削除する必要があります。（➞P.7-12）

■ Windows ファイアウォール機能の設定

Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っているOS をプリントサーバとして使用する場合は、クライアント側との通信に対するWindows ファイアウォールのブロックを解除する必要があります。

以下の方法で、Windows ファイアウォールのブロックが解除されていることを確認してください。

- CD-ROM Setup から CAPT ソフトウェアをインストールしたときに、[警告] ダイアログボックスが表示されます。

・[はい] を選択した場合は、クライアント側との通信に対するWindowsファイアウォールのブロックは解除されています。

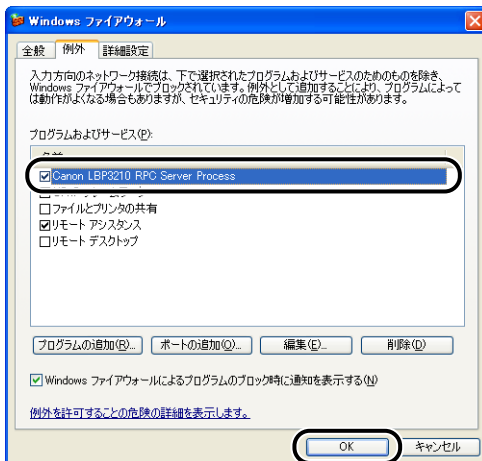
・[いいえ] を選択した場合は Windows ファイアウォールでクライアント側との通信が遮断されていますので、以下の方法でブロックを解除してください。

1. [Windows ファイアウォール](Windows Vista は [Windows ファイアウォールの設定])ダイアログボックスを表示します。

   ・Windows XP の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[ネットワークとインターネット接続] → [Windows ファイアウォール] の順にクリックします。

   ・Windows Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] → [Windows ファイアウォール] を選択します。

   ・Windows Vista の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] をクリックします。([ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、[続行] をクリックします。)

2. [Windows ファイアウォール](Windows Vista は [Windows ファイアウォールの設定])ダイアログボックスの [例外] ページで、[Canon LBP3210 RPC Server Process] のチェックボックスにチェックマークを付け、[OK] をクリックします。

- CD-ROM Setup 以外の方法で CAPT ソフトウェアをインストールした場合は、ユーティリティソフトウェアを使用して、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。(→P.7-10)

クライアントへのインストール

クライアントへのプリンタドライバのインストール方法について説明します。

プリンタドライバのインストール方法には、ローカルインストールとダウンロードインストールがあります。

ここでは、Windows 2000 の画面例で手順を説明します。

■ ローカルインストール(→P.3-51)

付属の CD-ROM を使って、プリンタドライバをインストールします。

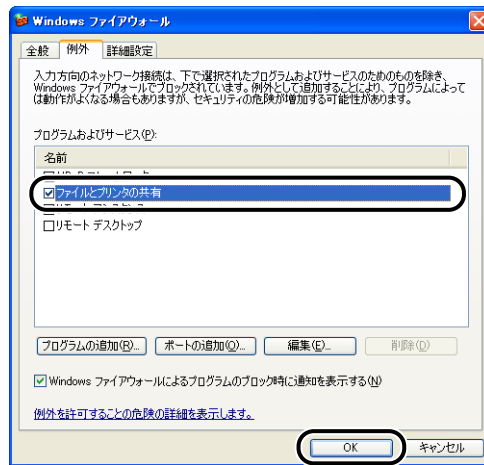
■ ダウンロードインストール

付属の CD-ROM を使わずに、プリントサーバからプリンタドライバをダウンロードしてインストールします。ダウンロードインストールには以下の 2 種類があります。

- [プリンタ] または [プリンタと FAX] フォルダからインストールする(→P.3-58)
- [エクスプローラ] からインストールする(→P.3-62)

重要

- Windows 2000/XP/Server 2003/Vista をお使いの場合、起動した際に、必ず Administrators のメンバとしてログオンしてください。
- Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSをクライアント側で使用する場合、以下の設定を行ってください。クライアント側で以下の設定を行わないと、プリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されないなど、一部の機能が正常に動作しない場合があります。
  1. [Windows ファイアウォール] (Windows Vista は [Windows ファイアウォールの設定]) ダイアログボックスを表示します。
     - Windows XP の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[ネットワークとインターネット接続] → [Windows ファイアウォール] の順にクリックします。
     - Windows Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] → [Windows ファイアウォール] を選択します。
     - Windows Vista の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] をクリックします。([ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、[続行] をクリックします。)

2. [Windows ファイアウォール]（Windows Vista は［Windows ファイアウォールの設定］）ダイアログボックスの［例外］ページで、[ファイルとプリンタの共有］のチェックボックスにチェックマークを付け、[OK］をクリックします。

メモ

• クライアントは、Windows 98/Me と Windows 2000/XP/Server 2003/Vista のどちらでも利用できます。
• プリントサーバが Windows 98/Me の場合、Windows 2000/XP/Server 2003/Vista へのダウンロードインストールはできません。
• プリントサーバが Windows Vista の場合、Windows 98/Me へのダウンロードインストールはできません。

CD-ROM Setup からインストールする

1 付属の CD-ROM「LBP3210 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

CD-ROM Setup が自動的に表示されます。

重要

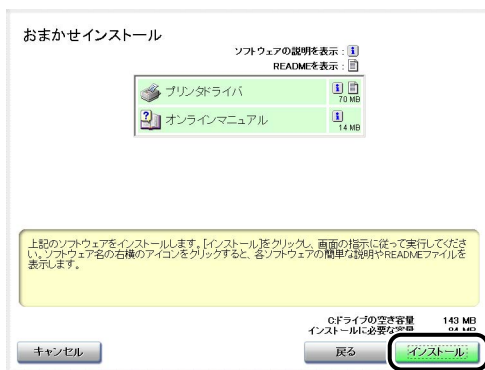
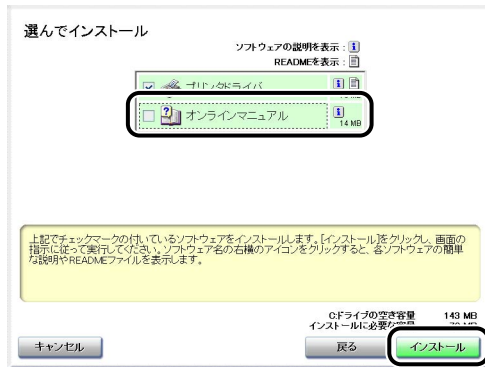
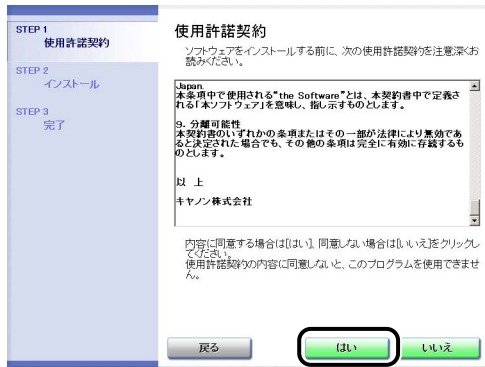
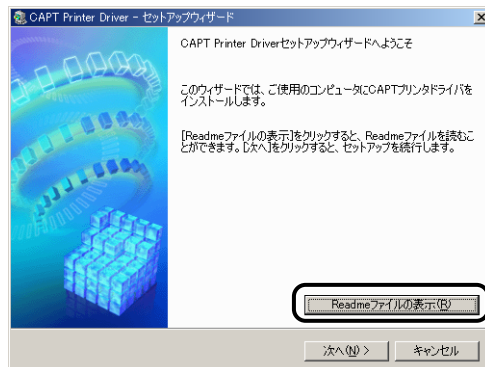
• Windows Vista をお使いの場合、[自動再生] ダイアログボックスが表示された場合は、[AUTORUN.EXE の実行] をクリックします。
• CD-ROM Setup が表示されない場合は、次の方法で表示します。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）
  · Windows Vista 以外の OS の場合は、[スタート] メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、[OK] をクリックします。
  · Windows Vistaの場合は、[スタート]メニューの[検索の開始]に「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

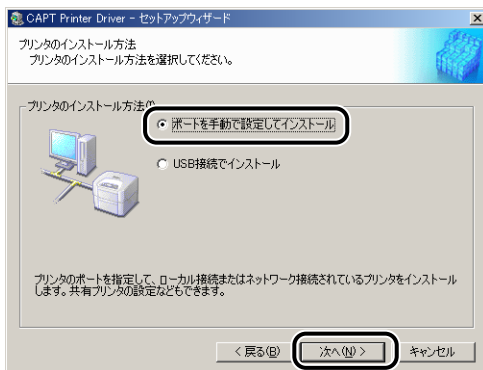
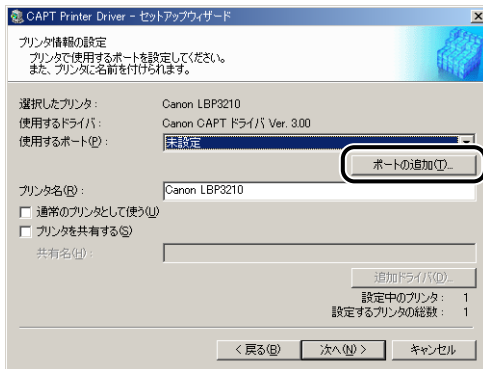
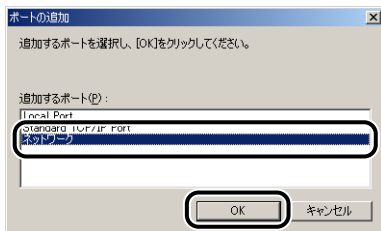
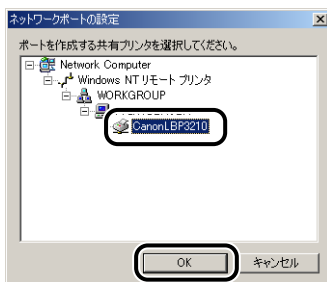
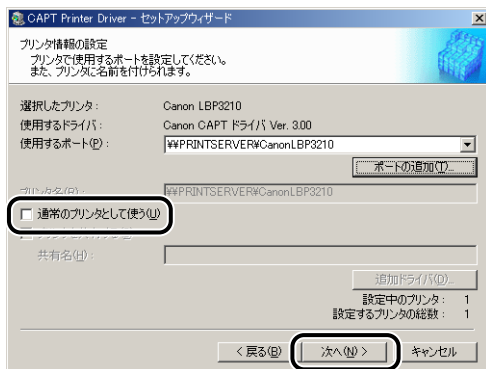
メモ

Windows Vista をお使いの場合、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、[許可] をクリックします。

2 ［おまかせインストール］または［選んでインストール］をクリックします。

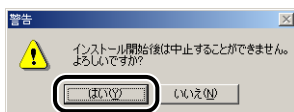
［おまかせインストール］は、プリンタドライバの他に取扱説明書も同時にインストールできます。取扱説明書をインストールしない場合は、［選んでインストール］を選択します。

3 ［インストール］をクリックします。

手順２で［選んでインストール］を選択した場合は、［オンラインマニュアル］のチェックマークを外してから［インストール］をクリックします。

4 内容を確認して、［はい］をクリックします。

5 ［Readme ファイルの表示］をクリックして、Readme ファイルの内容を確認し、閉じます。

6 ［次へ］をクリックします。

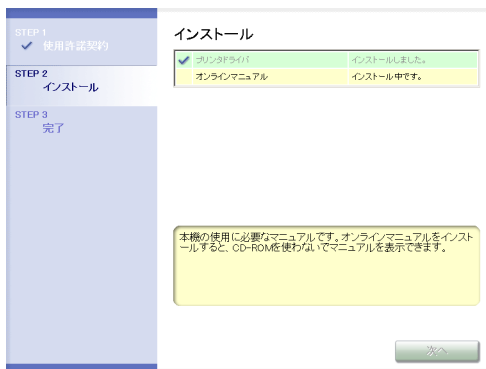
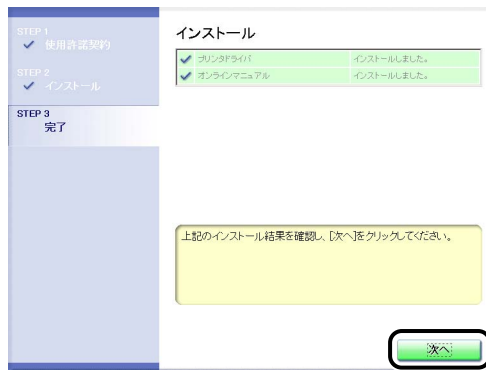
7 ［ポートを手動で設定してインストール］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

8 ［ポートの追加］をクリックします。

9 ［ネットワーク］を選択して、［OK］をクリックします。

10 プリントサーバの中の共有されたプリンタのアイコンを選択して、［OK］をクリックします。

11 通常使うプリンタに設定するかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

12 ［開始］をクリックします。

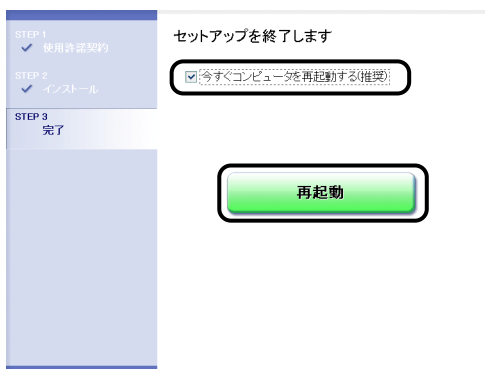
Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSを使用している場合、以下の画面が表示されますので、［いいえ］をクリックします。

［はい］は、インストール中のコンピュータをプリントサーバとして使用する場合にのみ選択してください。

13 「インストール開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

Windows Vista の場合は、［プリンタ］ダイアログボックスが表示されますので、［ドライバのインストール］をクリックします。

14 手順２で［おまかせインストール］を選択した場合は、取扱説明書がインストールされます。

15 インストール結果を確認して、［次へ］をクリックします。

メモ　正常にインストールされなかった場合は、「インストールのトラブル（Windows のみ）」（→P.6-25）を参照してください。

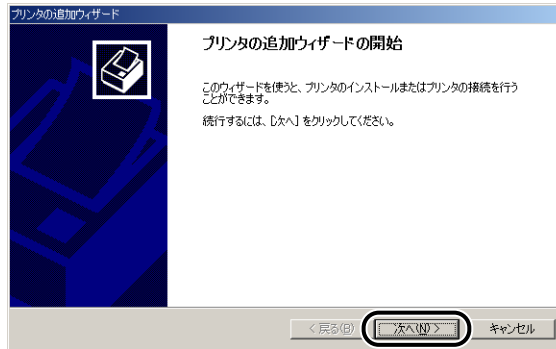
16 [今すぐコンピュータを再起動する] にチェックマークを付けたあと、[再起動] をクリックします。

Windows が再起動します。

重要 Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っているOS をクライアント側で使用する場合は、サーバ側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。ブロックを解除しないとプリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されないなど、一部の機能が正常に動作しない場合があります。(➞P.7-9)

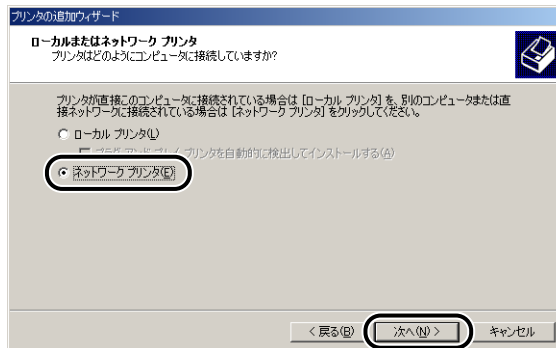
[プリンタ]または[プリンタとFAX]フォルダからインストールする

1 [スタート] メニューから [設定] ➞ [プリンタ] を選択して [プリンタ] フォルダを開き、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

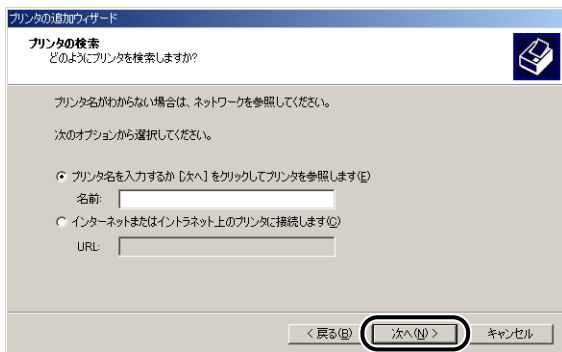
Windows XP Professional の場合は、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] ➞ [プリンタのインストール] を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] ➞ [プリンタと FAX] ➞ [プリンタのインストール] の順にクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] を選択し、[プリンタの追加] をダブルクリックします。
Windows Vista の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] ➞ [プリンタ] を選択し、[プリンタのインストール] をクリックして手順 3 へ進みます。

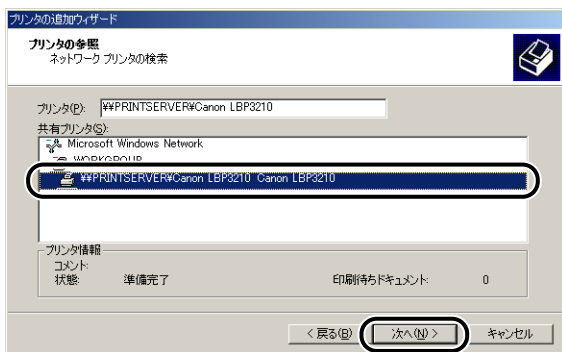
[プリンタの追加ウィザード] または [プリンタの追加] ダイアログボックスが表示されます。

2 [次へ] をクリックします。

3 [ネットワークプリンタ] を選択して [次へ] をクリックします。

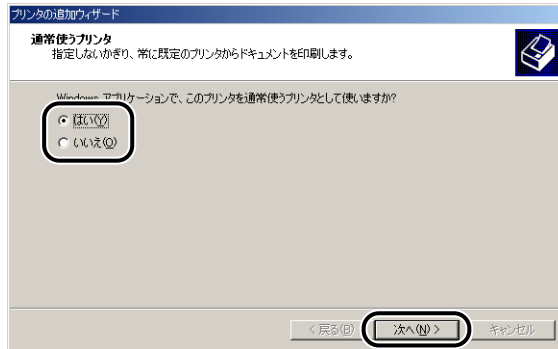
Windows XP/Server 2003の場合は、[ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。
Windows Vistaの場合は、[ネットワーク、ワイヤレスまたはBluetoothプリンタを追加します] をクリックします。

Windows Vistaをお使いの場合、ネットワーク上のプリンタの検索が自動的に開始されますので、[探しているプリンタはこの一覧にはありません] をクリックします。

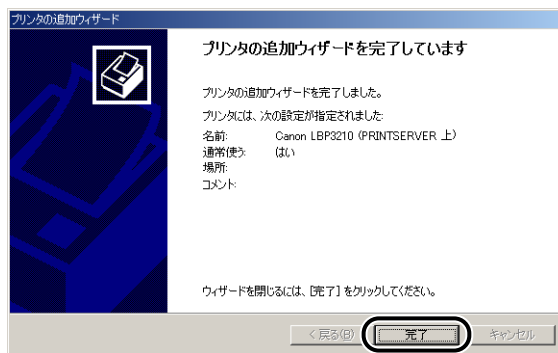
4 ［次へ］をクリックします。

Windows 98/Me の場合は、［参照］をクリックします。
Windows XP/Server 2003 の場合は、［プリンタを参照する］を選択し、［次へ］をクリックします。
Windows Vista の場合は、［共有プリンタを名前で選択する］を選択し、［次へ］をクリックします。

5 プリントサーバ内のプリンタを選択して、［次へ］をクリックします。

Windows Vista の場合は、プリントサーバ内のプリンタを選択して、［選択］をクリックします。

Windows 98/Me の場合は、手順 7 へ進みます。
Windows Vista の場合は、［プリンタ］ダイアログボックスが表示されますので、［ドライバのインストール］をクリックします。（［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。）

6 通常使うプリンタに設定するかどうかを選択し、[次へ] をクリックします。

Windows Vista の場合、プリンタ名を変更するときは、[プリンタ名] に新しい名前を入力します。通常使うプリンタに設定する場合には、[通常使うプリンタに設定する] にチェックマークを付け、[次へ] をクリックします。

Windows Vista の場合に、テストページを印刷するときは、[テストページの印刷] をクリックします。印刷終了後にダイアログボックスが表示されますので、[閉じる] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

7 [完了] をクリックします。

重要　Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS をクライアント側で使用する場合は、サーバ側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。ブロックを解除しないとプリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されないなど、一部の機能が正常に動作しない場合があります。(➞P.7-9)

メモ　[デジタル署名が見つかりませんでした] ダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックします。

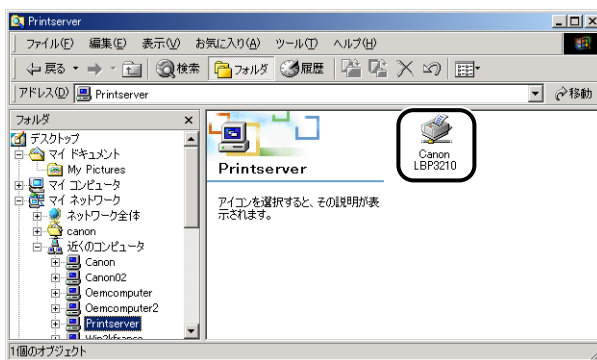
［エクスプローラ］からインストールする

1 **［スタート］メニューから［プログラム］→［アクセサリ］→［エクスプローラ］を選択します。**

Windows XP/Server 2003 の場合は［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［エクスプローラ］を選択します。
Windows 98 の場合は、［スタート］メニューから［プログラム］→［エクスプローラ］を選択します。

［エクスプローラ］ダイアログボックスが表示されます。

2 **［マイ　ネットワーク］（Windows 98 の場合は［ネットワークコンピュータ］、Windows Vista の場合は［ネットワーク］）からプリントサーバを選択し、本プリンタのアイコンをダブルクリックします。**

または、本プリンタのアイコンを［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダにドラッグ・アンド・ドロップします。

3 **画面の指示に従って操作してください。**

Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS をクライアント側で使用する場合は、サーバ側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。ブロックを解除しないとプリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されないなど、一部の機能が正常に動作しない場合があります。（→P.7-9）

CAPT ソフトウェアの削除

ソフトウェアを削除して、インストール前の状態に戻すことをアンインストールといいます。CAPT ソフトウェアをアンインストールする場合は、次の手順で行います。

重要
- プリンタドライバが Administrators の権限で Windows 2000/XP/Server 2003/Vista にインストールされている場合、Administrators 以外の権限ではアンインストールできません。必ず、Administrators の権限でログインしてからアンインストールしてください。
- 取扱説明書がインストールされている場合、アンインストーラでCAPTソフトウェアのアンインストールを行うことで、インストールした取扱説明書もアンインストールされます。
- Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSのコンピュータを使用している場合、[Windows ファイアウォール]（Windows Vista は[Windows ファイアウォールの設定]）ダイアログボックスの［例外］ページに本プリンタが登録されています。
アンインストーラでCAPTソフトウェアのアンインストールを行なうことで、[Windows ファイアウォール]（Windows Vista は［Windows ファイアウォールの設定]）ダイアログボックスの［例外］ページの本プリンタの設定も削除されます。

メモ
Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

1 **次のファイルやプログラムをすべて閉じてください。**

- ヘルプファイル
- プリンタステータスウィンドウ
- コントロールパネル
- その他のアプリケーションプログラム

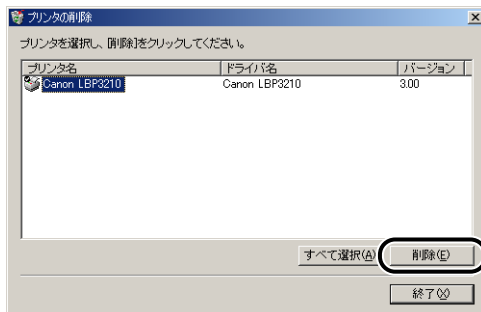
2 **[スタート]メニューから[プログラム]→[Canon Printer Uninstaller]→［Canon LBP3210 Uninstaller］を選択します。**

Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [すべてのプログラム]→［Canon Printer Uninstaller］→［Canon LBP3210 Uninstaller］を選択します。

[プリンタの削除］ダイアログボックスが表示されます。

メモ
Windows Vista をお使いの場合、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、［許可］をクリックします。

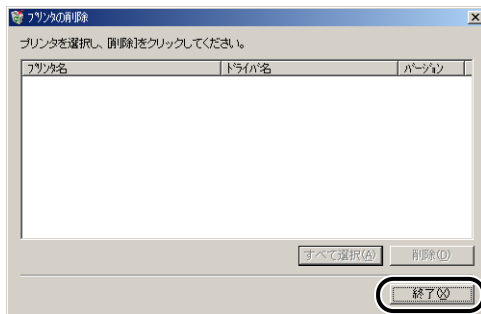
3 **本プリンタを選択します。**

4 ［削除］をクリックします。

確認メッセージが表示されます。

メモ　［プリンタの削除］ダイアログボックス内のリストに［Canon LBP3210］が表示されていない場合でも、［削除］をクリックすると本プリンタに関連するファイルおよび情報を削除することができます。

5 ［はい］をクリックします。

アンインストールを開始します。しばらくお待ちください。

6 ［終了］をクリックします。

［プリンタの削除］ダイアログボックスが閉じます。

メモ　アンインストールができなかった場合は、「アンインストールできなかったときは」（→P.6-26）を参照してください。

Windows から印刷するには

4
CHAPTER

この章では、Windows から印刷する方法、および本プリンタの機能について説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

アプリケーションソフトから印刷する

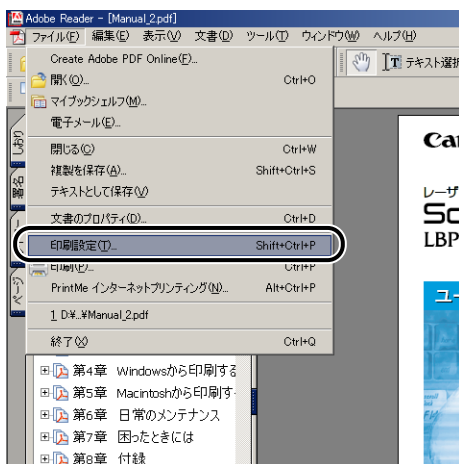
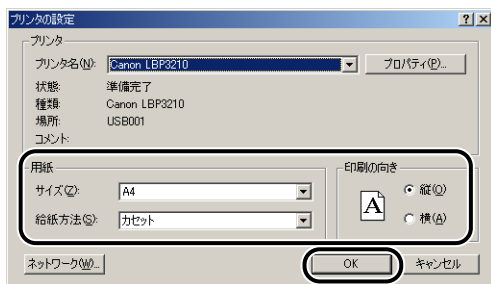
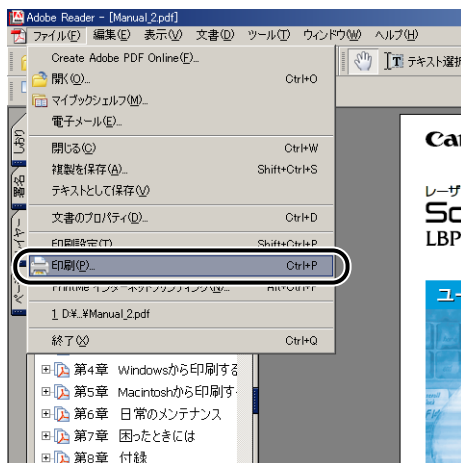
CAPT ソフトウェアをインストールしたら、印刷してみましょう。

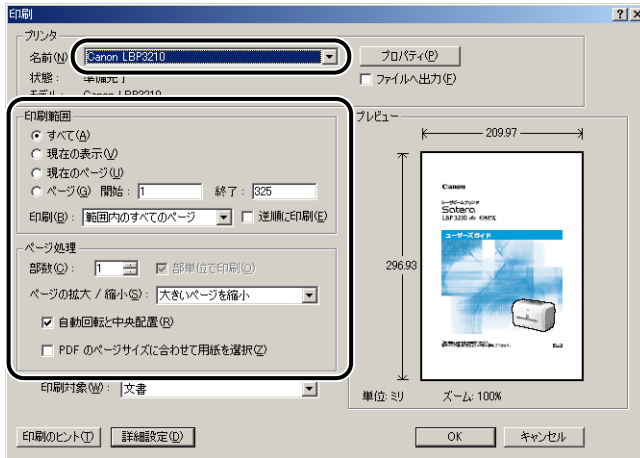
ここでは、Adobe Reader 6.0 を例に、アプリケーションソフトから印刷する手順を簡単に説明します。

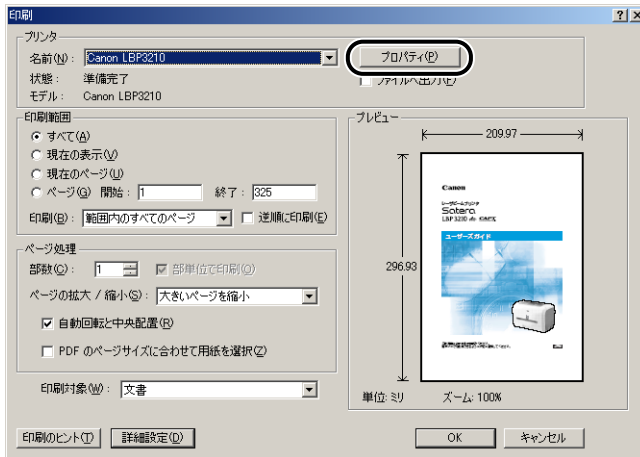
メモ　Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

1 用紙をカセットまたは手差し給紙口にセットします。

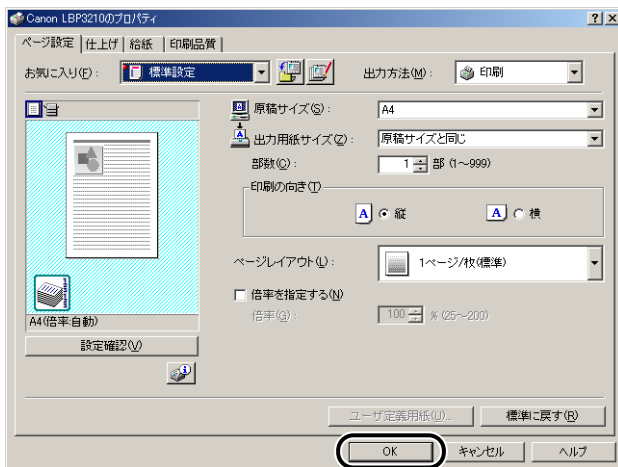
メモ　普通紙、厚紙、ラベル用紙、OHP フィルムに印刷する場合は、「普通紙、厚紙、ラベル用紙、OHP フィルムに印刷する」（→P.2-16）を、はがき、往復はがきに印刷する場合は、「はがき、往復はがきに印刷する」（→P.2-29）を、封筒に印刷する場合は、「封筒に印刷する」（→P.2-41）を、ユーザ定義用紙に印刷する場合は、「ユーザ定義用紙（不定形用紙）に印刷する」（→P.2-53）を参照してください。

2 印刷する PDF ファイルを Adobe Reader で開き、［ファイル］メニューの［印刷設定］を選択します。

3 印刷する原稿の用紙サイズ、印刷の向きを設定して［OK］をクリックします。

4 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

5 ［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、印刷条件を設定します。

メモ　ここに表示されるプリンタ名は、［プリンタ］フォルダ（Windows XP/Server 2003の場合は、［プリンタとFAX］フォルダ）で変更することができます。

6 さらに詳しい印刷条件を設定したい場合は、［プロパティ］をクリックします。

［Canon LBP3210 プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　プリンタプロパティダイアログボックスは、お使いのアプリケーションソフトによって表示する手順が異なる場合があります。

7 ［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］の各ページで印刷条件を設定したあと、［OK］をクリックします。

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

メモ　［ページ設定］ページと［給紙］ページの内容は、印刷するたびに確認することをおすすめします。

8 ［OK］をクリックします。

印刷がはじまります。

メモ
- 正常に印刷できないときは、「第６章 困ったときには」を参照してください。
- 「いろいろな印刷機能を使用する」（➞P.4-17）では、プリンタとプリンタドライバの機能を利用することについて説明しています。印刷する原稿と目的に合わせて、プリンタとプリンタドライバを設定して、活用してください。

ジョブを操作する

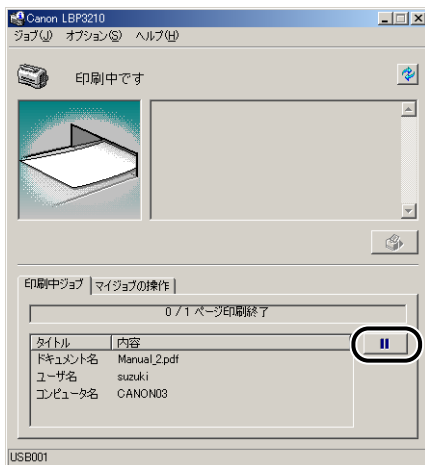
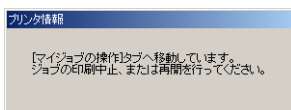
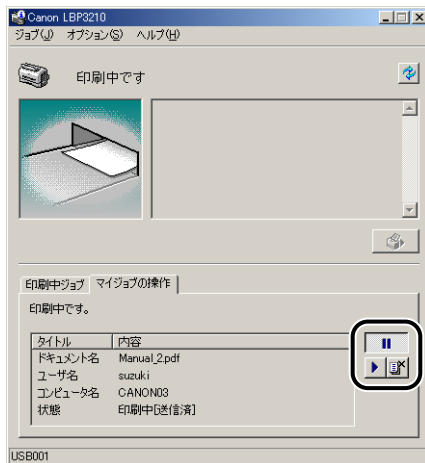
本プリンタでは、プリンタステータスウィンドウを使って印刷を中止、一時停止、再開することができます。

メモ　Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 3 章基本的な印刷機能」を参照してください。

1 印刷を開始します。

プリンタステータスウィンドウが表示されます。

メモ　プリンタステータスウィンドウの［環境設定］メニューの［プリンタステータスウィンドウの表示］の設定によっては、プリンタステータスウィンドウが表示されない場合があります。（➞ 環境設定メニューについて：P.4-60）

2 印刷の中止や一時停止をする場合は、［印刷中ジョブ］タブもしくは［マイジョブの操作］タブの［ ］（一時停止）をクリックします。

［印刷中ジョブ］タブの［ ］（一時停止）をクリックすると、以下のメッセージが表示され、［マイジョブの操作］タブに移動します。

3 ［ジョブ操作］ボタンで行いたい操作のボタンをクリックします。

● **印刷を中止する**

❑ ［ ］（印刷中止）をクリックします。

● **印刷を一時停止する**

❑ ［ ］（一時停止）をクリックします。

● **印刷を再開する**

❑ ［ ］（再開）をクリックします。

印刷条件を設定する

LBP3210 では、CAPT ソフトウェアを使用して、さまざまな印刷条件を設定できます。

［プリンタプロパティ］ダイアログボックス、［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示させ、それぞれのダイアログボックスにある各ページの機能を設定します。お使いのOSに合わせて、以下の手順に従ってプロパティダイアログボックスを表示してください。

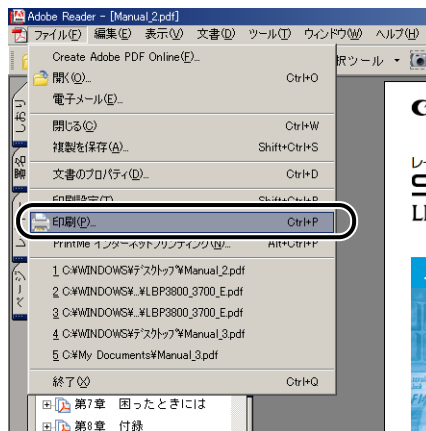
Windows 98/Me の場合

アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、そのジョブのみに対して設定項目を指定できます。

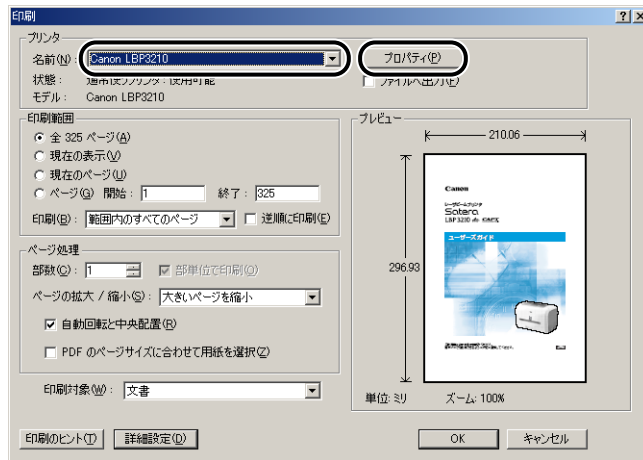
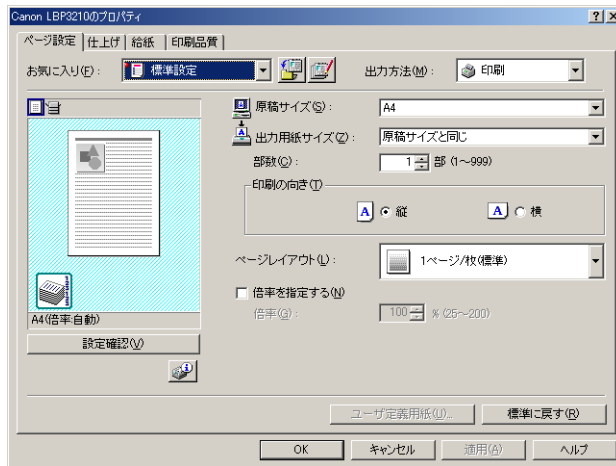
［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、すべてのジョブに対しての初期設定を指定することができます。

アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示する

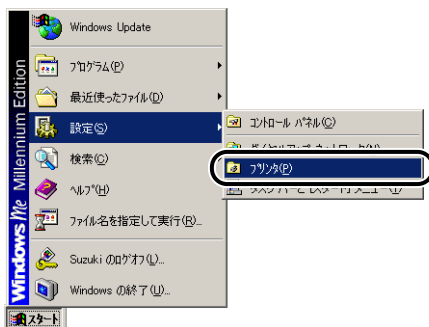
ここでは、Adobe Reader 6.0 を例に手順を説明します。

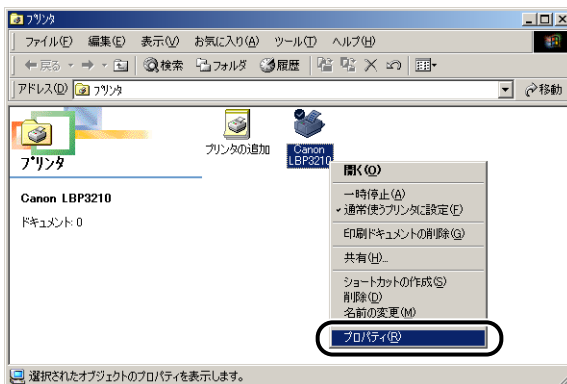
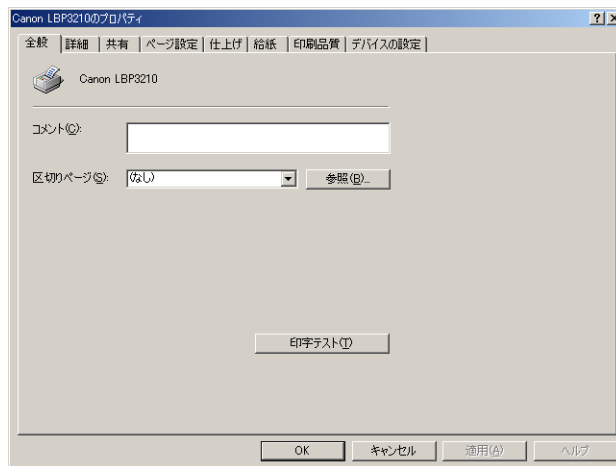
1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 ［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを確認し、［プロパティ］をクリックします。

［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示する

1 ［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

［プリンタ］フォルダが表示されます。

2 本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択します。

［プリンタプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　［プリンタプロパティ］ダイアログボックスは、本プリンタのアイコンを選択したあと、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択しても表示できます。

Windows 2000/XP/Server 2003/Vista の場合

アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、そのジョブのみに対して設定項目を指定できます。

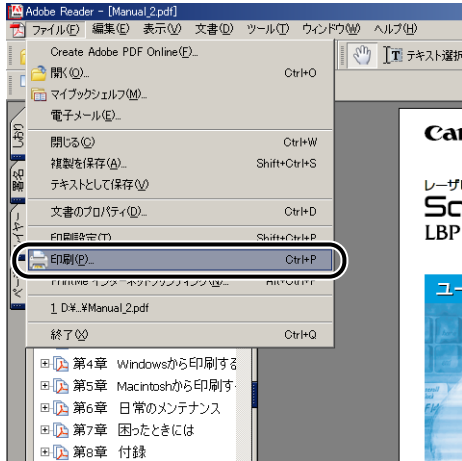
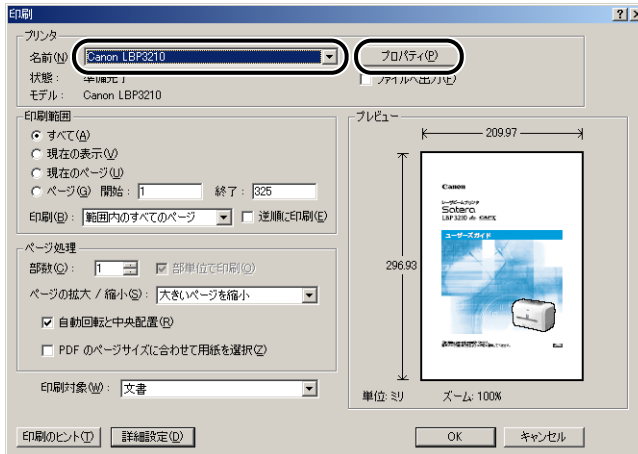
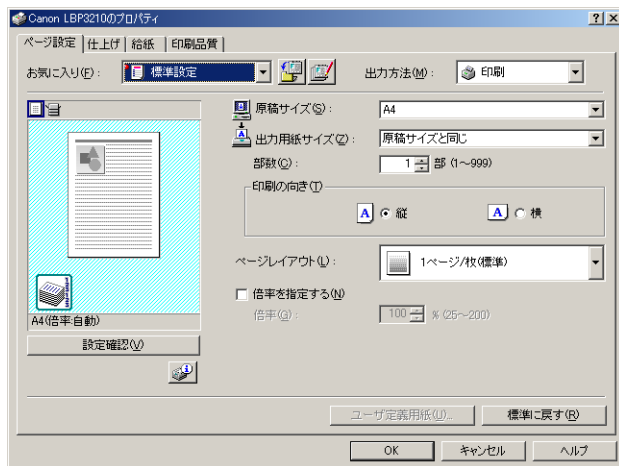
［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、すべてのジョブに対しての初期設定を指定することができます。

［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、プリンタのよく使う機能を「お気に入り」として登録することができます。

メモ　［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダの設定は、プリンタのフルコントロールアクセス権を持っている必要があります。［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示できない場合は、アプリケーションソフトから表示してください。

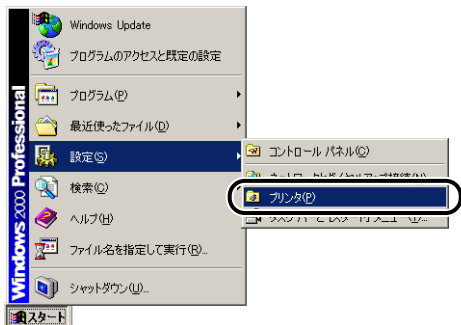
アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示する

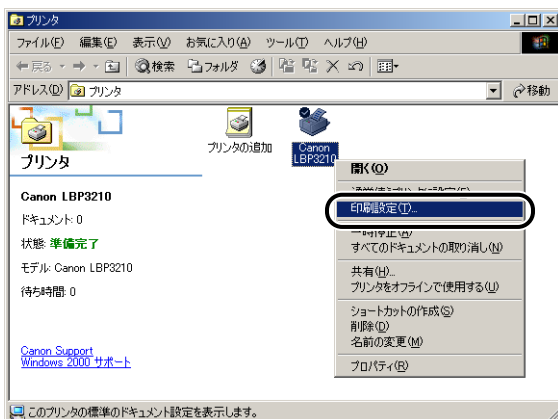
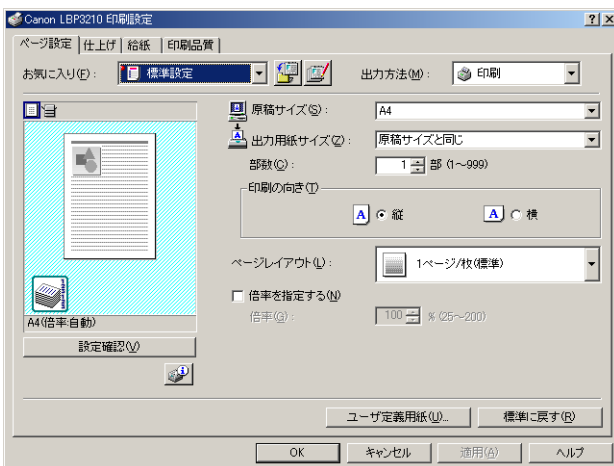
ここでは、Adobe Reader 6.0 を例に手順を説明します。

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2 プリンタ名を確認し、［プロパティ］をクリックします。

［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示する

1 ［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順にクリックします。
Windows Vista の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダが表示されます。

2 本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［印刷設定］を選択します。

［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　Windows 2000/XP/Server 2003の場合、［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスは、本プリンタのアイコンを選択したあと、［ファイル］メニューから［印刷設定］を選択しても表示できます。

[プリンタ] または [プリンタと FAX] フォルダから [プリンタプロパティ] ダイアログボックスを表示する

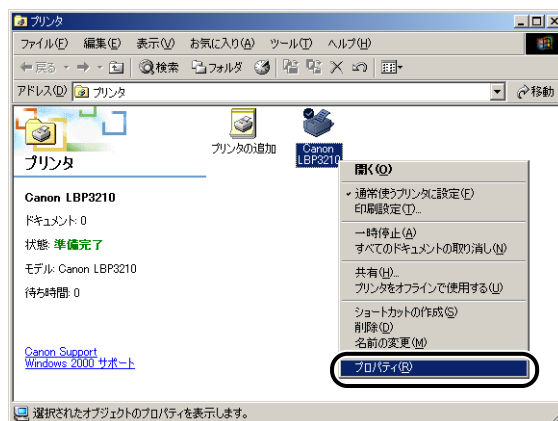
1 [スタート] メニューから [設定] → [プリンタ] を選択します。

Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]→[プリンタと FAX]の順にクリックします。
Windows Vista の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。

[プリンタ] または [プリンタと FAX] フォルダが表示されます。

2 本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから [プロパティ] を選択します。

4

Windowsから印刷するには

［プリンタプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、［プリンタプロパティ］ダイアログボックスは、本プリンタのアイコンを選択したあと、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択しても表示できます。

いろいろな印刷機能を使用する

ここでは、Windows をお使いの場合のいろいろな印刷機能を説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

プリンタドライバのページについて

［プリンタプロパティ］ダイアログボックス、［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスには次のようなページがあり、いろいろな印刷機能を設定できます。ページのタブをクリックすると、表示されるページが切り替わります。

ここでは、どのページでどのような印刷条件が設定できるかを説明します。

■ Windows 98/Me の場合

- ［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックス
  - ·［ページ設定］ページ
  - ·［仕上げ］ページ
  - ·［給紙］ページ
  - ·［印刷品質］ページ
- ［プリンタプロパティ］ダイアログボックス
  - ·［全般］ページ
  - ·［詳細］ページ
  - ·［共有］ページ
  - ·［ページ設定］ページ
  - ·［仕上げ］ページ
  - ·［給紙］ページ
  - ·［印刷品質］ページ
  - ·［デバイスの設定］ページ

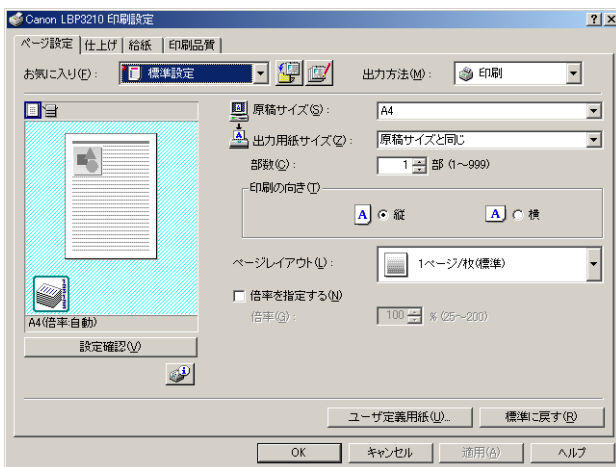
■ Windows 2000/XP/Server 2003/Vista の場合

- ［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックス
  - ·［ページ設定］ページ
  - ·［仕上げ］ページ
  - ·［給紙］ページ
  - ·［印刷品質］ページ
- ［プリンタプロパティ］ダイアログボックス
  - ·［全般］ページ
  - ·［共有］ページ

・[ポート]ページ
・[詳細設定]ページ
・[セキュリティ]ページ
・[デバイスの設定]ページ
・[お気に入り]ページ

メモ　操作の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。
オンラインヘルプは次の方法で表示できます。表示したオンラインヘルプを閉じるときはオンラインヘルプ内をクリックします。
・コンピュータのキーボードの［Tab］キーを押して表示させたい項目を選択し、[F1]キーを押します。
・表示させたい項目を右クリックし、ポップアップメニューの［ヘルプ］をクリックします。
・[タイトルバー］の［?］（ヘルプ）をクリックし、［?］のついたカーソルを表示させたい項目の上に移動してクリックします。(Windows Vistaの場合、この方法で表示することはできません。)
Windows Vista の場合、オンラインヘルプを表示するには、Windows ヘルプアプリケーション(WinHlp32.exe)が必要です。Windowsヘルプアプリケーション(WinHlp32.exe)がインストールされていない場合は、Microsoft 社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
ダウンロード方法などについては、プリンタドライバやプリンタステータスウィンドウの［ヘルプ］をクリックし、[Windows ヘルプとサポート］ダイアログボックスを参照してください。

[ページ設定］ページ

［ページ設定］ページでは、次の印刷条件を設定できます。

■ 原稿サイズ

［原稿サイズ］プルダウンメニューを表示し、適切なサイズをクリックして選択します。

選択できる［原稿サイズ］は以下のとおりです。

- 定形サイズの用紙（A3 サイズ～ A5 サイズ、リーガルサイズ～エグゼクティブサイズ）
- はがき（はがき、往復はがき）

• 封筒（洋形 4 号、洋形 2 号）
• ユーザ定義用紙（→P.4-39）

メモ　［原稿サイズ］でプリンタで使用できる用紙サイズより大きい用紙を設定し、［出力用紙サイズ］で［原稿サイズと同じ］を選択した場合、A3、B4 サイズは A4 用紙に縮小されて印刷されます。

■ 出力用紙サイズ

［出力用紙サイズ］プルダウンメニューを表示し、実際に印刷する用紙のサイズを選択します。

選択できる［出力用紙サイズ］は以下のとおりです。

• 原稿サイズと同じ
• 定形サイズの用紙（A4 サイズ～ A5 サイズ、リーガルサイズ～エグゼクティブサイズ）
• はがき（はがき、往復はがき）
• 封筒（洋形 4 号、洋形 2 号）
• ユーザ定義用紙（→P.4-39）

メモ
• ［原稿サイズ］と同じサイズの用紙に印刷する場合は、［原稿サイズと同じ］を選択してください。
• ［原稿サイズ］と異なるサイズの用紙を選択した場合は、原稿を拡大または縮小して印刷します。
• アプリケーションソフトで複数の用紙サイズが設定されているデータを印刷する場合、プリンタドライバの［出力用紙サイズ］で特定の用紙サイズを指定すると、［出力用紙サイズ］で指定された用紙サイズに統一されて印刷されます。
• アプリケーションソフトで原稿サイズ、部数、印刷の向きなどを設定できる場合は、［ページ設定］ページで設定する必要はありません。

■ 部数

印刷する部数を設定します。

［部数］スピンボタンをクリックするか、スピンボックスに数字を入力します。設定できる部数は、1 ～ 999 部です。

■ 印刷の向き

印刷する用紙を縦長に使うか、横長に使うかを設定します。

［印刷の向き］で［縦］または［横］をクリックします。

■ ページレイアウト（→P.4-32）

• N ページ／（枚）
1 枚の用紙に複数ページのデータを印刷します。
選択できるページ数は、1、2、4、8、9、16 ページ／枚のいずれかです。
2、4、8、9、16 ページ／枚を選択すると、［配置順］プルダウンメニューが表示され、ページを並べる順番を選択できます。

• ポスター
1 ページ分の画像を拡大して、複数枚の用紙上に分割して印刷します。
選択できる分割ページ数は、2 × 2、3 × 3、4 × 4 のいずれかです。

■ 倍率を指定する／配置順（→P.4-34）

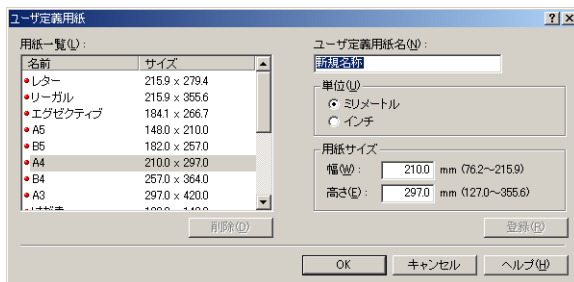
［ページレイアウト］で 1 ページ／枚を選択しているときは［倍率を指定する］が表示されます。2、4、8、9、16 ページ／枚を選択しているときは［配置順］が表示されます。

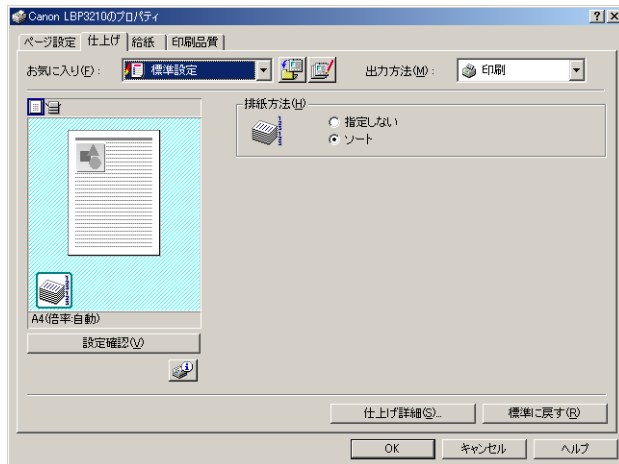
- 倍率を指定する：［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］が異なる場合は、自動的に倍率を設定して、拡大／縮小印刷を行います。倍率を任意に設定する場合は、［倍率を指定する］を選択し、スピンボックスの数値を変更します。設定できる倍率は 25 ～ 200% です。
- 配置順：1 枚の用紙に複数ページのデータを印刷するとき、ページを並べる順番を選択できます。

■ ユーザ定義用紙（→P.4-39）

［ユーザ定義用紙］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、印刷に使用する定形サイズ以外のユーザ定義用紙の幅と高さを設定します。

登録できるユーザ定義用紙は、Windows 98/Me の場合は最大 30 個まで、Windows 2000/XP/Server 2003/Vista の場合はご使用のシステム環境によって異なります。

［仕上げ］ページ

［仕上げ］ページでは、次の印刷条件を設定できます。

■ 排紙方法

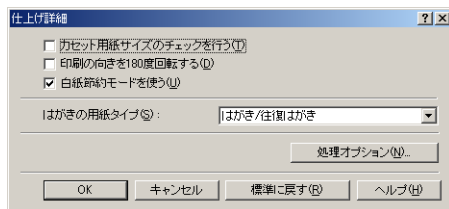
排紙方法を以下の項目から設定します。

• 指定しない：ページごとに指定された部数を印刷します。

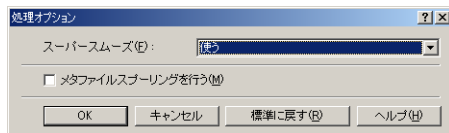
• ソート：ページ順に指定された部数を繰り返して印刷します。

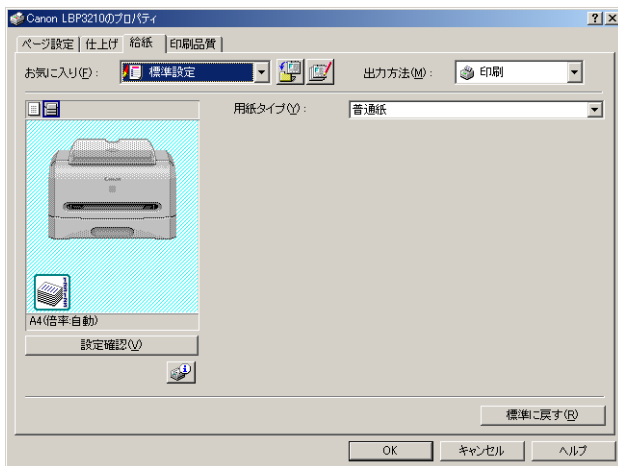
■ 仕上げ詳細（→P.4-41）

［仕上げ詳細］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、印刷処理に適用するさまざまな項目を設定します。

■ 処理オプション（→P.4-42）

［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、仕上げに関する詳細な設定を行います。

［給紙］ページ

［給紙］ページでは、次の印刷条件を設定できます。

■ 用紙タイプ

プリンタで使用する用紙の種類を設定します。

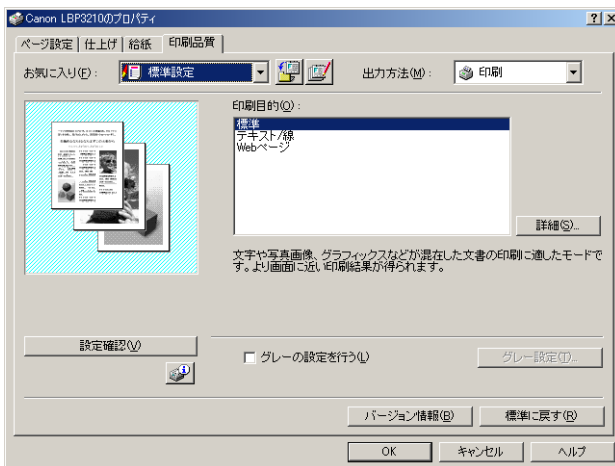
次のように設定してください。

ドライバの設定	用紙の種類
[普通紙]	普通紙（64 ～ 80g/m2）
[普通紙 L]	[普通紙] に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合に設定します。
[厚紙]	厚紙（81 ～ 105g/m2）、ラベル用紙 [普通紙] に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときにも、[厚紙] に設定します。
[厚紙 H]	厚紙（106 ～ 163g/m2）
[OHP フィルム]	OHP フィルム

* 封筒の場合は、[ページ設定] ページの [出力用紙サイズ] を設定すると自動的に封筒に適した印刷モードで印刷されます。

* はがきや往復はがきの場合は、[仕上げ] - [仕上げ詳細] の順にクリックし、[仕上げ詳細] ダイアログボックスの [はがきの用紙タイプ] で用紙タイプを選択します。

[印刷品質] ページ

[印刷品質] ページでは、次の印刷条件を設定できます。

■ 印刷目的（→P.4-43）

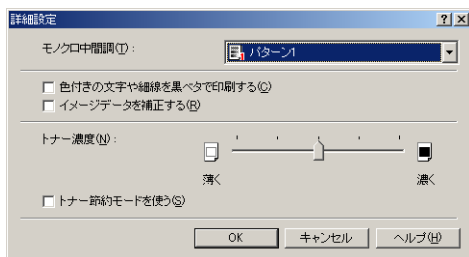
原稿の内容に合わせて以下の項目から適切な印刷目的を選択すると、内容に合った最適な設定で印刷を行うことができます。

- 標準：文字や写真画像、グラフィックスなどが混在した文書の印刷に適したモードです。より画面に近い印刷結果が得られます。
- テキスト / 線：色付きの文字や細線などの印刷に適したモードです。色付きの文字や細線を黒ベタで印刷します。

- Web ページ：Web ページ上のイラストなどの印刷に適したモードです。通常印刷では粗くなったり、ギザギザになったりする低解像度のイメージデータをなめらかに印刷します。

■ 詳細（→P.4-43）

［詳細］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

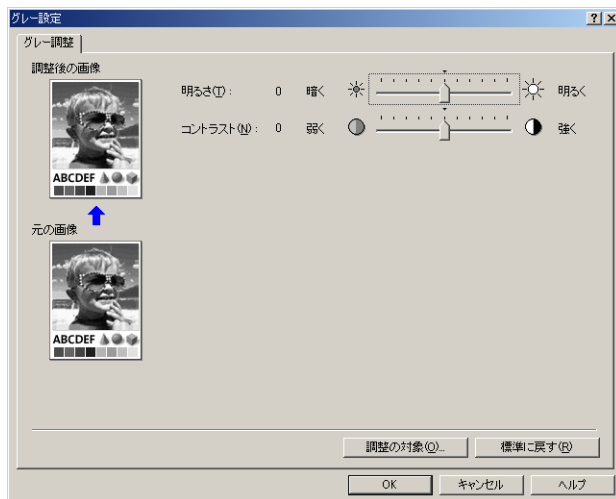
このダイアログボックスでは印刷設定をお好みに合わせて変更することができます。

重要　トナー節約モードを使用すると、印字濃度が薄くなり、文字がかすれる場合があります。

■ グレーの設定を行う（→P.4-45）

グレーに関して独自の設定をするときにチェックマークを付けます。グレーに関して詳細設定を行うには、［グレー設定］をクリックして［グレー設定］ダイアログボックスを表示します。

■ グレー設定（→P.4-45）

［グレー設定］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

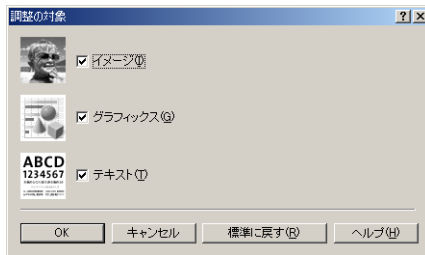
このダイアログボックスでは、印刷するときの明るさやコントラストを設定します。

■ 調整の対象

［グレー調整］ページにある［調整の対象］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

グレーの調整をどの種類の印刷データに対して行うかを選択します。1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合は、調整を行う前に、設定の対象を選択してください。それぞれに調整を行うかどうかを設定できます。

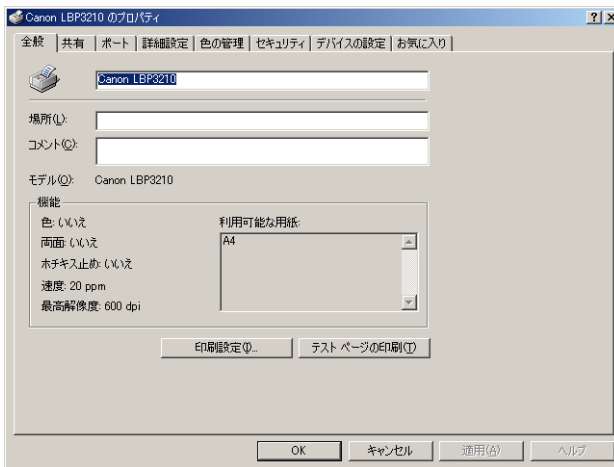
イメージ：写真画像などのイメージデータに対する調整を行う場合はチェックマークを付けます。

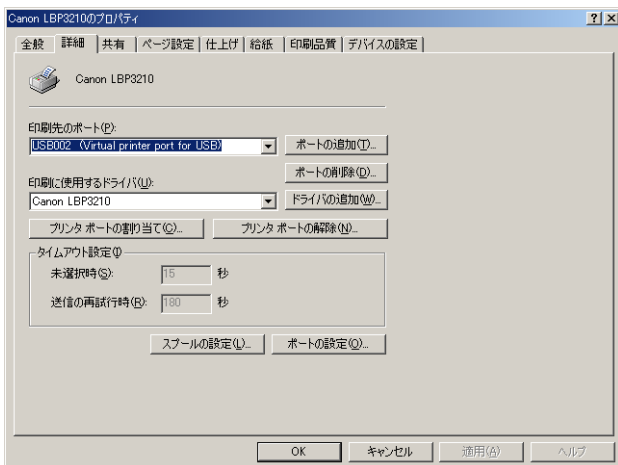
グラフィックス：図形、表、グラフなどのグラフィックスデータに対する調整を行う場合はチェックマークを付けます。

テキスト：文字などのテキストデータに対する調整を行う場合はチェックマークを付けます。

［全般］ページ

プリンタ名が表示されます。プリンタの印字テストをすることができます。

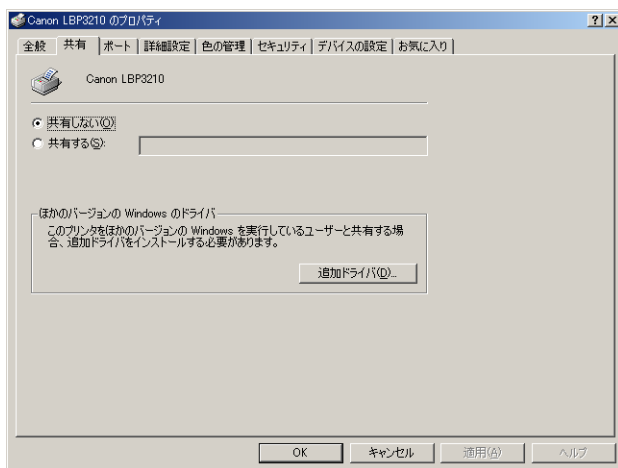
4

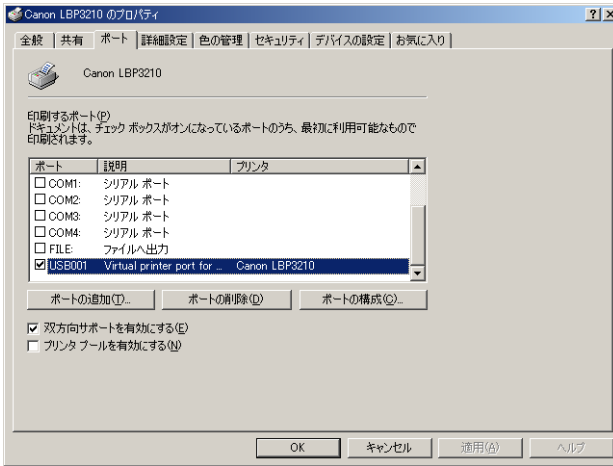
Windowsから印刷するには

[詳細] ページ（Windows 98/Me のみ）

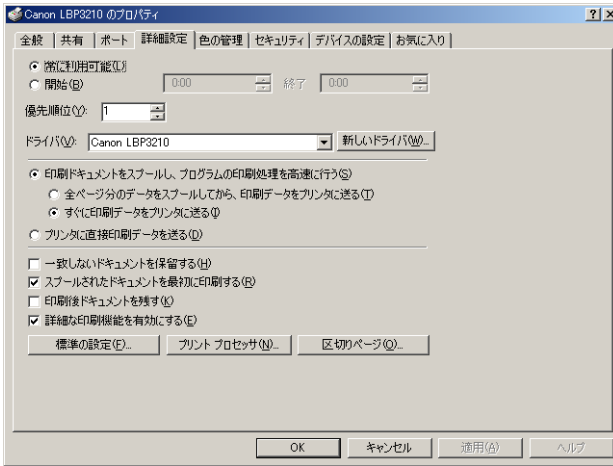
プリンタポートの設定やドライバの追加、スプールの設定などができます。

[共有] ページ

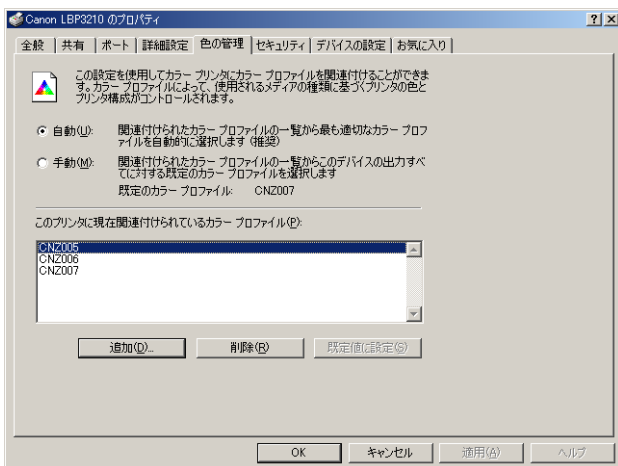
プリンタを共有するかしないかを設定できます。

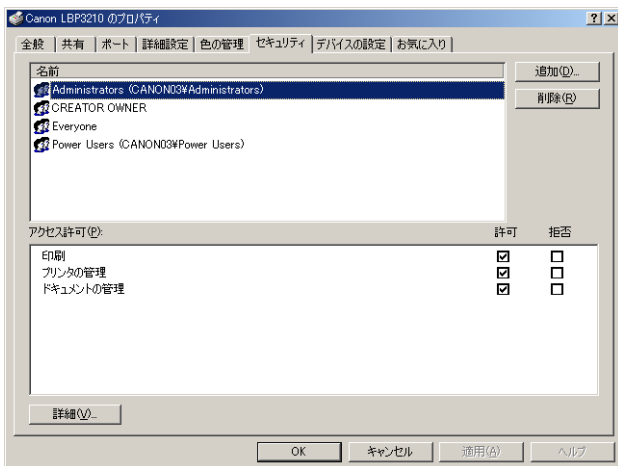
メモ

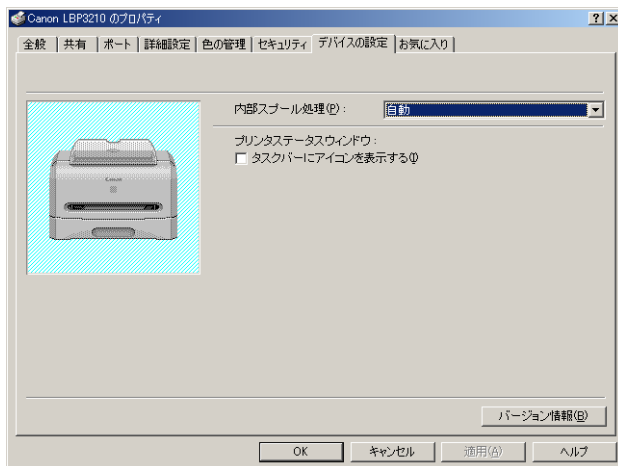
- Windows 98/Me の場合は、ネットワークの設定で［Microsoft ネットワーク共有サービス］の追加を行っていないときは、［共有］ページは表示されません。(➞P.3-39)
- Windows 2000/XP/Server 2003/Vista の場合は、ネットワークの設定を行っていないときは、［共有］ページは表示されません。(➞P.3-43)

[ポート]ページ(Windows 2000/XP/Server 2003/Vistaのみ)

プリンタポートの追加、削除、構成などができます。

[詳細設定]ページ(Windows 2000/XP/Server 2003/Vistaのみ)

プリンタの利用可能時間、スプールの処理など詳細な設定ができます。

[色の管理]ページ(Windows 2000/XP/Server 2003/Vistaのみ)

［色の管理］ページは使用しません。

[セキュリティ]ページ(Windows 2000/XP/Server 2003/Vista のみ)

ログオンユーザー名ごとのアクセス許可の状況が確認できます。

［デバイスの設定］ページ

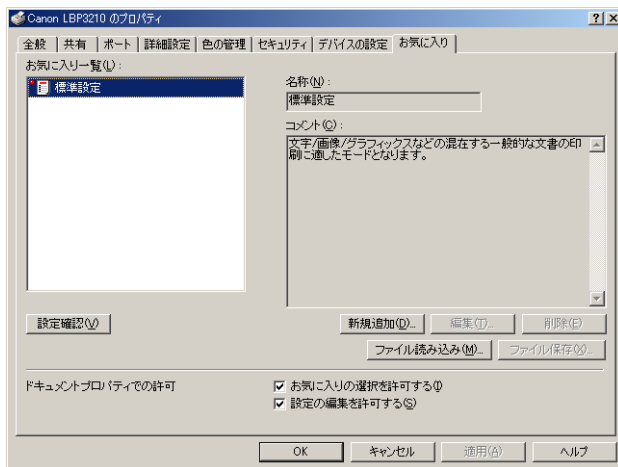
［デバイスの設定］ページでは、プリンタステータスウィンドウの表示のしかたなどを設定できます。

■ 内部スプール処理（Windows 2000/XP/Server 2003/Vista のみ）

内部スプール処理を行うかどうかを設定します。

■ タスクバーにアイコンを表示する（→P.4-60）

この項目にチェックマークを付けると、Windows のタスクバーにプリンタステータスウィンドウを起動するためのアイコンが追加されます。

［お気に入り］ページ（Windows 2000/XP/Server 2003/Vista のみ）

新しい「お気に入り」を追加したり、すでに登録済みの「お気に入り」を編集することができます。

■ お気に入り一覧

「お気に入り」として登録されている項目を一覧表示します。

■ 名称

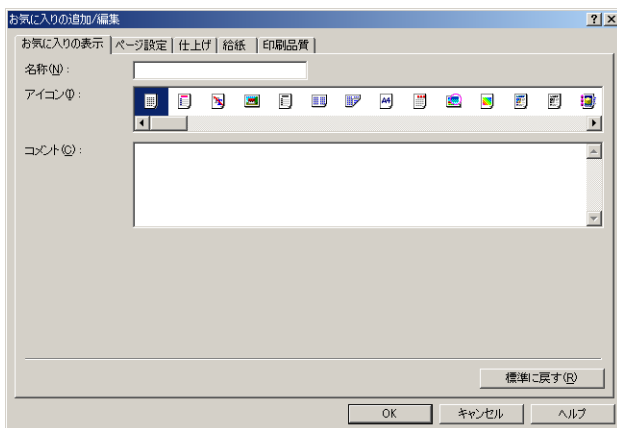
［お気に入り一覧］で選択されている項目の名前を表示します。

■ コメント

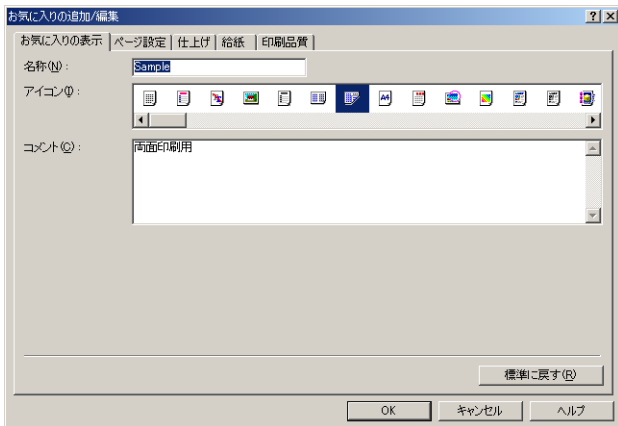
［お気に入り一覧］で選択されている項目に対するコメントを表示します。

■ 新規追加（→P.4-47）

［新規追加］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、新しく追加する「お気に入り」または編集対象となる「お気に入り」の［名称］、［アイコン］、［コメント］や印刷条件を設定します。

■ 編集（→P.4-49）

［編集］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、新しく追加する「お気に入り」または編集対象となる「お気に入り」の［名称］、［アイコン］、［コメント］や印刷条件を設定します。

■ 削除（→P.4-49）

登録した「お気に入り」を削除します。

■ ファイル読み込み（→P.4-49）

ファイルとして保存した「お気に入り」を読み込んでプリンタドライバに登録することができます。

■ ファイル保存（→P.4-50）

登録または編集した「お気に入り」をファイルとして保存することができます。

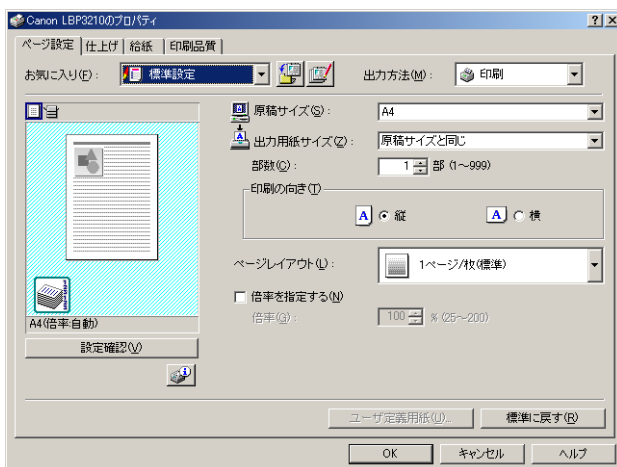
■ お気に入りの選択を許可する

［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスで「お気に入り」を選択できるようになります。

■ 設定の編集を許可する

［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスであらかじめ登録されている「お気に入り」の設定のほかに、さらに任意の設定を追加できるようになります。

プレビュー画面について

［ページ設定］、［給紙］、［仕上げ］ページにあるプレビュー画面には、現在の設定が表示されます。また、プレビュー画面をクリックすることによって［ページレイアウト］、［排紙方法］の設定を行うことができます。

プレビュー画面の左上にあるアイコン（、）のどちらを選択しているかで、プレビュー画面での操作が以下のように異なります。

■ を選択している場合

［ページレイアウト］の設定ができます。

プレビューのページ枠内を繰り返し左クリックすると、［ページレイアウト］の設定が［1 ページ / 枚 (標準)］、［2 ページ / 枚］、［4 ページ / 枚］の順に繰り返し変更されます。

また、プレビューを右クリックすると、［1 ページ / 枚］、［2 ページ / 枚］、［4 ページ / 枚］を選択できます。

■ を選択している場合

［排紙方法］が設定できます。

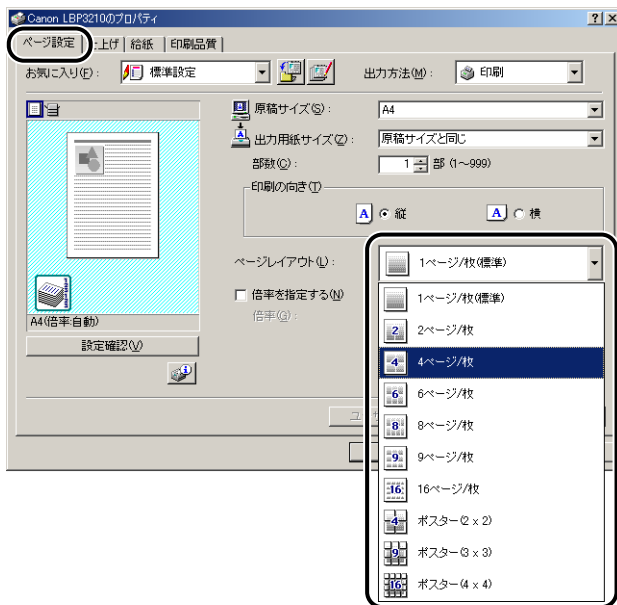
プレビューを右クリックすると、［指定しない］、［ソート］を選択できます。

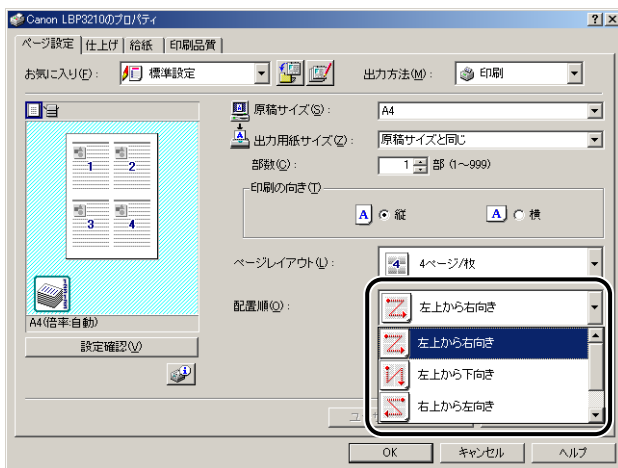
用紙 1 枚に複数ページを印刷する

1 枚の用紙に複数ページのデータを印刷します。

1 Windows 2000/XP/Server 2003/Vista の場合、[デバイスの設定] ページを表示し、[内部スプール処理] から [自動] を選択します。

2 ［ページ設定］ページを表示し、［ページレイアウト］で１枚に収めるページ数を選択します。

選択できるページ数は、1、2、4、6、8、9、16 ページ／枚のいずれかです。

3 2、4、6、8、9、16ページ／枚を選択すると、［配置順］が表示されます。ページを並べる順番を選択します。

メモ

［配置順］プルダウンメニューの選択肢は、印刷する用紙の向きや１枚に収めるページ数によって異なります。

4 設定内容を確認し、[OK]をクリックします。

拡大/縮小して印刷する

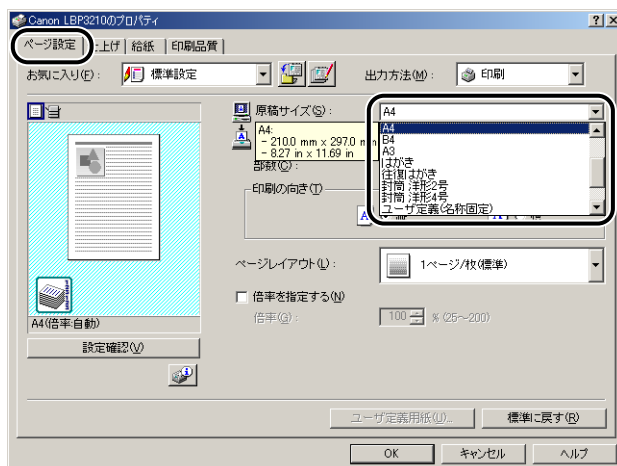
[ページレイアウト]が[1 ページ/枚(標準)]に設定されているとき選択できます。

[原稿サイズ]と[出力用紙サイズ]が異なる場合は、自動的に倍率を設定して、拡大/縮小印刷を行います。

倍率を任意に設定することもできます。

設定できる倍率は 25 ~ 200% です。

自動で倍率を設定する

1 [ページ設定]ページを表示し、[原稿サイズ]を指定します。

2 [出力用紙サイズ]を指定します。

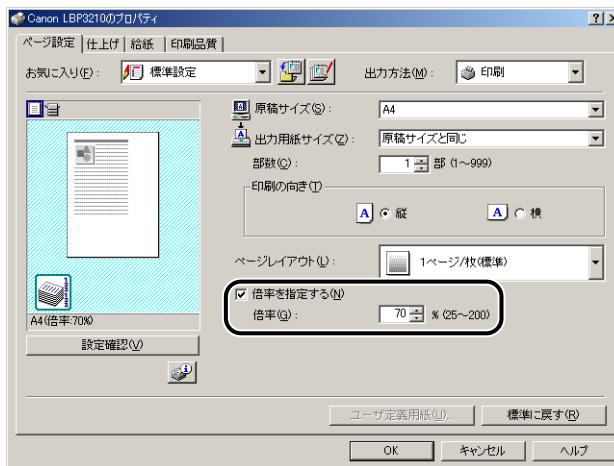
3 設定内容を確認し、[OK]をクリックします。

指定した[原稿サイズ]と[出力用紙サイズ]に合わせて、自動的に倍率が設定されます。

任意に倍率を設定する

1 ［ページ設定］ページを表示し、［原稿サイズ］を指定します。

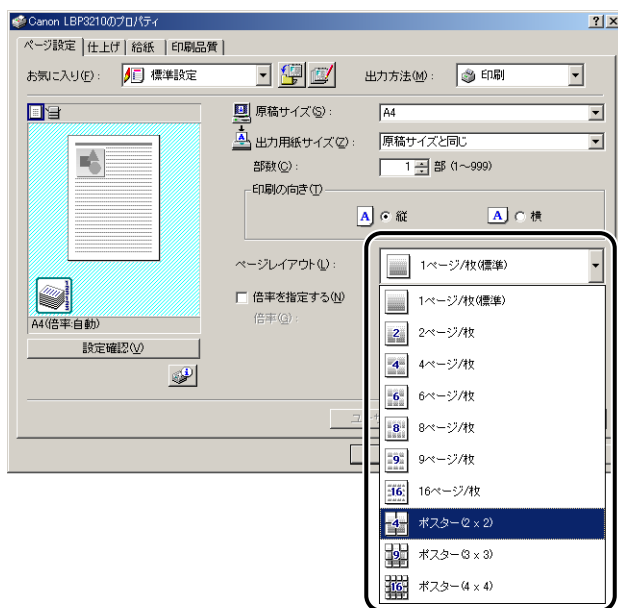
2 ［出力用紙サイズ］を指定します。

3 ［倍率を指定する］にチェックマークを付けて、スピンボックスの数値を変更します。

4 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

ポスター印刷を行う

1 ページ分の画像を拡大して、複数枚の用紙上に分割して印刷することができます。この複数枚の出力用紙を貼り合わせて、ポスターのような大きなプリントを作成します。

1 Windows 2000/XP/Server 2003/Vista の場合、[デバイスの設定] ページを表示し、[内部スプール処理] から [自動] を選択します。

2 ［ページ設定］ページを表示し、［ページレイアウト］から［ポスター（N x N)］（N = 2、3、4）を選択します。

印刷後のレイアウトイメージがプレビュー画面に表示されます。

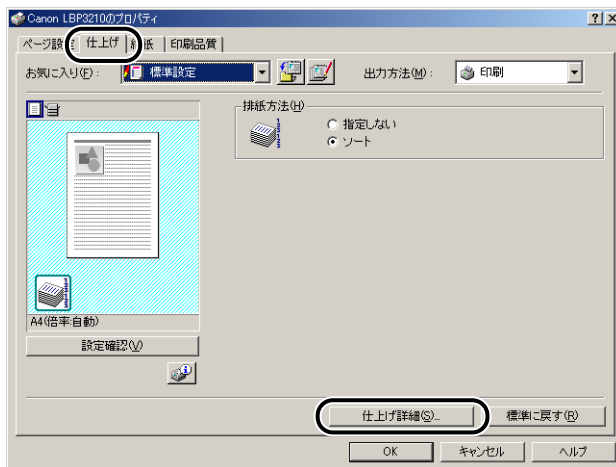
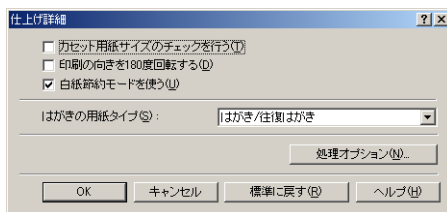
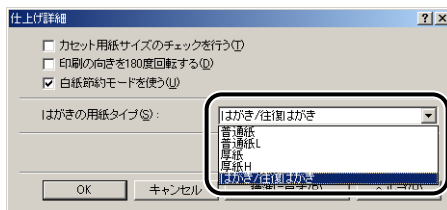
3 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

- 出力用紙（複数枚に分割された用紙）の印刷順序は、「左上から右方向」になります。
- ポスター印刷を行う場合、［配置順］の設定はできません。

はがきや往復はがきの用紙サイズに印刷する

はがきや往復はがきの用紙サイズに印刷を行います。

郵便はがき、郵便往復はがきの他に、はがきや往復はがきサイズの普通紙や厚紙にも印刷することができます。

1 ［仕上げ］ページを表示し、［仕上げ詳細］をクリックします。

［仕上げ詳細］ダイアログボックスが表示されます。

2 ［はがきの用紙タイプ］プルダウンメニューで用紙タイプを選択します。

はがきの用紙タイプは以下のように設定します。

[普通紙]：　普通紙（64 ～ 80g/m²）

[普通紙 L]：　[普通紙] に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合に設定します。

[厚紙]：　厚紙（81 ～ 105g/m²）、ラベル用紙
[普通紙] に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときにも、[厚紙] に設定します。

[厚紙 H]：　厚紙（106 ～ 163g/m²）

[はがき／往復はがき]：　郵便はがき、郵便往復はがき

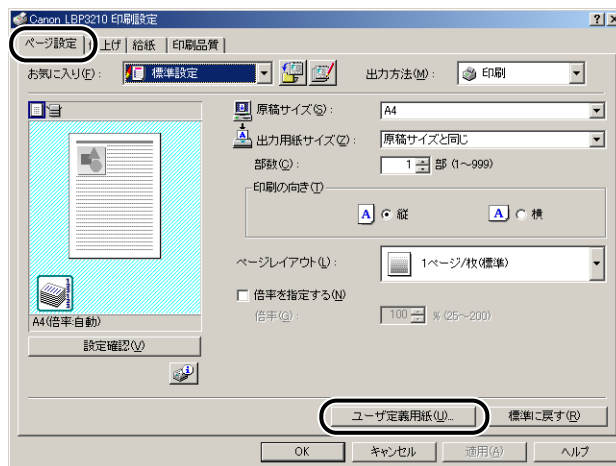
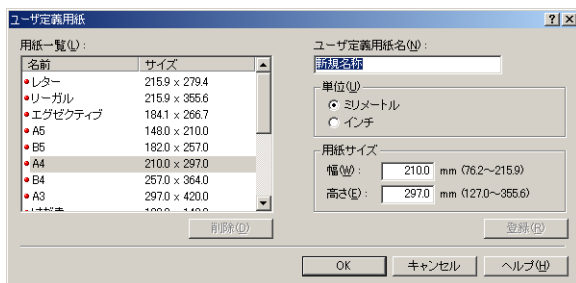
3 **設定内容を確認し、[OK] をクリックします。**

[仕上げ] ページに戻ります。

ユーザ定義用紙（不定形用紙）を設定する

用紙サイズを任意に設定します。

メモ　ユーザ定義用紙の設定は、以下のダイアログボックスを表示して行います。
・Windows 2000/XP/Server 2003/Vista の場合
[プリンタ] フォルダ（Windows XP/Server 2003 は [プリンタと FAX] フォルダ）から [ドキュメントプロパティ] ダイアログボックスを表示して設定します。
・Windows 98/Me の場合
[プリンタ] フォルダから [プリンタプロパティ] ダイアログボックスを表示して設定します。

1 **[ページ設定] ページを表示し、[ユーザ定義用紙] をクリックします。**

［ユーザ定義用紙］ダイアログボックスが表示されます。

2 必要に応じて以下の項目を設定します。

［用紙一覧］：　定形用紙と登録済みのユーザ定義用紙の名称とサイズが表示されます。

［ユーザ定義用紙名］：　登録するユーザ定義用紙の名称を入力します。Windows 98/Me の場合は、半角31 文字／全角 15 文字まで、Windows 2000/XP/Server 2003/Vista の場合は、半角 / 全角 31 文字まで入力できます。

［単位］：　ユーザ定義用紙のサイズを設定するときに使用する単位（ミリメートルまたはインチ）を選択します。

［用紙サイズ］：　ユーザ定義用紙の高さと幅（高さ≧幅）を設定します。用紙サイズは、縦長（高さ≧幅）かつ、定義可能な範囲内で指定してください。

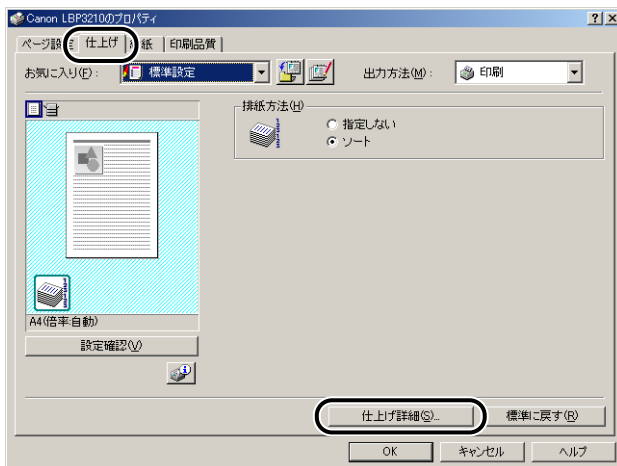
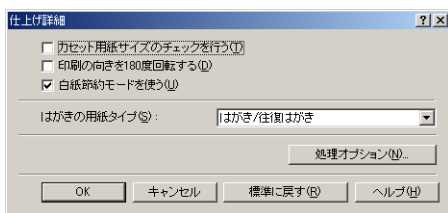
3 ［登録］をクリックします。

メモ　登録できるユーザ定義用紙は、Windows 98/Me の場合は最大 30 個まで、Windows 2000/XP/Server 2003/Vista の場合はご使用のシステム環境によって異なります。

4 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

印刷の仕上げ方法を設定する

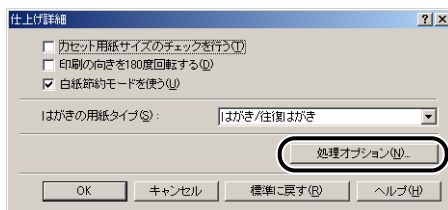
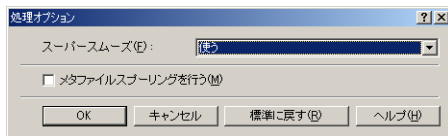
印刷処理に適用するさまざまなオプションを設定します。

1 ［仕上げ］ページを表示し、［仕上げ詳細］をクリックします。

［仕上げ詳細］ダイアログボックスが表示されます。

2 必要に応じて以下の項目を設定します。

［カセット用紙サイズのチェックを行う］：

この項目にチェックマークを付けると、印刷するジョブの［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］の設定と直前に印刷したジョブの［出力用紙サイズ］の設定が異なる場合、メッセージが表示され、プリンタが停止します。印刷を再開する場合は、プリンタステータスウィンドウの［ ］（エラー復帰）をクリックするか、正しい用紙にセットしなおします。ただし、電源のオフ／オンやセットしていた用紙を取り除いた直後のジョブは［出力用紙サイズ］の設定に関わらず、メッセージは表示されずに、現在セットしている用紙で印刷します。

[印刷の向きを 180 度回転する]：	画像を 180 度回転させて用紙に印字します。特定方向のみでしか給紙できない封筒やインデックス紙などを印刷するときに便利な機能です。
[白紙節約モードを使う]：	この項目にチェックマークを付けると、印刷するジョブに白紙ページがある場合、白紙ページは排出されません。
[はがきの用紙タイプ]：	はがきと往復はがきの用紙サイズに印刷する場合の用紙タイプを選択します。この項目の設定に合わせて、プリンタは良好な印刷結果が得られるような内部処理を行います。

3 [仕上げ詳細] ダイアログボックスの [処理オプション] をクリックします。

[処理オプション] ダイアログボックスが表示されます。

4 必要に応じて以下の項目を設定します。

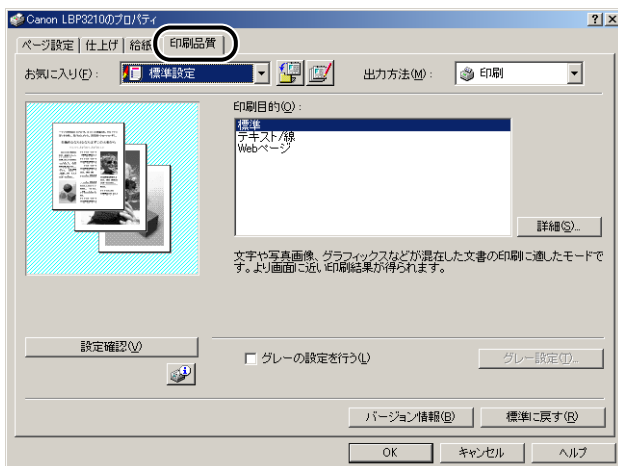
[スーパースムーズ]：	スムージング処理を行うかどうかを設定します。スムージング処理を行うと、文字や図形のギザギザの輪郭がなめらかに印刷されます
[メタファイルスプーリングを行う]（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）：	印刷データを EMF（メタファイル）形式でスプールするかどうかを設定します。この項目にチェックマークを付けると、EMF 形式でスプーリングが行われます。

5 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

[仕上げ詳細] ダイアログボックスに戻ります。

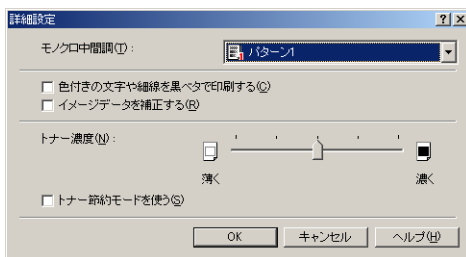
印刷の品質を設定する

［印刷目的］の中から項目を選択するだけで、原稿の内容に適した適切な印刷を行うことができます。

1 ［印刷品質］ページを表示し、［印刷目的］を設定します。

詳細な設定を行う場合は、［詳細］をクリックします。

［詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。

4

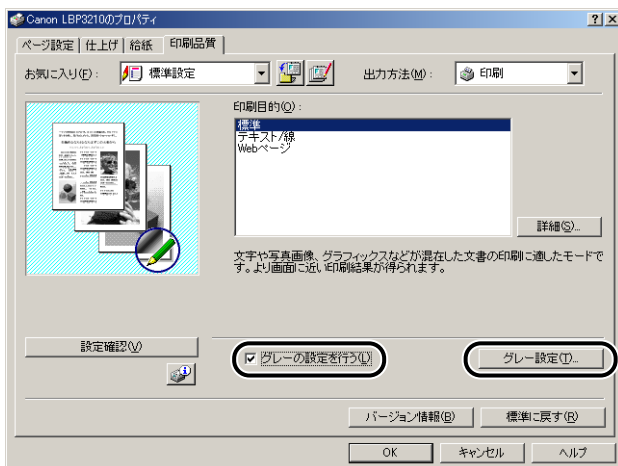
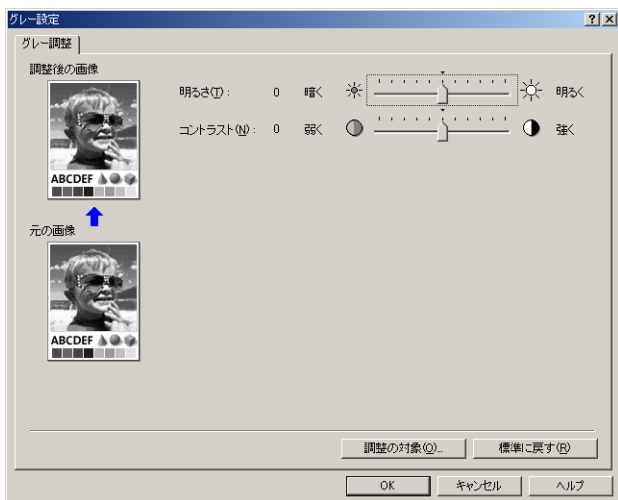
Windowsから印刷するには

2 必要に応じて以下の項目を設定します。

[モノクロ中間調]：	モノクロデータの微妙な階調（中間の階調）の表現方法を選択します。 [パターン 1]：グレーの文字や色のついた文字ははっきりとシャープに、写真画像や図形はなめらかな階調で印刷します。比較的安定した、むらの少ない印字結果が得られます。 [パターン 2]：文字・図形・表・グラフ、写真画像のそれぞれについて、ハーフトーンの濃さを合わせて印刷します。 [パターン 3]：[パターン 1] や [パターン 2] に設定して印刷した結果、文字・図形・表・グラフなどが極端に薄かったり、消えてしまうような場合に設定します。ただし、図形・表・グラフなどが [パターン 1] や [パターン 2] に設定した印刷結果よりも濃くなったり、なめらかな階調が得られなくなることがあります。 [なし(黒ベタ)]：白以外の色をすべて黒で印刷します。
[色付きの文字や細線を黒ベタで印刷する]：	色付きの文字や CAD 画像などの細線が破線で出力される場合は、本項目にチェックマークを付けてください。細い線などがきれいに印刷できる場合があります。
[イメージデータを補正する]：	写真画像などのイメージデータをアプリケーションソフト上で拡大して印刷すると、粗くなったり、ギザギザになったりすることがあります。そのような低解像度のイメージデータをなめらかにして印刷するときに設定してください。
[トナー濃度]：	印刷するトナーの濃度を調節します。[トナー濃度] のつまみを左右にドラッグして調節します。
[トナー節約モードを使う]：	トナー節約機能を使用すると、データを間引いて印刷が行われるため印刷時のトナー使用量を節約することができます。

3 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

グレーの設定をする

グレーに関して独自の設定を行うことができます。

1 ［印刷品質］ページを表示し、［グレーの設定を行う］にチェックマークを付け［グレー設定］をクリックします。

［グレー設定］ダイアログボックスが表示されます。

2 必要に応じて以下の項目を設定します。

[調整の対象]：　グレーの調整をどの種類の印刷データに対して行うかを選択します。1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合は、調整を行う前に、設定の対象を選択してください。それぞれに調整を行うかどうかを設定できます。

[明るさ]：　印刷するときの明るさを調整します。[明るさ] のつまみを左右にドラッグして調整します。

[コントラスト]：　印刷するときのコントラストを調整します。[コントラスト] のつまみを左右にドラッグして調整します。

3 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

[印刷品質] ページに戻ります。

お気に入りを設定する

[ページ設定]、[仕上げ]、[給紙]、[印刷品質] の 4 つのページで設定した印刷条件を、まとめて保存／読み込みできます。また、設定を追加、編集、選択することができます。

印刷条件を [お気に入り] として保存するときは、次の手順で行います。

[ページ設定]、[仕上げ]、[給紙]、[印刷品質] のいずれかのページが表示されていることを確認して、操作をはじめます。

メモ

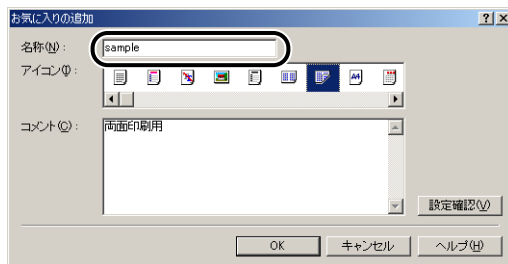
- Windows 98/Me の場合、お気に入りは最大 50 まで設定できます。ただし、[マイコンピュータ] ➞ [コントロールパネル] ➞ [パスワード] をダブルクリックし、[ユーザー別の設定] ページを表示させ [ログオン時に各ユーザーのデスクトップ設定に変更する] を選択した場合は、ログオンユーザー名ごとに最大 50 まで設定できます。
- Windows 2000/XP/Server 2003/Vista の場合、お気に入りはログオンユーザー名ごとに最大 50 まで設定できます。
- プリンタの名称を変更すると、保存したお気に入りが読み込めなくなります。名称を元に戻すと読み込み可能になります。
- プリンタドライバをアンインストールしても、お気に入り情報は削除されません。もう一度プリンタドライバをインストールしたあと、使用できるようになります。
- Windows 98/Me で保存したお気に入り情報のファイルを Windows 2000/XP/Server 2003/Vista で使用したり、Windows 2000/XP/Server 2003/Vista で保存したお気に入りの情報のファイルを Windows 98/Me で使用することはできません。
- [原稿サイズ] の設定は、お気に入りを選択しても変更されません。

お気に入りの新規追加

1 [ ]（お気に入りの追加）をクリックします。

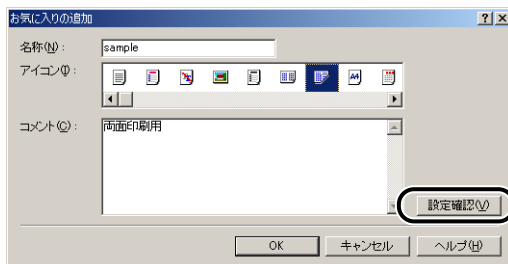
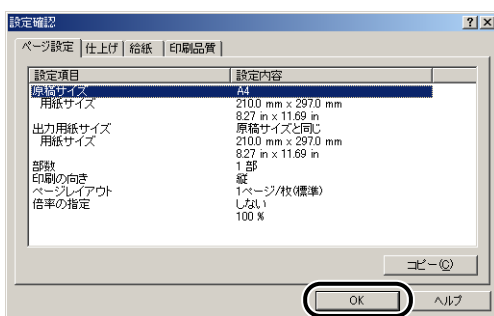
[お気に入りの追加］ダイアログボックスが表示されます。

2 [名称］にお気に入りの名前を入力します。

[アイコン］では、アイコンを選択できます。メモしておきたいことがあれば、[コメント］に入力します。

メモ

- Windows 98/Me の場合、[名称］には全角で 15 文字（半角 31 文字）まで、[コメント］には全角で 127 文字（半角 255 文字）まで入力できます。
- Windows 2000/XP/Server 2003/Vista の場合、[名称］には全角、半角にかかわらず 31 文字まで、[コメント］には全角、半角にかかわらず 255 文字まで入力できます。

● **設定内容の確認**

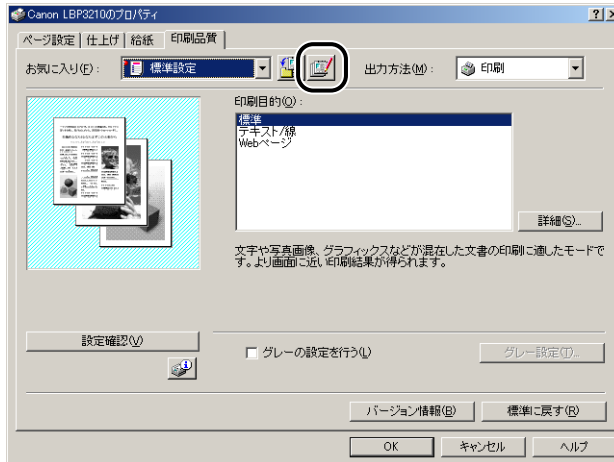
❏ ［設定確認］をクリックします。

❏ ［OK］をクリックすると、［お気に入りの追加］ダイアログボックスに戻ります。

3 ［OK］をクリックします。

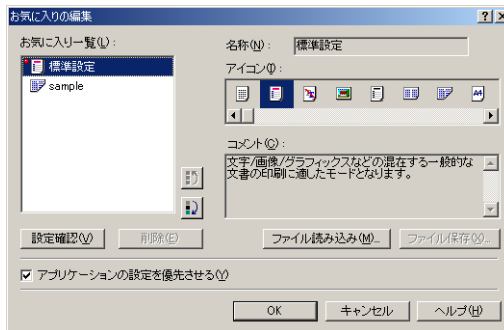
最初のページに戻ります。

設定したお気に入りの名称が、［お気に入り］のリストに追加されていることを確認します。

お気に入りの編集／削除

お気に入り情報の変更や保存、［お気に入り一覧］リストからの削除などができます。

1 ［ ］（お気に入りの編集）をクリックします。

［お気に入りの編集］ダイアログボックスが表示されます。

2 お気に入り情報を編集します。

● 編集のしかた

❏ ［名称］、［アイコン］、［コメント］の登録内容を変更できます。

❏ ［ ］、［ ］をクリックすると、選択されているお気に入りを並べ替えることができます。

❏ ［ファイル読み込み］をクリックすると、あらかじめ保存しておいたファイルからお気に入りの情報を読み込みます。

❏［ファイル保存］をクリックすると、選択されているお気に入りの情報をファイルに保存します。ファイルに保存しておくと、いったんリストから削除したお気に入りをもう一度使うことができます。

❏［アプリケーションの設定を優先させる］にチェックマークを付けると、アプリケーションソフトで設定した［原稿サイズ］、［印刷の向き］、［部数］の項目を優先して印刷します。お気に入りを変更しても前記の項目は、アプリケーションソフトの設定が有効になります。

● 削除のしかた

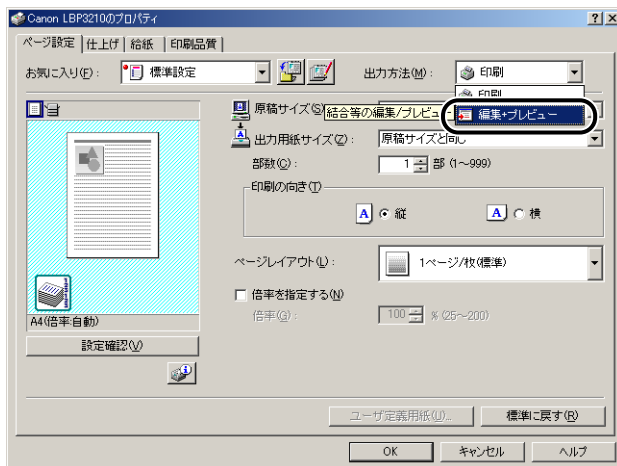
❏［削除］をクリックすると、お気に入りがリストから削除されます。

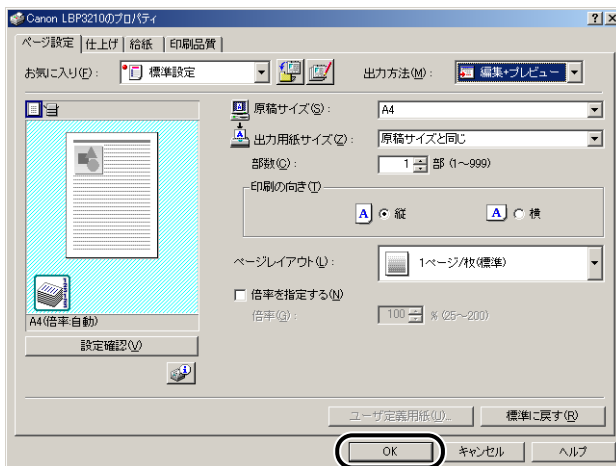
重要　削除できるのは独自に登録した「お気に入り」だけです。あらかじめ用意されている「お気に入り」を削除することはできません。また、各ページで選択中の「お気に入り」も削除することはできません。

ジョブを編集する

2 つ以上のジョブを 1 つに結合して印刷したり、さらに結合したジョブの設定内容を変更して印刷することができます。異なるアプリケーションのジョブの編集も可能です。
また、ジョブのプレビュー表示もできます。

［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスで［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］のいずれかのページが表示されていることを確認して、操作をはじめます。

1 ［出力方法］から［編集＋プレビュー］を選択します。

2 ［編集＋ プレビュー］モードのメッセージが表示されますので［OK］をクリックします。

3 各ページで印刷条件の設定を行い、［OK］をクリックします。

4 ［OK］または［印刷］をクリックします。

［Canon PageComposer］ダイアログボックスが表示され、ジョブがリストに表示されます。

5 編集したいジョブを同様に手順 1 から 4 を繰り返します。

6 ［Canon PageComposer］ダイアログボックスでリストにあるジョブの編集を行います。

メモ

- ［Canon PageComposer］ダイアログボックスでの詳しい設定方法については、Canon PageComposer のヘルプをご覧ください。
- ［プリンタプロパティ］ダイアログボックスで［編集＋プレビュー］モードを選択し、［ ］（ロック）を設定している場合は、印刷時に必ず［Canon PageComposer］ダイアログボックスが表示されます。

設定を確認する／設定を標準値に戻す

［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］、［デバイスの設定］の各ページで設定した印刷条件を、まとめて確認したり、標準値に戻すことができます。

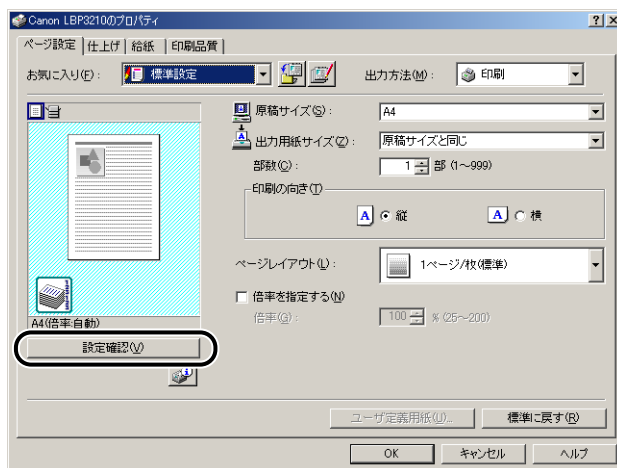
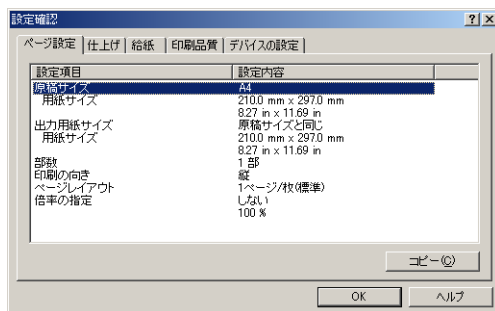
［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］のいずれかのページが表示されていることを確認して、操作をはじめます。

メモ　各ページではプレビューが表示されます。プレビューで印刷イメージの確認をすることもできます。

設定を確認する

1 ［設定確認］をクリックします。

［設定確認］ダイアログボックスが表示されます。

設定項目	設定内容
原稿サイズ	A4
用紙サイズ	210.0 mm x 297.0 mm 8.27 in x 11.69 in
出力用紙サイズ	原稿サイズと同じ
用紙サイズ	210.0 mm x 297.0 mm 8.27 in x 11.69 in
部数	1 部
印刷の向き	縦
ページレイアウト	1ページ/枚(標準)
倍率の指定	しない 100 %

［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］、［デバイスの設定］の各タブをクリックすると、それぞれのページで設定した印刷条件が一覧表示されます。

2 ［OK］をクリックします。

元のページに戻ります。

設定を標準値に戻す

設定を標準値に戻すには、［標準に戻す］をクリックします。

標準値に戻るのは、［標準に戻す］と同じページまたは同じダイアログボックスで表示されている条件のみになります。

［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］、［デバイスの設定］の５つのページの設定が、すべて一度に標準値に戻ることはありません。

取扱説明書について

ここでは、プリンタに付属の CD-ROM に収められている取扱説明書をお使いのコンピュータにインストールする方法とアンインストールする方法を説明します。

メモ　Macintosh をお使いの場合、取扱説明書のインストールやアンインストールはできません。

取扱説明書をインストールする

プリンタに付属の CD-ROMに収められている取扱説明書をお使いのコンピュータにインストールする場合は、以下の手順で行います。

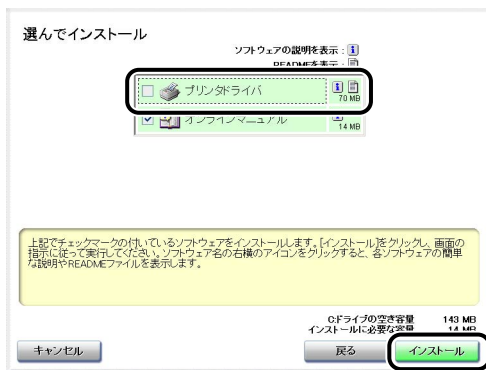
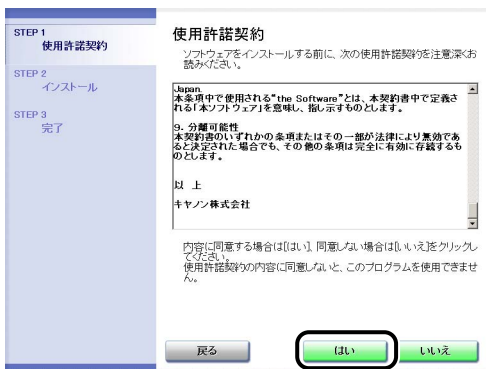
1 付属の CD-ROM「LBP3210 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

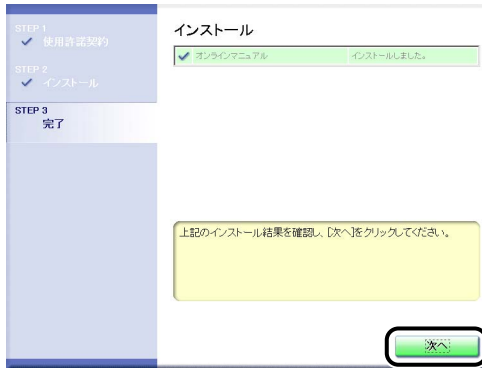
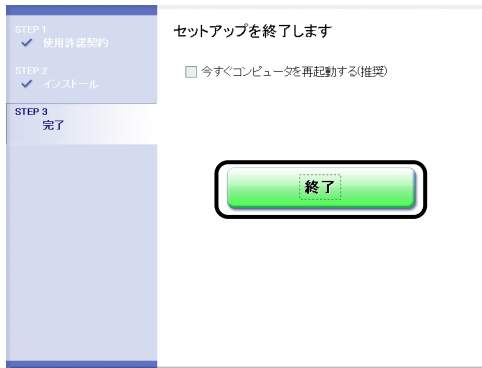
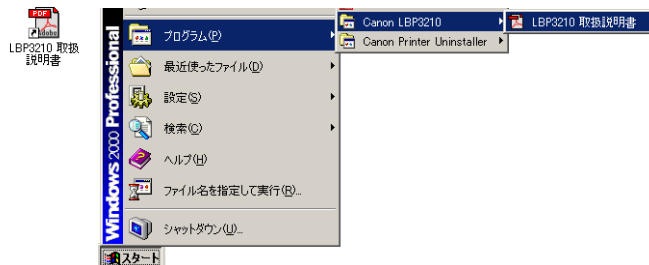
すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

重要
- Windows Vista をお使いの場合、[自動再生] ダイアログボックスが表示された場合は、[AUTORUN.EXE の実行] をクリックします。
- CD-ROM Setup が表示されない場合は、次の方法で表示します。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）
  - ･Windows Vista 以外の OS の場合は、[スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択して「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、[OK] をクリックします。
  - ･Windows Vista の場合は、[スタート] メニューの [検索の開始] に「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、キーボードの [ENTER] キーを押します。

メモ　Windows Vista をお使いの場合、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、[許可] をクリックします。

2 ［選んでインストール］をクリックします。

3 ［プリンタドライバ］のチェックマークを外してから［インストール］をクリックします。

4 内容を確認して、［はい］をクリックします。

インストールが開始されます。

5 インストール完了の画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

6 [終了] をクリックします。

取扱説明書のインストールが完了しました。
取扱説明書をご覧になる場合は、デスクトップに作成された [LBP3210 取扱説明書] をダブルクリックするか、[スタート] メニューの [プログラム] (Windows XP/Server 2003/Vista は [すべてのプログラム]) に追加された [Canon LBP3210] - [LBP3210 取扱説明書] を選択して、取扱説明書を表示させてください。

取扱説明書をアンインストールする

アンインストーラで CAPT ソフトウェアのアンインストールを行うことで、インストールした取扱説明書もアンインストールされます。CAPT ソフトウェアのアンインストールについては、「CAPT ソフトウェアの削除」(➞P.3-63) を参照してください。

CAPTソフトウェアのアンインストールをせずに取扱説明書のみをアンインストールする場合は、以下を削除してください。

- 「¥Program Files¥Canon¥LBP3210」
  - ・「Manuals」フォルダ
- [スタート] メニューの [プログラム](Windows XP/Server 2003/Vistaは [すべてのプログラム])の [Canon LBP3210] を右クリックして、ポップアップメニューから [削除] を選択してください。
- デスクトップ
  - ・[LBP3210 取扱説明書]([Index.pdf] のショートカット)

重要　取扱説明書が Administrators の権限でWindows 2000/XP/Server 2003/Vistaにインストールされている場合、Administrators 以外の権限ではアンインストールできません。必ず、Administrators の権限でログオンしてからアンインストールしてください。

メモ　Windows Vista をお使いの場合、[フォルダアクセスの拒否] ダイアログボックスが表示された場合は、[続行] をクリックします。([ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、[続行] をクリックします。)

プリンタステータスウィンドウについて

プリンタステータスウィンドウは、LBP3210 プリンタのステータス（動作状況、ジョブ情報など）を、メッセージ、アニメーション、音（サウンド）、アイコンなどで表示します。

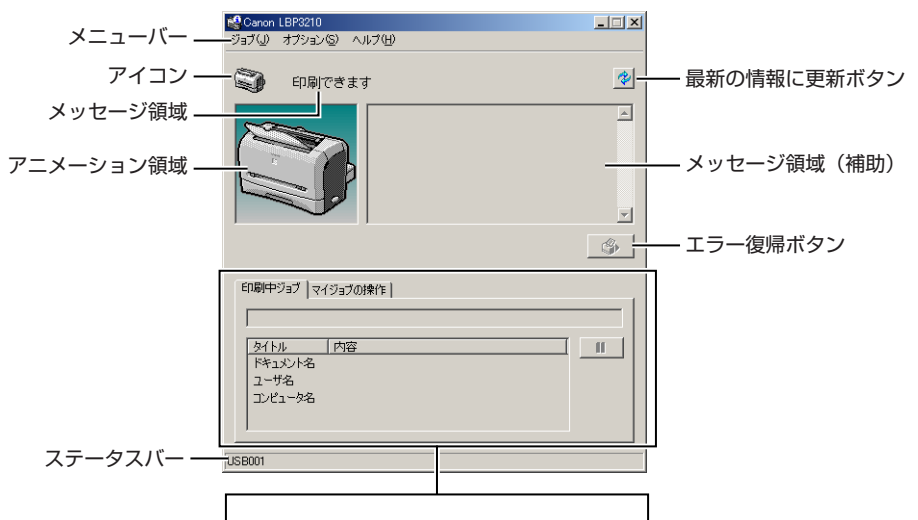
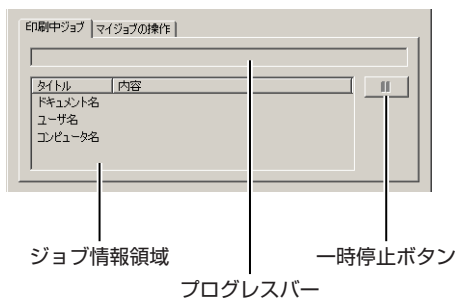
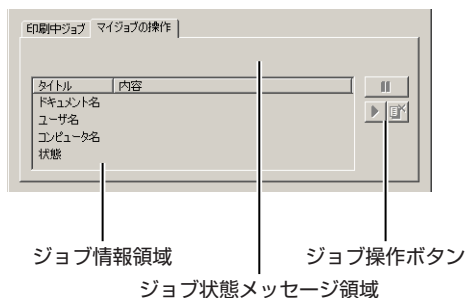
メモ　サウンドを使用するには、お使いのコンピュータに PCM 音源があり、サウンドドライバがインストールされていることが必要です。

プリンタステータスウィンドウの各部の名称と機能

プリンタステータスウィンドウの機能は、Windows 98/Me と Windows 2000/XP/Server 2003/Vista で共通です。

各操作の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。

4

Windowsから印刷するには

■ メニューバー

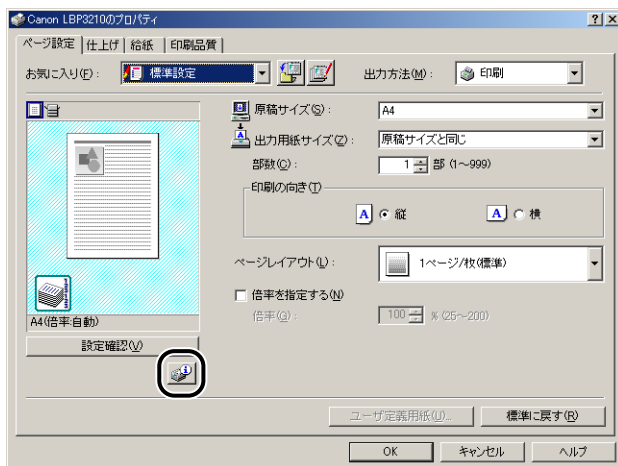
ジョブメニュー	印刷の一時停止／再開／中止を実行します。また、印刷中に何らかの理由でジョブが停止した場合、［エラー復帰］を選択すると、ジョブを再開することができます。印刷中のジョブの操作権がない場合は、グレー表示になります。
オプションメニュー	プリンタステータスウィンドウの環境の設定やプリンタの定着ローラのクリーニングなどを行います。
ヘルプメニュー	オンラインヘルプを表示します。

■ その他の機能

アイコン	プリンタのステータスをアイコンで表示します。
メッセージ領域	プリンタのステータスを短文で表示します。
メッセージ領域（補助）	エラーが起きたときなど、補助情報を文字で表示します。
アニメーション領域	プリンタのステータスをグラフィックで表示します。背景色は、通常は青、何らかの操作が必要な場合はオレンジ、警告時は赤に変化します。
最新の情報に更新ボタン	プリンタのステータスを取得し、プリンタステータスウィンドウの表示を更新します。
エラー復帰ボタン	印刷中に何らかの理由でジョブが停止した場合、ジョブを再開することができます。
印刷中ジョブタブ	プログレスバー： 印刷中ジョブの進行状況を、ページ数や背景色の変化で表します。 一時停止ボタン： ジョブを一時的に停止します。 ジョブ情報領域： ジョブに関するドキュメント名、ユーザ名、コンピュータ名を表示します。
マイジョブの操作タブ	ジョブ状態メッセージ領域： ジョブの状態を表すメッセージが表示されます。 ジョブ操作ボタン： 印刷の一時停止／再開／中止を実行します。印刷中のジョブの操作権がない場合は、グレー表示になります。 ジョブ情報領域： ジョブに関するドキュメント名、ユーザ名、コンピュータ名、状態を表示します。
ステータスバー	プリンタの接続先（ローカルまたはネットワーク）を表示します。 メニュー操作中は、メニュー操作の説明が表示されます。

プリンタステータスウィンドウの表示方法

プリンタステータスウィンドウの表示のしかたは、次の 2 通りあります。

• ［プリンタプロパティ］ダイアログボックスの［ページ設定］ページなどにある［ ］（プリンタステータスウィンドウを表示する）をクリックして起動します。

• ［プリンタプロパティ］ダイアログボックスの［デバイスの設定］ページにある［タスクバーにアイコンを表示する］にチェックマークを付けます。Windows のタスクバーにプリンタステータスウィンドウのアイコンが表示されますので、そのアイコンをクリックし、［Canon LBP3210］をクリックして起動します。

プリンタステータスウィンドウは、印刷中やエラー発生時などには自動的に表示されます。プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューの［環境設定］にある、［印刷開始時に表示］を選択していない場合は、印刷中には表示されません。

オプションメニューについて

オプションメニューではプリンタステータウィンドウの環境の設定やプリンタの定着ローラのクリーニング、プリンタステータプリントの印刷などを行います。

環境設定メニューについて

環境設定メニューでは、プリンタステータスウィンドウの自動表示、サウンドの設定、ステータスの監視などの設定ができます。

■［プリンタステータスウィンドウの表示］グループ

• 印刷開始時に表示
印刷が開始されたときに、自動的にプリンタステータスウィンドウが表示されます。

- エラー発生時のみ表示
  印刷中にエラーが発生したときだけ、自動的にプリンタステータスウィンドウが表示されます。
- 自動で表示しない
  プリンタステータスウィンドウを自動的には表示しません。
- 常に手前に表示する
  プリンタステータスウィンドウを常に最前面に表示します。

■［プリンタ状態の監視］グループ

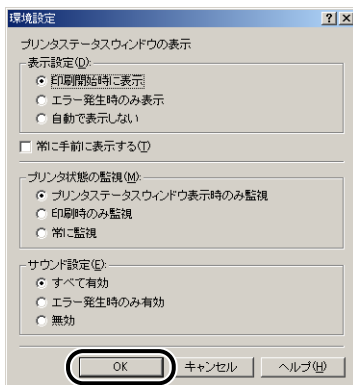
- プリンタステータスウィンドウ表示時のみ監視
  プリンタステータスウィンドウが表示されている間のみプリンタのステータスを監視します。
- 印刷時のみ監視
  印刷時のみプリンタのステータスを監視します。
- 常に監視
  常にプリンタのステータスを監視します。

■［サウンド設定］グループ

- すべて有効
  メッセージと共にサウンドが流れます。
- エラー発生時のみ有効
  エラー発生を通知するときのみサウンドが流れます。
- 無効
  サウンドは流れません。

1　［オプション］メニューから［環境設定］を選択します。

［環境設定］ダイアログボックスが表示されます。

2 各設定内容を確認し、[OK]をクリックします。

メモ　プリンタステータスウィンドウの操作の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。

クリーニングについて

クリーニングはトナーカートリッジを交換したときや印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着したときに行います。詳しくは「クリーニング」(➞P.5-12)を参照してください。

プリンタステータスプリントについて

ドライバのバージョンなど現在のプリンタの情報が印刷されます。詳しくは「プリンタの機能を確認したいときには」(➞P.6-36)を参照してください。

[最新の情報に更新]について

[オプション]メニューから[最新の情報に更新]を選択すると、プリンタの最新の情報を取得し、プリンタステータスウィンドウの表示を更新します。

プリンタステータスウィンドウ上の[ ](最新の情報に更新)をクリックしても同様の操作ができます。

[エラー復帰]について

[ジョブ]メニューから[エラー復帰]を選択すると、印刷中に何らかの理由でジョブが停止した場合、ジョブを再開することができます。ただし、[エラー復帰]を選択して、ジョブを再開した場合、正しく印刷されないことがあります。以下の場合は[エラー復帰]の機能は使用できません。

- 紙づまりが起こった、用紙がなくなったなどのプリンタ本体の問題で印刷が停止している場合
- 他のユーザのジョブが停止している場合(ただし、コンピュータでプリンタの共有機能を使用している場合、プリントサーバ上では[エラー復帰]の機能は使用可能)

プリンタステータスウィンドウ上の［］（エラー復帰）をクリックしても同様の操作ができます。

重要 プリンタステータスウィンドウに、「ディスク容量が不足しています」というメッセージが表示されている場合は、不要なファイルを削除してから、［エラー復帰］を選択してください。

プリントサーバを使用しているときの表示

ネットワークプリンタのステータスは、プリントサーバだけでなく、クライアントのプリンタステータスウィンドウにも表示されます。

また、プリンタステータスウィンドウの起動時にプリントサーバが立ち上がっていない場合は、プリントサーバが立ち上がると自動的に表示されます。

- プリントサーバのプリンタステータス
  - ・プリンタステータスウィンドウの表示とジョブの動作

［印刷中ジョブ］タブ		［マイジョブの操作］タブ		ジョブの動作
［ジョブ情報領域］	［一時停止］ボタン	［ジョブ情報領域］	［ジョブ操作］ボタン	
先頭のジョブが表示される	有効 *1	先頭のジョブが表示される *2	有効	一時停止：すべてのジョブが一時停止する 再開：すべてのジョブが再開する 印刷中止：先頭のジョブが中止される

*1：［一時停止］ボタンをクリックすると、［マイジョブの操作］タブに移動します。

*2：プリントサーバとなるコンピュータ上で印刷した場合は、そのジョブが表示されます。

  - ・サウンドを流します。
  - ・プリントサーバが Windows 2000/XP/Server 2003/Vista の場合、誰もログオンしていないとステータスは表示されません。
- クライアントのプリンタステータス
  - ・プリンタステータスウィンドウの表示とジョブの動作

［印刷中ジョブ］タブ		［マイジョブの操作］タブ		ジョブの動作
［ジョブ情報領域］	［一時停止］ボタン	［ジョブ情報領域］	［ジョブ操作］ボタン	
プリントサーバにある先頭のジョブが表示される	自分のジョブが［ジョブ情報領域］に表示されている場合：有効 * 他のユーザのジョブが［ジョブ情報領域］に表示されている場合：無効	自分のジョブの先頭のジョブが表示される	有効	一時停止：すべての自分のジョブが一時停止する 再開：すべての自分のジョブが再開する 印刷中止：自分の先頭のジョブが中止される

*：［一時停止］ボタンをクリックすると、［マイジョブの操作］タブに移動します。

・[ ]（エラー復帰）は他のユーザのジョブが停止している場合、使用できません。
・プログレスバーは他のユーザのジョブが印刷されている場合、グレー表示になります。
・ユーザが一致するクライアントのみ、サウンドを流します。

メモ　ネットワーク印刷時のステータス表示を行うには、次のいずれかのプロトコルが使用できる環境が必要です。
・TCP/IP
・NetBEUI
使用するプロトコルが IPX/SPX のみの場合は、ステータスは表示されません。

日常のメンテナンス

5
CHAPTER

この章では、トナーカートリッジの交換やプリンタの取り扱いなど、メンテナンスのしかたについて説明しています。

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジの交換方法や取り扱い、保管時のご注意について説明しています。

メモ

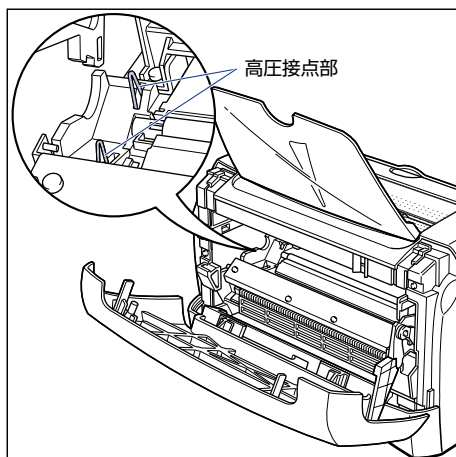
- 本プリンタ用トナーカートリッジ（キヤノン純正品 EP-26 Cartridge）の寿命は、A4 サイズの用紙の場合で約 2500 枚です。この枚数は一般的な印刷（印字比率：約 5%、印字濃度：工場出荷初期設定値）の場合です。トナーの消費量は、印刷する書類の内容によって異なります。グラフィックデータなどのように空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、このような書類を多く印刷する場合はトナーカートリッジの寿命が短くなります。
- トナーカートリッジの寿命が近づいても、お使いのコンピュータに警告メッセージは表示されません。用紙の縦方向に白いすじが入ったり、印字のカスレやムラが出た場合を交換の目安としてください。

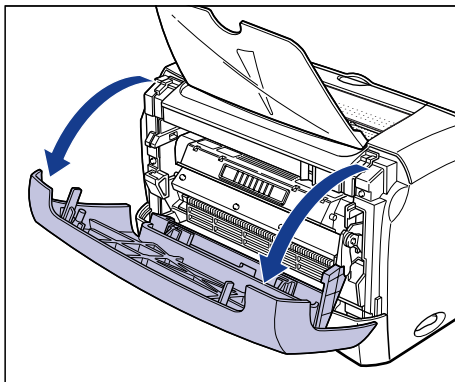
機種名	対応するキヤノン純正トナーカートリッジ
LBP3210	EP-26 Cartridge

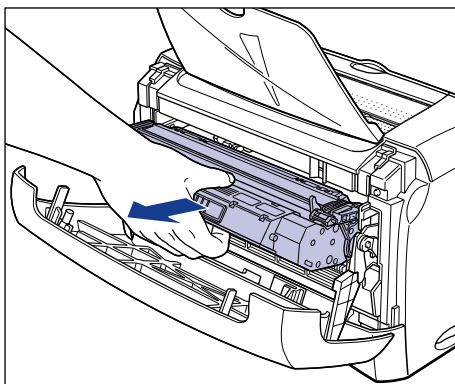
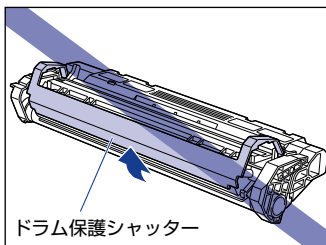
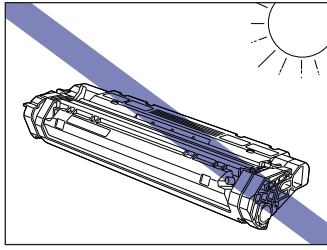
トナーカートリッジを交換する前に

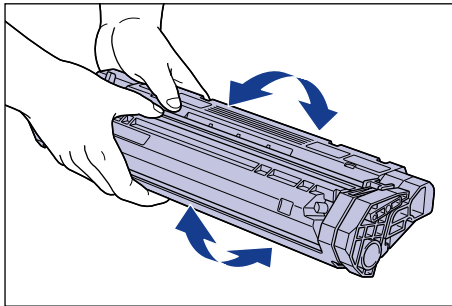
トナーカートリッジは消耗品です。トナーが不足すると用紙の縦方向に白いすじが入ったり、印字のカスレやムラが出ることがあります。このような症状が出たら、トナーカートリッジを交換する前に次の操作をしてみてください。トナーが完全になくなるまで、しばらくの間印刷できることがあります。

注意 **トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。**

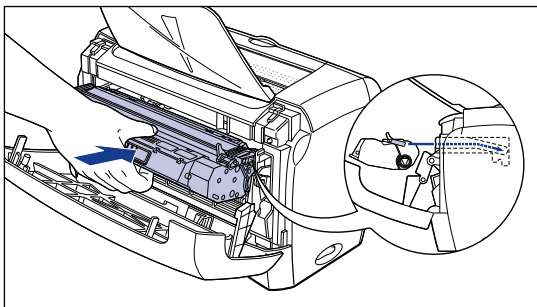
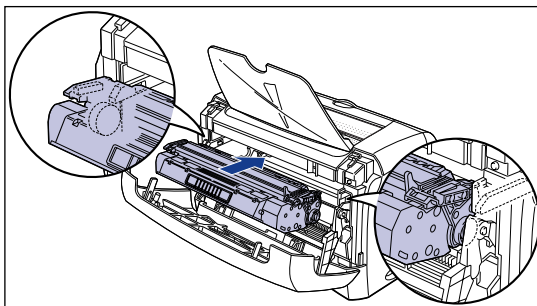
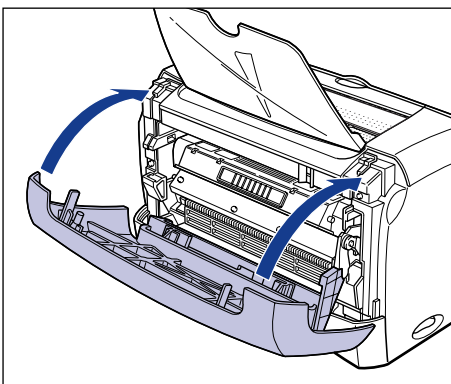
重要 フロントカバー内部の高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタが破損する恐れがあります。

1 フロントカバーを開けます。

フロントカバーは、プリンタの左右の溝に手を入れ、最後までゆっくりと強く引いて開けます。

2 トナーカートリッジをプリンタから取り出します。

重要

- 内部のドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッターを開けないでください。また、指示された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。

- トナーカートリッジは、絶対に直射日光や強い光に当てないでください。

3 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと5～6回振って、内部のトナーを均一にならします。

トナーがこぼれないように振ってください。

重要

- トナーが均一になっていないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。
- トナーカートリッジはゆっくり振ってください。ゆっくり振らないとトナーがこぼれることがあります。

4 トナーカートリッジ左右の突起を本体内部のトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで押し込みます。

5 フロントカバーを閉めます。

重要

- フロントカバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理にフロントカバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、フロントカバーを開けたまま長時間放置しないでください。

このような操作をしても印刷がかすれるときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。

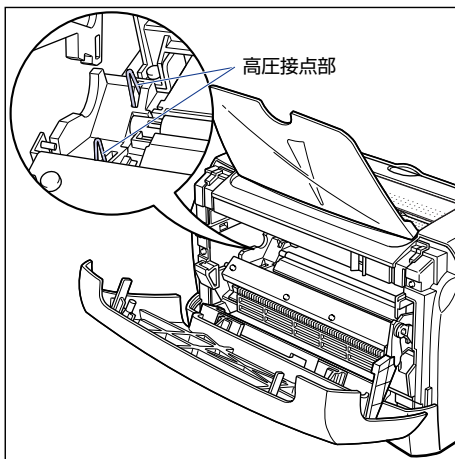
トナーカートリッジの交換

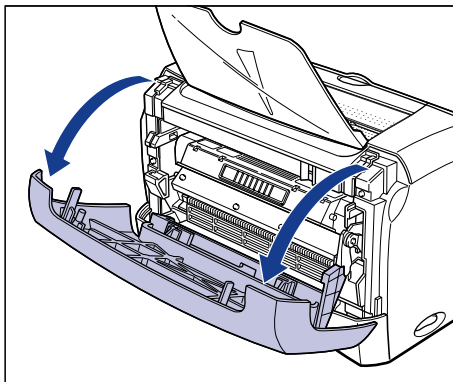
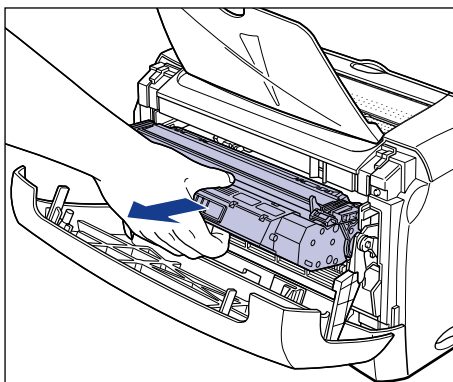
次の手順で、新しいトナーカートリッジと交換してください。

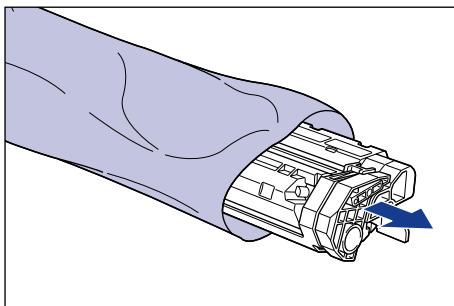
トナーカートリッジの交換をしたときは、クリーニングを行います。クリーニング方法については「クリーニング」（➞P.5-12）を参照してください。

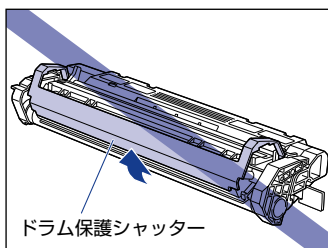
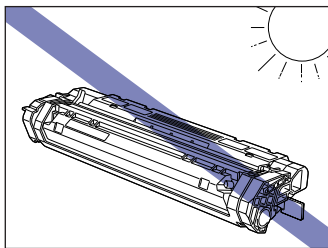
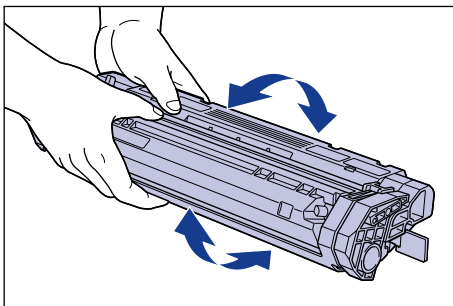
警告 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

注意 トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

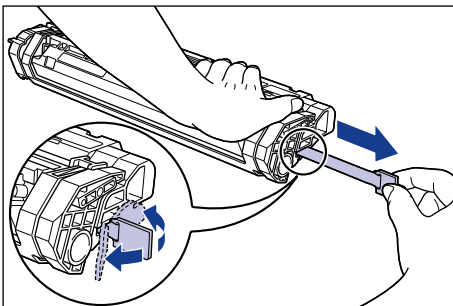
重要
- 必ず本プリンタ専用のトナーカートリッジを使用してください。
- フロントカバー内部の高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタが破損する恐れがあります。

1 フロントカバーを開けます。

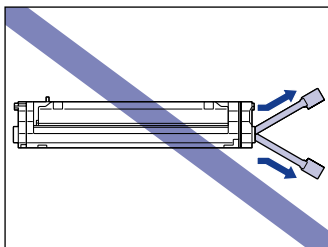
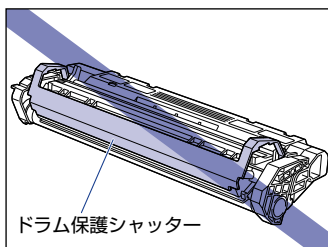
フロントカバーは、プリンタの左右の溝に手を入れ、最後までゆっくりと強く引いて開けます。

2 トナーカートリッジをプリンタから取り出します。

3 新しいトナーカートリッジを保護袋から取り出します。

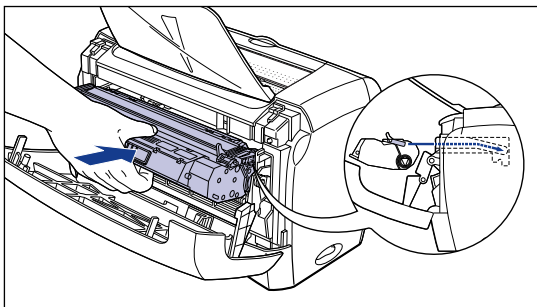
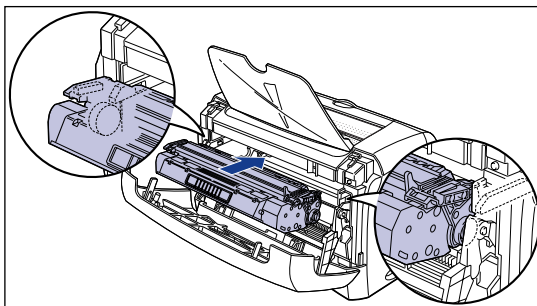
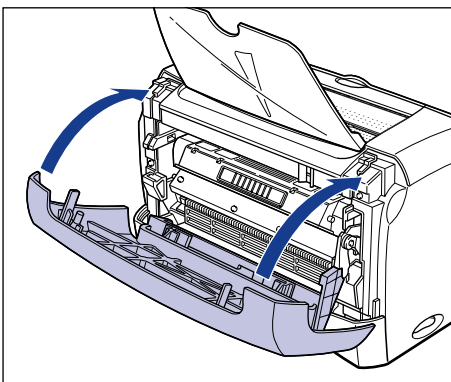
保護袋はトナーカートリッジを傷つけないように、はさみなどで切って開けます。

重要

- トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。
- 内部のドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッターを開けないでください。また、指示された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。

- トナーカートリッジは、絶対に直射日光や強い光に当てないでください。

4 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと５～６回振って、内部のトナーを均一にならします。

重要
- トナーが均一でないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。
- トナーカートリッジはゆっくり振ってください。ゆっくり振らないとトナーがこぼれることがあります。

5 トナーカートリッジを平らな場所に置き、トナーカートリッジを押さえながらシーリングテープ（長さ約45cm）を引き抜きます。

シーリングテープは、図のようにタブを折ってから、タブを持ちまっすぐに引き抜きます。

注意　シーリングテープを勢いよく引き抜いたり、途中で止めたりするとトナーが飛び散ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。

- シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。シーリングテープがトナーカートリッジ内に残っていると、印字不良の原因になります。
- シーリングテープを引き抜くときは、ドラム保護シャッターを手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。

- トナーカートリッジは、保護袋から取り出した状態で放置せず、できるだけ早く本体に取り付けてください。
- 引き抜いたシーリングテープは、地域の条例にしたがって処分してください。

6 トナーカートリッジ左右の突起を本体内部のトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで押し込みます。

7 フロントカバーを閉めます。

重要

- フロントカバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理にフロントカバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、フロントカバーを開けたまま長時間放置しないでください。

次にクリーニングを行ってください。(➞ クリーニング：P.5-12)

クリーニング

トナーカートリッジを交換したときは、クリーニングを行います。

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第４章　便利な印刷機能」を参照してください。

1 **A4（またはレター）サイズの白紙をカセットまたは手差し給紙口にセットします。**

2 **プリンタステータスウィンドウを表示します。**

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（→P.4-60）を参照してください。

3 ［オプション］メニューから［クリーニング］を選択します。

4 ［OK］をクリックします。

プリンタステータスウィンドウに「クリーニング中です」と表示され、クリーニングが開始されます。

用紙が排出され、メッセージが消えれば終了です。

メモ
- クリーニングの実行には、約３分かかります。
- クリーニングは中止することができません。完了するまでお待ちください。

使用済みトナーカートリッジ回収のお願い

キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済みカートリッジの回収を行っております。
この回収活動は、お客さまのご協力によって成り立っております。
キヤノンによる”環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、使用済みカートリッジを下記の方法でご返却いただきますようご協力をお願いいたします。

※回収窓口へお持ち込みの場合
キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に3000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。

※回収専用箱による宅配便利用の場合
使用済みトナーカートリッジの数が多いお客さまには、回収専用箱をご用意させていただいております。

回収窓口の検索および回収専用箱のご注文方法につきましては下記キヤノンホームページをご覧ください。

キヤノンサポートページ　**canon.jp/support**

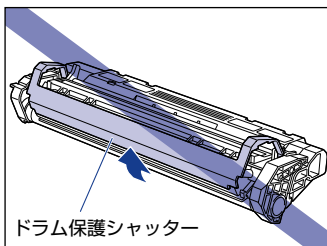
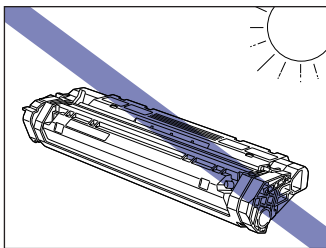
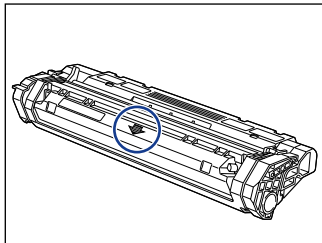
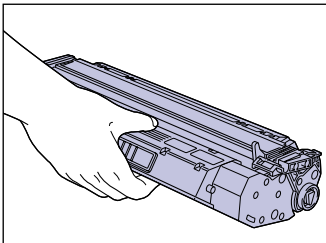
トナーカートリッジ取り扱いのご注意

トナーカートリッジは、精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質低下の原因になることがあります。トナーカートリッジの取り付けや取り外しを行うときは、次の点に気を付けて取り扱ってください。

警告　使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

注意　トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要

- 内部のドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッターを開けないでください。また、指示された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。

- トナーカートリッジは、 絶対に直射日光や強い光に当てないでください。

- トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように正しく持ち、必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。 立てたり、裏返したりしないでください。

- 絶対に分解や改造などをしないでください。
- トナーカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のトナーカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなどは、 保護袋を開封せずに 1 時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。
- 交換用に購入したトナーカートリッジは、パッケージに記載された有効期間内に使用してください。
- トナーカートリッジをディスプレイやコンピュータ本体など、磁気を発生する装置に近付けないでください。
- トナーカートリッジは磁気製品です。フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品には近付けないでください。 データ破損などの原因になることがあります。

トナーカートリッジの保管について

交換用にお求めになったトナーカートリッジや、修理や移動時に取り出したトナーカートリッジは、次のような点に注意して保管してください。

重要
- 新品のトナーカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないください。
- プリンタの修理や紙づまりの修理のためにトナーカートリッジをプリンタから取り出したときは、すみやかにトナーカートリッジを梱包してあった保護袋に入れるか、厚い布で包んでください。
- 立てたり、裏返しにしないでください。プリンタにセットするときと同じ向きで保管してください。
- 直射日光の当たる場所は避けてください。
- 高温多湿の場所や、温度変化の激しい場所は避けてください。
  ・保管温度範囲：0～35℃
  ・保管湿度範囲：35～85%RH（相対湿度・結露しないこと）
- アンモニアなどの腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。
- フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品の近くには置かないでください。

■ **結露とは**

保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってトナーカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この、水滴が付着する状態を結露といいます。結露はトナーカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

プリンタを清掃する

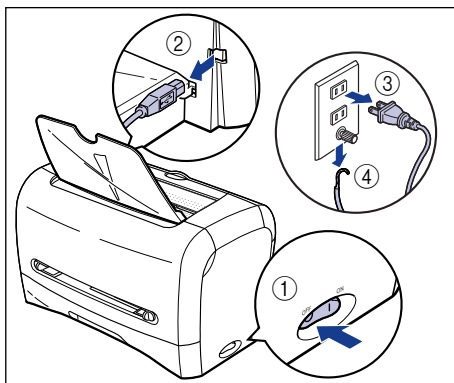
本プリンタを長期間お使いいただいている間に、本体外部にほこりや汚れが付着したときは、清掃してください。プリンタの清掃は、故障や感電事故を避けるため、次の点に気を付けて行ってください。

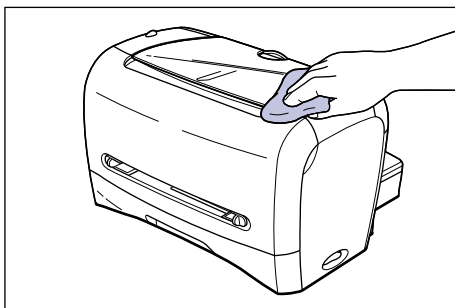
警告

- 清掃のときは、電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- アルコールやベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

重要

- 本体のプラスティックが変質したり、ひびが入ることがありますので、絶対に水または水で薄めた中性洗剤以外のクリーニング溶液を使用しないでください。
- 中性洗剤は必ず水で薄めてご使用ください。
- 本プリンタには、注油の必要はありません。絶対に注油しないでください。

1 **電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USBケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。**

2 水または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞り、汚れをふき取ります。

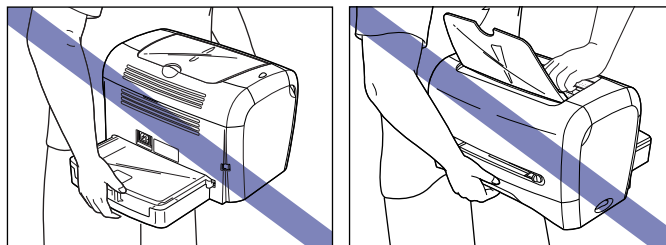
中性洗剤を使用したときは、必ずあとから水を含ませた柔らかい布で洗剤をふき取ってください。

3 汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。

4 完全に乾いたら、アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続し、USB ケーブルを接続します。

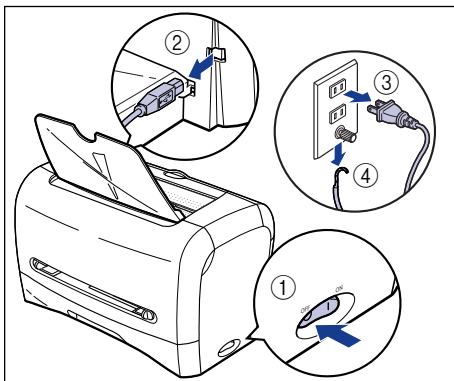
プリンタを移動する

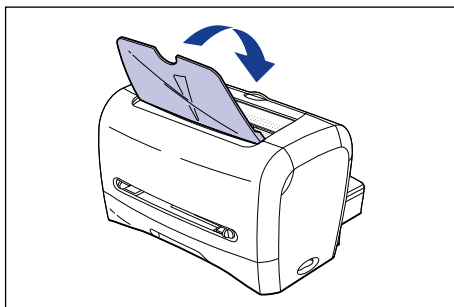
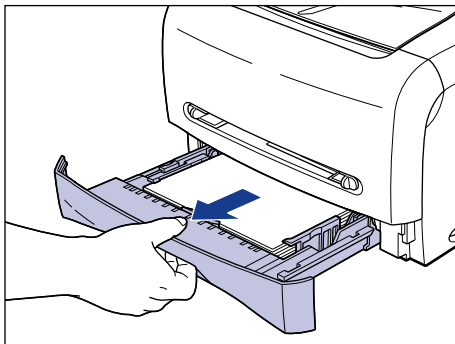
メンテナンスや移転などで本プリンタを移動するときは、必ず以下の内容を守り、手順にしたがって移動させてください。

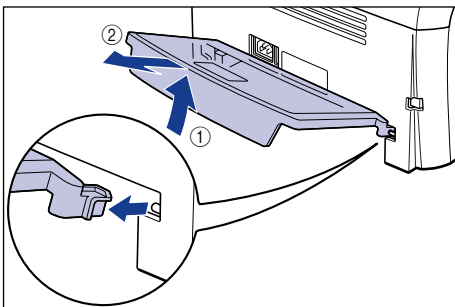
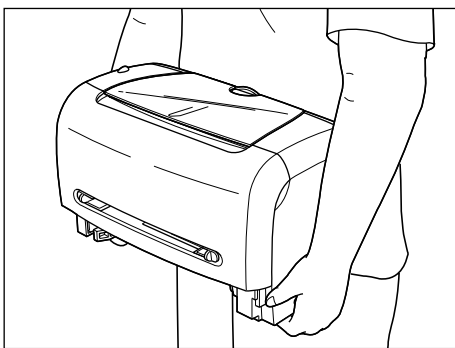
警告 プリンタ本体を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、USB ケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードや USB ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

注意
- 本プリンタは、カセット、カセット保護カバーを取り付けていない状態で、約 6.0kg あります。腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に本体前面や排紙口、本体背面など、指示された以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。

プリンタ本体を移動する

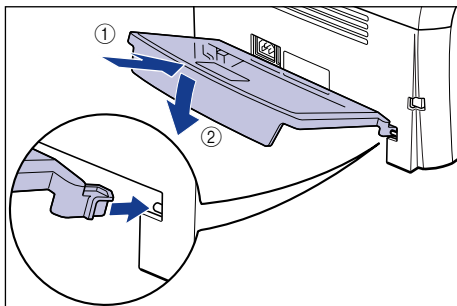
次の手順でプリンタを移動します。

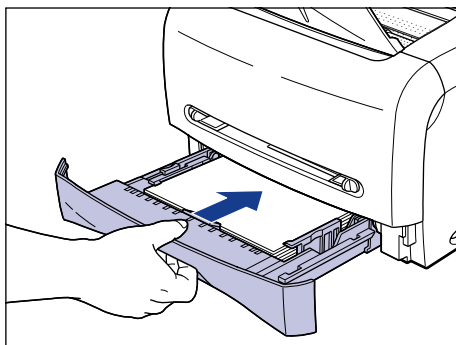
1 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USBケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。

2 電源コード、アース線を取り外します。

3 フェイスダウン排紙トレイが開いている場合は閉じます。

4 カセットを引き出します。

重要 カセットを引き出すときは、必ず水平に引き出してください。斜めに引き出すと、プリンタが破損する原因になります。

5 プリンタの背面のカセット保護カバーを取り外します。

6 図のように本体の左右に手を掛け、しっかりと抱えて持ち運びます。

7 設置場所にゆっくりとおろします。

⚠注意 プリンタはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

8 プリンタの背面にカセット保護カバーを取り付けます。

9 カセットをプリンタにセットします。

カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

重要 カセットをセットするときは、必ず水平に押し込んでください。斜めに押し込むと、プリンタが破損する原因になります。

10 電源コード、アース線を接続します。

11 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

12 USB ケーブルを接続します。

●プリンタを輸送するときは

移転、引越しなどでプリンタを輸送するときは、輸送中の破損や故障を避けるため、トナーカートリッジを取り外し、購入時に入っていたパッケージ（箱）や梱包材を使ってしっかりと梱包してください。
本プリンタが入っていたパッケージや梱包材がないときは、適した大きさの段ボールに、適当な梱包材を入れてしっかりと梱包してください。

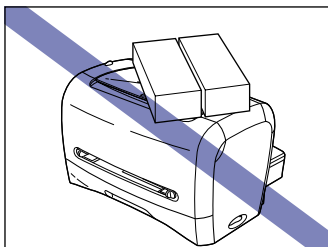
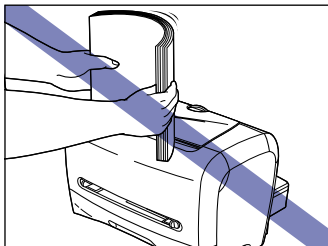
プリンタの取り扱いについて

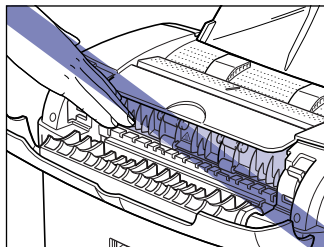
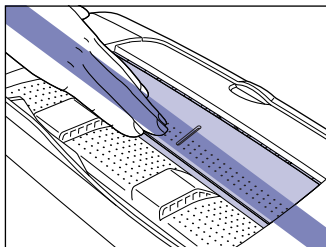
本プリンタは、いろいろな電子部品や精密な光学部品を多く使用しています。以下の内容をよくお読みいただき、気を付けて取り扱ってください。

重要　本プリンタの取り扱いについては、「安全にお使いいただくために」（➞P.xii）もお読みください。

プリンタの取り扱いのご注意

つねに最良の状態で印刷できるように、次の事項をお守りください。

重要
- プリンタやフェイスダウン排紙トレイ、カセット保護カバーなどの上に重いものを置かないでください。プリンタが破損する原因になります。

- フロントカバーは、必要以上の時間開けたままにしないでください。直射日光や強い光が当たると印刷の品質が低下する原因になります。
- 印刷中に振動を与えないでください。印字品質が低下することがあります。

- 印刷中は、絶対にプリンタのフロントカバーを開けないでください。故障の原因になります。
- フェイスダウン排紙トレイ、排紙切替カバーやプリンタのフロントカバーは、ていねいに開閉してください。プリンタ破損の原因になります。
- 本プリンタにホコリ除けのカバーをかけるときは、電源スイッチをオフにして、本体の温度が十分に下がってから行ってください。
- 長期間使用しないときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
- 化学薬品を使用している場所では、使用・保管しないでください。

- プリンタの使用中や使用直後は、フェイスダウン排紙部やフェイスアップ排紙口が高温になります。用紙を取り除くときや、紙づまりの処理をするときは、フェイスダウン排紙部やフェイスアップ排紙口周辺に触れないように気を付けてください。

プリンタ保管時のご注意

本プリンタを長期間使用しないときは、以下の環境で保管してください。

- 温度が 0 ～ 35℃の範囲内の場所
- 湿度が 35 ～ 85%RH（相対湿度）の範囲内で、結露しない場所

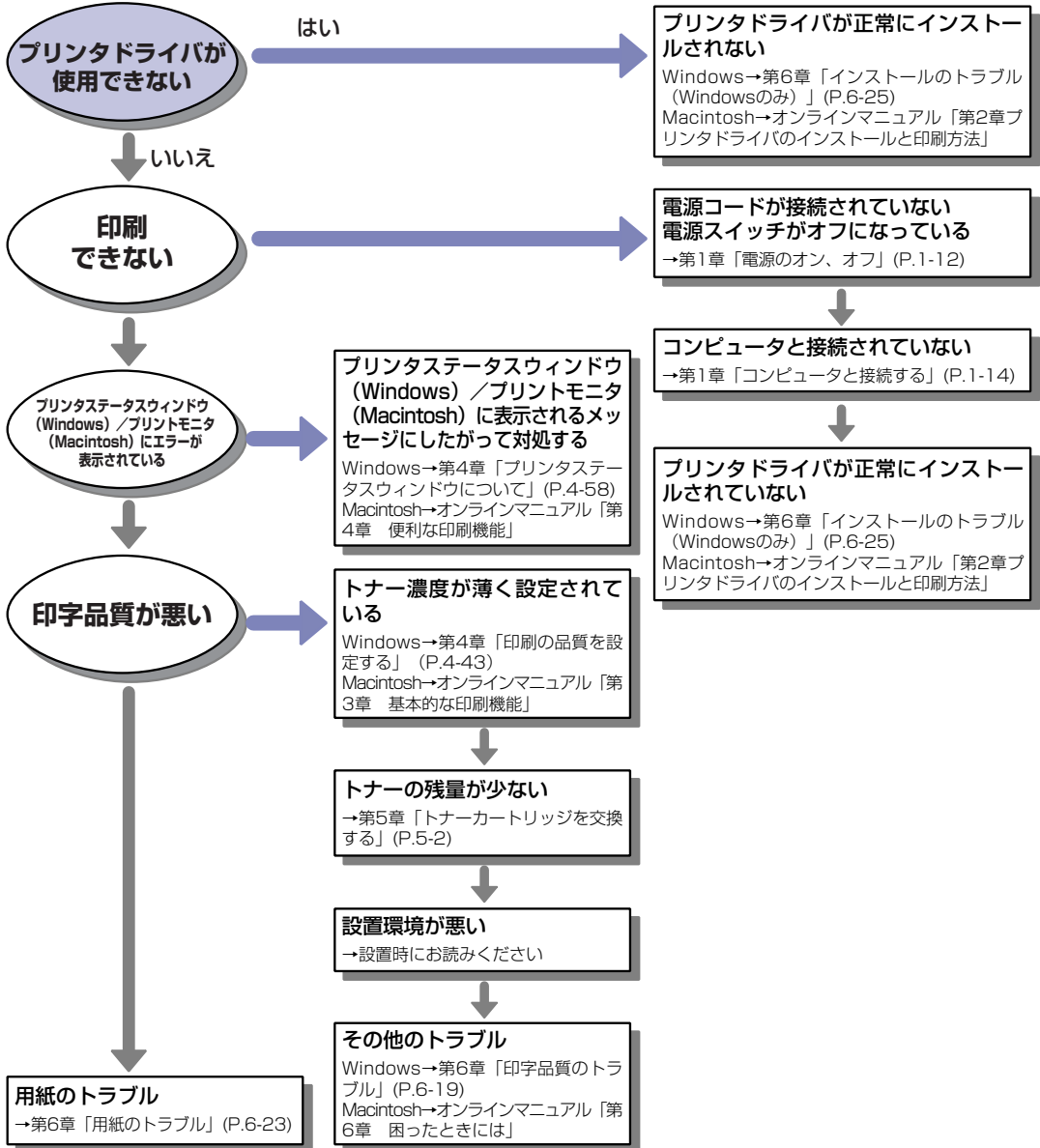
困ったときには

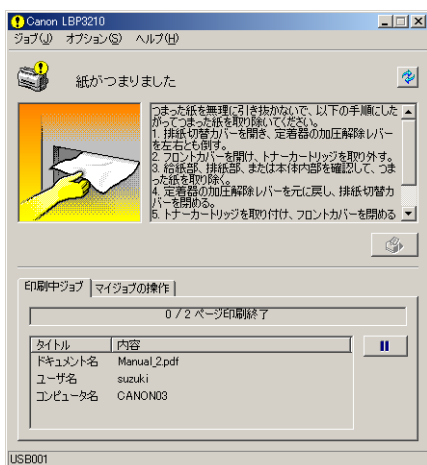
6

CHAPTER

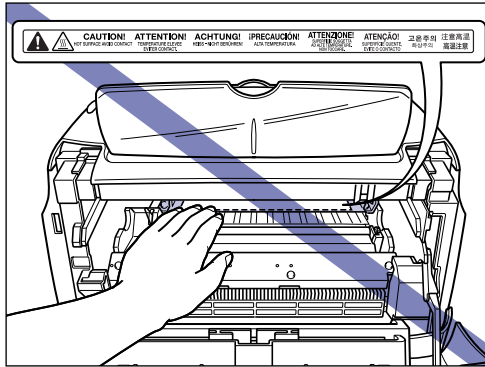
この章では、紙づまりが起こったときや印字品質に問題があるときなどの対処のしかたについて説明しています。

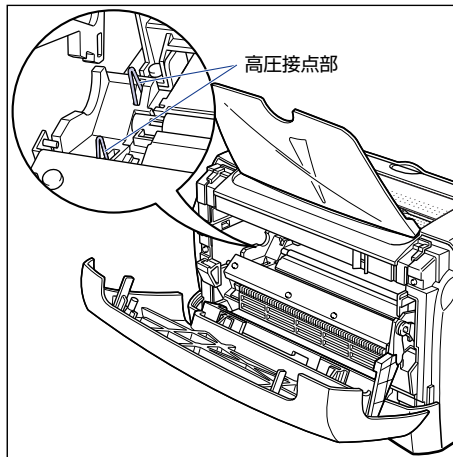
トラブル解決マップ

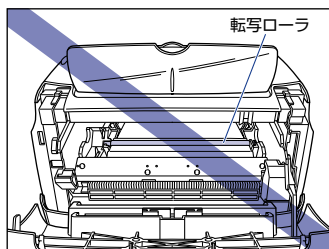
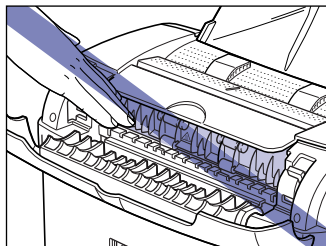
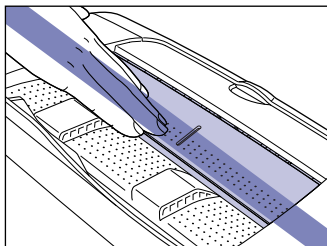
本プリンタを使用中に異常が発生したときは、次の手順にしたがってチェックしてください。

紙づまりが起こったときには

印刷中に紙づまりが起こると、Windows をお使いの場合は、プリンタステータスウィンドウに次のメッセージが表示されます。Macintosh をお使いの場合は、プリントモニタにメッセージが表示されます。

警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。

注意
- 紙づまりの処理をするときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください、温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

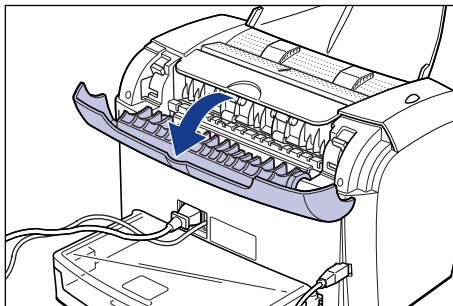
- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理などで内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。

- 紙づまりの処理がすべて終了したら、排紙部にあるローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

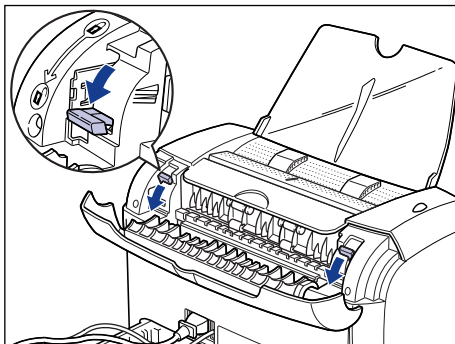
- フロントカバー内部の高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタが破損する恐れがあります。

- 無理に取り除くと、用紙が破れたり、内部の装置を傷めることがあります。用紙を取り除くときは、位置ごとに正しい方向へ引き出してください。
- 用紙が破れているときは、残りの紙片も探して取り除いてください。
- フロントカバーを開けずにつまった用紙を取り除いた場合は、エラーメッセージが消えないことがあります。このような場合は、フロントカバーを一度開閉してください。

- 転写ローラには、絶対に手を触れないでください。印字品質が低下することがあります。

- プリンタの使用中や使用直後は、フェイスダウン排紙部やフェイスアップ排紙口が高温になります。用紙を取り除くときや、紙づまりの処理をするときは、フェイスダウン排紙部やフェイスアップ排紙口周辺に触れないように気を付けてください。

- 連続印刷したときなどは、排紙直後の用紙が熱くなっている場合がありますのでご注意ください。

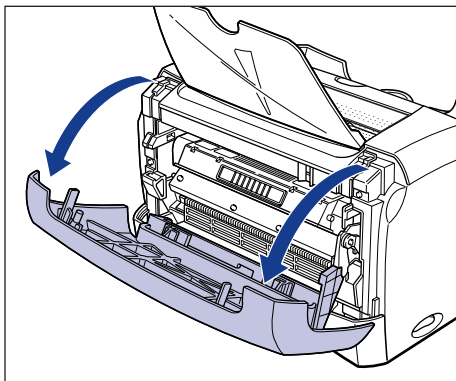
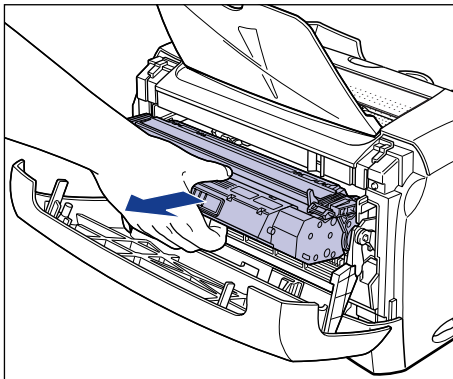
メモ　プリントモニタについては、オンラインマニュアル「第４章　便利な印刷機能」を参照してください。

---

1 **排紙切替カバーを開けます。**

6 困ったときには

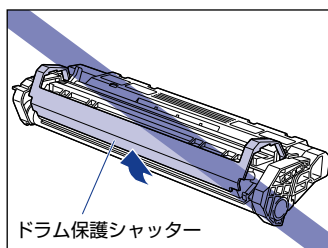
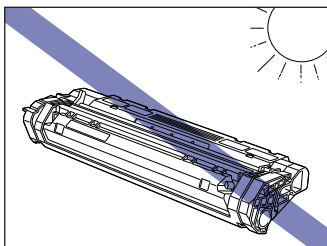
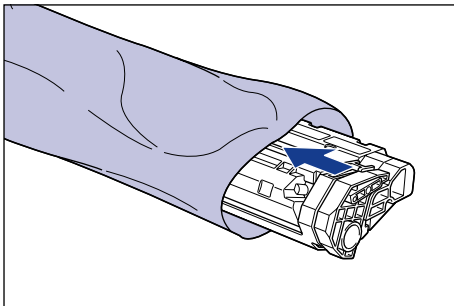
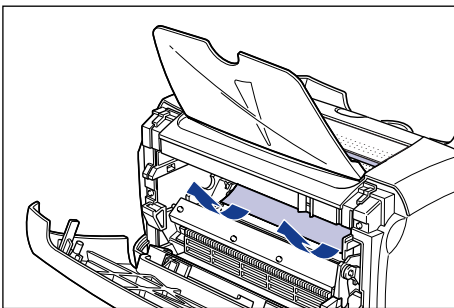
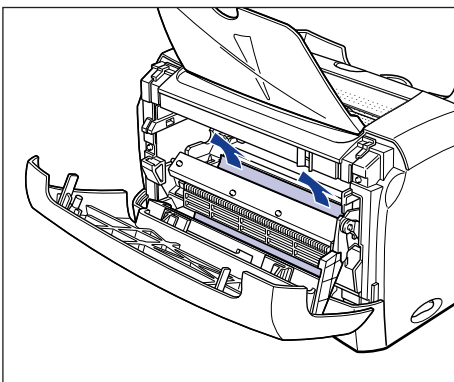
2 緑色の定着器の加圧解除レバーを左右ともに手前に倒し、定着器の圧力を解除します。

ここで用紙がつまっていても、取り除かないで次の手順に進んでください。

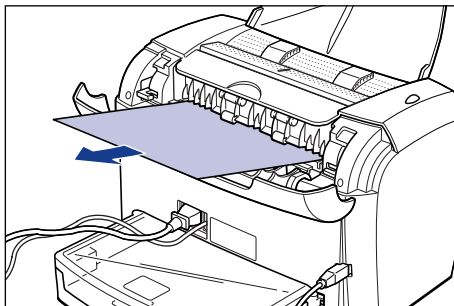
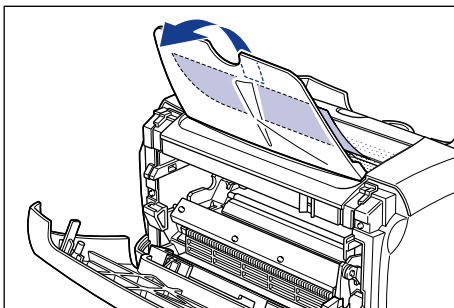
3 フロントカバーを開けます。

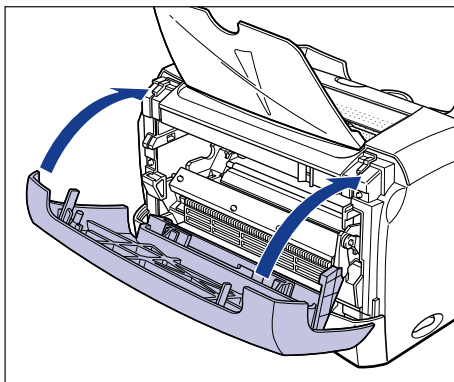
フロントカバーは、プリンタの左右の溝に手を入れ、最後までゆっくりと強く引いて開けます。

4 トナーカートリッジをプリンタから取り出します。

ここで用紙がつまっていても、取り除かないで次の手順に進んでください。

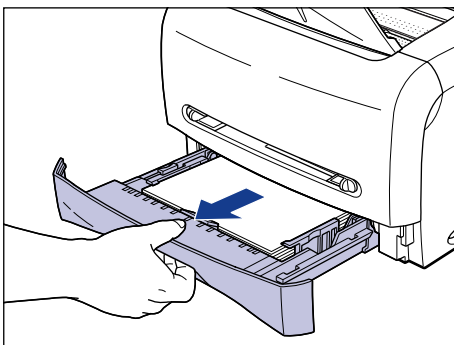
- 内部のドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッターを開けないでください。また、指示された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。

- トナーカートリッジは、絶対に直射日光や強い光に当てないでください。

6
困ったときには

5 トナーカートリッジを保護袋に入れます。

6 本体内部につまっている用紙をゆっくりと矢印の方向に引っぱって取り除きます。

重要 本体内部側から用紙が簡単にとれない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

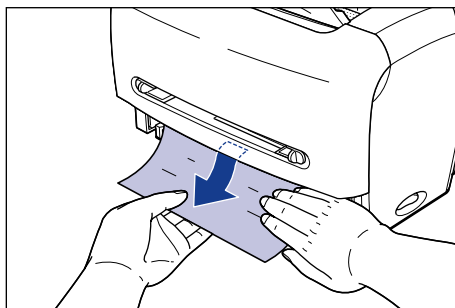
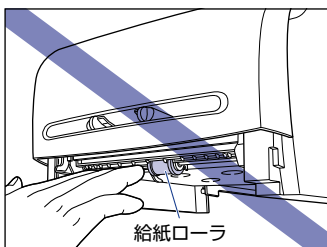
7 フェイスアップ排紙口につまっている用紙をゆっくりと矢印の方向に引っぱって取り除きます。

8 フェイスダウン排紙部につまっている用紙をゆっくりと矢印の方向に引っぱって取り除きます。

9 フロントカバーを閉めます。

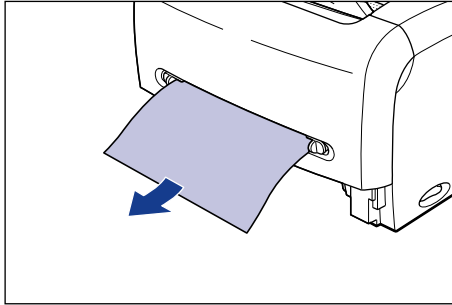
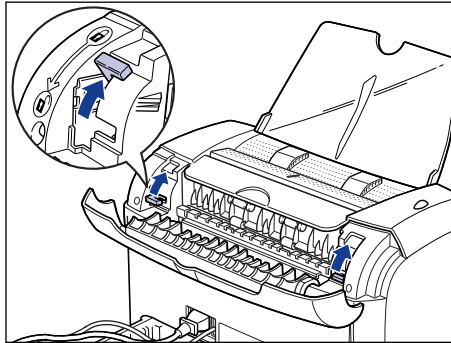
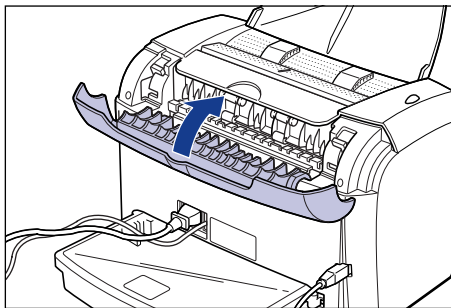
ここではまだトナーカートリッジを取り付けないでください。

10 カセットを引き出します。

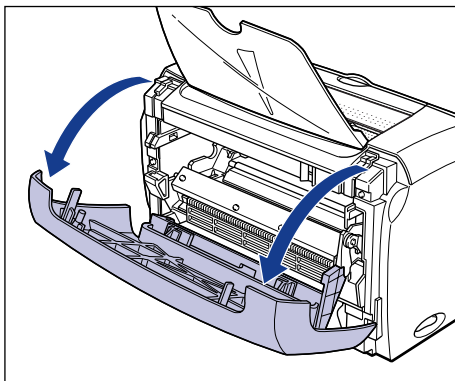
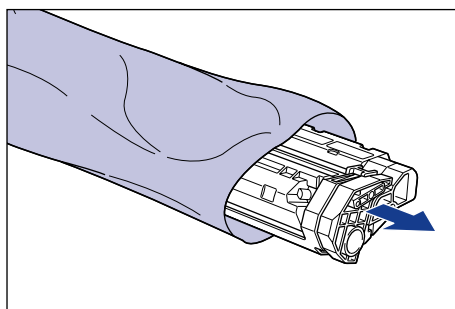
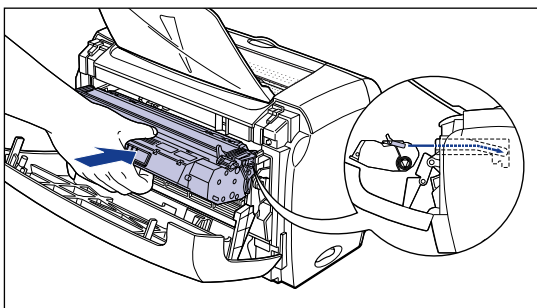
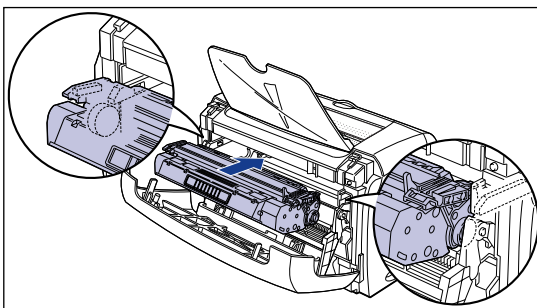
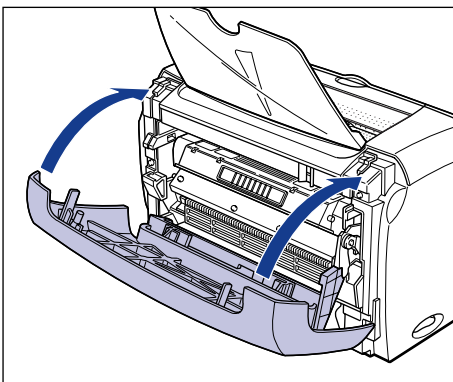
カセットを引き出すときは最後までゆっくりと引き出します。

重要　カセットを引き出すときは、必ず水平に引き出してください。斜めに引き出すと、プリンタが破損する原因になります。

11 つまっている用紙をゆっくりと矢印の方向に引っぱって取り除きます。

● カセットから給紙していた場合

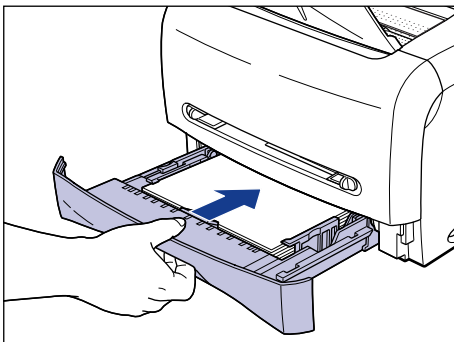
❏ 図のように用紙を手で抑え、ゆっくりと矢印の方向に引っぱって取り除きます。

重要
- 用紙を取り除くときは必ず手で抑えて用紙を取り除いてください。用紙を手で抑えずに引っぱると、用紙が破れることがあります。
- 給紙ローラには絶対に手を触れないでください。給紙不良の原因になることがあります。

● 手差し給紙口から給紙していた場合

❑ ゆっくりと矢印の方向に引っぱって取り除きます。

12 緑色の定着器の加圧解除レバーを元の位置に戻します。

13 排紙切替カバーを閉じます。

14 フロントカバーを開けます。

フロントカバーは、プリンタの左右の溝に手を入れ、最後までゆっくりと強く引いて開けます。

15 トナーカートリッジを保護袋から取り出します。

16 トナーカートリッジ左右の突起を本体内部のトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで押し込みます。

17 フロントカバーを閉めます。

手差し給紙口から給紙して紙づまりが起こった場合、ここで手差し給紙口に用紙をセットして、印刷しなおしてください。

重要

- フロントカバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理にフロントカバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、フロントカバーを開けたまま長時間放置しないでください。

18 カセットをプリンタにセットします。

カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

重要　カセットをセットするときは、必ず水平に押し込んでください。斜めに押し込むと、プリンタが破損する原因になります。

サービスコール表示

プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなったとき、Windows をお使いの場合は、プリンタステータスウィンドウに次のようなサービスコールが表示されます。

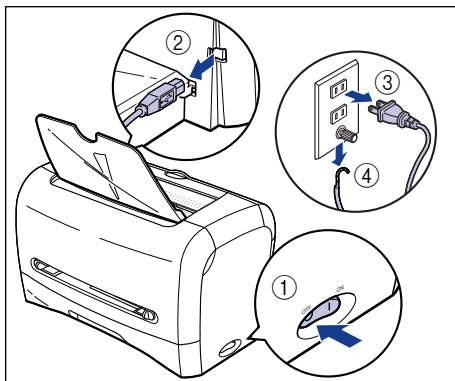
Macintosh をお使いの場合は、プリントモニタにサービスコールが表示されます。

サービスコール	原因	処置
	定着器に異常が発生した。	「定着器エラーが表示されたときには」(➞P.6-16)の手順にしたがって、お買い求めの販売店またはサービス店にご連絡ください。
	スキャナに異常が発生した。	「スキャナエラー、サービスエラーが表示されたときには」(➞P.6-17)の手順に従って電源を入れなおしてください。
	プリンタに異常が発生した。	「スキャナエラー、サービスエラーが表示されたときには」(➞P.6-17)の手順に従って電源を入れなおしてください。

メモ　プリントモニタについては、オンラインマニュアル「第４章 便利な印刷機能」を参照してください。

定着器エラーが表示されたときには

定着器エラーが表示されたら、次の手順に従ってお買い求めの販売店またはサービス店にご連絡ください。

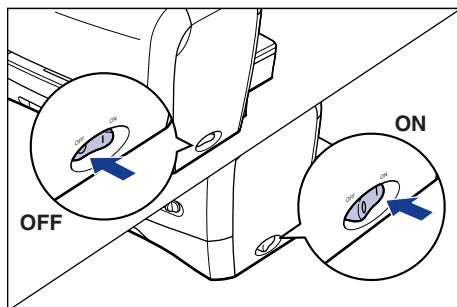
1 **電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USBケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。**

重要　定着器エラーが表示され、電源をオフにしたあとは絶対に電源をオンにしないでください。

2 **お買い求めの販売店またはサービス店にご連絡ください。**

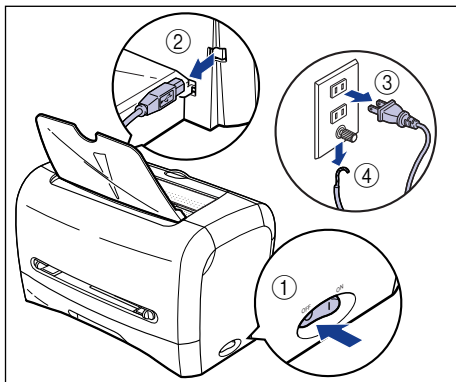
ご連絡の際には、症状をお知らせください。

スキャナエラー、サービスエラーが表示されたときには

スキャナエラー、サービスエラーが表示されたら、次の手順に従って電源を入れなおしてください。メッセージが消えることがあります。

1 **電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。**

メッセージが表示されない場合は、そのままご使用になれます。再度メッセージが表示された場合は、次の手順に進んでください。

2 **プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）に表示されているエラーコードを書きとめます。**

3 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USBケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。

4 お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご連絡の際には、症状および書きとめたエラーコードをお知らせください。

印字品質のトラブル

本プリンタの使用中に、トラブルと思われるような症状が起こったら、症状に応じて次のような処置をします。

重要

- プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）にメッセージが表示されたときは、表示されるメッセージにしたがって対処してください。
- 紙づまりの場合は、「紙づまりが起こったときには」（→P.6-3）を参照してください。
- ここに記載されていない症状が起こったときや、記載されている処置を行ってもなおらないとき、原因がどうしてもわからないときは、「お客様相談センター」（巻末参照）にお問い合わせください。

メモ

- ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。
- Macintosh をお使いの場合で、ここに記載されていない症状が起こったときは、オンラインマニュアル「第 6 章　困ったときには」を参照してください。

白いすじが入る（印字のカスレやムラが出る）

原　因　トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている

処　置　トナーカートリッジを取り出し、ゆっくり 5 ～ 6 回振ってトナーをならしてからセットしなおします。それでも同じ症状がでるときは、新しいトナーカートリッジに交換します。（→ トナーカートリッジを交換する：P.5-2）

印字が全体に薄い

原因 1　［トナー濃度］の設定が適当でない

処　置　プリンタドライバで［トナー濃度］を［濃く］の方へドラッグします。
［トナー濃度］の設定は、［印刷品質］ページの［詳細］をクリックして［詳細設定］ダイアログボックスで行います。

原因 2　［トナー節約モードを使う］が有効になっている

処　置　プリンタドライバで［トナー節約モードを使う］のチェックマークを消します。
［トナー節約モードを使う］の設定は、［印刷品質］ページの［詳細］をクリックして［詳細設定］ダイアログボックスで行います。

印字が全体に黒ずむ

原因 1　［トナー濃度］の設定が適当でない

処　置　プリンタドライバで［トナー濃度］を［薄く］の方へドラッグします。
［トナー濃度］の設定は、［印刷品質］ページの［詳細］をクリックして［詳細設定］ダイアログボックスで行います。

原因 2　プリンタが直射日光または強い光が当たる場所に設置されている

処　置　プリンタを直射日光または強い光が当たらない場所に移動してください。あるいは、強い光を出す光源をプリンタから離してください。

ページの一部が印刷されない

原因 1　拡大／縮小率の設定が適当でない

処置 1　プリンタドライバで［倍率を指定する］のチェックマークを消します。チェックマークを消すと、［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］に応じて拡大／縮小率が自動的に設定されます。
［倍率を指定する］の設定は、［ページ設定］ページで行います。

処置 2　プリンタドライバで［倍率を指定する］のチェックマークを付け、使用する用紙サイズに適した倍率を設定します。
［倍率を指定する］の設定は、［ページ設定］ページで行います。

原因 2　用紙をセットする位置が合っていない

処　置　用紙を正しくセットしてください。（➞ 普通紙、厚紙、ラベル用紙、OHP フィルムに印刷する：P.2-16、はがき、往復はがきに印刷する：P.2-29、封筒に印刷する：P.2-41、ユーザ定義用紙（不定形用紙）に印刷する：P.2-53）

原因 3　余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷した

処　置　本プリンタの有効印字領域は用紙周囲から上 5mm、下 5mm、左 5mm、右 5mm を除いた領域です。データの周囲に 5mm 以上の余白を取ってください。

印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着する

原　因　定着器が汚れている

処　置　クリーニングを行ってください。（➞ クリーニング：P.5-12）

印字位置がずれてしまう

原　因　アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が適当でない

処　置　アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定してください。（➞ アプリケーションソフトの取扱説明書）

ページの途中から次ページに分かれて印刷される

原　因　アプリケーションソフトの「行間」や「1 ページの行数」の設定が合っていない

処　置　1　ページに収まるように、アプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1 ページの行数」を変更してから印刷しなおします。（➞ アプリケーションソフトの取扱説明書）

用紙が真っ白で何も印刷されない

原因 1　シーリングテープを引き抜かずにトナーカートリッジをセットした

処　置　トナーカートリッジを取り出し、シーリングテープを抜き取ってセットしなおしてください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.5-2）

原因 2　用紙が重なって送られた

処　置　セットした用紙を、よく揃えてからセットしなおしてください。（➞　普通紙、厚紙、ラベル用紙、OHP フィルムに印刷する：P.2-16、はがき、往復はがきに印刷する：P.2-29、封筒に印刷する：P.2-41、ユーザ定義用紙（不定形用紙）に印刷する：P.2-53）

原因 3　フロントカバーが確実に閉まっていない

処　置　フロントカバーを確実に閉めてください。

用紙が真っ黒で何も印刷されない

原　因　トナーカートリッジ内のドラムが劣化している

処　置　新しいトナーカートリッジに交換してください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.5-2）

部分的に白く抜ける

原因 1　用紙が適切でない

処　置　使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。（➞ 用紙について：P.2-2）

原因２　用紙の保管状態が悪く、吸湿している

処　置　新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。

原因３　トナーカートリッジ内のドラムが劣化している

処　置　新しいトナーカートリッジに交換してください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.5-2）

用紙のトラブル

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

用紙にしわがよる

原因 1　給紙カセットに用紙が正しくセットされていない

処　置　給紙カセットに用紙を正しくセットしてください。（➞　普通紙、厚紙、ラベル用紙、OHP フィルムに印刷する：P.2-16、はがき、往復はがきに印刷する：P.2-29、封筒に印刷する：P.2-41、ユーザ定義用紙（不定形用紙）に印刷する：P.2-53）

原因 2　手差しトレイに用紙を斜めにセットした

処　置　手差しトレイにまっすぐに用紙をセットしてください。（➞ 普通紙、厚紙、ラベル用紙、OHP フィルムに印刷する：P.2-16、はがき、往復はがきに印刷する：P.2-29、封筒に印刷する：P.2-41、ユーザ定義用紙（不定形用紙）に印刷する：P.2-53）

原因 3　用紙が吸湿している

処　置　未開封の新しい用紙と交換してください。

用紙がカールする

原因 1　用紙が適切でない

処　置　本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（➞ 用紙について：P.2-2）

原因 2　用紙タイプの設定がセットした用紙にあっていない

処　置　普通紙をご使用の場合、プリンタドライバで［用紙タイプ］を［普通紙　L］に設定します。
［用紙タイプ］の設定は、［給紙］ページで行います。

印刷した OHP フィルムに白い粉がつく

原　因　OHP フィルム以外の用紙を連続印刷したあとに OHP フィルムを印刷した

処　置　OHP フィルム以外の用紙を連続して印刷したあとに、OHP フィルムを印刷すると紙粉が付着して排紙される場合があります。このような場合は、やわらかい布で紙粉をこすり、取り除いてください。

何も印刷されないときは

アプリケーションソフトから印刷を実行しても何も印刷されない場合は、次の点を確認してください。

メモ　Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 6 章　困ったときには」を参照してください。

1 プリンタステータスウィンドウにエラーが表示されていないかを確認してください。

プリンタステータスウィンドウエラーメッセージが表示されている場合は、メッセージにしたがって対処してください。エラーメッセージが表示されていない場合は、次の手順に進んでください。

2 テストページを印刷します。

● Windows 98/Me の場合

❏ ［プリンタプロパティ］ダイアログボックスの［全般］ページにある［印字テスト］をクリックします。

● Windows 2000/XP/Server 2003/Vista の場合

❏ ［プリンタプロパティ］ダイアログボックスの［全般］ページにある［テストページの印刷］をクリックします。

■ **テストページが適切に印刷される場合**

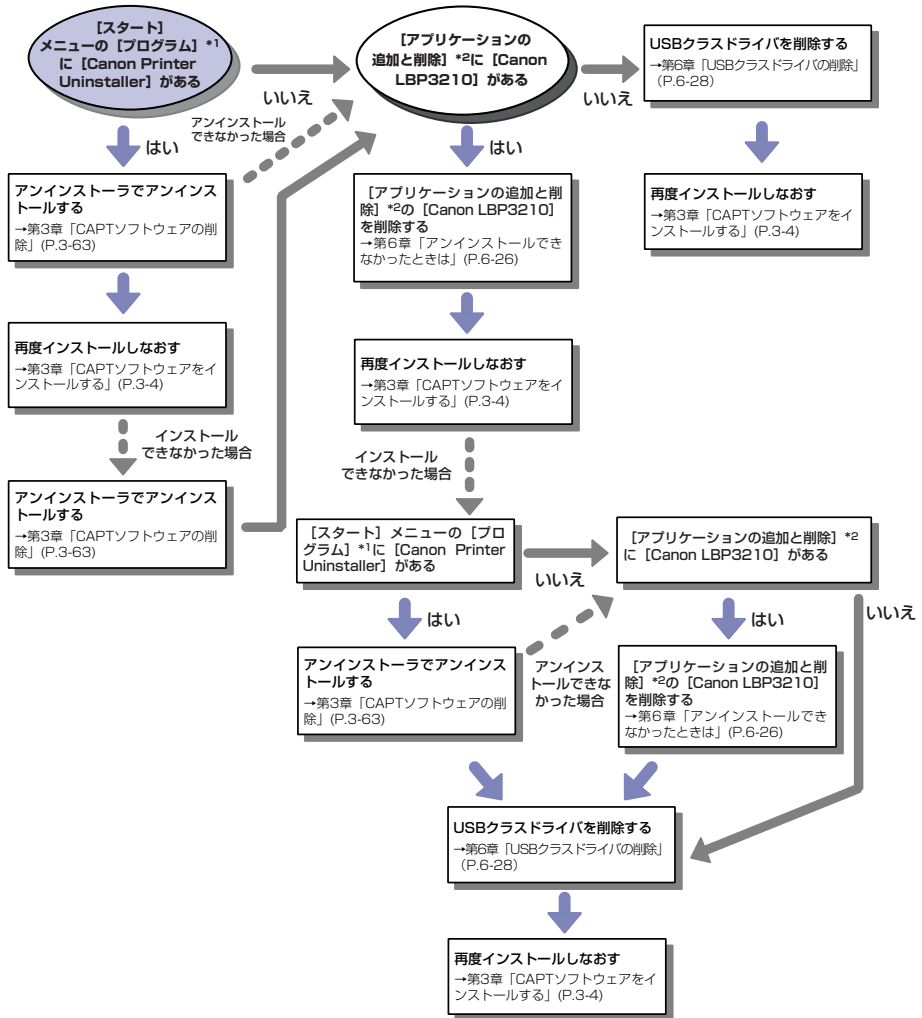
CAPT ソフトウェアからの印刷は可能です。アプリケーションソフトをチェックして、すべての印刷設定が適切かどうか確認してください。

■ **テストページが印刷できない場合**

CAPT ソフトウェアを削除し、再インストールしてから、テストページを印刷してください。（➞CAPT ソフトウェアの削除：P.3-63）

インストールのトラブル（Windows のみ）

「USB クラスドライバ」と「LBP3210 プリンタドライバ」のインストールが正常にできないときは、次の手順にしたがってチェックしてください。

メモ　Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 6 章　困ったときには」を参照してください。

*1 Windows XP/Server 2003/Vista は［すべてのプログラム］

*2 Windows XP/Server 2003 は［プログラムの追加と削除］、Windows Vista は［プログラムのアンインストール］

6
困ったときには

アンインストールできなかったときは

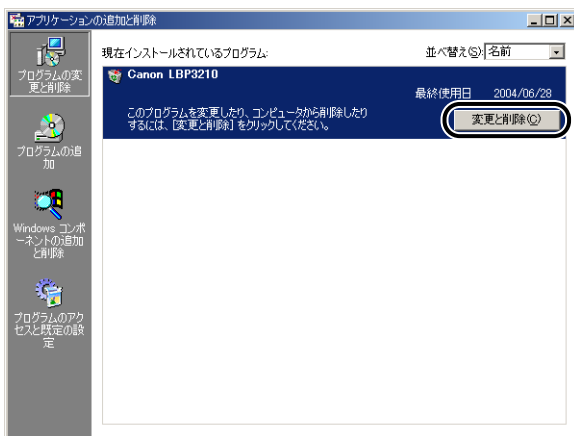
インストール時に作成されたアンインストーラでアンインストールできなかった場合は、以下の手順にしたがって CAPT ソフトウェアを削除します。

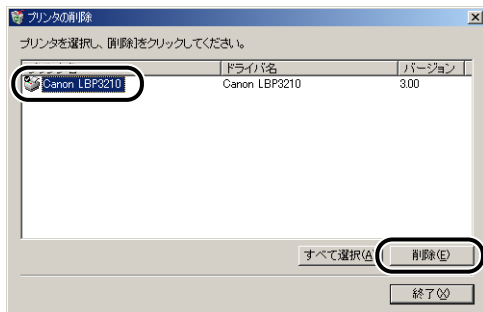
1 **[スタート] メニューから [設定] → [コントロールパネル] を選択し、[アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックします。**

Windows XP の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プログラムの追加と削除] をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除] を選択します。
Windows Vista の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プログラムのアンインストール] をクリックします。

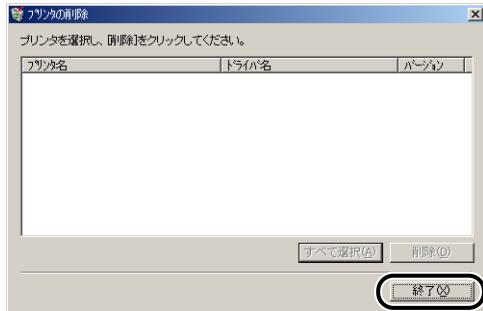
2 **[アプリケーションの追加と削除] ダイアログボックス内の [Canon LBP3210] を選択し、[変更と削除] をクリックします。**

Windows 98/Me の場合は [アプリケーションの追加と削除] ダイアログボックス内の [Canon LBP3210] を選択し、[追加と削除] をクリックします。
Windows XP/Server 2003 の場合は [プログラムの追加と削除] ダイアログボックス内の [Canon LBP3210] を選択し、[変更と削除] をクリックします。
Windows Vista の場合は、[プログラムと機能] ダイアログボックス内の [Canon LBP3210] を選択し、[アンインストールと変更] をクリックします。

メモ

- ダイアログボックス内に [Canon LBP3210] がない場合は「USB クラスドライバの削除」(→P.6-28) を行って再度インストールしてください。
- Windows Vista をお使いの場合、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、[続行] をクリックします。

3 本プリンタを選択し、［削除］をクリックします。

4 ［はい］をクリックします。

アンインストールを開始します。しばらくお待ちください。

5 ［終了］をクリックします。

［プリンタの削除］ダイアログボックスが閉じます。

6 Windows を再起動します。

USB クラスドライバの削除

USB クラスドライバの削除は、一度アンインストールを行っても、正しくインストールできなかった場合やアンインストールできなかった場合に行います。

1 **USB ケーブルでコンピュータとプリンタが接続され、プリンタの電源が入っていることを確認します。**

2 **［スタート］メニューから［設定］→［コントロールパネル］を選択し、［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。**

Windows XP の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プログラムの追加と削除］をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］→［プログラムの追加と削除］を選択します。
Windows Vista の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プログラムのアンインストール］をクリックします。

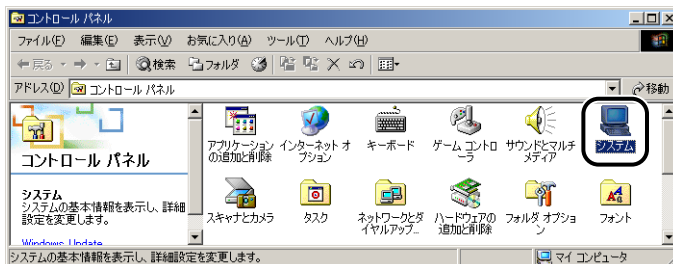
3 **［アプリケーションの追加と削除］ダイアログボックス内に［Canon LBP3210］がないことを確認し、［×］をクリックします。**

Windows XP/Server 2003 の場合は［プログラムの追加と削除］ダイアログボックス内に［Canon LBP3210］がないことを確認し、［×］をクリックします。
Windows Vista の場合は、［プログラムと機能］ダイアログボックス内に［Canon LBP3210］がないことを確認し、［×］をクリックします。

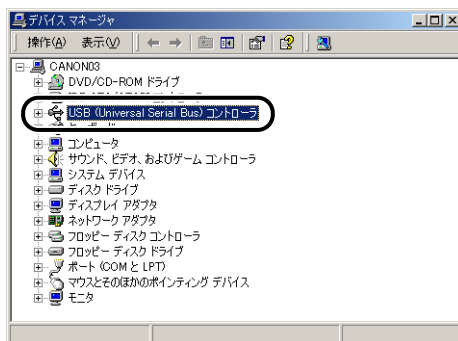
メモ

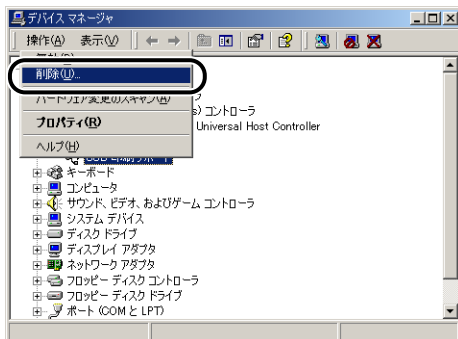
ダイアログボックス内に［Canon LBP3210］がある場合は、「アンインストールできなかったときは」（→P.6-26）を参照してダイアログボックス内の［Canon LBP3210］を削除してください。

4 ［スタート］メニューから［設定］→［コントロールパネル］を選択し、［システム］アイコンをダブルクリックします。

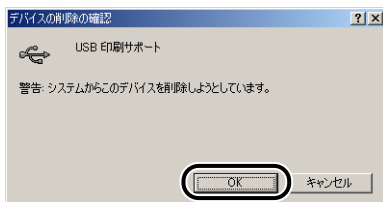
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［システム］をクリックします。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］→［システム］の順にクリックします。
Windows Vista の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［ハードウェアとサウンド］→［ハードウェアとデバイスを表示］をクリックします。

メモ　Windows Vista をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。

5 ［ハードウェア］→［デバイスマネージャ］の順にクリックし、［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］をダブルクリックします。

Windows 98/Me の場合は［システムのプロパティ］ダイアログボックスを表示させて［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］をダブルクリックします。
Windows Vista の場合は、［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］をダブルクリックします。

6 [USB印刷サポート]を選択して、[操作]メニューの[削除]を選択します。

Windows 98 の場合は [Canon LBP3210] を、Windows Me の場合は [Canon CAPT USB Printer] を選択して、[削除] をクリックします。

重要

- USB クラスドライバが [その他のデバイス] の下にある場合も正常にインストールされていません。ご使用の OS に応じて、[Canon LBP3210]、[Canon CAPT USB Printer]、または [不明なデバイス] のいずれかを選択して削除してください。
- 他のデバイスや device driver などの他の項目は、絶対に削除しないでください。誤って削除した場合、Windows が正常に動作しなくなることがあります。
- USB クラスドライバが正しくインストールされていない場合は [USB 印刷サポート] (Windows 2000/XP/Server 2003/Vista)、[Canon CAPT USB Printer] (Windows Me)、[Canon LBP3210] (Windows 98) は表示されません。

7 [デバイス削除の確認] (Windows Vista の場合は [デバイスのアンインストールの確認]) ダイアログボックスが表示されたら、[OK] をクリックします。

8 [閉じる] をクリックします。

[システムのプロパティ] が閉じます。

9 USB ケーブルをコンピュータから外し、Windows を再起動します。

再起動が終了したらもう一度 CAPT ソフトウェアをインストールしなおしてください。
(→CAPT ソフトウェアをインストールする : P.3-4)

ローカルインストール時のトラブル

CD-ROM からプリンタドライバをインストールするとき、USB ケーブルを接続しても自動認識しない

原因 1 プリンタドライバをインストールする前に、すでに USB ケーブルが接続されていて、プリンタの電源がオンになっている

処　置 プリンタの電源をオフにして、USB ケーブルを取り外し、再度 USB ケーブルを接続し、プリンタの電源をオンにします。

原因 2 プリンタの電源がオフになっている

処　置 プリンタの電源をオンにしてください。

原因 3 USB ケーブルが正しく接続されていない

処　置 プリンタとコンピュータが USB ケーブルで正しく接続されているかを確認してください。

原因 4 USB ケーブルが合っていない

処　置 本プリンタのUSB インタフェース環境に合ったUSBケーブルを使用してください。本プリンタのUSBインタフェース環境は、USB 2.0 High-Speed（Windows 2000/XP/Server 2003/Vistaのみ）、USB Full-Speed（USB1.1 相当）です。

プリンタの共有機能を使用したときのインストールトラブル

接続するプリントサーバが見つからない

原因 1 プリントサーバが起動されていない

処　置 プリントサーバを起動してください。

原因 2 プリンタが共有設定されていない

処　置 プリントサーバ側の［プリンタプロパティ］ダイアログボックスでプリンタを共有設定してください。

原因 3 プリントサーバ、またはプリンタに接続する権限がない

処　置 ネットワーク管理者にユーザの権限の変更を依頼してください。

原因４　Windows Vista をお使いの場合、［ネットワーク探索］が［有効］に設定されていない

処　置　［ネットワーク探索］を［有効］に設定してください。
［ネットワーク探索］の設定は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックして、［ネットワークと共有センター］で行います。

その他のトラブル

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

LBP3210 が正常に動作しない

原因 1　LBP3210 が通常使うプリンタとして設定されていない

処　置　通常使うプリンタとして設定してください。

原因 2　CAPT ソフトウェアが正常にインストールされていない可能性がある

処　置　CAPTソフトウェアが正常にインストールされているかどうかを確認するために、アプリケーションソフトから印刷してみてください。正常に印刷されない場合には、CAPT ソフトウェアをアンインストールし、もう一度インストールしなおしてください（➞CAPT ソフトウェアの削除：P.3-63、CAPT ソフトウェアをインストールする：P.3-4）。

プリンタの排紙部周辺から湯気が出る

原　因　トナーを定着するときの熱によって、用紙に含まれている水分が蒸発した（特に、室温が低い場合に発生しやすくなります）

処　置　異常ではありませんが、未開封の新しい用紙と交換することで、湯気の発生を防ぐことができます。
また、用紙は湿らせないように保管してください。（➞ 用紙の保管について：P.2-8）

⚠警告　焦げ臭いにおいがした場合は、直ちにプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜いて、お客様相談センター（巻末参照）またはお買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

Adobe Type Manager（ATM）フォントを使用できない

原　因　Adobe Type Manager（ATM）フォントは、本プリンタでは使用できない

処　置　本プリンタで使用できるフォントを使用してください。

CD-ROM Setup が自動的に表示されない（Windows 98/Me/Vista のみ）

原　因　CD-ROM Setup を自動的に表示する設定になっていない

処　置　Windows 98/Me の場合は、[デバイスマネージャー] から CD-ROM ドライブのプロパティを表示し、[設定] ページの [挿入の自動通知] を選択してください。
Windows Vista の場合は、[コントロールパネル] から [CD または他のメディアの自動再生] をクリックし、[すべてのメディアとデバイスで自動再生を使う] にチェックマークを付け、[ソフトウェアとゲーム] を [プログラムのインストール / 実行] に設定してください。

プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）に「用紙が指定と異なります」と表示されている

原因 1　印刷するジョブの [出力用紙サイズ] の設定と直前に印刷したジョブの [出力用紙サイズ] の設定が異なっている

処　置　カセットから印刷する場合は、カセットにセットされている用紙サイズを確認し、正しい用紙にセットしなおしてから、カセットを再度プリンタにセットします（自動的に印刷が開始されます）。
手差し給紙口から印刷する場合は、手差し給紙口にセットされている用紙サイズを確認し、正しい用紙にセットしなおしてから、プリンタステータスウィンドウの [　] （エラー復帰）をクリックします。

原因 2　[カセット用紙サイズのチェックを行う] にチェックマークが付いている

処　置　[カセット用紙サイズのチェックを行う] のチェックマークを消すと、プリンタステータスウィンドウに [用紙が指定と異なります] と表示されずに、[出力用紙サイズ] の設定に関わらず、現在セットしている用紙で印刷します。

コンピュータでプリンタの共有機能を使用している場合、プリンタステータスウィンドウでステータスの取得に時間がかかる（Windows のみ）

原　因　Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS のコンピュータをプリントサーバとして使用している場合に、クライアント側との通信が Windows ファイアウォールでブロックされている

処　置　プリントサーバを起動して、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。（➞Windows ファイアウォール機能について：P.7-9）

コンピュータでプリンタの共有機能を使用している場合、プリンタステータスウィンドウにステータスが表示されない（Windows のみ）

原　因　Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS のコンピュータをクライアントとして使用している場合に、プリントサーバ側との通信が Windows ファイアウォールでブロックされている

処　置　サーバ側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。（➞Windows ファイアウォール機能について：P.7-9）

プリンタの機能を確認したいときには

本プリンタは、プリンタドライバのバージョンなど、プリンタの情報が確認できるプリンタステータスプリントの機能を備えています。プリンタの準備や接続が終了したあと、プリンタの動作確認をしたいときなど、必要に応じて行ってください。

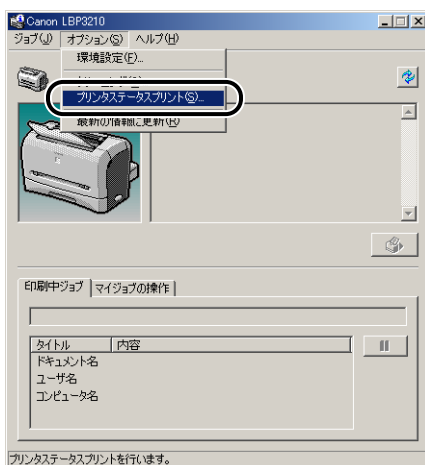
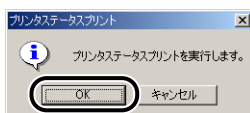
メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第４章　便利な印刷機能」を参照してください。

1 A4（またはレター）サイズの白紙をカセットまたは手差し給紙口にセットします。

2 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（➞P.4-60）を参照してください。

6
困ったときには

3 ［オプション］メニューから［プリンタステータスプリント］を選択します。

4 ［OK］をクリックします。

プリンタステータスプリントが印刷されます。

5 プリンタステータスプリントの印刷内容を確認します。

プリンタステータスプリントを行うと、次のように印刷されます。プリンタドライバのバージョンなどのプリンタの情報が確認できます。

ここに掲載されているプリンタステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで出力したプリンタステータスプリントとは、内容が異なることがあります。

Canon ステータスプリント

製品名	: LBP3210
コントローラバージョン	: 0.05
エンジンバージョン	: 08
ドライババージョン	: 1.00

USB

ベンダーID	: 0x04a9
プロダクトID	: 0x2657
シリアルナンバー	: 000001456IA9

Canon および Canon ロゴ はキヤノン株式会社の商標です。

6

困ったときには

付録

7

CHAPTER

この章では、おもな仕様、索引、保守サービスのご案内、ソフトウェアのバージョンアップ方法などについて説明しています。

プリンタのおもな仕様

ハードウェアの仕様

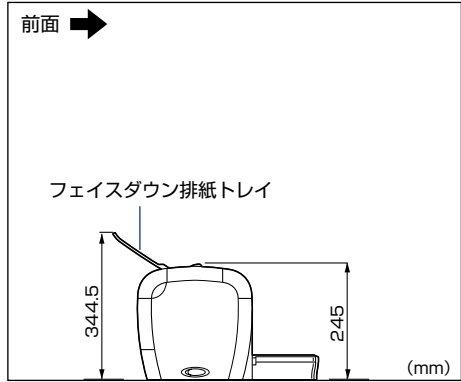
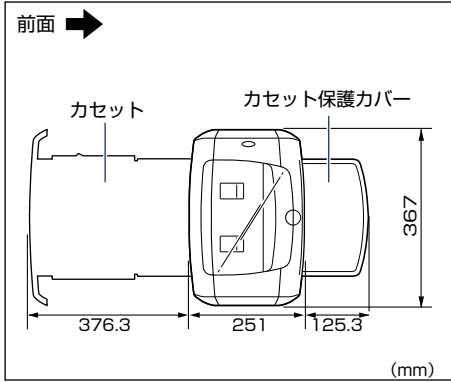
項目		仕様
形式		デスクトップ型ページプリンタ
プリント方式		電子写真方式（オンデマンド定着）
プリント速度 普通紙（64 ～ 80g/m^2）		A4 連続プリント時 20 ページ／分 * プリント速度は、用紙サイズ、用紙タイプ、プリント枚数、定着モードの設定により段階的に遅くなることがあります。（これは熱による故障などを防止するための安全機能が働くためです。）
ウォームアップ時間		0 秒（電源オン時は 8 秒以下）
ファーストプリント時間		フェイスダウン排紙時：10 秒以下（20℃ A4 サイズ） フェイスアップ排紙時：9 秒以下（20℃ A4 サイズ） * プリンタがデータを受信し始めてからの時間です。
用紙サイズ	カセット	A4、B5、A5、レター、エグゼクティブ、往復はがき、はがき、封筒洋形 4 号、封筒洋形 2 号、 最大積載枚数　約 250 枚（64g/m^2）
	手差し給紙口	A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ、往復はがき、はがき、封筒洋形 4 号、封筒洋形 2 号、ユーザ定義用紙（幅 76.2 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 355.6mm） 最大積載枚数　1 枚
排紙方法		フェイスダウン／フェイスアップ
排紙積載枚数		フェイスダウン排紙部（フェイスダウン）　約 100 枚（64g/m^2） フェイスアップ排紙口（フェイスアップ）　1 枚
稼働音（ISO9296 に基づく表示騒音放射値）		音圧レベル（バイスタンダ位置） 　スタンバイ時：暗騒音 　プリント時：49dB（A）以下
使用環境 （プリンタ本体のみ）		動作環境温度　7.5 ～ 32.5℃ 湿度　5 ～ 90%RH（結露しないこと）
保管環境 （プリンタ本体のみ）		保管環境温度　0 ～ 35℃ 湿度　35 ～ 85%RH（結露しないこと）

ホストインタフェース		・Windows 98/Me　USB Full-Speed（USB1.1 相当） ・Windows 2000/XP/Server 2003/Vista USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当） ・Mac OS 9、X（10.3.2以前）：USB Full-Speed（USB1.1相当） ・Mac　OS　X（10.3.3 以降）：USB　2.0　Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）
電源		AC100V ± 10%（50/60Hz ± 2Hz）
消費電力 （20℃時）		動作時平均　約 370W スタンバイ時平均　約 6W 最大　640W 以下
消耗品	トナーカートリッジ	キヤノン純正品 EP-26 Cartridge プリント可能ページ数　約 2500 枚 *A4 またはレターサイズ、5%印字比率の場合
質量		プリンタ本体（トナーカートリッジは除く）....................約 6.1kg カセット..約 0.8kg トナーカートリッジ（キヤノン純正品 EP-26 Cartridge）....約 0.7kg

ソフトウェアの仕様

項目	仕様
プリンティングソフトウェア	CAPT（Canon Advanced Printing Technology）
有効印字領域	用紙周囲から上5mm、下5mm、左5mm、右5mmを除いた領域。

各部の寸法

■ プリンタ本体

Macintosh をお使いのお客様へ

Macintosh 用のプリンタドライバの使いかたについては、「オンラインマニュアル」を参照してください。

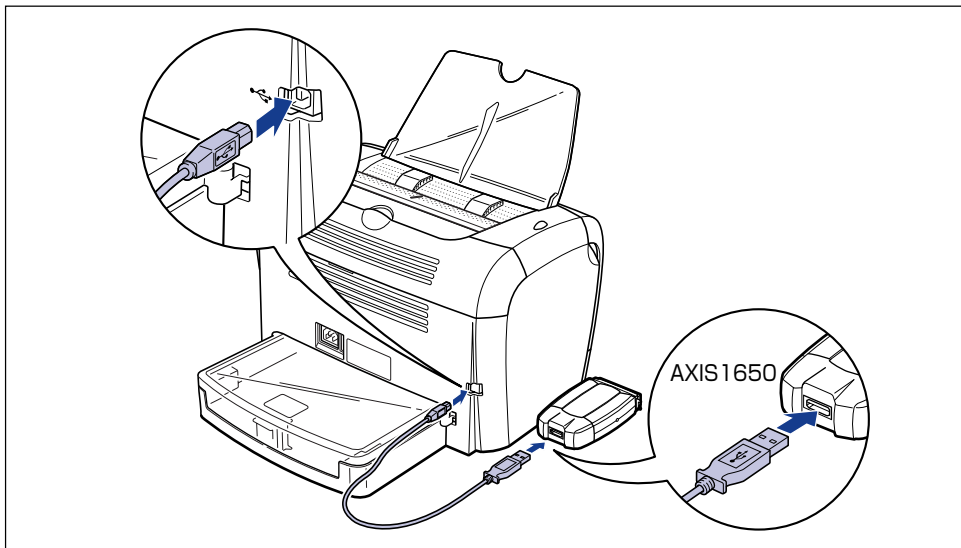
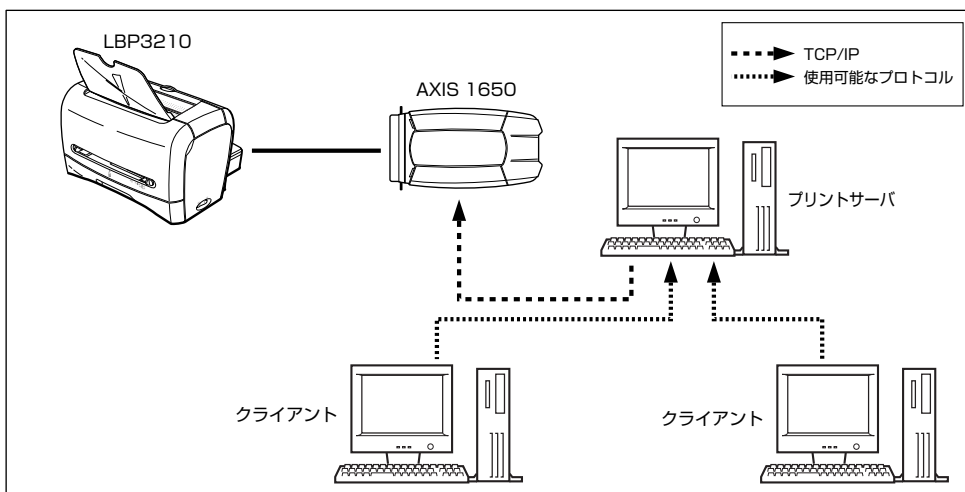
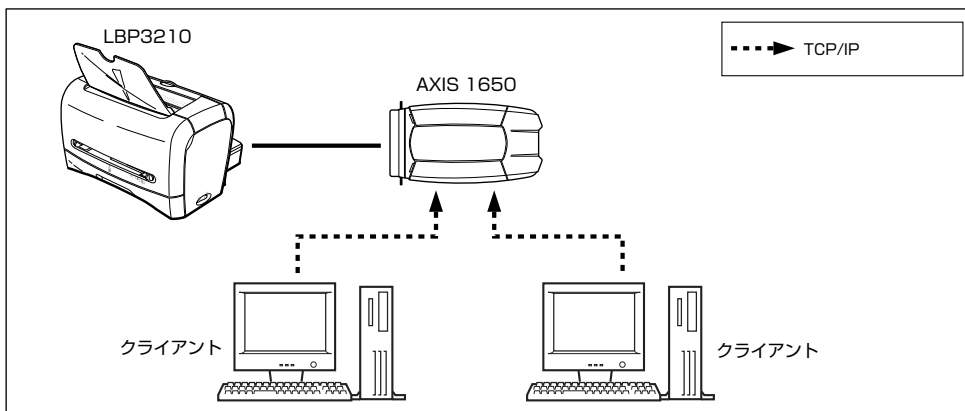
「オンラインマニュアル」は付属の CD-ROM 内の［プリンタドライバ MacOS9］フォルダまたは［プリンタドライバ MacOSX］フォルダに収められています。Macintosh をお使いのお客様は、「オンラインマニュアル」をよくお読みのうえ、プリンタの機能を十分に活用してください。

オプションについて

オプションのネットワークアダプタ（AXIS1650）をお使いになると、LBP3210プリンタをネットワーク直結プリンタとしてお使いになることができます。

AXIS1650 の詳細および対応 OS については、アクシスコミュニケーションズ（株）のホームページ（http://www.axiscom.co.jp/）をご覧ください。

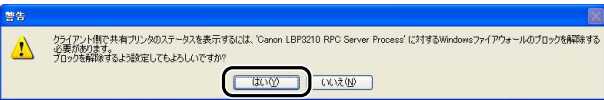
ネットワークアダプタ（Windows のみ）

オプションのネットワークアダプタは、LBP3210 プリンタと USB ケーブルで接続してお使いになれます。ネットワークアダプタとコンピュータは、ピア・トゥー・ピアで接続されます。また、プリントサーバを経由して接続することもできます。

メモ

- ネットワークアダプタをお使いの場合、ネットワークに接続されたプリンタの初期設定を行うユーティリティソフトウェア「NetSpot Device Installer」がご利用になれます。
- ネットワークアダプタについての詳細は、ネットワークアダプタに付属の取扱説明書を参照してください。
- ネットワークアダプタの購入は、LBP3210 をお買い求めの販売店へお問い合わせください。

NetSpot Device Installer について（Windows のみ）

付属の CD-ROM には、プリンティングソフトウェア（CAPT）と共に、ネットワークに接続されたプリンタの初期設定を行うユーティリティソフトウェア「NetSpot Device Installer」が同梱されています。NetSpot Device Installer は、コンピュータへのインストールが不要なソフトウェアで、簡単にプリンタのネットワーク接続の初期設定を行うことができます。

NetSpot Device Installer の詳細については、ネットワークアダプタ（AXIS 1650）に付属の取扱説明書を参照してください。

メモ　付属の CD-ROM によっては、NetSpot Device Installer が同梱されていない場合があります。付属の CD-ROM に NetSpot Device Installer が同梱されていない場合は、キヤノンホームページ（http://canon.jp）からダウンロードしてください。

Windows ファイアウォール機能について

Windows XP Service Pack 2 などの OS では、コンピュータの保護のため、承認されていないネットワーク経由のアクセスなどをブロックする機能があります。

そのため、プリンタを Windows ファイアウォール機能を持っている OS で使用する場合は、Windows ファイアウォールのブロックを解除する操作／設定を行う必要があります。

プリントサーバ（プリンタを直接接続するコンピュータ）側および、クライアント（ネットワーク経由でプリントするコンピュータ）側で以下の操作／設定が必要です。

設定内容		参照先
プリントサーバ側	**■ CD-ROM SetupからCAPTソフトウェアをインストールする場合** インストール中に［警告］ダイアログボックスが表示されますので、［はい］をクリックして、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除します。 警告 クライアント側で共有プリンタのステータスを表示するには、'Canon LBP3210 RPC Server Process' に対するWindowsファイアウォールのブロックを解除する必要があります。 ブロックを解除するよう設定してもよろしいですか? はい(Y) いいえ(N)	P.3-5
	■ ［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダから CAPT ソフトウェアをインストールする場合や、Windows の「エクスプローラ」から CAPT ソフトウェアをインストールする場合 「CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ」を使用して、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除します。	P.7-10
クライアント側	サーバ側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除します。	P.7-13

重要　「CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ」をハードディスクにコピーして使用する場合は、付属の CD-ROM「LBP3210 User Software」に収められている［WF_UTIL］フォルダ内のすべてのファイル（CNAB2FW.EXE、CAPTRGFW.DLL、CNAB2FW.INI）をコピーしてください。

クライアントとの通信に対する Windows ファイアウォールのブロック解除をする

1 **付属の CD-ROM「LBP3210 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。**

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

Windows Vista をお使いの場合に、［自動再生］ダイアログボックスが表示されたときは、［フォルダを開いてファイルを表示］をクリックして手順 3 へ進みます。

2 **［スタート］メニューから［マイコンピュータ］（Windows Vista は［コンピュータ］）を選択し、CD-ROM アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから［開く］を選択します。**

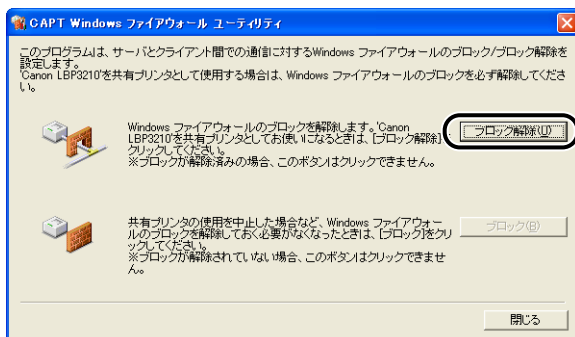
3 **［Japanese］→［WF_UTIL］→［CNAB2FW.EXE］の順にダブルクリックします。**

［CAPT Windows ファイアウォール ユーティリティ］が起動します。

重要

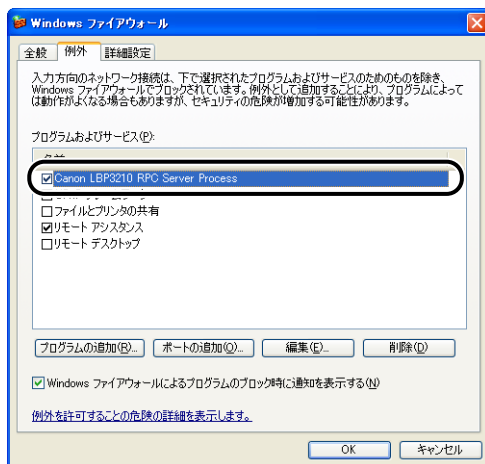
次の方法で［CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ］を起動することもできます。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）

- Windows Vista 以外の OS の場合は、［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥WF_UTIL¥CNAB2FW.EXE」と入力し、［OK］をクリックします。
- Windows Vista の場合は、［スタート］メニューの［検索の開始］に「D:¥Japanese¥WF_UTIL¥CNAB2FW.EXE」と入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

4 **［ブロック解除］をクリックします。**

メモ　既にクライアント側との通信に対するブロックの解除が行なわれている場合は、[ブロック解除] はクリックできません。

5 [OK] をクリックします。

メモ　Windows ファイアウォール機能のブロック解除が正しく行なわれたことを確認するには、次の方法で確認してください。

1. [Windows ファイアウォール]（Windows Vista は [Windows ファイアウォールの設定]）ダイアログボックスを表示します。
   - ・Windows XP の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[ネットワークとインターネット接続] → [Windows ファイアウォール] の順にクリックします。
   - ・Windows Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] → [Windows ファイアウォール] を選択します。
   - ・Windows Vista の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] をクリックします。([ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、[続行] をクリックします。)
2. [Windows ファイアウォール]（Windows Vista は [Windows ファイアウォールの設定]）ダイアログボックスの [例外] ページで、[Canon LBP3210 RPC Server Process] のチェックボックスにチェックマークが付いていることを確認してください。

クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックが解除されました。

Windows ファイアウォールでクライアント側との通信を遮断（ブロック）する

1 **付属のCD-ROM「LBP3210 User Software」をCD-ROMドライブにセットします。**

CD-ROM Setupが表示された場合は、［終了］をクリックします。

Windows Vistaをお使いの場合に、［自動再生］ダイアログボックスが表示されたときは、［フォルダを開いてファイルを表示］をクリックして手順3へ進みます。

2 **［スタート］メニューから［マイコンピュータ］（Windows Vistaは［コンピュータ］）を選択し、CD-ROMアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから［開く］を選択します。**

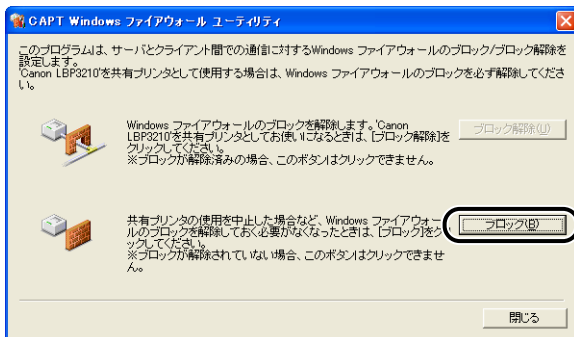
3 **［Japanese］→［WF_UTIL］→［CNAB2FW.EXE］の順にダブルクリックします。**

［CAPT Windows ファイアウォール ユーティリティ］が起動します。

重要

次の方法で［CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ］を起動することもできます。（ここでは、CD-ROMドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROMドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）

- Windows Vista以外のOSの場合は、［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥WF_UTIL¥CNAB2FW.EXE」と入力し、［OK］をクリックします。
- Windows Vistaの場合は、［スタート］メニューの［検索の開始］に「D:¥Japanese¥WF_UTIL¥CNAB2FW.EXE」と入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

4 **［ブロック］をクリックします。**

既に Windows ファイアウォールでクライアント側と通信の遮断（ブロック）が行なわれている場合は、［ブロック］はクリックできません。

5 ［OK］をクリックします。

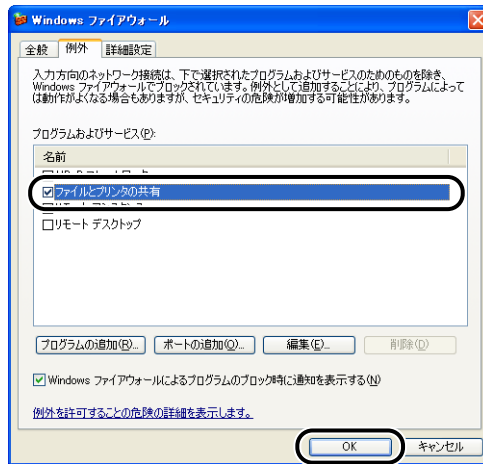
Windows ファイアウォールでクライアント側との通信が遮断（ブロック）されました。

サーバとの通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除する

クライアント側で以下の設定を行わないと、プリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されないなど、一部の機能が正常に動作しない場合があります。

1 ［Windows ファイアウォール］（Windows Vista は［Windows ファイアウォールの設定］）ダイアログボックスを表示します。

Windows XP の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］→［Windows ファイアウォール］の順にクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］→［Windows ファイアウォール］を選択します。
Windows Vista の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］をクリックします。（［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。）

2 ［Windows ファイアウォール］（Windows Vista は［Windows ファイアウォールの設定］）ダイアログボックスの［例外］ページで、［ファイルとプリンタの共有］のチェックボックスにチェックマークを付け、［OK］をクリックします。

サーバ側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックが解除されました。

FontGallery について

FontGallery には、TrueType フォントとして和文 20 書体、欧文 100 書体が収められています。また、Windows をお使いの場合は、かな 31 書体、およびかな書体組み合わせユーティリティ「FontComposer」をインストールすることにより、さらに多彩な文字表現が可能になります。Macintosh をお使いの場合は、あらかじめ和文書体とかな書体を組み合わせた 43 書体が収められています。

ご使用になる前に「FontGallery 製品使用許諾契約書」(→P.7-17)を必ずお読みください。

必要なシステム環境

FontGallery および FontComposer を使用するには、次のシステム環境が必要です。

重要
- かな書体および FontComposer は、Windows をお使いの場合にご利用いただけます。Macintosh をお使いの場合は、ご利用いただけません。
- FontGallery は、1 台のコンピュータに対してのみ使用許諾をしています。複数のコンピュータでお使いになる場合は、別途 FontGallery ライセンス商品をお買い求めください。ネットワークのサーバ上で使用することはできません。お使いのコンピュータにインストールしてお使いください。

■ Windows 版を使用する場合

- OS
  - ・Microsoft Windows 98/Me 日本語版
  - ・Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
  - ・Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
- コンピュータ
  - ・上記 OS が動作するコンピュータ

メモ
Windows Vistaをお使いの場合は、FontGalleryおよびFontComposerはご利用いただけません。

■ Macintosh 版を使用する場合

- OS
  - ・Mac OS 9.1 以降、OS X（10.1.5 ～ 10.4.2）
- コンピュータ
  - ・上記 OS が動作するコンピュータ

コード表について

2種類のコード表をファイルとして用意してあります。収容文字の確認などにお使いください。なお、CSV形式のコード表をお使いの場合は、CSV形式のファイルを開くことのできるアプリケーションからテキストを指定してご使用ください。

- Windows用
  - ・リッチテキスト形式（*.rtf）
  - ・CSV形式（*.csv）
- Macintosh用
  - ・シンプルテキスト形式
  - ・CSV形式

インストール方法について

Windows でFontGallery をインストールする前には、必ず付属の CD-ROM 内の［FGALLERY］フォルダにあるREADMEファイルをお読みください。

Macintosh でFontGallery をインストールする前には、必ず付属の CD-ROM 内の［FGallery］フォルダにある［FontGallery取扱説明］をお読みください。

■ FontGallery

FontGallery のインストール手順については、以下のフォルダに収録されている取扱説明書をお読みください。

- Windows用
  - ・FontGallery 取扱説明書：¥Japanese¥Fgallery¥Manual¥Font¥Fgmanual.pdf（PDF形式）
- Macintosh用
  - ・FontGallery取扱説明書：［FGallery］フォルダ内の［FontGallery取扱説明］（シンプルテキスト形式）

メモ

- フォントをインストールするには、多少の時間がかかります。1書体につき10秒前後かかりますので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書を表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Readerが必要です。ご使用のシステムにAdobe Reader/Adobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

■ FontComposer （Windowsのみ）

FontComposerのインストール手順については、以下のフォルダに収録されている取扱説明書をお読みください。

- FontComposer 取扱説明書:¥Japanese¥Fgallery¥Manual¥Composer¥Fcmanual.pdf（PDF形式）

FontComposerを使用するには、約 10～20MBのハードディスクの空き容量が必要となる場合があります。FontComposer を起動する際に、空き容量不足のメッセージが表示された場合には、ハードディスクの空き容量を確保してください。

取扱説明書を表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

FontGallery 製品使用許諾契約書

弊社では、FontGallery 製品につきまして、下記のソフトウェア製品使用許諾契約書とBITSTREAM 使用許諾契約を設けさせていただいており、お客様が契約書にご同意いただいた場合にのみ、ソフトウェア製品をご使用いただいております。お手数ではございますが、本 FontGallery 製品をご使用になる前に、契約書を十分にお読みください。なお、本FontGallery 製品をご使用になられた場合には、お客様が契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

ソフトウェア製品使用許諾契約書

キヤノン株式会社（以下、キヤノンといいます。）は、お客様に対し、本契約書とともにご提供する FontGallery 製品（当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾ソフトウェア」といいます。）の譲渡不能の非独占的使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾ソフトウェア」およびその複製物に関する権利はキヤノンに帰属します。

1. 使用許諾

(1) お客様は、機械読取形態の「許諾ソフトウェア」を一時に 1 台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。お客様が、同時に複数台のコンピュータで「許諾ソフトウェア」を使用したり、また「許諾ソフトウェア」をコンピュータネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合には、別途契約によりキヤノンからその使用権を取得することが必要です。

(2) お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。

(3) お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また第三者にこのような行為をさせてはなりません。

2.「許諾ソフトウェア」の複製

お客様は、バックアップのために必要な場合に限り、「許諾ソフトウェア」を 1 コピーだけ複製することができます。あるいは、オリジナルをバックアップの目的で保持し、「許諾ソフトウェア」をお客様がご使用のコンピュータのハードディスク等の記憶装置 1 台のみに 1 コピーだけ複製することができます。しかし、これら以外の場合にはいかなる方法によっても「許諾ソフトウェア」を複製できません。お客様には、「許諾ソフトウェア」の複製物上に「許諾ソフトウェア」に表示されているものと同一の著作権表示を行っていただきます。

3. 保証の否認・免責

(1) キヤノンおよびキヤノンマーケティングジャパン株式会社（以下、キヤノンマーケティングジャパンといいます。）は、「許諾ソフトウェア」がお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または「許諾ソフトウェア」にバグがないこと、その他「許諾ソフトウェア」に関していかなる保証もいたしません。

(2) キヤノンおよびキヤノンマーケティングジャパンは、「許諾ソフトウェア」の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、また「許諾ソフトウェア」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

4. 輸出

お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な認可等を得ることなしに、一部または全部を問わず、「許諾ソフトウェア」を、直接または間接に輸出してはなりません。

5. 契約期間

(1) 本契約は、お客様が「許諾ソフトウェア」を使用した時点で発効します。

(2) お客様は、キヤノンに対して 30 日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。

(3) キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。

(4) 本契約は、上記 (2) または (3) により終了するまで有効に存続します。上記 (2) または (3) により本契約が終了した場合、キヤノンまたはキヤノンマーケティングジャパンは、「許諾ソフトウェア」の代金をお返しいたしません。お客様は、「許諾ソフトウェア」の代金の返還をキヤノンおよびキヤノンマーケティングジャパンに請求できません。

(5) お客様には、本契約の終了後 2 週間以内に、「許諾ソフトウェア」およびその複製物を廃棄または消去したうえ、廃棄または消去したことを証する書面をキヤノンに送付していただきます。

6. 一般条項

(1) 本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。

(2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

以上

キヤノン株式会社

BITSTREAM 使用許諾契約

同梱のフォントをインストールすることにより、お客様は本契約の条件に拘束されることに同意することになります。

本合意により、お客様と BITSTREAM とのあいだの完全な合意が構成されます。本合意書の条件に同意なさらない場合は、同梱のディスクに含まれているフォントをご使用にならないでください。

1. 使用許諾。本 Bitstream 製品に対してお客様が支払われた価格の一部であるライセンス料金支払いの対価として、ライセンサーである BITSTREAM はライセンシーであるお客様に対し、Bitstream 製品を、1 台のプリンタ、あるいは 1 台のタイプセッタまたはイメージセッタおよびそのタイプセッタまたはイメージセッタ専用のプルーフプリンタに接続した 1 台または複数のコンピュータ上で使用および表示する非独占的権利を付与します。
   BITSTREAM は、ライセンシーに明示的には付与されていないすべての権利を留保します。
2. 所有権。お客様はライセンシーとして、Bitstream 製品が最初に記録されたかその後に供給される磁気またはその他の物理的媒体を保有しますが、BITSTREAM は最初の、またはその他のコピーがどのような形態でまたは媒体上に存在するかを問わず、Bitstream製品の最初のディスクコピーまたはその後のコピーに記録されたBitstream製品のソフトウェアプログラムに対する権限および所有権を留保します。本ライセンスはBitstream製品のオリジナルソフトウェアプログラムまたはその一部またはコピーの販売ではありません。
3. コピーの制限。Bitstream 製品および付属の資料は著作権で保護されており、BITSTREAM の所有権の対象になる情報および企業秘密が含まれています。印刷物を未許可のままコピーすること、およびたとえそれが変更されているか、他のソフトウェアに合体されたり他のソフトウェアに含められている場合でもBitstream製品を未許可のままコピーすることは、明示的に禁じられています。お客様が本合意書の条件に従わなかったことを原因とするか、従わなかったために助長された BITSTREAM の知的所有権の侵害は、お客様に法律上の責任を負っていただく場合があります。Bitstream 製品はバックアップを目的とする場合に限り、コピーを 1 部作成することができますが、その場合は、著作権情報を完全な形でバックアップコピーに複製するものとします。
4. 使用の許容範囲。本 Bitstream 製品、ユーザーズガイドおよび文書はライセンシーであるお客様に使用が許諾されるものであり、事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、一定期間第三者に譲渡することはできません。Bitstream 製品に変更、改造、翻訳、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行うことはできません。また Bitstream 製品から派生的な製品を作成することもできません。お客様に提供される文書は事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、変更、改造、翻訳することはできませんし、派生的な文書を作成するのにも使用できません。
5. 終了。本契約は終了するまで有効です。本契約は、お客様が本書に含まれている条項に一つでも従わなければ、BITSTREAM からお知らせしなくても自動的に終了します。終了と同時に文書 Bitstream 製品、そのすべてのコピーは部分的か全体かを問わず、変更されたコピーがある場合はそれも含めて破棄しなければなりません。
6. その他。本契約はマサチューセッツ州法に準拠します。

保証の拒否および限定保証

BITSTREAM は、Bitstream 製品が提供されているディスクについて、通常の使用形態であればお客様の受領書の写しによって証明されるお客様への納品日から 90 日間、材質および出来映えに欠陥がないことを保証します。

ディスクに関する BITSTREAM の全責任およびお客様の唯一の救済措置は、購入価格を返却するか、BITSTREAM の限定保証を満たさず、BITSTEAM に受領証のコピーとともに返却されたディスクを交換するかのいずれかを BITSTREAM が選択することとなります。ディスクの障害が事故、濫用または誤用を原因とする場合、BITSTREAM はディスクを交換するか購入価格を返却する責任を有しません。ディスクを交換する場合は、当初の保証期間の残りの期間か 30 日間のいずれか長いほうの期間について保証されます。この保証により、お客様には特定の法的権利が付与されます。また州によりお客様は異なるその他の権利を持つ可能性があります。

以上で明確に定義されている場合を除き、Bitstream 製品、ユーザーズガイドおよび文書は「保証なし」のまま提供されます。BITSTREAM は特定目的の商品性および適合性の黙示的な保証など、明示的か黙示的かを問わず、いっさいの種類の保証を行いません。

Bitstream 製品、ユーザーズガイドおよび文書の品質および性能に関して、リスクはお客様が全面的に負うことになります。BITSTREAM は、Bitstream 製品に含まれる機能がお客様の要求事項を満たす旨、またはソフトウェア製品が無停止またはエラーなしで稼働する旨を保証するものではありません。

BITSTREAM は、たとえそうした損害の可能性を助言されていたとしても、Bitstream 製品の使用から、または使用できなかったことから生じた直接的、間接的、派生的、付随的な損害賠償の責任を負いません（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失から生じた損害を含む）。

一部の州では、派生的または付随的な損害賠償の責任を除外または限定することが認められていないため、上記の限定が適用されない場合があります。

米国政府の限定権利

Bitstream 製品と呼ばれるソフトウェア製品とその関連文書は権利を限定して提供されます。合衆国政府による使用、複写、開示は、FAR52.227-19(c)(2)（1987 年 5 月）が適用される場合はそこに規定されている制限に従います。それ以外の場合は DOD FAR の適用される規定が 252.227-7013 の第 (a)(15) 条（1988 年 4 月）または第 (a)(17) 条（1988 年 4 月）を補完する条項です。

契約当事者 / メーカーは 215 First Street, Cambridge, MA 02142 の Bitstream Inc. です。本契約に関して質問がおありの場合、または理由を問わず BITSTREAM に連絡を取りたい場合は、書面でご連絡ください。

FontGallery 同梱書体見本

次の書体をご利用いただけます。

■ 和文書体

和文書体の見本を以下に示します。

平成明朝体 W3	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W5	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W7	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W9	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W3	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W5	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W7	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W9	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
教科書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
楷書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
行書体 LC-M	夢のある多彩なフォント
行書体 CC-M	夢のある多彩なフォント

■ かな書体

かな書体の見本を以下に示します。

こでまりＬ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＭ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＢ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＨ	ゆめのあるふぉんと
からたちＬ	ゆめのあるふぉんと
からたちＭ	ゆめのあるふぉんと
からたちＢ	ゆめのあるふぉんと
からたちＨ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＬ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＭ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＢ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＨ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＬ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＭ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＢ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＨ	ゆめのあるふぉんと
あしびＬ	ゆめのあるふぉんと
あしびＭ	ゆめのあるふぉんと
あしびＢ	ゆめのあるふぉんと
あしびＨ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＬ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＭ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＢ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＨ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＬ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＭ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＢ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＨ	ゆめのあるふぉんと
行書LC仮名	ゆめのあるふぉんと
sek01	ゆめのあるふぉんと
sek02	ゆめのあるふぉんと

■ 和文書体とかな書体の組み合わせ

和文書体とかな書体の組み合わせ見本を以下に示します。

平成明朝体 Ｗ３＋からたちＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ３＋こでまりＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ３＋さんざしＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ３＋てっせんＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋からたちＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋こでまりＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋さんざしＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋てっせんＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋からたちＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋こでまりＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋さんざしＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋てっせんＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋からたちＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋こでまりＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋さんざしＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋てっせんＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ３＋あしびＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ３＋さざんかＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ３＋はしばみＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ５＋あしびＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ５＋さざんかＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ５＋はしばみＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ７＋あしびＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ７＋さざんかＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ７＋はしばみＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ９＋あしびＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ９＋さざんかＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ９＋はしばみＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｌ＋あしびＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｌ＋さざんかＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｌ＋はしばみＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｍ＋あしびＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｍ＋さざんかＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｍ＋はしばみＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｂ＋あしびＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｂ＋さざんかＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｂ＋はしばみＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｕ＋あしびＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｕ＋さざんかＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｕ＋はしばみＨ	夢のある多彩なフォント
丸ゴ Ｃａ-Ｂ＋ｓｅｋ０１	夢のある多彩なフォント
楷書体 ＮＴ－Ｍ＋てっせんＭ	夢のある多彩なフォント
行書体 ＬＣ－Ｍ＋行書ＬＣ仮名	夢のある多彩なフォント

メモ

- Windowsをお使いの場合は、FontComposerを使用して組み合わせ書体を自由に作成できます。
- Macintosh をお使いの場合は、あらかじめ上記の組み合わせ書体が収録されています。

■ 欧文書体

欧文書体の見本を以下に示します。

American Garamond Roman　ABCDEF abcdef 12345

American Garamond Italic　*ABCDEF abcdef 12345*

American Garamond Bold　**ABCDEF abcdef 12345**

American Garamond Bold Italic　***ABCDEF abcdef 12345***

Bodoni Roman　ABCDEF abcdef 12345

Bodoni Italic　*ABCDEF abcdef 12345*

Bodoni Bold　**ABCDEF abcdef 12345**

Bodoni Bold Italic　***ABCDEF abcdef 12345***

Cataneo Light　*ABCDEF abcdef 12345*

Cataneo Regular　*ABCDEF abcdef 12345*

Cataneo Bold　***ABCDEF abcdef 12345***

* Cataneo Light Swash　*ABCDEF a de 12345*

* Cataneo Regular Swash　*ABCDEF a de 12345*

* Cataneo Bold Swash　***ABCDEF a de 12345***

Cooper Black　**ABCDEF abcdef 12345**

Cooper Black Italic　***ABCDEF abcdef 12345***

Cooper Black Outline　ABCDEF abcdef 12345

Century Oldstyle Roman　ABCDEF abcdef 12345

Century Oldstyle Italic　*ABCDEF abcdef 12345*

Century Oldstyle Bold　**ABCDEF abcdef 12345**

Century Schoolbook Roman　ABCDEF abcdef 12345

Century Schoolbook Italic　*ABCDEF abcdef 12345*

Century Schoolbook Bold　**ABCDEF abcdef 12345**

Century Schoolbook Bold Italic　***ABCDEF abcdef 12345***

Clarendon Roman　**ABCDEF abcdef 12345**

Clarendon Bold　**ABCDEF abcdef 12345**

Clarendon Black　**ABCDEF abcdef 12345**

Cloister Black Regular　ABCDEF abcdef 12345

Cloister Black Openface　ABCDEF abcdef 12345

Commercial PI Regular　±°′″∅+ ©®©®™™ ●●▪■■

Commercial Script Regular　*ABCDEF abcdef 12345*

Dutch 801 Regular　ABCDEF abcdef 12345

Dutch 801 Italic　*ABCDEF abcdef 12345*

Dutch 801 Bold　**ABCDEF abcdef 12345**

* 「Cataneo Swash」には、一部文字が収容されておりません。これは、「Cataneo」と組み合わせて使用される書体のためです。

7
付録

Dutch 801 Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Dutch 801 Extra Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Dutch 801 Extra Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Exotic 350 Light	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Demi-Bold	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Goudy Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Goudy Oldstyle Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Goudy Oldstyle Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Goudy Oldstyle Extra Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Goudy Oldstyle Handtooled	ABCDEF abcdef 12345
Holiday PI	
Poster Bodoni Roman	**ABCDEF abcdef 12345**
Poster Bodoni Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Prima Sans BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Sans Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Prima Serif BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Serif Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Prima Mono BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Mono Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Ribbon 131 Regular	*ABCDEF abcdef 12345*
Ribbon 131 Bold	***ABCDEF abcdef 12345***
Roundhand Regular	*ABCDEF abcdef 12345*
Roundhand Bold	***ABCDEF abcdef 12345***
Roundhand Black	***ABCDEF abcdef 12345***
Serifa Thin	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Thin Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Serifa Light	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Light Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Serifa Roman	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Serifa Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Serifa Black	**ABCDEF abcdef 12345**

Serifa Bold Condensed	**ABCDEF abcdef 12345**
Snowcap Regular	ABCDEF abcdef 12345
Staccato 222	*ABCDEF abcdef 12345*
Staccato 555	***ABCDEF abcdef 12345***
Swiss 721 Light	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Swiss 721 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Swiss 721 Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Swiss 721 Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Swiss 721 Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Condensed	**ABCDEF abcdef 12345**
Swiss 721 Thin	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Thin Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Swiss 721 Light Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Condensed Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Swiss 721 Condensed Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Swiss 721 Bold Condensed Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Swiss 721 Bold Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Extended	**ABCDEF abcdef 12345**
Swiss 721 Black Extended	**ABCDEF abcdef 12345**
Swiss 721 Black Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Rounded	**ABCDEF abcdef 12345**
Swiss 721 Black Rounded	**ABCDEF abcdef 12345**
Symbol Proportional Regular	ΑΒΧΔΕΦ *αβχδεφ* 12345
Zapf Humanist 601 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Zapf Humanist 601 Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Zapf Humanist 601 Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Zapf Humanist 601 Ultra	**ABCDEF abcdef 12345**
Zapf Humanist 601 Ultra Italic	***ABCDEF abcdef 12345***

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

や

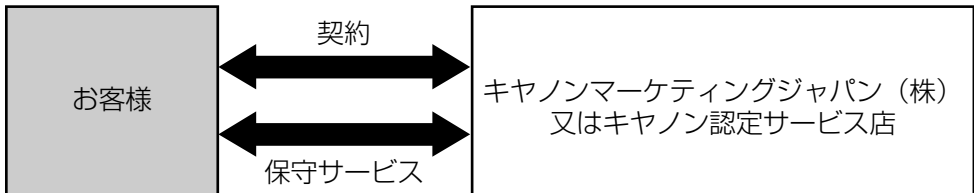
ら

保守サービスのご案内

■ ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはキヤノンレーザビームプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくキヤノンレーザビームプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。(製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。

キヤノン保守契約制度のメリット

■ 都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ 保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。(別途、有料となります。)

キヤノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、3 年間、4 年間、5 年間のタイプを用意しています。(無償修理保証期間を含みます)

キヤノンサービスパックのメリット

■ **簡単登録**

従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

■ **電話一本**

万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様 ID とトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

■ **固定料金**

キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。

修理料：修理時に発生する訪問料金、技術料、部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）

保守期間：対象製品購入後、3 年後、4 年後、5 年後です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。

「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いいたします。

補修用性能部品

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後 7 年間です。

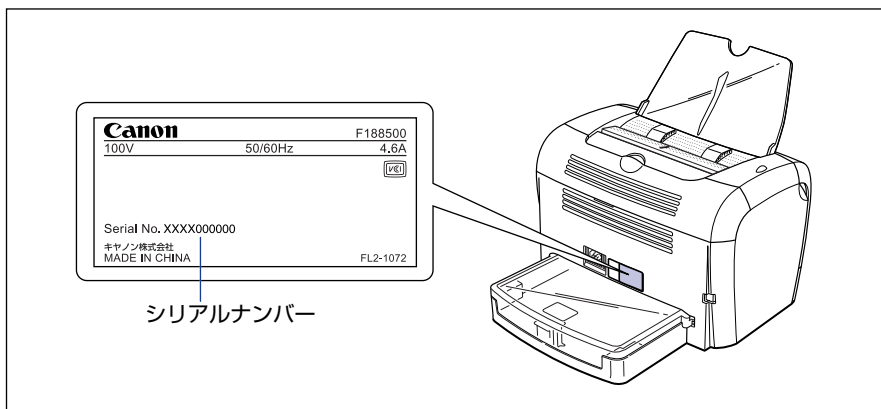
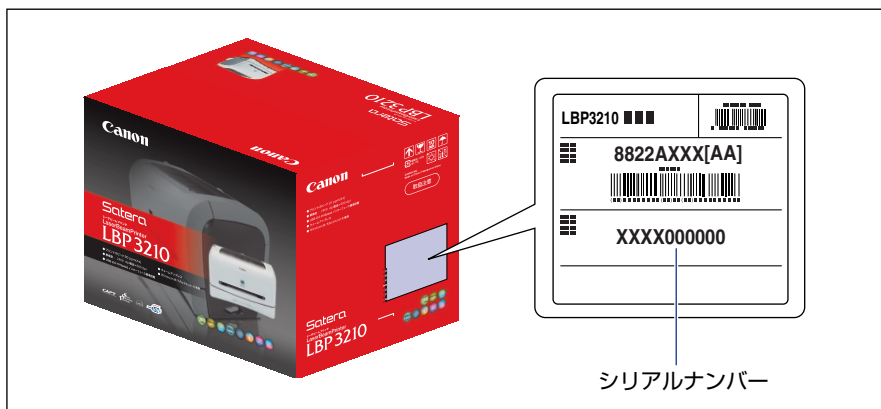
無償保証について

- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年です。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

シリアルナンバーの表示位置について

シリアルナンバー（Serial No.）は、4 文字のアルファベットと 6 桁の数字で構成されています。

重要　ラベルはサービスや保守の際に、サービスマンがシリアルナンバーを確認するために必要です。絶対にはがさないでください。

■ プリンタ背面

■ 梱包箱

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報及びソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ キヤノンホームページ（http://canon.jp/）
商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ キヤノンホームページ（http://canon.jp/）
キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

サテラ　ご購入者アンケート協力のお願い

この度は、キヤノンサテラシリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。みなさまのご意見を今後の製品開発の参考とさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

本プリンタに付属の CD-ROM のトップ画面に、キヤノンホームページのアンケートページへアクセスするボタンがあります。大変お手数ではございますが、そこからアクセス後、質問事項にご回答ください。

ご回答いただきました内容はより良いサービスと今後の製品開発の貴重な資料として活用し、それ以外の目的に使用することはありません。

※ アンケートにご回答いただく際には、商品名称と本体機番を入力していただく必要があります。

例）　商品名称　　LBP3210
　　　本体機番　　LLDA000001
　　　（保証書および本体背面、梱包箱外側に記載されています。）

7
付録

Canon

キヤノンお客様ご相談窓口 一覧表

ご相談窓口のご案内

お客様相談センター
（全国共通番号） **050-555-90061**

[受付時間]　<平日>9:00～20:00　<土日祝日>10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※消耗品はお買い上げいただいた販売店、お近くのキヤノン製品取り扱い店およびキヤノンマーケティングジャパン（株）販売窓口にてご購入ください。なお、ご不明な場合は、上記のお客様相談センターにご相談ください。

修理受付窓口

Satera LBP3210の修理サービスのご相談は、お買い上げ販売店または、下記のサービス窓口へお問い合わせください。
下記、修理受付窓口の受付時間は 9:00AM～5:30PMです。土曜、日曜、祝祭日は休ませていただきます。
（但し、東京QRセンター・新宿サービスセンターの営業時間は 10:00AM～6:00PM、休業日は　日曜・祝祭日です。）
また、※印のサービスセンターでは、郵送・宅配による修理品もお取扱いを致しております。
お願い：Satera LBP3210のお取扱い方法のお問い合わせは、必ず販売店または「お客様相談センター」あてにご連絡ください。

北海道地区

※札幌サービスセンター　TEL 011 (728) 0665　〒060-8522　北海道札幌市北区北7条西1-1-2　ＳＥ山京ビル１Ｆ　札幌支店内

東北地区

※仙台QRセンター　TEL 022 (217) 3210　〒980-8560　宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1　仙台パークビルヂング１Ｆ 仙台支店内

関東・信越地区

大宮サービスセンター（持込のみ）　TEL 048 (649) 1450　〒330-0854　埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-10-17 シーノ大宮サウスウイング６Ｆ　さいたま営業所内
東日本修理センター（持込のみ）　TEL 043 (211) 9032　〒261-8711　千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-2　キヤノンＭＪ幕張ビル1Ｆ　幕張事業所内

東京・神奈川・山梨地区

東京QRセンター（持込のみ）　TEL 03 (3837) 2961　〒110-0005　東京都台東区上野1-1-12　信井ビル１Ｆ
新宿QRセンター（持込のみ）　TEL 03 (3348) 4725　〒163-0401　東京都新宿区西新宿2-1-1　新宿三井ビル１Ｆ
横浜QRセンター（持込のみ）　TEL 045 (312) 0211　〒220-0004　神奈川県横浜市西区北幸2-6-26　ＨＩ横浜ビル2Ｆ　横浜営業所内
※キヤノンテクニカルセンター　TEL 0297 (35) 5000　〒306-0605　茨城県坂東市馬立1234　F7棟3F

関東地区・東京地区で郵送・宅配にて修理品をお送りいただく場合は、上記キヤノンテクニカルセンターにお送り下さい。

中部・北陸地区

※名古屋QRセンター　TEL 052 (939) 1830　〒461-8511　愛知県名古屋市東区東桜2-2-1　高岳パークビル１Ｆ　名古屋支店内

近畿地区

※大阪QRセンター　TEL 06 (6459) 2565　〒530-0005　大阪府大阪市北区中之島6-1-21　キヤノンＢＳ中之島ビル2Ｆ

中国・四国地区

広島サービスセンター（持込のみ）　TEL 082 (240) 6712　〒730-0051　広島県広島市中区大手町3-7-5　広島パークビルヂング1Ｆ　広島支店内
高松サービスセンター（持込のみ）　TEL 087 (823) 4681　〒760-0027　香川県高松市紺屋町4-10　鹿島紺屋町ビル3Ｆ　高松営業所内

九州地区

※福岡QRセンター　TEL 092 (411) 4173　〒812-0017　福岡県福岡市博多区美野島1-2-1　キヤノンＭＪ福岡ビル１Ｆ　福岡支店内

2006年4月1日現在　　上記の記載内容は、都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6
Canonホームページ：http://canon.jp